

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（75）

一般国道10号末吉IC関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

桐 木 遺 跡

第1分冊

2004年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター

一般国道10号末吉IC関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

桐 木 遺 跡

第1分冊



ナイフ形石器文化期の石器

序 文

この報告書は、一般国道10号末吉IC建設に伴い、平成10年度から13年度に鹿児島県立埋蔵文化財センターが実施した桐木遺跡の発掘調査の記録です。

桐木遺跡では、旧石器時代から縄文時代さらには古代・中世にいたる多くの遺構や遺物が、各時代に噴出した火山灰の間から発見され、南九州における文化や時代の移り変わりを知るための、貴重な発見がありました。

なかでも、旧石器時代の2万年をさかのぼる入戸火砕流（シラス）の後のナイフ形石器文化、旧石器時代終末の細石刃文化期から縄文時代草創期へ移り変わる時期の遺構や遺物、縄文時代早期の希少な壺形土器、縄文時代前・中期の人々の幅広い交流をうかがわせる土器や石器など数々の調査の成果は、この土地が長い歴史を通じて、繰り返し人々の生活の場となっていたことを教えてくれるとともに、南九州の先史時代に生きた様々な人々の姿を思い起こさせてくれます。

本報告書が、これからの地域の歴史研究や文化財の啓発・普及の一助として多くの方々に活用していただければ幸いです。

終わりに、国土交通省鹿児島国道事務所や地元の皆様に、多大な御協力と文化財に対する深い御理解をいただきました。ここに深甚なる謝意を表します。

平成16年3月

鹿児島県立埋蔵文化財センター
所 長 木原 俊孝

報告書抄録

書名	桐木遺跡							
副書名	一般国道10号末吉IC関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	1							
シリーズ名	鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書							
シリーズ番号	第75集							
編者名	中原一成							
編集機関	鹿児島県立埋蔵文化財センター							
所在地	〒899-4461 鹿児島県国分市上之段1175番地1 ☎0995-48-5811							
発行年月日	2004年3月24日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 〇°〇′	東経 〇°〇′	調査期間	調査面積 ㎡	調査起因
		市町村	遺跡番号					
桐木遺跡	鹿児島県 曾於郡 末吉町 譚訪方 字 桐木152-1ほか	464643	66165	31° 40′ 41″	130° 56′ 26″	本調査 1999.12.06 ～ 2000.02.23	5,550	一般国道 10号末吉IC 関連事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
桐木遺跡	包含地	旧石器(ナイフ) 旧石器(細石刃) 縄文(草創期) 縄文(早期) 縄文(前・中期) 縄文(後期) 縄文(晩期) 中世～古代	礫群12 遺物集中か所7 礫群2 遺物集中か所24 集石4 集石34 土坑9 集石4 土坑2 集石2 道跡50条以上・ 畑跡 土坑1	台形石器・ナイフ・ スクレイパー等 細石刃・細石刃核・ 敲石・スクレイパー 隆起線文・石鏃・石 匙・石斧・磨石等 前平式・石坂式・平 楕式・塞ノ神式等 曾畑式・船元式・春 山式 西平式・市米式等 入佐式土器 土師器	土器 磨石集積1 連穴土坑・落し 穴・石斧集積 石刀 壁穴住居			



图 1 图 测 绘 位 置 图

例言

- 1 本書は、鹿児島県曾於郡末吉町諏訪方及び同財部町南俣に所在する桐木遺跡・耳取遺跡の発掘調査に関する報告書である。調査範囲が2町及び、それぞれ遺跡名の登録があるが、本書では当初の事業名に従い、書名を桐木遺跡とした。
- 2 本遺跡は、鹿児島県曾於郡末吉町諏訪方字桐木149番地及び財部町南俣字耳取5901番地ほかに所在する。
- 3 本調査は、一般国道末吉IC関連事業に伴い、建設省九州地方建設局鹿児島国道工事事務所（当時）から鹿児島県教育委員会が受託し、鹿児島県立埋蔵文化財センターが1998年から2002年まで実施した。
- 4 本遺跡の整理・報告書作成は2001年から2003年まで鹿児島県立埋蔵文化財センターで実施し、2004年度に印刷刊行事業を行った。
- 5 遺物番号・接合資料番号は各文化層ごとの通し番号であり、本文・挿図・図版の番号は一致する。
- 6 発掘調査における図面作成及び写真撮影は主に発掘調査担当者（中原、橋口、永濱、川口、大森、立持（男））が作業員の補助を得て行った。
- 7 挿図の縮尺は図面ごとに示した。
- 8 本書に用いたレベル数値は、海抜高に基づいている。
- 9 遺物の実測・トレースは鹿児島県立埋蔵文化財センターにおいて整理作業員が行い、各執筆担当者及び園が監修したほか、星野、相美の協力を得た。石器の一部は民間業者に委託し、担当者がこれを監修した。
- 10 本調査では理化学分析として年代測定、テフラ同定、プラントオパール分析、蛍光X線分析による黒曜石原産地同定、種子同定を行い、分析の結果は付録として掲載している。
- 11 遺物の写真撮影・現像等は、鹿児島県立埋蔵文化財センターにおいて、鶴田勝彦、福永修一、横子浩二郎、西岡勝彦が行った。
- 12 本書の編集は鹿児島県立埋蔵文化財センターで行い、中原が担当した。執筆は第Ⅱ章第1節地理的環境及び第2節歴史的環境を牛ノ濱、第Ⅳ章第4節3の第1遺物集中部川土の土器及び第5節3(1)の縄文時代早期の土器を寺原、第6節3(1)の縄文時代早期の土器を中原・寺原、第8節3(1)の縄文時代前・中期の土器を東、第9節3(1)の縄文時代後期の土器を岩澤、第10節1～5の縄文時代晩期の遺構と土器を川口、第11節2(3)遺跡を永濱、同3弥生～古墳時代の遺物を西園、同4古代～中世の土器を石丸、第12節近世の遺物を園が担当、第Ⅴ章等まとめは各執筆者が分担し、その他は中原が担当した。
- また本書の遺物出土状況図等のデジタルデータの作成・作図は馬籠が担当し、基礎データ作成・入力には各年度の事業担当者のほか古岡が作業員の協力を得ておこなった。
- 13 遺物は、鹿児島県立埋蔵文化財センターで保管し、展示・活用を行う。

凡例

【文化層】

本書で用いた文化層の表記は基本的に以下の層位・時代に対応する。

文化層	層位	時代
第1文化層	XⅤ層	旧石器時代ナイフ形石器文化期
	XⅥ層	
第2文化層	XⅡb層	旧石器時代ナイフ形石器文化期
	XⅢ層	
第3文化層	XⅡb層	細石刃文化期
	XⅢ層	
第4文化層	XⅠa層	細石刃文化期 (縄文時代草創期)
	Xb層	
第5文化層	Xa層	縄文時代草創期
第6文化層	Ⅲ層	縄文時代早期
	Ⅳ層	
第7文化層	Ⅵa層	縄文時代早期
第8文化層	Ⅴa層	縄文時代前～中期
	Ⅳ下層	
第9文化層	Ⅳ層	縄文時代後期
第10文化層	Ⅲb層	縄文時代晩期
	Ⅲa層	
第11文化層	Ⅲa層	弥生時代 古墳時代 古代 中世

【土器の分類】

土器の分類については、各時代（文化層）ごとに行っており、分類の内容についてはそれぞれ、各節及び小節ごとに記述もしくは分類表の提示をおこなっている。

【石器の分類】

石器の形態等に基づく分類については、関係する節もしくは小節に記述したほか、一部について本文中に分類模式図を示している。

また、観察表での分類事項についても、関係する節もしくは小節で記述した。

【石材】

石器石材の分類は外観的特長にもとづき判別したもので、黒曜石製石器の一部を除き、化学分析等による判別は行っていない。

また、分布図等における、記号の色分けについては、各層から出土した石器等の石材構成に違いがあり、文化層ごとの石材状況を分布図に反映させる目的から、文化層が異なる場合、異なる識別記号で表されており、適宜、凡例を示している。

また、計測表等において以下のアルファベット略号の表記を用いている。

略号	和名	英名
AG	瑪瑙	Agate
AN	安山岩	Andesite
OB	黒曜石	Obsidian
CC	玉髄	Chalcedony
CH	チャート	Chert
CL	粘板岩	Clayslate
CO	礫岩	Conglomerate
FQ	鉄石英	Ferruginous quartz
GR	花崗岩	Granite
HF	ホルンフェルス	Hornfels
MU	泥岩	Medstone
OP	蛋白石	Opal
QZ	石英脈岩	Quartz dike rock
RC	水晶	Rock crystal
SA	砂岩	Sandstone
SE	蛇紋岩	Serpentite
SH	頁岩	Shale
SI	シルト岩	Siltstone
TU	凝灰岩	Tuff

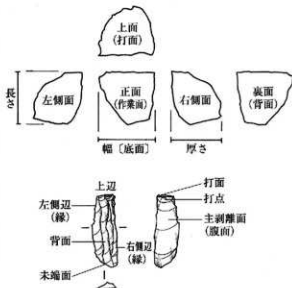
【黒曜石】

石器石材のうち黒曜石製の細石刃核・石鏃については付録に掲載した遺物について、蛍光X線分析による石材同定を行った。その他の遺物については外観の特徴から以下に従い分類した。

- I類 不純物を多く含む不透明で濃黒色の黒曜石
- II類 やや透明感があり、不純物を多く含む黒曜石
- II A 黒色～黄茶褐色の色彩を呈する
- II B 青みがかった灰色の色調を呈する
- II C 青みがかった灰色から黄茶褐色を呈しやや透明感があり不純物を含む
- III類 黒色～鉛色の透明感があり不純物の少ない
- III U類 黒色～濁灰黒色半透明、白色の不純物を多く含む
- IV類 黒色でガラス質、不純物を殆ど含まず良質
- V類 黒色で透明度が低く、不純物を少量含む
- VI類 青灰色で透明度が低く、不純物を少量含む
- VII類 不純物をほとんど含まない、薄い灰色～オリーブ色を呈する黒曜石
- VIII類 不純物をほとんど含まない、透明感のない灰白色から灰色の黒曜石

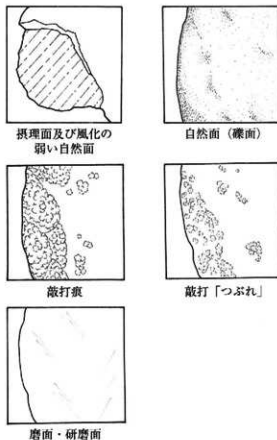
【石器計測】

石器は以下の要領で、縦・横・厚みを計測し、重量と併せ観察表に示している。また、文中、次の呼称を用いた。



【石器実測図】

石器の実測の表現については、以下の凡例に基づきよう努めたが、十分徹底されなかった所があり、必要に応じ、分類及び記述によりこれを補っている。



第1分冊目次

巻頭四版

序文

報告吉抄録

例言

凡例

目次

本文目次

挿図目次

表目次

図版目次

第I章	発掘調査の経過	1
第1節	調査に至るまでの経緯	1
第2節	調査の経過	1
第3節	調査後の遺跡の概要	6
第II章	遺跡の位置と環境	7
第1節	地理的環境	7
第2節	歴史的環境	7
第3節	遺跡の層位	11
第III章	発掘調査の概要	15
第1節	発掘調査の方法	15
第2節	発掘調査の概要	15
第IV章	発掘調査の成果	19
第1節	第1文化層	
(XVI層・XVII層 旧石器時代ナイフ形石器文化期)の調査	19	
1	遺構と遺物	19
2	遺構	19
3	遺物(中部と遺物)	35
第2節	第2文化層	
(XVIII層 旧石器時代ナイフ形石器文化期)の調査	88	
1	遺構と遺物	88
2	遺構	92
3	遺物	92
第3節	第3文化層	
(XIX層・XIX層 旧石器時代細石刃文化期)の調査	92	
1	遺構と遺物	92
2	遺構	92
3	遺物	92
第4節	第4文化層	
(XIXa層・XIXb層 旧石器時代細石刃文化期)の調査	98	
1	遺構と遺物	98
2	遺構(壕群)	98
3	遺物(中部と遺物)	98
(1) 樹木調査区	106	
(2) 耳取調査区	144	
第5節	第5文化層	
(XIXa層 縄文時代草創期)の調査	165	
1	遺構と遺物	165
2	遺構	165
3	遺物	171
(1) X層出土石器	171	
(2) 石器	175	

(以上本分冊)

第2分冊

巻頭四版

目次

本文目次

挿図目次

表目次

第IV章 発掘調査の成果

 第6節 第6文化層(III・III層 縄文時代早期1)の調査

1	遺構と遺物	1
2	遺構	1
(1) 土坑(溝穴土坑 落とし穴 土坑)	1	
(2) 石斧集積	15	
(3) 集石	17	
3	遺物	35
(1) 石器	35	
(2) 石器	35	
① 埋藏出土石器	55	
② 埋藏出土石器	63	
第7節	第7文化層(VIa層 縄文時代早期2)の調査	
1	遺構と遺物	82
2	遺構	82
3	遺物	97
(1) 石器	97	
(2) 石器	99	
第8節	第8文化層(Va層・IV下層 縄文時代前期～中期)の調査	
1	遺構と遺物	105
2	遺構	105
(1) 土坑	105	
(2) 集石	108	
3	遺物	111
(1) 石器	111	
(2) 石器	123	
第9節	第9文化層(IV層 縄文時代後期)の調査	
1	遺構と遺物	141
2	遺構	141
(1) 土坑	141	
(2) 集石	141	
3	遺物	146
(1) 石器	146	
(2) 石器	150	
第10節	第10文化層(IIIb層 縄文時代晩期)の調査	
1	調査の概要	155
2	土器の分類	155
3	墓穴住居跡	155
4	住居跡の出土遺物	159
5	包含層出土石器	168
6	石器	177
第11節	第11文化層(IIIa層 弥生～中世)の調査	
1	遺構と遺物	187
2	遺構	187
(1) 土坑	187	
(2) 堀跡	187	
(3) 遺跡	191	
3	弥生時代～古墳時代の遺物	201
4	古代～中世の遺物	203
第12節	近世の調査	
近世の遺物	205	
第V章	まとめ	207

付編(自然科学分析関係)

樹木遺跡自然化学分析1(ハリノサーヴェイ)リン分析

樹木遺跡自然化学分析2(古環境研究所)

土層とテフラ、プラントオパール(植物遺体)

樹木遺跡における放射性炭素年代測定(古環境研究所)

放射性炭素年代測定(パレオ・ラボ)

樹木遺跡出土の黒曜石製造物の原産地分析1・2(高橋哲夫)

樹木遺跡出土炭化物の種子同定(ハリノサーヴェイ)

挿 図 目 次

第 1 図 遺跡位置図 () 凡例

第 1 節 調査に至るまでの経緯	
第 2 節 概木遺跡周辺地形図及び調査対象範囲図	
第 3 節 引次調査範囲図	1
第 4 節 トレンチ配置図	2

第 2 章 遺跡の位置と環境

第 2 節 歴史的環境	
第 5 節 周辺遺跡図	8
第 3 節 遺跡の発掘	
第 6 節 概木遺跡上層模式図	11
第 7 節 概木調査区上層断面図	13
第 8 節 耳取調査区上層断面図	14

第 3 章 発掘調査の概要

第 1 節 発掘調査の方法	
第 9 節 概木遺跡グッド配置図	15

第 4 章 発掘調査の結果

第 1 文化層〔XⅡ層・XⅢ層 旧石器時代ナイフ形石器文化層 1〕の調査	18
第 11 節 第 1 文化層遺物出土状況	18
第 12 節 第 1 文化層遺物配置図	20
第 13 節 第 1 文化層 1 号遺群	21
第 14 節 第 1 文化層 11 号遺群	21
第 15 節 第 1 文化層 2 号遺群	22
第 16 節 第 1 文化層 3 号遺群	23
第 17 節 第 1 文化層 4 号遺群	25
第 18 節 第 1 文化層 5 号遺群	26
第 19 節 第 1 文化層 6 号遺群	27
第 20 節 第 1 文化層 7 号遺群	27
第 21 節 第 1 文化層 10 号遺群	28
第 22 節 第 1 文化層 9 号遺群	28
第 23 節 第 1 文化層 12 号遺群	29
第 24 節 第 1 文化層遺物集中部出土状況	31
第 25 節 第 1 文化層第 1・第 2 遺物集中部出土状況	32
第 26 節 第 1 文化層第 3・第 4 遺物集中部出土状況	32
第 27 節 第 1 文化層第 4・第 6・第 8 遺物集中部出土状況	32
第 28 節 第 1 文化層石器総合状況	34
第 29 節 第 1 文化層総合資料 No.1 出土状況	36
第 30 節 第 1 文化層総合資料 No.2 出土状況	36
第 31 節 第 1 文化層総合資料 No.3 出土状況	36
第 32 節 第 1 文化層第 2 遺物集中部出土石器 (1)	37
第 33 節 第 1 文化層第 2 遺物集中部出土石器 (2)	38
第 34 節 第 1 文化層第 2 遺物集中部出土石器 (3)	39
第 35 節 第 1 文化層総合資料 No.4 出土状況	40
第 36 節 第 1 文化層総合資料 No.5 出土状況	40
第 37 節 第 1 文化層総合資料 No.6 出土状況	40
第 38 節 第 1 文化層第 1 遺物集中部出土石器 (1)	41
第 39 節 第 1 文化層第 1 遺物集中部出土石器 (2)	42
第 40 節 第 1 文化層第 1 遺物集中部出土石器 (3)	43
第 41 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (1)	44
第 42 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (2)	45
第 43 節 第 1 文化層総合資料 No.7 出土状況	46
第 44 節 第 1 文化層総合資料 No.8 出土状況	46
第 45 節 第 1 文化層総合資料 No.9 出土状況	46
第 46 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (3)	48
第 47 節 第 1 文化層総合資料 No.10 出土状況	49
第 48 節 第 1 文化層総合資料 No.11 出土状況	49
第 49 節 第 1 文化層総合資料 No.12 出土状況	49
第 50 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (4)	50
第 51 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (5)	51
第 52 節 第 1 文化層総合資料 No.13 出土状況	52
第 53 節 第 1 文化層総合資料 No.14 出土状況	52
第 54 節 第 1 文化層総合資料 No.15 出土状況	52
第 55 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (6)	53
第 56 節 第 1 文化層総合資料 No.16 出土状況	54
第 57 節 第 1 文化層総合資料 No.17 出土状況	54
第 58 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (7)	55

第 59 節 第 1 文化層総合資料 No.18 出土状況	58
第 60 節 第 1 文化層総合資料 No.19 出土状況	58
第 61 節 第 1 文化層総合資料 No.20 出土状況	58
第 62 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (8)	59
第 63 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (9)	60
第 64 節 第 1 文化層第 5 遺物集中部出土石器 (10)	61
第 65 節 第 1 文化層総合資料 No.21 出土状況	62
第 66 節 第 1 文化層総合資料 No.22 出土状況	62
第 67 節 第 1 文化層総合資料 No.23 出土状況	62
第 68 節 第 1 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (1)	63
第 69 節 第 1 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (2)	64
第 70 節 第 1 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (3)	65
第 71 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器 (1)	66
第 72 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器 (2)	67
第 73 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器 (3)	68
第 74 節 第 1 文化層総合資料 No.24 出土状況	71
第 75 節 第 1 文化層総合資料 No.25 出土状況	71
第 76 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器 (4)	72
第 77 節 第 1 文化層総合資料 No.26 出土状況	73
第 78 節 第 1 文化層総合資料 No.27 出土状況	73
第 79 節 第 1 文化層総合資料 No.28 出土状況	73
第 80 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器 (5)	73
第 81 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器 (6)	73
第 82 節 第 1 文化層第 4 遺物集中部出土石器	76
第 83 節 第 1 文化層総合資料 No.29 出土状況	77
第 84 節 第 1 文化層総合資料 No.30 出土状況	77
第 85 節 第 1 文化層総合資料 No.31 出土状況	77
第 86 節 第 1 文化層第 8 遺物集中部出土石器 (1)	78
第 87 節 第 1 文化層第 8 遺物集中部出土石器 (2)	79
第 88 節 第 1 文化層第 8 遺物集中部出土石器 (3)	80
第 89 節 第 1 文化層総合資料 No.32 出土状況	81
第 90 節 第 1 文化層総合資料 No.33 出土状況	81
第 91 節 第 1 文化層第 8 遺物集中部出土石器 (4)	82
第 92 節 第 1 文化層第 8 遺物集中部出土石器 (5)	83
第 93 節 第 1 文化層調査区出土石器 (1)	84
第 94 節 第 1 文化層調査区・耳取調査区出土石器 (2)	86
第 95 節 第 1 文化層非実証総合資料出土状況	87

第 2 文化層〔XⅡb層 旧石器時代ナイフ形石器文化層 2〕の調査	
第 96 節 第 2 文化層遺物出土状況図	89
第 97 節 第 2 文化層実証遺物出土位置図	90
第 98 節 第 2 文化層出土石器	91
第 3 文化層〔XⅡa層・XⅡc層 縄石万文化層 1〕の調査	
第 99 節 第 3 文化層遺物出土状況図	93
第 100 節 第 3 文化層実証遺物出土位置図	94
第 101 節 第 3 文化層出土石器 (1)	95
第 102 節 第 3 文化層出土石器 (2)	96

第 4 文化層〔XⅡa層・XⅡb層 縄石万文化層 2〕の調査	
第 103 節 第 4 文化層遺物出土状況図	99
第 104 節 第 4 文化層調査区遺物配置図	100
第 105 節 第 4 文化層耳取調査区遺物配置図	100
第 106 節 第 4 文化層 1 号遺群	101
第 107 節 1 号遺群内出土石器	101
第 108 節 第 4 文化層 2 号遺群	101
第 109 節 細石万分層模式図	102
第 110 節 細石万分層模式図	103
第 111 節 第 4 文化層遺物集中部出土状況 (1)	104
第 112 節 第 4 文化層遺物集中部出土状況 (2)	105
第 113 節 第 4 文化層第 2・第 3 遺物集中部出土状況	107
第 114 節 第 4 文化層第 4・第 6 遺物集中部出土状況	107
第 115 節 第 4 文化層第 7・第 9 遺物集中部出土状況	108
第 116 節 第 4 文化層第 11・第 12 遺物集中部出土状況	108
第 117 節 第 4 文化層第 1 遺物集中部出土状況	109
第 118 節 第 4 文化層第 22・第 23 遺物集中部出土状況	109
第 119 節 第 4 文化層第 2 遺物集中部出土石器	110
第 120 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (1)	111
第 121 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (2)	112
第 122 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (3)	113
第 123 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (4)	114
第 124 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (5)	115
第 125 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (6)	116
第 126 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (7)	117
第 127 節 第 4 文化層第 3 遺物集中部出土石器 (8)	118

第128号	第4文化層第4遺物集中部出土石器(1)	120
第129号	第4文化層第4遺物集中部出土石器(2)	121
第130号	第4文化層第5遺物集中部出土石器	122
第131号	第4文化層第6遺物集中部出土石器	123
第132号	第4文化層第7遺物集中部出土石器	124
第133号	第4文化層第8遺物集中部出土石器	124
第134号	第4文化層第9遺物集中部出土石器	125
第135号	第4文化層第12遺物集中部出土石器(1)	126
第136号	第4文化層第12遺物集中部出土石器(2)	127
第137号	第4文化層第12遺物集中部出土石器(3)	128
第138号	第4文化層第12遺物集中部出土石器(4)	129
第139号	第4文化層第12遺物集中部出土石器(5)	130
第140号	第4文化層第12遺物集中部出土石器(6)	131
第141号	第4文化層第11遺物集中部出土石器	132
第142号	第4文化層第11遺物集中部出土石器	133
第143号	第4文化層第11遺物集中部出土石器(1)	134
第144号	第4文化層第11遺物集中部出土石器(2)	135
第145号	第4文化層第22遺物集中部出土石器	136
第146号	第4文化層第23遺物集中部出土石器	136
第147号	第4文化層制木調査区出土石器(1)	137
第148号	第4文化層制木調査区出土石器(2)	138
第149号	第4文化層制木調査区出土石器(3)	139
第150号	第4文化層制木調査区出土石器(4)	140
第151号	第4文化層制木調査区出土石器(5)	141
第152号	第4文化層制木調査区出土石器(6)	142
第153号	第4文化層第18遺物集中部出土状況	145
第154号	第4文化層第15・第20遺物集中部出土状況	145
第155号	第4文化層第13・第14・第17・第19遺物集中部出土状況	146
第156号	第4文化層第24・第25・第26遺物集中部出土状況	146
第157号	第4文化層第21遺物集中部出土状況	147
第158号	第4文化層第18遺物集中部出土石器	148
第159号	第4文化層第15遺物集中部出土石器	148
第160号	第4文化層第20遺物集中部出土石器	149
第161号	第4文化層第14遺物集中部出土石器(1)	150
第162号	第4文化層第14遺物集中部出土石器(2)	151
第163号	第4文化層第13遺物集中部出土石器(1)	153
第164号	第4文化層第13遺物集中部出土石器(2)	154
第165号	第4文化層第13遺物集中部出土石器(3)	155
第166号	第4文化層第19遺物集中部出土石器	156
第167号	第4文化層第17遺物集中部出土石器	156
第168号	第4文化層第24遺物集中部出土石器	159
第169号	第4文化層第25遺物集中部出土石器	159
第170号	第4文化層第26遺物集中部出土石器	159
第171号	第4文化層第21遺物集中部出土石器	160
第172号	第4文化層耳取調査区出土石器(1)	161
第173号	第4文化層耳取調査区出土石器(2)	162
第174号	その他の出土石器(1)	163
第175号	その他の出土石器(2)	164

第3文化層(Xa層 縄文時代早期)の調査

第176号	第5文化層遺物出土状況図	166
第177号	第5文化層(縄文時代早期)制木調査区遺構配置図	167
第178号	第5文化層(縄文時代早期)耳取調査区遺構配置図	167
第179号	第5文化層磨石集積	168
第180号	第5文化層集積内出土石器	168
第181号	第5文化層1号集石	169
第182号	第5文化層3号集石	169
第183号	第5文化層2号集石	170
第184号	第5文化層4号集石	170
第185号	第5文化層耳取調査区土段遺構(1)	172
第186号	第5文化層耳取調査区土段遺構(2)	173
第187号	第5文化層(縄文時代早期)出土石器	174
第188号	石種分類表(式部)	176
第189号	磨石・砥石分類表(式部)	176
第190号	第5文化層出土石器(1)	177
第191号	第5文化層出土石器(2)	178
第192号	第5文化層出土石器(3)	179
第193号	第5文化層出土石器(4)	180

- 付図1 制木調査区西側土層断面図
 付図2 制木調査区東側土層断面図
 付図3 耳取調査区南側土層断面図
 付図4 耳取調査区北側土層断面図

表 目 次

第 2 章 遺跡の位置と環境

第 2 節 歴史的環境	
第 1 表 周辺遺跡一覧表 (1)	9
第 2 表 周辺遺跡一覧表 (2)	10

第 3 章 発掘調査の結果

第 1 節 第 1 文化層 (XⅡa層 - XⅡb層 旧石器時代ナイフ形石器文化期 1) の調査	
第 3 表 第 1 文化層 1 号検体計測表	19
第 4 表 第 1 文化層 11 号検体計測表	19
第 5 表 第 1 文化層 2 号検体計測表	29
第 6 表 第 1 文化層 8 号検体計測表	29
第 7 表 第 1 文化層 3 号検体計測表	30
第 8 表 第 1 文化層 4 号検体計測表	30
第 9 表 第 1 文化層 5 号検体計測表	30
第 10 表 第 1 文化層 7 号検体計測表	30
第 11 表 第 1 文化層 6 号検体計測表	30
第 12 表 第 1 文化層 10 号検体計測表	30
第 13 表 第 1 文化層 9 号検体計測表	30
第 14 表 第 1 文化層 12 号検体計測表	30
第 15 表 第 1 文化層石器石材組成一覧表	38
第 16 表 第 1 文化層石器計測表 (1)	39
第 17 表 第 1 文化層石器計測表 (2)	43
第 18 表 第 1 文化層石器計測表 (3)	44
第 19 表 第 1 文化層石器計測表 (4)	48
第 20 表 第 1 文化層石器計測表 (5)	50
第 21 表 第 1 文化層石器計測表 (6)	51
第 22 表 第 1 文化層石器計測表 (7)	53
第 23 表 第 1 文化層石器計測表 (8)	57
第 24 表 第 1 文化層石器計測表 (9)	61
第 25 表 第 1 文化層石器計測表 (10)	63
第 26 表 第 1 文化層石器計測表 (11)	75
第 27 表 第 1 文化層石器計測表 (12)	76
第 28 表 第 1 文化層石器計測表 (13)	83
第 29 表 第 1 文化層石器計測表 (14)	85

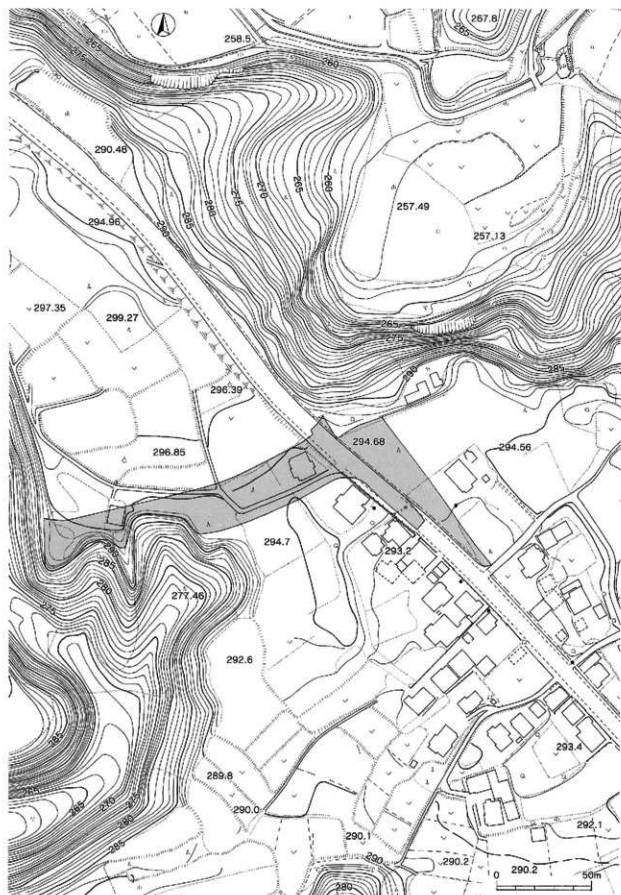
第 2 節 第 2 文化層 (XⅡb層 - 旧石器時代ナイフ形石器文化期 2) の調査	
第 30 表 第 2 文化層石器石材組成一覧表	88
第 3 節 第 3 文化層 (XⅡa層 - XⅠc層 細石刃文化期 1) の調査	
第 31 表 第 3 文化層石器石材組成一覧表	92

第 32 表 第 2 文化層石器計測表	97
第 33 表 第 3 文化層石器計測表	97
第 34 表 第 4 文化層石器計測表 (1)	97

第 4 節 第 4 文化層 (XⅠa層 - XⅠb層 細石刃文化期 2) の調査	
第 35 表 第 4 文化層 1 号検体計測表	98
第 36 表 第 4 文化層 2 号検体計測表	98
第 37 表 第 4 文化層石器石材組成一覧表	106
第 38 表 第 4 文化層石器計測表 (2)	110
第 39 表 第 4 文化層石器計測表 (3)	112
第 40 表 第 4 文化層石器計測表 (4)	119
第 41 表 第 4 文化層石器計測表 (5)	122
第 42 表 第 4 文化層石器計測表 (6)	123
第 43 表 第 4 文化層石器計測表 (7)	124
第 44 表 第 4 文化層石器計測表 (8)	126
第 45 表 第 4 文化層石器計測表 (9)	132
第 46 表 第 4 文化層土器観察表	133
第 47 表 第 4 文化層石器計測表 (10)	135
第 48 表 第 4 文化層石器計測表 (11)	138
第 49 表 第 4 文化層石器計測表 (12)	140
第 50 表 第 4 文化層石器計測表 (13)	143
第 51 表 第 4 文化層石器計測表 (14)	149
第 52 表 第 4 文化層石器計測表 (15)	152
第 53 表 第 4 文化層石器計測表 (16)	157
第 54 表 第 4 文化層石器計測表 (17)	158
第 55 表 第 4 文化層石器計測表 (18)	159
第 56 表 第 4 文化層石器計測表 (19)	160
第 57 表 第 4 文化層石器計測表 (20)	162
第 58 表 第 4 文化層石器計測表 (21)	163

第 5 節 第 5 文化層 (XⅠa層 縄文時代早期) の調査	
第 59 表 第 5 文化層 1 号検体計測表	165

第 60 表 第 5 文化層石器計測表 (1)	168
第 61 表 第 5 文化層 3 号検体計測表	169
第 62 表 第 5 文化層 2 号検体計測表	170
第 63 表 第 5 文化層 4 号検体計測表	170
第 64 表 第 5 文化層 (縄文時代早期) 土器観察表	171
第 65 表 第 5 文化層石器石材組成一覧表	175
第 66 表 第 5 文化層石器計測表 (2)	178
第 67 表 第 5 文化層石器計測表 (3)	179



第2図 桐木遺跡周辺地形図及び調査対象範囲図

第1章 発掘調査の経過

第1節 調査に至るまでの経過

鹿児島県教育委員会は、文化財の保護・活用を図るため、各関係機関との間で、事業区域内における文化財の有無及びその取り扱いについて協議し、諸開発との調整を図っている。

この事前協議制に基づき、平成8年8月、建設省九州地方建設局鹿児島国道工事事務所（現国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所、以下鹿児島国道）は、「一般国道10号末吉IC関連事業」の計画に基づいて、曾於郡末吉町諏訪方地内及び財部町南俣地内において計画した事業に先立って、対象地内における埋蔵文化財の有無について、鹿児島県教育庁文化課（現文化財課、以下文化財課）に照会した。

同地内においては既に東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の分布調査によって、桐木遺跡及び耳取遺跡の所在が判明しており、遺跡面積は4,750㎡と推計されたが、事前に確認調査を実施できなかったため、確認調査と併行して全面調査を実施する方法をとり、鹿児島県立埋蔵文化財センターが発掘調査を行った。

第2節 調査の経過

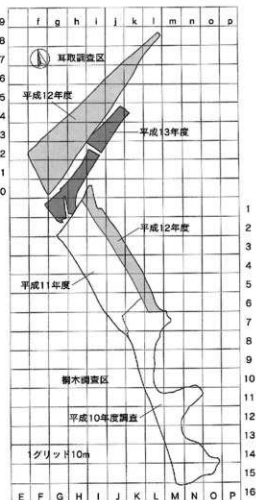
1 平成10年度

(1) 調査の組織

事業主体者	建設省鹿児島国道工事事務所
調査主体者	鹿児島県教育委員会
企画・調整	鹿児島県教育庁文化財課
調査責任者	鹿児島県立埋蔵文化財センター
所長	吉水 和人
次長兼総務課長	尾崎 進
主任文化財主事兼調査課長	戸崎 勝洋
調査課長補佐兼第一調査係長	新東 晃一
主任文化財主事兼第三調査係長	池畑 耕一
調査担当者	鹿児島県立埋蔵文化財センター
文化財研究員	中原 一成
文化財調査員	川口 雅之
調査事務担当者	鹿児島県立埋蔵文化財センター
総務係主査	政倉 孝弘
主 事	溜池 佳子

(2) 調査の経過

平成10年度は調査対象地内の用地取得が完了した用地の南部の1,500㎡の確認及び全面調査を実施した。併行して行われていた東九州自動車道建設に伴う発掘調査の成果から、中世から旧石器までを含む多重層の遺跡であることが判明しており、かつ縄文時代晩期（Ⅲb層）の包含層が対象地全域に広がるのが確実であったため、確認調査の深度を考慮し、表土の除去後、まずⅢb層の全面調査を行った。谷部に面した幅の狭い調査区であったため、地形を考慮し尾根部及び台地縁辺部分を中心に8か所のトレンチを設定し縄文時代早期の薩摩火山灰層



第3図 年次別調査範囲図

上面までのトレンチによる確認を行った。この結果、6トレンチでVa層から縄文時代前期の土器が出土したためM-12・13区を中心に約200㎡の調査を行ったのち、下層確認を継続した。縄文時代早期の遺物は1トレンチ及び2トレンチで確認され、K・L-6～8区を中心に約500㎡の範囲で出土した。薩摩火山灰層以下の下層確認トレンチによる調査では、K-7・8区及びL・M-11・12区のXI層及びXII層から細石核・剥片・石核原石等の出土が見られたため、トレンチを拡張して一部全面調査を行ったが、遺物集中部は見られず、散発的な出土状況であった。XII層以下についてもトレンチによる確認調査を行ったが、若干の剥片・破片類が出土したものの、散発な出土にとどまった。

(4) 調査の概括

調査面積（表面積）	1,500㎡（4文化層）
調査延べ面積	3,620㎡
発掘土量	人力掘削 1,152㎡ 機械掘削 2,223㎡
総発掘土量	3,375㎡
調査期間	平成10年12月1日～平成11年3月24日 （実働68日間）

出土遺物量 バンケース 40 箱

主な遺構と遺物

層	時代・時期	主な遺構	主な遺物
XII	旧石器時代		剥片、細石刃核
XI	細石刃文化期		石核原石
Ⅷ	縄文時代早期	兼石1基	滑平式土器 石板式土
Ⅵ	縄文時代中期		器、石鏝
Va	縄文時代前期		筒式土器
Ⅲb	縄文時代後期	竪穴式住居跡	入佐式土器、石鏝、石斧
Ⅱa		古道	

2 平成 11 年度

(1) 調査の組織

事業主体者 建設省鹿児島国道工事事務所

調査主体者 鹿児島県教育委員会

企画・調整 鹿児島県教育庁文化財課

調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

所長	青永 和人
次長兼総務課長	黒木 友幸
主任文化財主事兼調査課長	戸崎 勝洋
調査課長補佐兼第一調査係長	新東 晃一
主任文化財主事兼第三調査係長	青崎 和憲

調査担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

文化財研究員	中原 一成
	永濱 功治
文化財調査員	大窪 祥晃

調査事務担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

総務係長	有村 貞
主 事	溜池 佳子

調査指導

広島大学文学部 藤野次史助教授

(平成 12 年 1 月 13 ~ 14 日 旧石器遺跡の調査法及び資料分析)

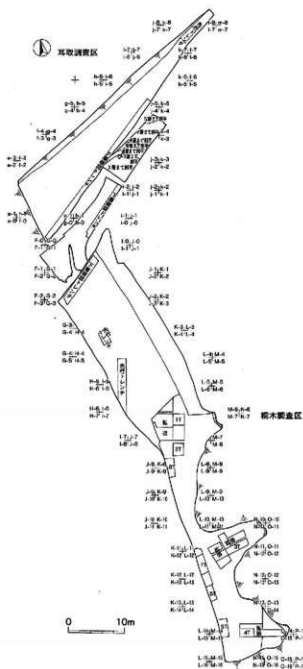
鹿児島大学理学部 小林哲夫教授

(平成 12 年 1 月 14 日 火山性堆積物及び地形形成)

(2) 調査の経過

平成 11 年度は、同年 6 月 7 日より、昨年度調査地点の北側、国道 10 号線に隣接する 1.150 m² の確認及び全面調査を実施した。本遺跡は、旧石器時代～中世に至る複合遺跡で、掘削深度が大きくなる可能性があり、表土除去後、下層確認調査と、調査区域全体の包含層面ごとの全面調査を交互に実施する予定であったが、起因事業に関連する橋脚工事に伴う迂回路建設計画に従い、迂回路建設予定地部分 240 m については優先して調査を行い、平成 11 年 9 月 13 日までに、同部分の引渡しを完了した。

この間、下層確認調査により細石刃文化期、ナイフ形石器文化期の遺物包含層の存在が確認され、本遺跡が、12 文化層の重層する複合遺跡であることが判明した。調査は 1 月 28 日までに終了し、その後、遺構実測及び排土



第 4 図 トレンチ配置図

処置等を行い完了した。

調査結果にもとづく、次年度以降の発掘調査事業量は、桐木側調査区分の調査対象表面積が650㎡（包含層枚数12層 中世～縄文8層・層厚計180cm、旧石器4層・層厚計120cm）、発掘対象延べ面積が7,800㎡、発掘土量は1,950㎡、耳取側調査区分の調査対象表面積が1,450㎡（包含層枚数13層 中世～縄文8層・包含層厚合計180cm、旧石器5層・包含層厚合計150cm）で発掘延べ面積が約18,850㎡、発掘土量が約4,785㎡となった。また、歩道部分を含む現道部分についても、XVI・XVII層のほかXII層以上も残存していることが隣接部分の調査で確認された。これに基づき、12年度以降に調査及びその取り扱いについて、引き続き協議を行うこととなった。

(3) 調査概況

調査面積（表面積） 1,150㎡（12文化層）
 調査延べ面積 13,800㎡
 発掘土量 人力掘削 3,450㎡ 機械掘削 2,200㎡
 総発掘土量 5,650㎡
 調査期間 平成11年6月7日～平成12年1月28日
 （実働111日間）

出土遺物量 バンケース140箱

主な遺構と遺物

層	時代・時期	主な遺構	主な遺物
IIIa	中世・古墳時代	古道20条以上	土師器 成用式土器
IIIb	縄文時代晩期		入伏式土器
IV上	縄文時代後期	集石1基 土坑1基	指箱式土器
IV下	縄文時代前	集石1基 土坑1基	竊式土器 管煙式土器
Va	～中期		春日式土器 石鏃
VIa	縄文時代早期	集石8基 石鏃 横作址2か所	糸織土土器 石鏃
Ⅶ	縄文時代早期	集石2基	筒平式土器 石板式土器
Ⅷ	縄文時代早期	集石3基 竈穴 1基 土坑9基	器、器ノ神式土器 円筒集積式土器 石鏃
Xa	縄文時代草創期	集石2基 炭石 集積1か所	土器片 石鏃 納石・蔵石類
Xb	縄石刃文化期	産野1基	細石刃 削器 敷石類
XI		産野1基	細石刃核
XII	縄石刃文化期		細石刃核 剥片
XVI	ナイフ形石器文化期	産野1基	ナイフ形石器 剥片尖頭器 彫器
XVII	ナイフ形石器文化期	産野7基	台形石器 削器 剥片尖頭器 炭石 石核

3 平成12年度

(1) 調査の組織

事業主体者 建設省九州地方建設局鹿児島国道工事事務所（平成13年1月から国土交通省九州地方整備局鹿児島国道工事事務所）

調査主体者 鹿児島県教育委員会

企画・調整 鹿児島県教育庁文化財課

調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

所長 井上 明文
 次長 兼務課長 黒木 友幸
 主任文化財主事兼調査課長 新東 晃一
 調査課長補佐 立神 次郎
 主任文化財主事兼第三調査係長 牛ノ濱 修
 調査担当 鹿児島県立埋蔵文化財センター

文化財研究員 中原 一成
 橋口 勝嗣
 水濱 功治
 文化財調査員 立神 勇志

調査事務担当 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 総務係長 有村 貢
 主 査 今村 孝一郎

調査指導

岡山大学文学部 稲田孝司教授

（平成12年11月27～28日 旧石器遺跡の調査法及び資料分析）

熊本大学文学部 小畑博己助教授

（平成13年3月7～8日 旧石器遺跡の調査法及び資料分析）

(2) 調査の経過

平成12年度は、同年6月5日より、桐木側調査区の東側650㎡、国道10号線を越えた耳取側調査区1,450㎡の計2,100㎡（調査延べ面積26,650㎡）について全面調査を実施した。

調査期間中、起因事業に関連する道路建設工事のため、1次切り廻し対象部分にあたる耳取側調査区950㎡について優先して調査を行い、平成12年11月及び平成13年1月までに同部分の引渡しを完了した。

調査は3月23日までに終了し、その後、プレハブ、安全鋼板等の撤去・搬入を行い、本年度の調査は完了した。調査の結果、国道10号線の道路敷部分対象面積1,040㎡、発掘延べ面積4,910㎡（1,378㎡）、旧石器時代3,510㎡（1,053㎡ 2～4層）、縄文時代1,430㎡（325㎡ 1～4層）は埋蔵文化財が包蔵されていることが判明した。

(3) 調査概況

調査面積（表面積） 2,100㎡（桐木側調査区650㎡、耳取調査区1,450㎡）
 調査延べ面積 26,650㎡（桐木側調査区12文化層、耳取調査区13文化層）

発掘土量 総発掘土量 10,290 m³
 人力掘削 6,735 m³ 機械掘削 3,555 m³
 調査期間 平成 12 年 6 月 5 日～平成 13 年 3 月 23 日
 (実働 140 日間)

出土遺物量 バンケース 200 箱
 主な遺構と遺物

層	時代・時期	主な遺構	主な遺物
IIIa	中世～古代	道跡 十坑 溝跡	土師器
IIIb	縄文時代晩期		入俵式土器
IV上	縄文時代後期	集石 1 基	西平式土器 市来式土器
IV下	縄文時代前	集石 3 基 土坑 1 基	骨細式土器 船元式土器 春日式土器 石鏃
Va	縄文時代早期	集石 5 基	貝殻文系密ノ様式土器 朱灰文土器 石鏃
Vb	縄文時代早期	集石 13 基 石斧 集石 1 基	熊糸文系 素ノ神式土器 骨形土器 平棒式土器
Vc	縄文時代早期	集石 3 基 土坑 1 基	右板式土器 前平式土器 石鏃 石斧 磨石
Xa	縄文時代草創期	集石 1 基	土師片 石鏃 石斧 磨石
Xb	旧石器時代	遺物集中部11か所	燧石片 スクレイパー 細石刃核 剥片
X1a	細石刃文化期		
X1c	旧石器時代	炭化物集中部1か所	ブランク 細石刃 剥片
X1d	細石刃文化期		
X2b	旧石器時代 ナイフ形石器文化期		小型台形石器 剥片
XVI	旧石器時代 ナイフ形石器文化期	遺物 3 基	台形石器 剥片
XVII	旧石器時代 ナイフ形石器文化期	遺物集中部1か所	台形石器 スクレイパー 剥片

4 平成 13 年度

(1) 調査の組織

事業主体者 国土交通省九州地方整備局鹿児島国道工
 事事務所

調査主体者 鹿児島県教育委員会

企画・調整 鹿児島県教育庁文化財課

調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター

所長	井上 明文
次長兼総務課長	黒木 友幸
主任文化財主事兼調査課長	新東 晃一
調査課長補佐	立神 次郎
主任文化財主事兼第三調査係長	牛ノ濱 修

調査担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 文化財研究員 中原 一成
 樋口 勝嗣

調査事務担当者

総務係長 前田 昭信
 主査 今村 孝一郎

(2) 調査の経過

平成 12 年度までの調査の結果、当初遺跡が残存しないとみられていた現道部分 1,040 m²について遺跡が残存することが判明したため、鹿児島県四道工事事務所・文化財課・埋蔵文化財センターでは再度協議を行い、調査可能な 800 m²について緊急調査を実施することとなった。調査は平成 13 年 7 月 9 日から 10 月 31 日まで実施し、この間、平成 13 年 8 月 6 日から 8 月 17 日まで道路切り直し工事に伴い発掘調査を休止した。

平成 13 年度調査範囲は、工事施行以前の国道 10 号線道路敷及び歩道部分である。調査は当初 1,040 m²を対象に計画されたが、協議の結果、通用路・歩道の確保及び矮小地部分の調査深度を考慮し、800 m²について全面調査を実施した。調査区内の既設の横断排水路及び情報ボックス（光ファイバー）、NTT 施設埋設部分については、移設が不可能であったため、調査中隨時この部分を除外して調査を行った。

調査地は供用中の道路部分と接するため、安全対策として調査区域を安全鋼板で囲い、道路沿いに仮設のガードレールを設置するとともに、ガードレールと調査区域の間に約 2メートル幅の歩道を設けた。

調査はまず、東九州自動車道末吉インターチェンジ建設（日本道路公団）に伴う工事用道路の進入口部分を対象とし 1 次調査を行い、ついで、道路切り直し工事と併行した工事用道路の付け替えが行われた後、残余部分の調査を 2 次調査として実施した。

調査は道路舗装剥き取り後に、路盤・床土部分を重機で剥き取り、包含層部分を人力で掘り下げた。開層となる無遺物層については主に重機で掘削し、一部人力による掘削を行った。調査に伴う塵土等については事前の協議に従い、隣接する事業用地内に仮置きし、起因事業者側で埋め立て及び処分を行った。調査は 10 月 31 日に終了した。引渡し後の埋め戻しについても同様に起因事業者側で行った。

(4) 調査の概括

調査面積（表面積）800 m²

調査延べ面積 3,930 m²（9 文化層）

発掘土量 総発掘土量 2,520 m³

人力掘削 1,100 m³ 機械掘削 2,500 m³

調査期間 平成 13 年 7 月 9 日～平成 13 年 10 月 31 日

(実働 52 日間)

出土遺物量 バンケース 20 箱

主な遺構と遺物

層	時代・時期	主な遺構	主な遺物
WaB	縄文時代早期		条根文土器 埴輪
W	縄文時代早期		高ノ神式土器 石板式
W	縄文時代早期	落し穴2基	土器 スクレイバー
Xa	縄文時代草創期		割片、砂片
Xb	旧石器時代	遺物集中部3か所	礫石刃、細石刃核
XI	細石刃文化期		
XIc	旧石器時代		礫石、割片
XIIa	細石刃文化期		
XIIb	旧石器時代ナイフ形石器文化期		割片
XVI	旧石器時代ナイフ形石器文化期		割片
XVII	旧石器時代ナイフ形石器文化期	礫石1基	割片

5 平成14年度

(1) 調査の組織

事業主体者 国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所
 事業名 一般国道10号末吉IC関連事業
 調査主体者 鹿児島県教育委員会
 企画・調整 鹿児島県教育庁文化財課
 調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 所長 井上 明文
 次長兼総務課長 田中 文雄
 主任文化財主事兼調査課長 新東 晃一
 調査課長補佐 立神 次郎
 主任文化財主事兼第三調査係長 牛ノ濱 修
 整理担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 文化財主事 中原 一成
 整理事務担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 総務係長 前田 昭信
 主査 脇田 清幸
 整理指導 札幌国際大学 吉崎昌一客員研究員
 同 椿坂恭子客員研究員

(2) 事業の経過

平成14年度は、平成14年4月1日～平成15年3月31日までの1年間、鹿児島県立埋蔵文化財センターで整理・報告書作成業務を実施した。各月ごとの主な業務の内容は以下の通りである。

	主な業務の内容
4月	遺物整理・注記 住居内埋土層子編選別
5月	遺物整理 石器実測 石材分類 住居内埋土層子編選別
6月	遺物整理 石器実測 石材分類 住居内埋土層子編選別
7月	石器実測 石材分類

8月	石器実測 石材分類 石器接合 計測表入力
9月	石器実測 石材分類 石器接合 計測表入力 委託業務（石器実測・石材測定）準備
10月	石器実測 石材分類 石器接合 計測表入力 委託業務（石器実測・石材測定）準備
11月	石器実測 石材分類 石器接合 出土状況図入力 委託業務（石器実測・石材測定）準備
12月	石器実測 石材分類 石器接合 出土状況図入力 委託業務（石器実測・石材測定）実施
1月	石器実測 石材分類 遺構実測調整 出土状況図入力 土器接合・実測
2月	石器実測 石材分類 遺構実測調整 土器分類・接合・復元・実測
3月	石器実測 石材分類 遺構実測調整 土器分類・接合・復元・実測 石器実測委託調査

6 平成15年度

(1) 調査の組織

事業主体者 国土交通省九州地方整備局鹿児島国道事務所
 事業名 一般国道10号末吉IC関連事業
 調査主体者 鹿児島県教育委員会
 企画・調整 鹿児島県教育庁文化財課
 調査責任者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 所長 木原 俊孝
 次長兼総務課長 田中 文雄
 主任文化財主事兼調査課長 新東 晃一
 調査課長補佐 立神 次郎
 主任文化財主事兼第三調査係長 牛ノ濱 修
 整理担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 文化財主事 中原 一成
 整理事務担当者 鹿児島県立埋蔵文化財センター
 総務係長 平野 浩二
 主査 脇田 清幸

(2) 事業の経過

報告書刊行事業に伴い、挿図・原稿の修正及び点検の後、本書の編集・校正、印刷を行った。

発掘調査及び整理・報告書作成に関わり上記指導者のほか、以下のの方々をはじめ多くの方々から指導助言を賜った。

兩宮瑞生 安齋正人 池田榮史 稲野拓介 今田秀樹
 大波賢一 岡村道雄 岡本真也 小倉徹也 遠部 慎
 川道 寛 木崎康弘 萩原博文 秦畑光博 佐藤宏之
 杉原敏之 鈴木忠司 高橋信武 橘昌 信 西村尋文
 木田道輝 藤木 聡 松井 章 泉 拓良 松藤和人
 松村信博 吉留秀敏 前田光雄 松本 茂 村崎孝宏
 綿貫俊一 粟科哲夫（敬称略）

第3節 調査後の遺跡の概要

東九州自動車道末吉インターチェンジ建設に伴行して行われた一般国道10号末吉IC関連事業に伴う本発掘調査の範囲は第2図に示した部分であり、東九州自動車道建設に伴い調査された調査区西側部分、及び民有地をはさんだ、耳取遺跡調査範囲を除き、本調査区域の隣接部及び周辺に遺跡が残存するものとみられる。

桐木側調査区東側の台地上の部分については、Ⅱ層文明ボラからの包含層の残存状況が良好で、調査区内の東寄りの部分は、調査を行った各文化層の遺構・遺物が密に出土した部分に当たり、調査区域外にもほぼ連続した包蔵状況にあるものとみられる。特に弥生時代から中世の遺構・遺物を包含するⅢa層では、中世の竪溝、道跡、土坑等が東寄り部分で検出されているほか、縄文時代から旧石器時代に至る各層の遺物が調査区境界部分まではほぼ連続して濃密な分布を示しており、遺構や遺物集中部の一部は調査区境界ライン上で検出されており、調査範囲外に未調査のまま保存されている。このことから、遺跡の主要な範囲はさらに東側に広がりをもつものと考えられる。

本調査と同時に行われた東九州自動車道建設に伴う耳取遺跡発掘調査の調査範囲の中間にあたる耳取側調査区北側台地面の部分については遺跡・遺物包含層の濃密な広がりが考えられる。また、未調査の現道部分及び耳取側調査区東端部分ではやや遺物の分布密度が減少する傾

向にあったが、南西側から入る谷部にあたることで遺物分布に影響している可能性があり、落し穴遺構が検出されていることから開発事業等が行われる場合は他の部分同様慎重な確認が必要である。

耳取橋橋脚のモニュメント製作について

平成11年度調査中、起因事業に係る国道10号耳取橋の建設工事に従事していた国土開発株式会社の現地所長から、建設者鹿児島国道工事事務所（当時）と協議中の、耳取橋に設置するモニュメントの製作について協力要請の打診があった。その後、土地の歴史に因んだ独自性のあるものにするため、埋蔵文化財発掘調査の成果を取り入れたモニュメントの製作を検討しており、原案及び資料の提供を受けたいとの要請があり、本発掘調査事業を含む東九州自動車道建設関連の桐木遺跡、耳取遺跡の調査成果に基づき、モチーフ原案及び関連資料の提供・考証・監修等の協力を行った。

現在、東九州自動車道末吉・財部インターチェンジに隣接する国道10号耳取橋の橋柱4か所に設置されているレリーフは、桐木遺跡、耳取遺跡において多くの遺構・遺物が発見された、旧石器時代ナイフ形石器文化期人々の生活をテーマに、耳取遺跡出土の線刻裸、剥片尖頭器などの出土資料を取り入れたもので、背景等についても、遺跡周辺の風景を取り入れ、桐木遺跡・耳取遺跡での後期旧石器時代の人々の暮らしを想定している。



第二章 位置の位置と環境

第1節 地理的環境

桐木遺跡は、鹿児島県曾於郡末吉町諏訪方字桐木及び財部町南俣字耳取にかけて所在する。

末吉町は、1889年(明治22)4月、深川・二之方・南之郷・諏訪方・岩崎の5か村を統合、末吉村として発足、1922年(大正11)町制施行により末吉町となる。町名の由来は郷土誌によると「須美乃飯(すみのえ)」といったが、のち「住吉吉(すみえよし)」となり、転化して「須延与志(すえよし)」となったと記載されている。

財部町も、1889年4月、南俣・北俣・下財部の3か村を統合、財部村として発足、1926年(大正15)町制施行により財部町となる。財部の名の由来については諸説あるが、日記りに適した処を選び、太陽信仰に基づく「日祀り」の祭祀を行っていた「財日奉部(たからひまつりべ)」から名が付いたと郷土誌には記載されている。現在でも、その祭祀は日光神社に引き継がれている。

両町は、県本上の東部、曾於郡の北東部に位置し、東は志布志町・宮崎県都城町、西は大隅町・福山町、南は松山町・大隅町、北は都城市に接している。

遺跡のある地点は、北に白鹿岳(標高603.9m)、その南に降が岡(430m)を望む標高300m内外のシラス台地で大淀川の支流である今別府川が東流し、村山川が南流する分水嶺となっている。

この地区は、基盤となる安山岩岩盤の上に、シラス、桜島噴出火山灰、御池ボラ火山灰、桜島文明ボラなどの、桜島・霧島の火山灰土が覆っている。この地域は、財部町の馬立原、福山町の牧ノ原、大隅町の坂元と共に、文明ボラの被害をもっとも多く受けた地域である。この文明ボラは文明3～8年(1471～1476)の桜島の噴火によるもので、特に文明8年9月12日の噴火は激しく、大隅の方東西2里余りの海中を埋め、数日灰が降り続いたとのことである。このボラは、厚さ数cmより深いところで1m位の層をなして、その上部も「黒ボク」と呼ばれる火山灰砂層であり、現在の耕作土となっている。このボラは、多孔質で隙間が多く、吸水性に富んでいるため、降雨が続くと農作物の根腐れを生じ、肥地しても成分は下層に流失し、植物の根の伸長を阻害し、また土壌中の水分が少ないため干害を受けやすく、低生産地となっている。そのため、戦後ボラ抜き作業として天池替えを行っていたが、昭和27～36年までの10年間農地の土地改良事業によってボラ排除事業が行われた。

桐木遺跡でもボラ抜き作業が行われていて、上部の包含層が削平されているところがあった。

調査地区は、標高約295mのシラス台地上にあり、北側は財部町耳取遺跡、南側は末吉町桐木遺跡である。耳取遺跡・桐木遺跡は、町が分かれることから遺跡名を分離したが地形的には連なる遺跡であり、馬の背状の地形

を呈している。西北及び南西方向から谷が迫る。西北側の台地崖下には大淀川の支流が流れ、北側には霧島山系の山並みを見渡す環境にある。

第2節 歴史的環境

1 歴史的環境

末吉町・財部町では、地理的環境で述べたように、その位置関係から霧島・桜島の火山噴火の影響を受けやすく、火山灰の堆積が著しいため埋蔵文化財の発見が少なく、昭和52年発行の鹿児島県市町村別遺跡地名表では末吉町50か所、財部町9か所が知られているにすぎなかった。

しかし、昭和58年度に鹿児島県教育委員会が行った大隅地区埋蔵文化財分布調査の結果、多くの遺跡・遺物が発見され、その後も特殊農地整備事業や東九州自動車道建設に伴って、発掘調査が行われ多大な成果を挙げている。そこで、周辺遺跡と併せて主な遺跡を時代順に紹介したい。

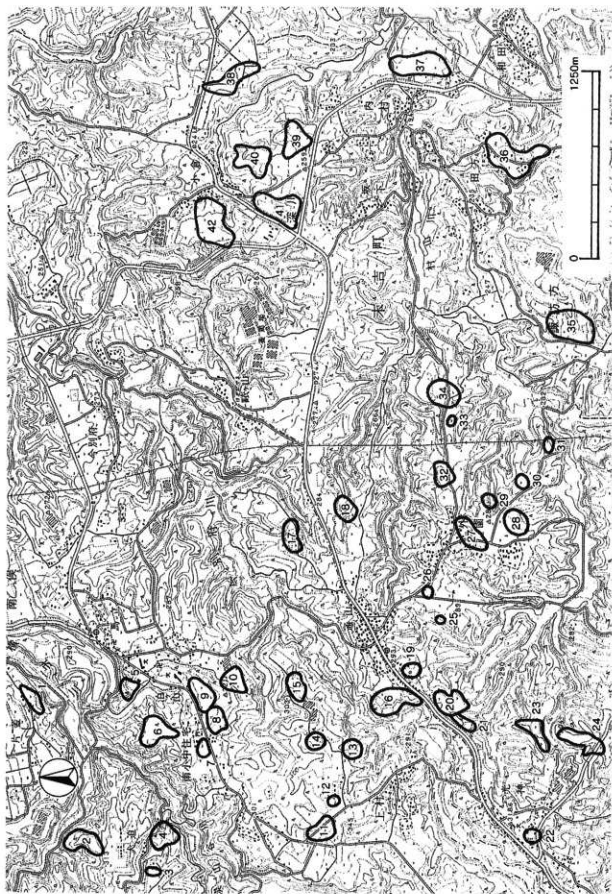
財部町・末吉町の旧石器時代の遺跡は、東九州自動車道建設に伴う発掘調査が始まるまでは、末吉町南之郷の旧代谷遺跡で採集された割片尖頭器だけであったが、今では全国から注目される遺跡が数多く発見され、県内でも有数の旧石器遺跡群となっている。特に、桐木遺跡のある財部町南俣台地・末吉町諏訪方台地周辺には大規模な遺跡群が多くみられる。桐木遺跡のすぐ北側にある耳取遺跡では、全国でも珍しい石偶がシラス直上から出土した。また、東九州道の桐木遺跡・桐木B遺跡でも多くの縄群が検出され、尖頭器やナイフ形石器等が出土している。この地は、桜島の東側にあり火山灰の堆積が良好なため旧石器時代の年代を決める層層になっている。

縄文時代では、草創期の隆帝土器が桐木B遺跡などで、早期の遺構・遺物が高森坂遺跡・片倉前遺跡・踊場遺跡・耳取遺跡・桐木遺跡・桐木B遺跡・関山西遺跡・関山遺跡等で発見されている。晩期の入佐式土器の標識遺跡である入佐遺跡は、末吉町諏訪方に所在し、住居跡と多くの精製土器・粗製土器が見つまっている。その他財部・末吉町では、晩期の遺跡が県内でも集中している地域で、長十塚遺跡・踊場遺跡・九日田遺跡・関山西遺跡・関山遺跡等が知られている。

弥生・古墳時代の遺跡は、台地上のため少ない。

古代から中世にかけての遺跡は、最近、踊場遺跡や高篠遺跡・長十塚遺跡で発見され、建物跡や竈跡と併せて土師器や須恵器が出土している。踊場遺跡では、転用硯や焼飯壺・紡績車等が出土している。

通山は、鹿児島、福山、都城をつなぐ重要な場所であったので宿場番所がおかれていた。通山は道路を隔てて、財部町と末吉町に分かれているため、両地に宿場が置かれていた。



第 5 图 周边道路图

第1表 周辺遺跡(1)

番号	遺跡名	所在地	時代	遺構・遺物・備考	文献
1	八ヶ代上	財部町南俣八ヶ代上	縄文・歴史	前平式土器・土師器	①
2	高篠坂	＊ ＊ 高篠坂	縄文早期	集石・岩本式・古田式・石板式・手向山式 石鏃・石匙・石斧・石皿・蔵石等	②
3	大迫B	＊ ＊ 大迫	歴史	土師器	③
4	片蓋前	＊ ＊	縄文	押型文・塞ノ神B式・チャート	④
5	馬立	＊ ＊	奈良	土師器・須恵器	④
6	九雲岡	＊ ＊ 九雲岡	旧・縄・古代	三稜尖頭器・手向山式・土師器	⑤
7	石仏段	＊ ＊ 石仏段	縄(晩)・古代	黒色研磨土器・土師器	⑥
8	長十塚	＊ ＊ 長十塚	縄文・古代	須恵器・土師器・石鏃・土鏃	⑥
9	城ヶ尾	＊ ＊ 城ヶ尾	縄文(晩)・	獨立柱建物跡・埋納土坑・竈骨器・黒川式・土師器・ 須恵器・紡錘車	⑦
10	跡場	＊ ＊ 跡場	縄(早・晩)・ 古代・中世	集石・テラス状遺構・掘立柱建物跡・灰跡・塞ノ神式・ 勾玉・石鏃・石皿・黒川式・土師器・須恵器・鏡指蓋・紡 錘車・転用履	⑧
11	芭蕉ヶ迫1	＊ ＊ 芭蕉ヶ迫	縄文	土師器	①
12	芭蕉ヶ迫2	＊ ＊ ＊	縄文・中世	土師器・石皿・蔵石	①
13	前山1	＊ ＊ 前山	歴史	土師器	①
14	前山2	＊ ＊ ＊	歴史	土師器	①
15	九日田	＊ ＊ 九日田	縄文・古代	集石・土坑・ビト群・石板式・押型文・石鏃・深鉢・浅鉢・ 土師器等	⑨
16	耳取	＊ ＊ 耳取	旧石器 縄文(早～晩)	環群・集石・落とし穴・土坑 尖頭器・ナイフ・台形石器・土偶・隆帯文・石板式・塞ノ 神式・押型文	⑩
17	王ヶ平	＊ ＊ 王ヶ平	古代	土師器・須恵器	①
18	中牛迫	末吉町深川通山	縄文・古代	土師器	⑩
19	通山宿場跡	＊ ＊ ＊	近世	宿場跡(町指定史跡)	③
20	桐木	＊ 諏訪方桐木	旧石器・縄(草早中後 晩)・古墳～中世	環群・堅穴住居跡・集石・土坑 割片尖頭器・細石刃核・隆帯文・石板式・ 塞ノ神式・船元式・入笠式	⑫
21	桐木B	＊ ＊ ＊	旧石器・縄(草早中後 晩)・古墳～中世	環群・堅穴住居跡・落とし穴・掘立柱建物跡・ナイフ・細 石刃核・隆帯文・古田式・石板式・平磨式・塞ノ神式・ 土師器・須恵器	⑬
22	橋野原館跡	＊ 橋野原	中世		③
23	関山西	＊ 諏訪方関山西	縄(早・晩)・弥生・古 代	土坑・溝・平磨式・懸糸文・黒川式・ スクレイパー・土師器・須恵器	⑭
24	関山	＊ ＊ 関山	旧・縄(草・早・中・晩)・ 古代	落とし穴・土坑・溝・早期土器片・細石刃・石鏃・前 平式・古田式・平磨式・塞ノ神式・上加貫田式・土師器・ 須恵器	⑮

第2表 周辺遺跡(2)

番号	遺跡名	所在地	時代	遺構・遺物・備考	文献
25	通山上川路	末吉町深川五位塚	縄文・中世	夜臼式	⑯
26	真方入口	＊ ＊	縄文	竈式	⑱
27	臼杵	＊ ＊ 外岡	縄文・古墳	H10分布調査	①
28	四枝道	＊ ＊ 四枝道	縄文・古代	土師器	④
29	下ノ塚	＊ ＊ 五位塚	縄文・古代	入佐式・土師器	⑰
30	仮牧	＊ ＊ ＊	古代	土師器・須恵器	⑵
31	五位塚渡下	＊ ＊ ＊	縄文	山形押型文	⑳
32	楠木岡A	＊ ＊ 楠木岡	縄文・古代	土師器	㉑
33	楠木岡B	＊ ＊ ＊	縄文・古代	土師器	㉒
34	楠木岡C	＊ ＊ ＊	縄文・古代	土師器	㉓
35	上中段	＊ ＊ 上中段	縄文(中後晩)	黒川式・岩崎上層式・指宿式	⑳
36	上ノ原	＊ 諏訪方田方	縄文～古代	H5分布調査	①
37	横木ノ元	＊ 深川内村	縄文・古墳	H10分布調査	①
38	高松ノ上	＊ ＊ 小倉	縄文・古墳	H10分布調査	①
39	セッタウ	＊ ＊ 内村		H5分布調査	①
40	小倉前	＊ ＊ 小倉	縄文(中・晩)	奉日式・夜臼式・H5分布調査	①
41	原木ノ段	＊ ＊	縄文・古墳	H10分布調査	①
42	小倉坂脇	＊ ＊ 小倉	縄文・古墳	H10分布調査	①

文献

- ① 「市町村別遺跡一覽」 鹿児島県立埋蔵文化財情報データベース 2003
 ② 「高篠坂遺跡」 鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書61 2003
 ③ 「財部町郷土誌」
 ④ 「大隅地区埋蔵文化財分布調査概報一昭和58年度一」 鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書29 1984
 ⑤ 「師場遺跡・九義岡遺跡・高篠遺跡」 鹿児島県立埋蔵文化財センター埋蔵文化財発掘調査報告書71 2004
 ⑥ 「長十塚遺跡・石仏段遺跡」 財部町埋蔵文化財発掘調査報告書1 1987
 ⑦ 平成11年度 本調査
 ⑧ 平成12年度 本調査
 ⑨ 「九日田遺跡」 鹿児島県立埋蔵文化財センター埋蔵文化財発掘調査報告書36 2002
 ⑩ 平成11・12年度 本調査
 ⑪ 「四枝道遺跡・楠木岡遺跡・中牛牧遺跡」 末吉町埋蔵文化財発掘調査報告書5 1987
 ⑫ 平成8～11年度 本調査
 ⑬ 平成11・12年度 本調査
 ⑭ 平成13年度 確認調査
 ⑮ 平成13年度 確認調査
 ⑯ 「箱根遺跡・前畑遺跡・真方入口遺跡・通山上川路遺跡・野田後遺跡」 末吉町埋蔵文化財発掘調査報告書3 1985
 ⑰ 「上中段遺跡・仮牧遺跡・五位塚渡り下遺跡・下ノ塚遺跡・小中野下原遺跡」 末吉町埋蔵文化財発掘調査報告書4

1986

第3節 遺跡の層位

本遺跡の基本層序及び遺物包含層・年代・文化との関係は下図のとおりである。本遺跡では始良カルデラ及び桜島、鬼界カルデラ、霧島の各火山系に由来する多種類のテフラの良好な堆積がみられ、各時代の文化層と火山灰層の対比により、重要な年代的指標となっている。土

層区分は基本的に、東九州自動車道建設に伴う桐木遺跡発掘調査での区分にしたがっているが、本調査範囲のうち桐木調査区の北側部分及び耳取調査区において特に良好な土層堆積状況がみられた。このため、調査の過程で基本層序に基づきさらに細分する方法をとった。このうち、

	Ia層	暗褐色土	表土
	Ib層	灰色軽石混暗褐色	旧表土
	II層	黄白色軽石層	文明ボラ、Sz-3 (1471年頃)
	IIIa層	黒色土	中世～古墳の遺物包含層
	IIIb層	黒茶褐色土	縄文晩期の遺物包含層
	IV層	黄褐色細粒軽石混硬質土	霧島御池テフラ (約4,600年前)、上部は縄文後期包含層部分的にバミス純層部分をIVb層として区分
	IV下層	淡黄褐色土	縄文前期～中期の遺物包含層、Sz-7を含む
	Va層	暗橙色土	縄文前期～中期の遺物包含層
	Vb層	橙色火山灰質土層	鬼界アカホヤ火山灰、K-Ah (約7,300年前)
	VIa層	黄褐色軽石混淡茶褐色土	縄文早期の遺物包含層、霧島牛ノ原下部テフラ含む?
	VIb層	黄橙色軽石層	Sz-11 (約8,000年前)
	VII層	明茶褐色土	縄文早期の遺物包含層 [Ⅷ層に漸移、漸移部分にSz-12 (約9,000年前) 含む]
	VIII層	黒褐色土	縄文早期の遺物包含層
	IX層	黄色火山灰	薩摩火山灰 Sz-14 (約12,800年前)
	Xa層	黒褐色土	縄文草創期の遺物包含層
	Xb層	暗茶褐色弱粘質土	細石刃文化期の遺物包含層 [Xa層・XIa層の漸移部分]
	XIa層	淡黄褐色ローム質土	細石刃文化期の遺物包含層
	XIb層	灰褐色粗粒火山灰質土	シラスの再堆積層
	XIc層	桃褐色シルト	細石刃文化期の遺物包含層 [XIIa層に漸移]
	XIIa層	暗茶褐色ローム質土	細石刃文化期～ナイフ形石器文化期の遺物包含層 [上下層と漸移]
	XIIb層	暗黄褐色ローム質土	ナイフ形石器文化期の遺物包含層、下部に(仮称) 桐木テフラ含む
	XIII層	褐色土	燃島テフラ (約19,100年前) 含む
	XIV層	暗褐色硬質ローム	赤色火山灰粒含む [Sz-15?]
	XV層	暗褐色硬質ローム	本遺跡では無遺物層
	XVI層	褐色硬質ローム	ナイフ形石器文化期の遺物包含層 赤色火山灰粒含む [Sz-17 (約26,000年前)?]
	XVII層	濁黄褐色ローム	ナイフ形石器文化期の遺物包含層
	XVIII層	基盤層	入戸火砕流 (シラス) 上部は砂質互層 (約26,000～29,000年前)

第6図 桐木遺跡土層模式図

IV下層はP7を含有する部分で、本来、基本土層V層の
下位分類とすべき層であるが、すでにVa層（腐食火山
灰質土層）とVb層（火山灰ブロック部分）があり、便
宜上これをIV下層とした。また、遺物観察表等のXIa層
上・XIa層中・XIa層下の区分は、細石刃文化期遺物
の取り上げに際し、平成11年度調査時から遺物の出土レ
ベルの相対的上下差について検討を行うことを目的として、
遺物の出土位置の視覚的レベル差により区分したもので、
Xa層、Xb層との層位区分と合わせ、各遺物集中部間の
相対的出土ピークの違いをみる指標とすることをねらい
とした。

I層 Ia層（暗褐色土）とIb層（灰色軽石混暗褐色）
田表土に分かれる。

II層 粒径が5mm～1cm前後の黄白色の軽石層で文明
年間（1471年頃）に噴出した文明ボラ、Sz3である。残
存か所では約40cmの堆積がみられるが、耕作に不適切
なためボラ抜きにより残存しない部分が多い。

IIIa層 クロボク質の黒色土で、中世～弥生時代の遺物
包含層である。樹木調査区東側では比較的厚い堆積がみ
られ、層中に黄灰色を帯びる部分があり、上下と合わ
せ3層程度に細分することも可能である。主に樹木調査
区東南部分及び耳取調査区東部分のみに残存していた。

IIIb層 黒茶褐色土、部分的に茶褐色もしくは黄茶褐色
を呈する部分がある。IIIa層下部からは漸移的で、黒味
が強い部分ではIIIa層との区分にやや問題が窺える。また
IV層上部へも漸移的である。縄文晩期の遺物包含層であ
るが、中世～弥生時代の遺物及び縄文時代後期の遺物の
一部もIIIb層取り上げとなっている。下部IV層の腐植土
層部分で粟粒状の黄褐色細粒のパミスを含む。

IV層 黄褐色の細粒軽石を含む硬質土で、粒径の細かい
粟粒状のパミスブロックが区分できる。霧島御池テフラ（Kr
- M 約4,600年前）に比定されるもので、上部が縄文
後期包含層となっている。

IV下層 淡黄褐色のローム質土でP7を含む。パミスは下
位のV層にかけての上下に浮遊する。Va層とは漸移的
である。

Va層 暗褐色土でVb層の腐食土。砂質で橙色を帯びる。
縄文前期～中期の遺物包含層である。

Vb層 橙色の火山灰で、基本的に安定した層堆積を示す。
鬼界アカホヤ火山灰（約7,300年前）。

VIa層 黄褐色もしくは青灰色を呈し、茶褐色あるいは
青灰色の火山性と思われる岩砕物・軽石を混する硬質の
淡茶褐色土。上部及びVIb層直下から縄文早期の遺物が
出土する。霧島牛ノ脛下部テフラを含んでいる可能性が
ある。

VIb層 黄褐色の軽石層で無遺物層である。P11（Sz-
11 約8,000年前）。比較的良好的な堆積がみられ、遺物出
土範囲では基本的に層堆積を確認することができる。

VII層 明茶褐色土のローム質土で、縄文早期の遺物包含

層である。遺物はVIb層直下からVII層との漸移部分まで
出土する。漸移部分にかけて黄白色のパミスが上下に浮
遊する（Sz-12 約9,000年前）。

VIII層 クロボク質の黒褐色土で縄文早期の遺物包含層で、
上面付近のVIII層との境界付近を中心に出土するため、取
り上げ層位は明確には区分できない。白色の微細なパミス
を含む。

IX層 黄色火山灰で、摩摩火山灰（Sz-14 約12,800
年前）。一般に安定した層堆積であるが、台地上の道頭と
みられる凹部で、耳取調査区の西側の谷に向けた尾根状
の高位部分などで不安定な堆積や欠落部がみられた。

Xa層 クロボク質の黒褐色土で、上面付近が縄文草創
期の遺物包含層となっている。

Xb層 Xa層、XIa層の漸移部分で暗茶褐色を呈する。
黒褐色～茶褐色の粒径が1～2cmの粘上質の粒を含むた
め、弱い粘質をもつ。縄文時代草創期～細石刃文化期の
遺物包含層である。

XI層 調査区の北東、耳取調査区西側の谷部部分にお
いて最も良好に堆積し、離れるにしたがい堆積が薄くなる。
3層に区分され、XIb層を間層として、上下のXIa層
とXIc層はそれぞれ細石刃文化期の遺物包含層となっ
ている。崩落等に伴う西地層層とみられる。XIc層は桃褐
色のシルト質土で、XIa層に漸移し細石刃文化期の遺物
包含層となっている。

XII層 暗茶褐色ローム質土で細かい岩砕物とパミス
を含む。堆積の良い地点ではローム質土のXIIa層と、細
い岩砕物とパミスを含み、黄褐色を呈するXIIb層に区
分され、色調等によりそれぞれが更に上下2層に区分さ
れる。耳取調査区では部分的にXIIb下層がさらに①・
②に分層され、燃島テフラを含むXIII層との間にテフラ
を含まない層があることが確認され、XIIb層が未詳の
テフラとみられることが判明した（仮称燃島テフラ）。

XIIa層が細石刃文化期～ナイフ形石器文化期の遺物包含
層、XIIb層がナイフ形石器文化期の遺物包含層となっ
ている。

XIII層 褐色土で燃島テフラ含む。

XIV層 暗褐色で硬いローム質土で、Sz-15とみられる
赤色火山灰粒を含む。

XV層 暗褐色硬いローム質土で本遺跡では無位層。

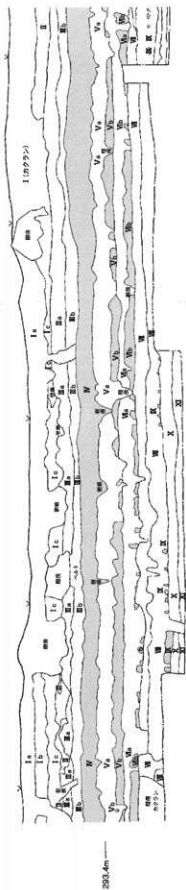
XVI層 褐色硬質のローム質土でSz-17とみられる赤
色火山灰粒を含む。中部から下位にかけてナイフ形石器文
化期の遺物包含層となっている。

XVII層 濁黄褐色のローム質土で下位では砂質を帯びる。
ナイフ形石器文化期の遺物包含層で、遺物の出土ピーク
はXVI層との層面付近にある。

XVIII層 遺跡の基盤となる層で、入戸火砕流（シラス）
上部は砂質互層（約26,000～29,000年前）となっている。

F-9 F-8

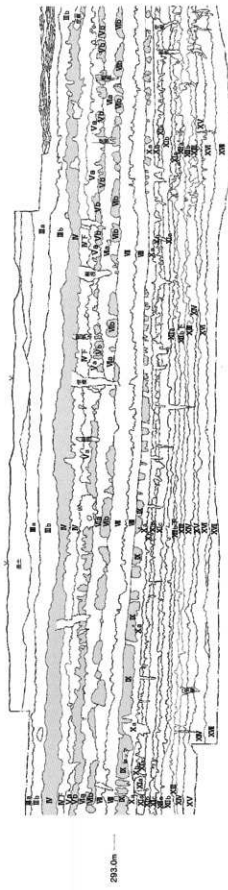
K-8 | K-7



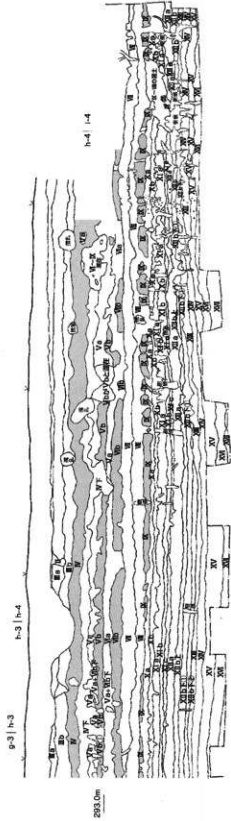
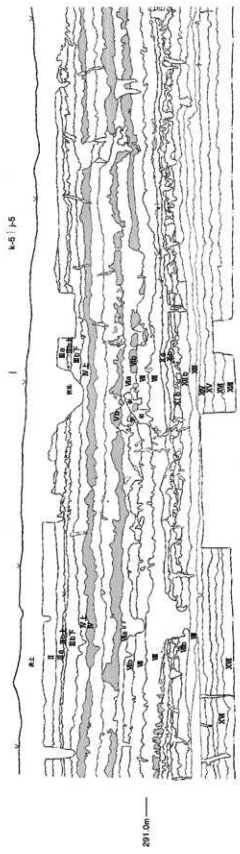
J-2 | J-3

J-3 | K-3

K-3 | K-4



第7図 柳木崎遺区土層断面図



第 8 图 耳取調査区土層断面図

第三章 発掘調査の概要

第1節 発掘調査の方法

調査にあたっては、すでに平成8年度から調査が行われていた日本道路公団による東九州自動車道建設に伴う桐木遺跡発掘調査に合わせ、東回り自動車道建設計画のセンターライン「STA 7+60」と「STA 8+40」を結ぶ線を基軸とし、南北方向に1・2・3区、東西方向にA・B・C区とする10m区画（グリッド）を設定して行った。これは、事業主体が異なるため同一遺跡を分割して発掘する都合上、将来、その調査成果を総合して検討することが必要であり、全体の分析を行なう上での便宜を考慮したものである。また、層位の区分についても先行して調査が開始されていた同調査の基本層序を引き継ぎ、先に述べたように、本調査範囲で良好な土層堆積状況がみられたため、調査の過程でこれを細分する方法をとった。

本調査は、事業の都合上、事前に確認調査を実施できなかったため、確認調査と併行し全面調査を実施した。このため、調査にあたっては、隣接する東九州自動車道建設に伴う桐木遺跡発掘調査、耳取遺跡発掘調査の成果を踏まえ、遺物包含層の広がり、確認視される上位の遺物包含層について全面調査をおこなった後、下層の遺物包含層の有無と広がりを確認し、その結果に基づき、全面調査に移行する方法をとった。また、遺物の出土の確認された旧石器時代の遺物包含層の調査では、基本的に2×2mの小グリッドを設定し、下層格子に掘下げを行った後、遺物の出土状況を踏まえ、必要な範囲でこれを拡張して調査を行う方法をとった。

遺物の出土層位の判別にあたっては、先に述べた各上層の特徴に基づき可能な範囲で慎重にこれを行ったが、漸移部分等で判別困難な場合、基本的に上位の層に帰属させ取り上げること基本とした。

第2節 発掘調査の概要

発掘調査の概要については、調査が4次に及んでおり、また、対象地点が広範囲に及んでいるため、年次ごとに調査を行った範囲により、地点ごとに内容に差異がある。

このため調査の進行に従い、各年次の調査経過の記録に基づき、以下に調査年次別に記述する。

(1) 平成10年度調査の概要

Ⅲb層の調査では縄文時代晩期の堅穴住居跡が検出され、住居内からまとまった遺物が出土したほか、入体式土器を主体とする遺物が調査区内の台地縁辺の平坦部分を中心に出土し、M・N-14・15区及び住居跡が検出されたK・L-6-8区にその分布の中心がみられた。

Va層は縄文時代前期の土器がM-12・13区を中心に出土したが、遺物の分布範囲が限られており、広がりはいまみられなかった。

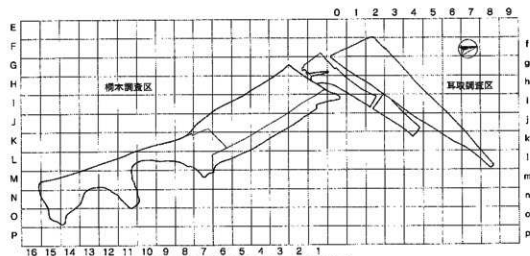
Ⅳ・Ⅴ層から出土する縄文時代早期の遺物は、K・L-6-8区を中心に比較的濃密な分布を示すが、南側の13区以降への広がりはいまみられなかった。集石1基が確認されたほか、前土器、石板式土器、石鏃、焼礫、黒曜石フレック等が出土した。

XI層では明確な遺物集中部は検出されなかったものの、L・M-11・12区及びK・L-7区で細石万核・石核原石等が出土している。特にL・M-11・12区ではややまとまりをもって石核原石が出土している。

(2) 平成11年度調査の概要

第Ⅱ層の文明ボラ（1470年代、桜高起源の火山性堆積物）の下位から、中世以前の遺跡が多発検出されている。また、Ⅲa-Ⅲb層にかけて、若干ではあるが、中世～古墳時代の土器も出土した。

Ⅲb層では主に縄文時代晩期の土器が出土し、同層からⅣ層上部にかけて、縄文時代後期の土器も出土している。本年度調査においてⅣ層の下位、アカホヤ火山灰層の腐植土とされるVa層の上位の淡黄褐色土部分に、桜高起源のSz-7が含まれることが判明し、新たにⅣ下層として設定した。同層序では土坑、築石遺構なども検出されており、一文化層をなすものと見られるが、パミスの堆積状況が不安定で、上下関係を明確にするには至らなかった。Ⅳ下～Va層からは縄文時代前期～中期とされる土器などが出土している。



第9図 桐木遺跡グリッド配置図

本調査地点はVb（アカホヤ火山灰）、VIb層（Sz-11 約8,000年前）の堆積が比較的良好で、Va層の調査成果は、縄文時代早期後半段階の層位的な調査例として貴重な成果を有するものと考えられる。同層からは、集石遺構のほか石鏃製作址と見られる遺物集積域も検出されている。

VI・VII層では、上坑10基、集石遺構5基が検出された。土坑には明確な焼土の痕跡を有する窪穴土坑を含む。

Xa層では縄文時代早期の集石遺構、磨石と見られる石器の集積遺構のほか、土器片、石鏃・スクレイパーなどの石器が出土した。

Xb～XIa層では礫群及び細石刃文化期の石器が出土した。遺物は調査区やや南より位置する東側から入る浅い谷状地形の両側の高位部分に出土し、計12か所の遺物集積域が認められた。各遺物集積域ごとの遺物の出土レベルの中心には、相対的な上下関係が認められる。

XVI～XVII層では礫群及びナイフ形石器・台形石器・剥片尖頭器などナイフ形石器文化期の遺物・遺構が検出された。礫群8基は1基をのぞきほぼII・I・J-2・3区に集中してみられ、遺物集積域6か所の一部にはこれと平面的に重複する関係にある。

調査指導では本遺跡が極めて良好な火山灰の堆積状況にめぐまれており、出土遺物と火山灰層の層位的関係に留意した慎重な調査が求められること、遺物整理・報告においては、石材や接合関係等を含めた慎重な分析作業を行う必要があることが指摘された。

(3) 平成12年度調査の概要

平成12年度調査区内では、現国道10号線に左右にはほぼ国道と平行して位置する4条と、棚木調査区南東側の22条以上に区分される遺跡を調査した。調査区南東側の谷寄りに位置する22条以上の一部には、多数の硬化面が重なり合う状況がみられ、累積的には50条以上の硬化面を形成している。また、J・K-5・6区では台地縁辺の火山性堆積物より下の畑跡が検出された。このほかK・I-6・7区でIIIa層を直下とする土坑1基が検出された。

IIIb層からは主に縄文時代晩期の人佐式土器、及びこれに伴う石器が出土した。また、調査と併行して、現地でも平成10年度調査時に検出した整穴住居跡埋土の水洗・選別作業の結果、埋土中にドングリ類などの種了類が含まれていることが判明した。

IIIb層下部からIV層上部にかけては、縄文時代後期の阿高式系土器、西平式土器、市米式土器、及びこれに伴う石器が出土している。集石はg-3区で検出した1基のみで礫数は少なくやや散在している。

平成11年度調査では、アカホヤ火山灰層の腐植土とされるVa層の上位の淡黄褐色土部分に含まれるバミスが桜島起源のP7であることが判明したため、Va層と分離して新たにIV下層を設定した。IV下層は御池火山灰の下

位にあたり、同層からVa層にかけては縄文前期～中期の遺物包含層となっており、Va層との境界面は不明瞭で明確に区分することは出来なかったが、出土遺物に一定の傾向性がみられる場合を想定して区分して調査をおこなった。

IV下層ではh-2区で七坑1基を検出した。このほかg-2、h-3区で計3基の集石を検出している。

IV下層・Va層の出土土器には前期の管煙式土器、竈式土器、中期の船元式土器、春日式土器が出土したが、結果的にはIV下層とVa層間では出土土器の形式差を層位的に明確に区分することはできなかった。同層からは石鏃、石匙、磨石、石皿などの石器もこれらの土器に伴い出土している。このほか端部が細く棒状の特異な磨製石器が出土している。

本調査地点はVb（アカホヤ火山灰）及びVIIb層（P11）の堆積が比較的良好で、縄文時代早期後半～終末段階に相当する層位的な遺物の出土が見られた。同層からは、g-1、h-2、K-4、I-5区において計5基の集石遺構を検出した。同層で検出される集石にはまとまりがあり、掘り込みを持つ例が比較的多くみられる。出土土器には平底の条痕土器、貝殻文系の素ノ神式土器がみられる。石鏃等の石器も出土している。

VII層は縄文時代早期の遺物包含層であるが、耳取側調査区ではVII層上面でほぼ一面に礫が散布する。比較的集中の散漫部分の礫を取り上げた後、礫の集中する箇所が判明し、集石が検出される状況であった。f-h-0～4区で計12基の集石を検出している。また掘り込みは確認できなかったが、g-2区で小型の磨製石斧5本からなる石斧集積遺構を検出した。集積状況から埋納遺構であった可能性が高い。棚木調査区でもK-5区で新たな集石1基を検出している。

土器は熱系文系の素ノ神式土器の深鉢、及びこれに伴うとされる微隆起縁を頸部に施す偏胴形の壺形土器、平格式土器が出土した。石斧、石鏃、磨石・蔽石類などの石器も出土している。

VIII層の調査からは縄文時代早期前葉を中心とする遺構遺物が出土するが、f-g-2区、h-4区で計3基の集石、k-6区で底面に抗板をもつ土坑1基を検出した。前平式土器、石鏃、磨石・蔽石、石皿などが出土している。遺物の出土層位面はおおむねVIII層上面付近に位置する。

Xa層ではf-5区で縄文時代草創期の集石遺構が検出されたほか、f-g-1区でやや大きめの礫5個が若干のまとまりをもって検出された。遺物密度は低かったものの土器片、石鏃、石斧、磨石・蔽石類等が出土している。

Xb～XIa層の調査は耳取側調査区ではg-h-1～4区で計9か所の遺物集積域が検出された。これに伴い細石刃、細石刃核、剥片、砕片等が多数出土したが、遺物集積域は石器製作に伴う多数の剥片・砕片及び細石刃核を伴うものと、細石刃など製品を主体とするものとが

みられた。

桐木側調査区ではI-1・2区、II-0区でそれぞれ1か所の遺物集中部を検出した。遺物の出土はおおむね遺跡北西側の谷部に面する地域を中心として集中する傾向がみられた。

XIc～XIIa層はXb～XIa層の細石刃文化期層との間にXIb層を間層として挟む遺物包含層である。g-3区では細石刃、ブランク、剥片、砕片等が比較的狭い範囲で出土したほか、これに隣接して炭化物の集中部がみられた。全体に遺物の出土量は少なかったが、層位的に出土している。

耳取調査区ではXIIb層から小型の台形石器が出土している。石器製作に伴う遺物の集中部等は検出されなかったが、同層中の下部に含まれる燃高テフラとの時間的に近い関係をもつ資料である可能性が高いとみられる。

XVI層・XVII層の調査では昨年までの調査で、礫群及びナイフ形石器・台形石器・剥片尖頭器などナイフ形石器文化期の遺物・遺構が検出されている。桐木側調査区で検出した礫群3基はいずれもまばらに礫が散在する礫群で、そのうち2基に近接して遺物集中部1か所が検出されている。遺物集中部からは剥片、砕片等が多数出土しており、石器製作に関わるものとみられる。石器は台形石器が主体となり、これにスクレイパーが伴っている。耳取側調査区では剥片など若干の遺物が出土したのみで、

礫群は検出されず、比較的遺構・遺物の密度の高い遺跡北東側の台地縁辺部の一部に遺物分布の空白域が存在することがわかった。

(4) 平成13年度調査の概要

VI層の残存部分は些少であったが若干の遺物が出土している。

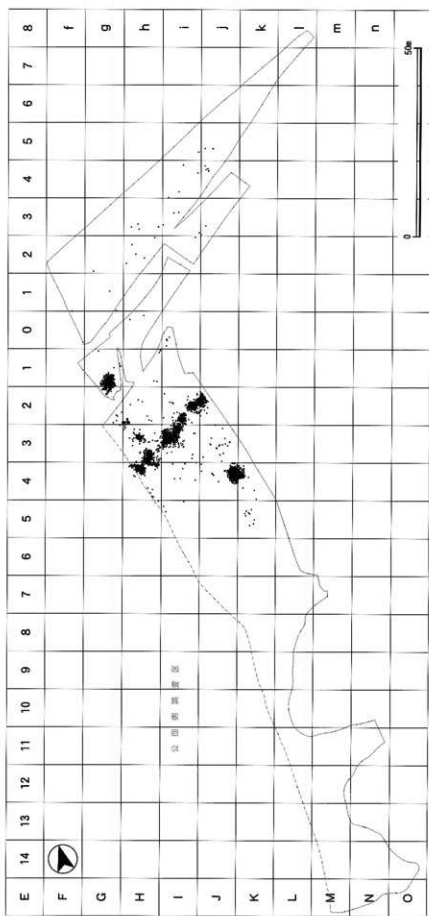
Ⅶ・Ⅷ層では平成12年度調査において本調査区と隣接するk-6区で検出された1基につづき、2基の落とし穴遺構を検出した。遺構埋土がⅦ層土を主体としていることから、縄文時代早期前葉から中葉以前の時期が推定された。いずれも遺構の遺存状況が極めて良好であり、底面中央付近に遊茂木痕とみられるピットを検出することができた。

XIa層・Xb層にかけて細石刃文化期の遺物集中部3か所を検出し、細石刃・細石核を含む遺物が出土した。

XII層・XIc層でも濃密な遺物分布はみられなかったものの当初想定よりもやや包含層の残存割合が多く、散布的ながら遺物の出土がみられた。

XVII層では礫群1基が検出された。焼礫がばらけた散布状態を示すもので、礫の散布範囲からは炭化物も検出されている。





第10圖 第1文化層遺物出土状況圖

第四章 発掘調査の成果

第1節 第1文化層 (XVI層・XVII層 ナイフ形石器文化期) の調査

1 遺構と遺物

P17を含むXVI層下部及びその漸移層からシラス上部の黄白色腐植土層を包含層とする文化層である。本調査では礫群12基と遺物集中部7か所[○]を検出した。

桐木調査区のXVII層下部の地形は、東側が追部面に面するI～L-7区以南を除き、緩やかな起伏はみられるものの比較的平坦な台地面をなし、J・K-4区及びG・II-0区付近を基点にそれぞれ東側から入る浅い追状の地形がみられる。2号・8号・3号・4号・5号、7号、6号、10号、9号礫群は、上記にはさまれた台地上の平坦面の南東方向に張り出す尾根状の部分に列状に並んで位置し、8号及び3号は第5遺物集中部と、4号及び5号礫群は第3遺物集中部と、7号礫群は第4遺物集中部、6号礫群は第6遺物集中部と、10号及び9号礫群は第7遺物集中部とそれぞれ平面位置に重なりをもつ。いずれも、上位で遺物集中部が検出され、遺物の取上げ後、数回の精査をおこなった段階で礫群が検出された。若干の遺物が、礫群検出面とほぼ同レベルで出土しているものの、その垂直分布の中心は明らかに礫群検出面の上位に位置する。

1号礫群、11号礫群、12号礫群は、これら礫群や遺物の集中する部分から離れ、遺物分布も希薄な場所で検出されている。

桐木調査区では上記のほか、G・H-2・3区のグリッド境界部分に小規模な集中部をもつ第2遺物集中部、第2・第5遺物集中部の中間に位置する第1遺物集中部のほか、これら集中部を中心に、周辺からも散発的に遺物の出土がみられた。

一方、桐木調査区と東九州自動車道建設に伴う耳取遺跡調査エリアとの中間にあたる耳取調査区は、西側の谷の谷頭部分に相当し、遺構・遺物の密度が高いことを想定して調査に臨んだが、遺物の出土は少なく、事実上、遺構・遺物の空白域を形成する。耳取調査区はこの西側の谷に面する西端部分が尾根状となり、台地内部にかけ北東方向、南西方向からそれぞれ迫り入り、尾根部と谷部が交互に繰り返す複雑な旧地形となっている。

2 遺構 (礫群)

XVI層下部からXVII層下部にかけ、礫群12基が検出された。礫群の分布は、さらに東九州自動車道建設に伴う調査範囲へと連続している。10基について礫群内出土炭化物による放射性炭素年代測定を行なった。

1号礫群 I-4区で検出され、J・K-4区付近から入る浅い谷の谷頭部分で南東向きの緩斜面上に位置する。比較的大き目の礫6個と小礫1個からなり、他の礫群とは様相を異にする。検出面は他の礫群の検出層位と比較して相対的に約20cm程度高い位置にあり、XVI層下部を検出面とする。礫群中及びその周辺に、炭化物の散布

は全くみられず、周囲に礫の散布も認められない。

第3表 第1文化層1号礫群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	6	0	1	0	7	
重量(g)	3211	0	1100	0	4311	
割合(%)	74	0	26	0		
重量(g)	-100	-300	-600	-1000	1000~	備考
個数(個)	1	0	2	3	1	
割合(%)	14	0	29	43	14	
受熱変化率	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	2	1	5			
割合(%)	29	14	71			

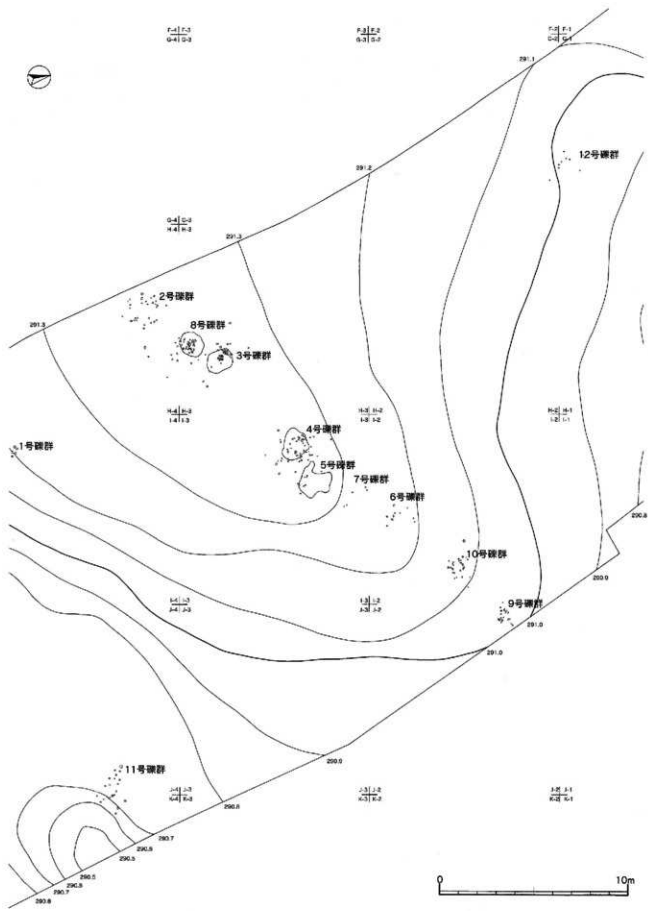
11号礫群 1号と同じ浅い追部のやや下方に位置する。南西向きの緩斜面上にあり、周辺には緩やかな起伏があり礫群はやや高まった位置にある。23個の礫がばらけた状態で、平面的に散布し、粒径2~5mm程度の微細な炭化物がみられる。礫群の検出面はちょうどXVII層とXVI層の境界面にあたる。AMS法による年代測定により、BP23,560±80の測定値が得られている。(付編4 PLD-1967)

第4表 第1文化層11号礫群計測表

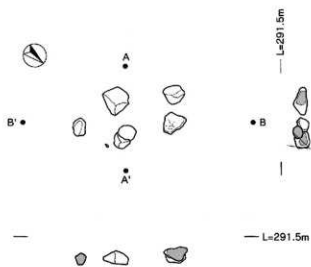
石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	11	12	0	0	23	
重量(g)	2790	1057			3847	
割合(%)	73	27	0	0		
重量(g)	-100	-300	-600	-1000	1000~	備考
個数(個)	11	9	1	2	0	
割合(%)	48	39	4	9	0	
受熱変化率	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	19	9	19			
割合(%)	83	39	83			

2号礫群 調査区西端のH-4区で検出された。南西から北東に延びる緩やかな尾根状の部分に位置する礫群である。硬質頁岩の砕片1点を除き、29点の礫により構成される。礫が集中する図心上部分及び左上の1個の礫で30cm程度のレベル差があるものの、その分布は散発的である。礫の分布域と重なり炭化物の集中が認められ、BP24,330±80の測定値が得られている。(付編4 PLD-1961)

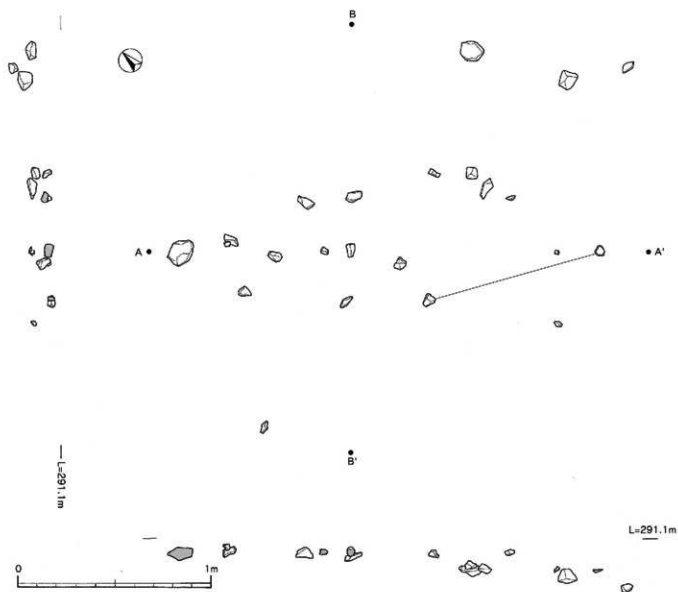
8号礫群 2号礫群の北東約3m、比較的周密な礫群で中心部分の礫を取り上げた跡が不整形に窪む。礫群及びその周辺にかけて濃密に炭化物が分布し、検出面上で礫群を中心上色の変化が認められ、平面上これを淡灰茶褐色土と灰質褐色ローム土に区分し、その範囲を示したが、その変化は漸移的であり、明瞭なラインが存するものではない。遺構である可能性を考え、ミニトレンチを設定し、検討をおこなったが、断面でもその変化は漸移的で、堀



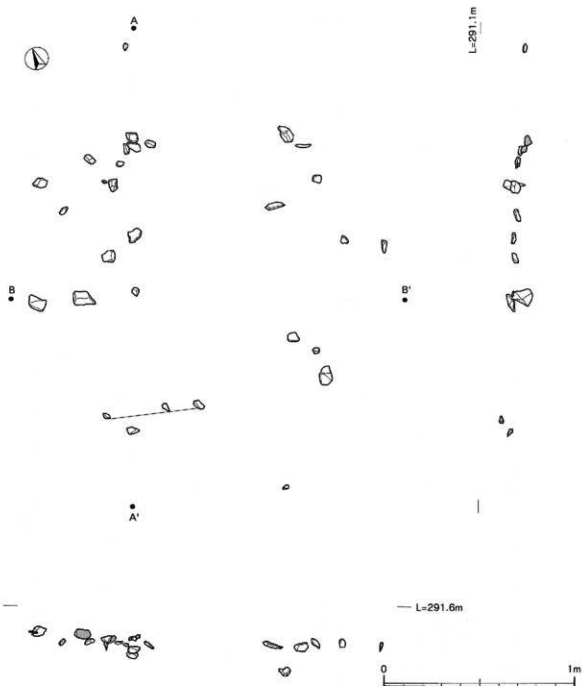
第11図 第1文化層遺構配置図



第12图 第1文化层1号砾群



第13图 第1文化层11号砾群

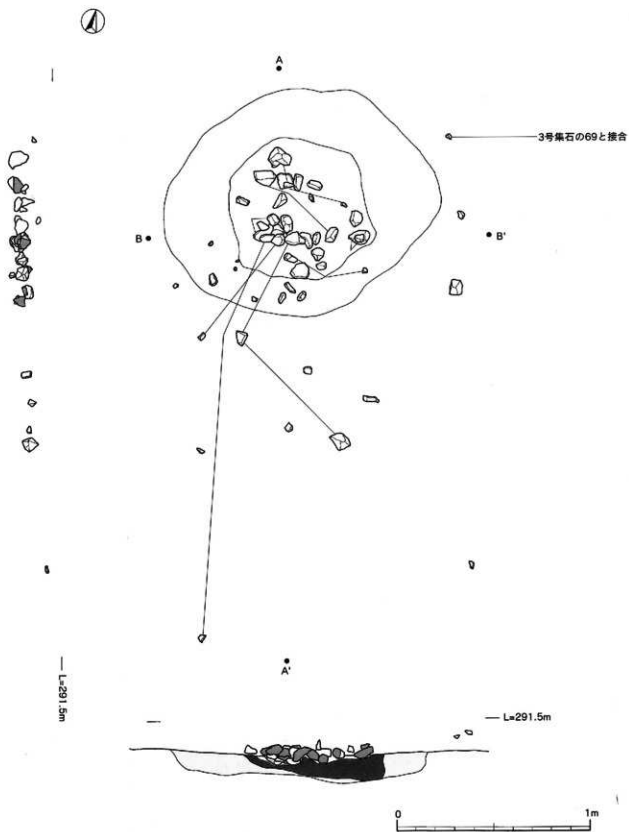


第14図 第1文化層2号礫群

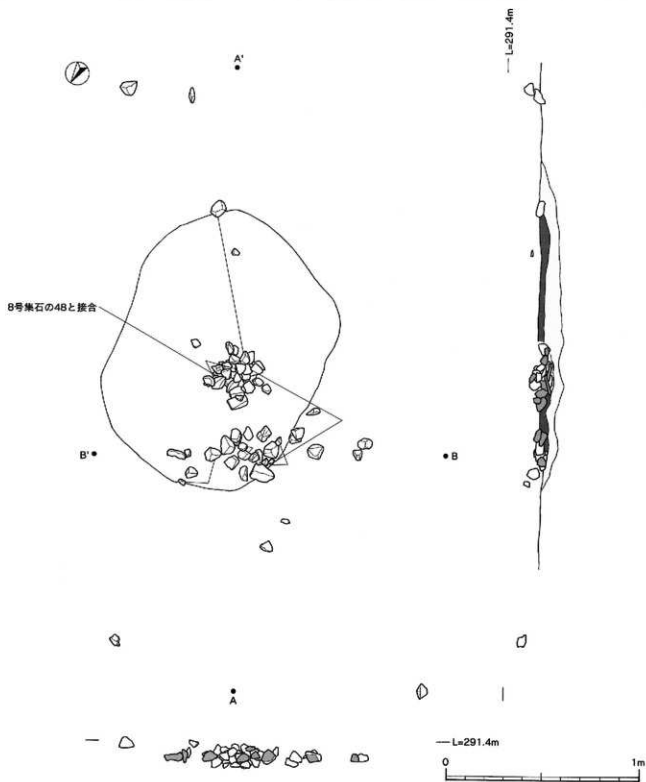
色ローム質土と周辺の包含層部分の変化についても同様である。また、土質の変化もみられないことから、全体的には人為的な掘込みではなく、炭化物をはじめとする有機質の影響による変化とみられる。また、検出礫下部の灰茶褐色のやや水気を帯びた粘質土部分は、土質も周囲の上層と異なることから、浅い掘込みと判断した。年代測定では、BP24280 ± 80の年代値が得られている。(付編4 PLD-1964)

3号礫群 8号礫群と2mほどの位置にあり、礫の分布には2か所の中心があり、約20cmをおいて隣接する。図下方は上下の重なりは少なく、周囲にばらけた分布を示す。上方は極めて密集度が高く上下に重層した重なり

があり、断面では明瞭な掘込みラインが検出された。図右側の集中部では径8～12mm程度の大きめの炭化物が礫の間に挟まれるように散布しており、最大で親指大のものがあり、礫にも炭化物が厚く付着するものがみられた。礫群検出部分では、その周囲と比べて、炭化物が多く検出され、周辺の土壌が灰黄褐色のくすんだ色調を呈する要因となっているのではないかと考えられる。ミニトレンチの断面観察ではほぼ8号礫群と同様の状況が観察され、灰黄褐色部分に炭化物が多く含まれ、淡灰黄褐色土部分に炭化物が含まれるのに対し、その外縁では若干の炭化物はみられるものの、その量は少なくなる。土色・炭化物の含有割合とも、漸移的に変化するもので、明確なラ



第15図 第1文化層8号礫群



第16図 第1文化層3号礫群

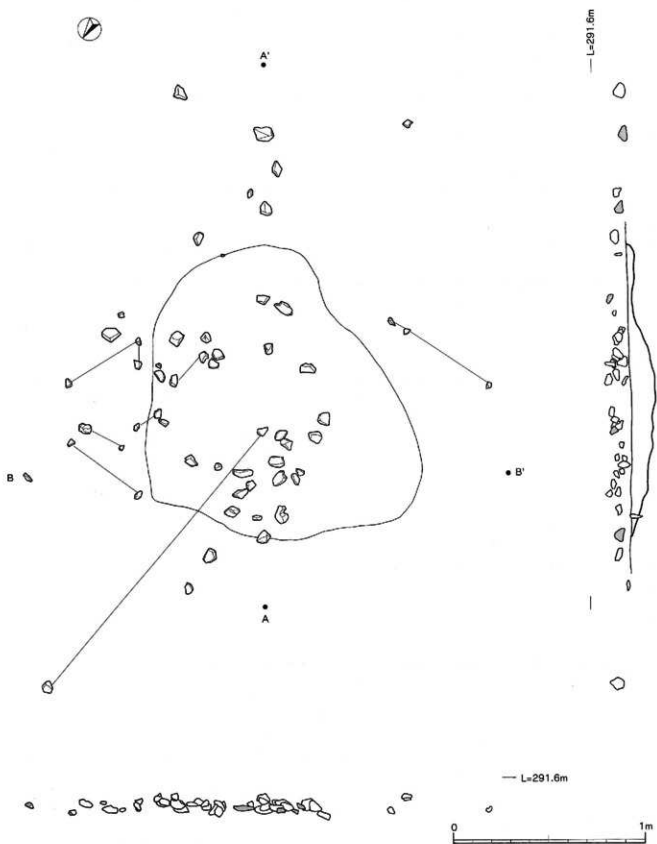
インを設定することは出来ず、8号礫群同様、人為的な掘込みではないと判断した。

AMS法による年代測定では、BP.22,960 ± 170 のXⅦ・XⅥ層の測定した礫群中、最も新しい年代値が与えられている。(付編3 試料No 7)

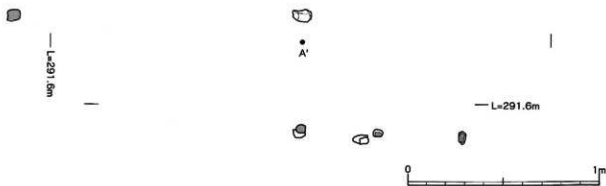
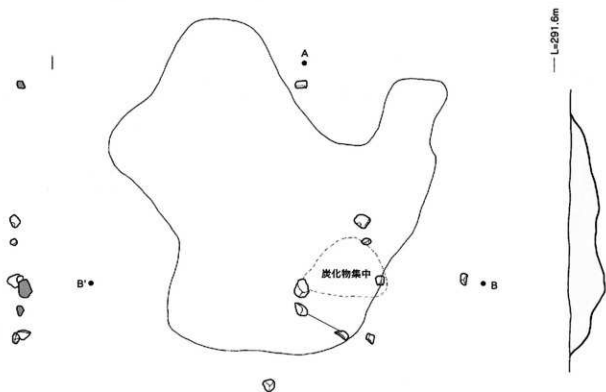
4号礫群 I-3区で検出された礫群で、3号礫群から東側に約5m離れた位置にあり、碎片1点、礫58点を取り上げた。礫は平面的にやや広く分布する。ここでも不整形な土色の変調部分が認められた。礫群中から検出し

た炭化物を用いたAMS法による年代測定では、BP.24,020 ± 170の年代値が得られている。(付編3 試料No 5)

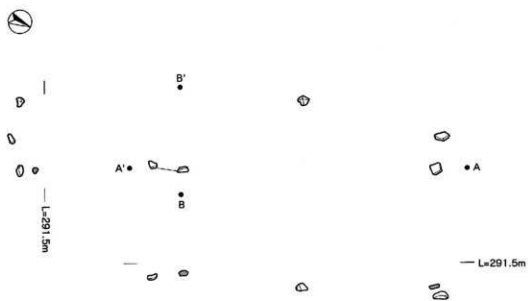
5号礫群 4号礫群に隣接し、その境界は必ずしも明確ではない。4号と分離した土色変調部分がみられたため、礫10点が散在する状況であったが、礫群として認定した。中心部分に径5mm未満の炭化物が比較的濃密に集中する部分があり、礫群の中心部分から西側方向に灰黄褐色に土色の変調する部分がみられるが、その形状は不整形



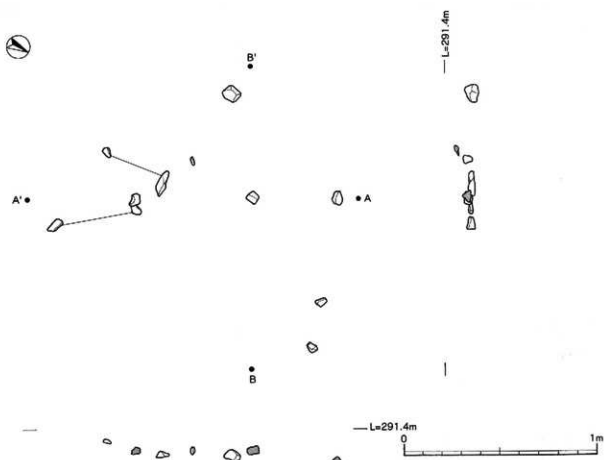
第17图 第1文化層4号碟群



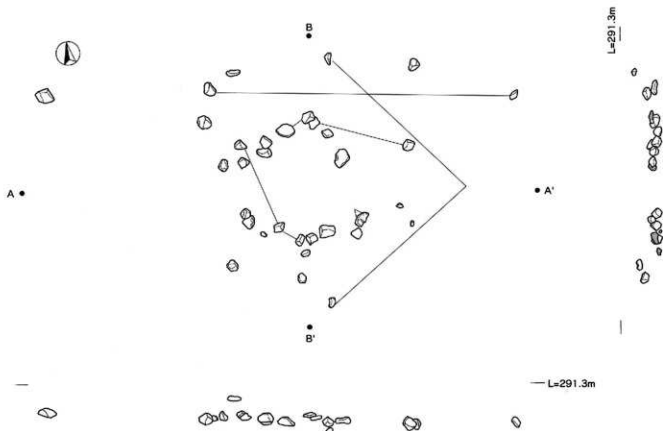
第18図 第1文化層5号壕群



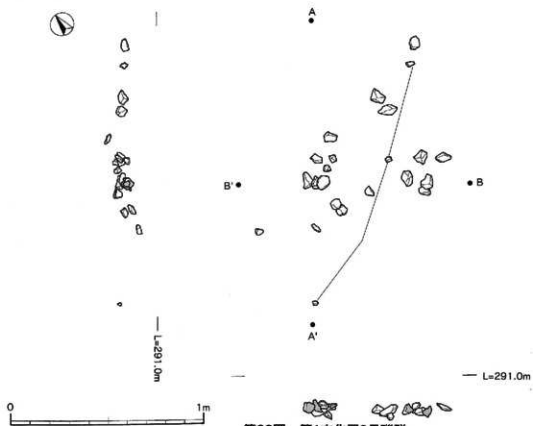
第19图 第1文化層7号碑群



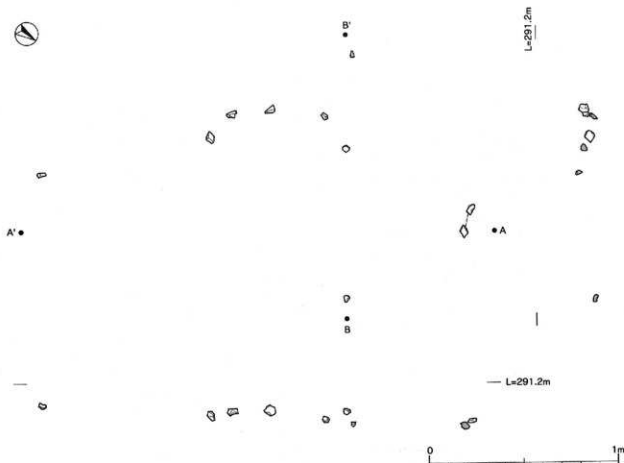
第20图 第1文化層6号碑群



第21图 第1文化層10号砾群



第22图 第1文化層9号砾群



第23図 第1文化層12号竪群

なものである。BP.24,290 ± 80の年代値がえられている。(付編4 PLD-162)

7号竪群 5号竪群の東側約2.5mに位置し、竪数5点の散布的なものである。やはり周辺と比較して炭化物の集中する状況が見られる。他の竪群と比べるとややまばらな炭化物の出土である。竪群内出土の炭化物からBP.24080 ± 80の年代値がえられている。(付編4 PLD-1963)

6号竪群 I-2区検出の竪群で、竪数11点の散布的な竪群である。AMS法による年代測定で、BP.24,270 ± 180の年代値がえられている。(付編3 試料No 6)

10号竪群 竪数34点で、ややまとまりをもつ竪群である。竪は環状を呈するような配置を示す。BP.24,010 ± 80の年代値がえられている。(付編4 PLD-1966)

9号竪群 10号竪群の北東約3mで検出された。竪には焼け・破砕がみられる。炭化物は竪出土部分を中心としてみられるが、あまり密度は高くない。竪数23点で、平面的に散布する竪群で、掘り込み等は確認されていない。年代測定では、BP.24,000 ± 80の年代値が与えられている。(付編4 PLD-1965)

12号竪群 G-1区で検出された竪群で、周辺に竪群はみられず、単独で検出されている。北東方向から入る浅い谷上地形の上方、緩斜面上にあり、地形に沿うように平面的に散布する竪群である。竪群周辺に集中した炭化物の出土が認められた。12号については、年代測定を行っていない。

第5表 第1文化層2号竪群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	22	6	1	1	30	
重量(g)	3407	635	70	4	4116	
割合(%)	83	15	2	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	17	11	1	1	0	
割合(%)	57	37	3	3	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	29	7	29			
割合(%)	97	23	97			

第6表 第1文化層8号竪群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	36	3	7	0	46	
重量(g)	7652	212	792	0	8656	
割合(%)	88	2	9	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	17	20	7	2	0	
割合(%)	37	43	15	4	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	19	11	42			
割合(%)	41	24	91			

第7表 第1文化層3号礫群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	53	11	9	1	74	
重量(g)	10010	1268	678	15	11971	
割合(%)	84	11	6	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	22	44	8	0	0	
割合(%)	30	59	11	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	71	20	69			
割合(%)	99	28	96			

第8表 第1文化層4号礫群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	28	18	10	3	59	
重量(g)	3690	992	877	31	5590	
割合(%)	66	18	16	1		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	35	19	2	0	0	剥片・碎片除く
割合(%)	63	34	4	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	56	27	56			剥片・碎片除く
割合(%)	100	48	100			

第9表 第1文化層5号礫群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	9	0	2	0	11	
重量(g)	2110		333		2443	
割合(%)	86		14	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	2	7	2	0	0	
割合(%)	18	64	18	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	10	7	11			
割合(%)	91	64	100			

第10表 第1文化層7号礫群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	2	3	0	0	5	
重量(g)	320	280			600	
割合(%)	53	47	0	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	2	3	0	0	0	
割合(%)	40	60	0	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	5	3	5			
割合(%)	100	60	100			

第11表 第1文化層6号礫群計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	8	3	0	0	11	
重量(g)	1229	300			1529	
割合(%)	80	20	0	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	4	6	1	0	0	
割合(%)	36	55	9	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	10	4	11			
割合(%)	91	36	100			

第12表 第1文化層10号礫群計測表

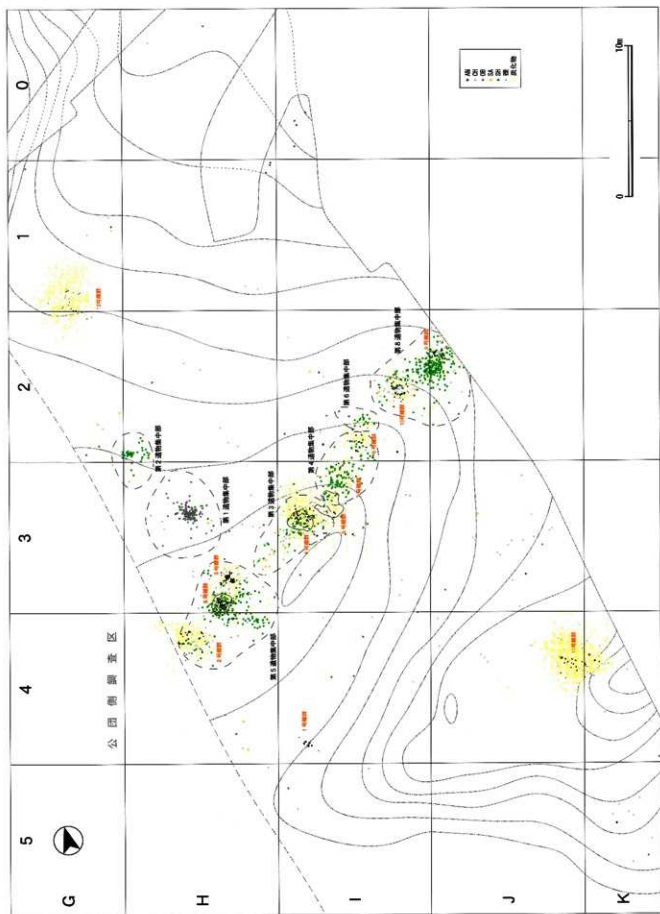
石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	24	10	0	0	34	
重量(g)	2191	1315			3506	
割合(%)	62	38	0	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	19	14	1	0	0	
割合(%)	56	41	3	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	22	7	28			
割合(%)	65	21	82			

第13表 第1文化層9号礫群計測表

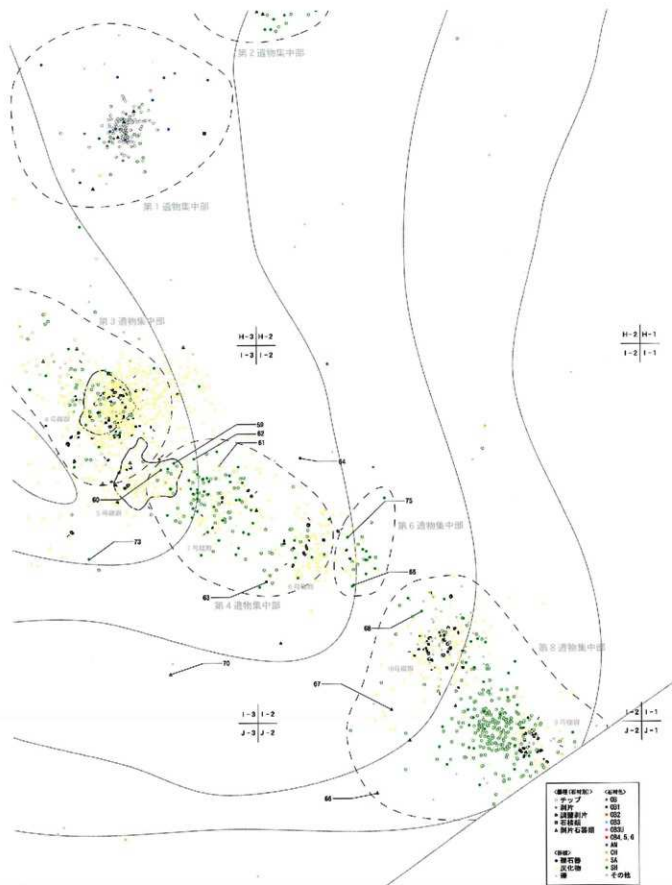
石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	9	11	3	0	23	
重量(g)	1119	789	142		2050	
割合(%)	55	38	7	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	14	9	0	0	0	
割合(%)	61	39	0	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	22	3	23			
割合(%)	96	13	100			

第14表 第1文化層12号礫群計測表

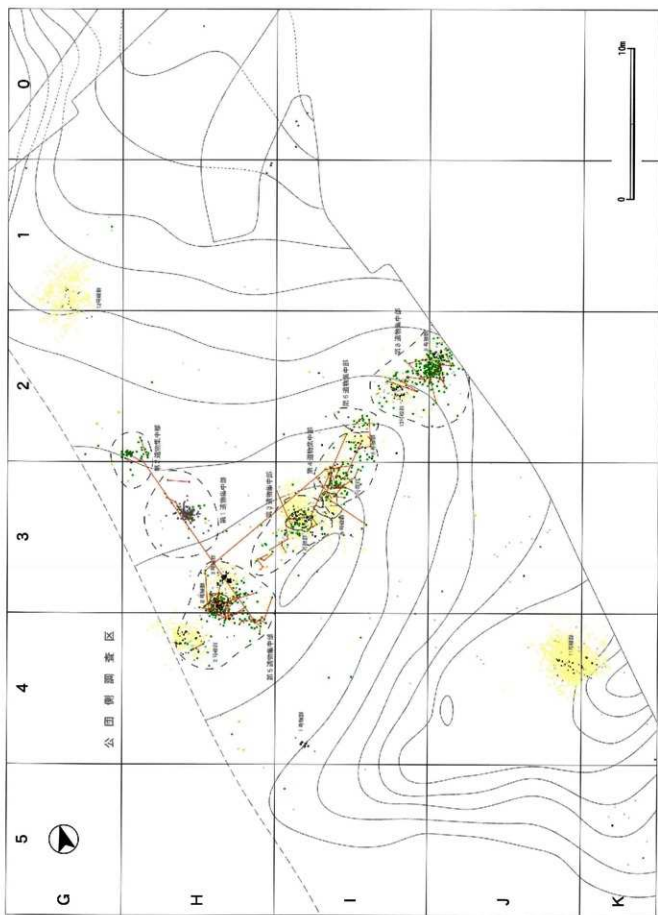
石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	7	3	0	0	10	
重量(g)	506.1	103.66			609.76	
割合(%)	83	17	0	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	8	2	0	0	0	
割合(%)	80	20	0	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	9	2	10			
割合(%)	90	20	100			



第24图 第1文化层遗物集中部出土状况



第27図 第1文化層第4・第6・第8遺物集中部出土状況



第28図 第1文化層石器遺存状況

3 遺物集中部と遺物

XVI層・XVII層からは遺物集中部7か所を中心に総点数968点の遺物が出土しており、その内訳はナイフ形石器6点、剥片尖頭器4点、台形石器6点、彫器2点、スクレイパー3点、加工痕・使用痕のある剥片8点、彫器削片6点、剥片204点、砕片676点、敲石類5点である。遺物の主要な出土層位はXVI層下面からXVII層上部にあるが、一部XVII層からの出土も認められた。

第2遺物集中部は、最も北寄りで見出された。局所的な狭い範囲に遺物が集中し、剥片尖頭器に調整剥片が接合する接合資料2点のほか剥片、砕片類が出土しているが出土点数は少ない。遺物の出土ピークはXVII層上面付近である。

第1遺物集中部は、黒色不透明で、不純物を多く含む外縁的特長からの容易に判別される黒曜石製の石器が主体である。黒曜石製の出土遺物にはナイフ形石器の一部のほか、剥片・砕片・石核がある。その出土層位のピークはXVI層下部にあり、同時に調査を行った第2集中部と比較して出土層位に違いがあるとする現場所見している。調査時に集中部として設定した範囲内からは、頁岩製の剥片尖頭器、彫器、やや大形の背面に自然面のある縦長の剥片も出土しているが、相互の関係には検討すべき点がある。本調査区内における黒曜石製石器の出土は概ね第1集中部及びその周辺に限られており、外縁的特長からは1種類のみ限定される。

第5集中部は東九州道建設に伴う発掘調査範囲に隣接する調査区西よりで検出され、3号及び8号露群と平面位置上で重なりを持つ。調査時は全体を1か所の集中部とみなしているが、遺物分布の状況を総合すれば、複数の単位に分割できる可能性がある。接合資料7の彫器の接合資料、接合点数が24点と本調査最多の接合資料16を含む接合資料11点が出土しており、ナイフ形石器3点、スクレイパー1点、ブランディングチップを含む多数の砕片類のほか、剥片類42点、石核1点などが出土している。

第3遺物集中部は、西側の第3遺物集中部①と、ほぼ連続する東側の第3遺物集中部②に分離される可能性が調査時に認識されているが、一括して報告されている。また、北寄りの部分では、本来第1遺物集中部の外縁に相当する部分を含んでいる可能性がある。接合資料4点があり、接合資料22は集中部内出土のブランディングチップと集中部外出土のナイフ形石器が接合するものである。このほか台形石器2点も出土し、チャート製石器が65点中23点を占める。

第4遺物集中部は、第3集中部の東側に隣接して検出された集中部で、7号露群と平面上の位置の重なりがある。硬質の頁岩製石器を主体とする集中部で、3点の接合資料があり、石器製作具とみられる敲石類も出土している。第6遺物集中部との境界は判然とせず、このため一部の

出土遺物の帰属については、検討の余地がある。

第6遺物集中部は、第4集中部の東側に一部重なって隣接し、集中部のほぼ中央から6号露群が検出されている。接合資料1点のほか、剥片などが出土している。

第8遺物集中部は、調査区の最も東寄りで見出されており、さらに本調査の範囲外に続いているとみられる。台形石器、スクレイパーの接合資料を含む接合資料4点のほか、台形石器2点が出土している。

本文化層出土の石器については接合作業を行っており、その接合関係については各集中部及び包含層出土石器相互の関係をほぼ反映した結果をえられているものとする。

(1) 第2遺物集中部出土石器

接合資料1 ほぼ完形に近いやや緑色を帯びた硬質の珪質頁岩製の剥片尖頭器にブランディングチップ5点接合したものである。剥片尖頭器①に加えられた剥離調整は、いずれも素材剥片の主要剥離面を打面として加えられ、右側面部分に数次の調整剥離が加えられたとみられる。先端部分を欠損した製品の再加工と考えられ、②～④、⑤・⑥にそれぞれ先後関係がある。接合しなかったチップ類の中にも石質から同一固体とみられる資料が含まれる。剥片尖頭器①の左側面には使用によるとみられる小剥離が生じている。

接合資料2 黒灰色を呈する硬質の頁岩製で、①は第2遺物集中部の川土であるが、接合したブランディングチップ3点のうち②・③が第5集中部、④が集中部外の出土であり、再加工後、再び折れて第2集中部に残置されたと考えられる。左側面への再調整は数次に及んだ可能性があり、基部左側の挟りが浅くなっている。残存する右側面部分には、微細な剥離が生じている。

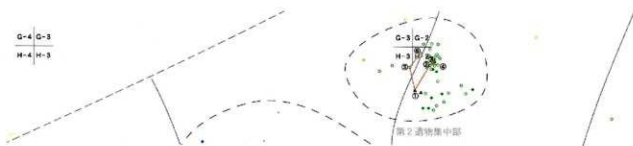
接合資料3 接合資料3及び1は石質・色調とも接合資料1に類似しており、同一母岩の可能性が高い。母岩に相当する資料はなく、剥片のみの接合である。

(2) 第1遺物集中部出土石器

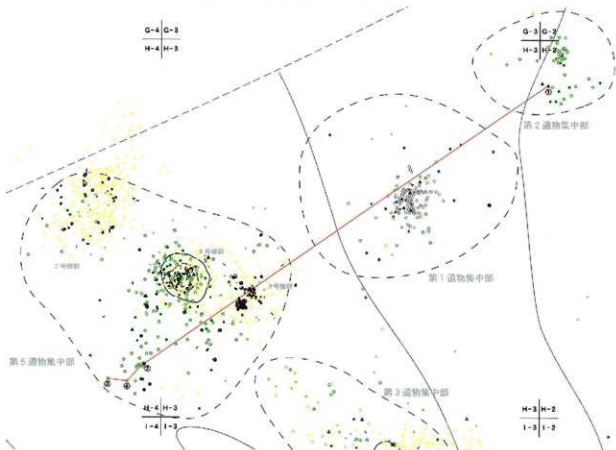
接合資料4 3点の剥片が接合した資料で、やや厚みのある大きめ剥片①を剥出後、打面を変えて②・③を剥離する。

接合資料5 背面に自然面のあるやや厚みのある剥片②の剥離後、暫時、剥離を行なった後、残角①が残されたものとみられる。残核から90°単位で上下・左右に頻繁に打面を転移しながら、剥片を剥出した状況が観取される。

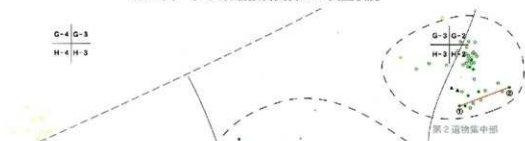
接合資料6 接合資料4・5と同じ黒曜石製で、背面に自然面をもつ砕片と割れた剥片が接合したものである。
ナイフ形石器 4は素材剥片の打面部分が急傾斜剥離により加工されているが、欠損のため全形は不明である。
剥片尖頭器 9は灰黒色の良質な頁岩製で、素材剥片は上下に打面を持つ石核から剥出されている。基部は比較的幅が急傾斜剥離で調整されており、浅い挟りとなっている。先端部は、僅かに折れが生じているが、元々端



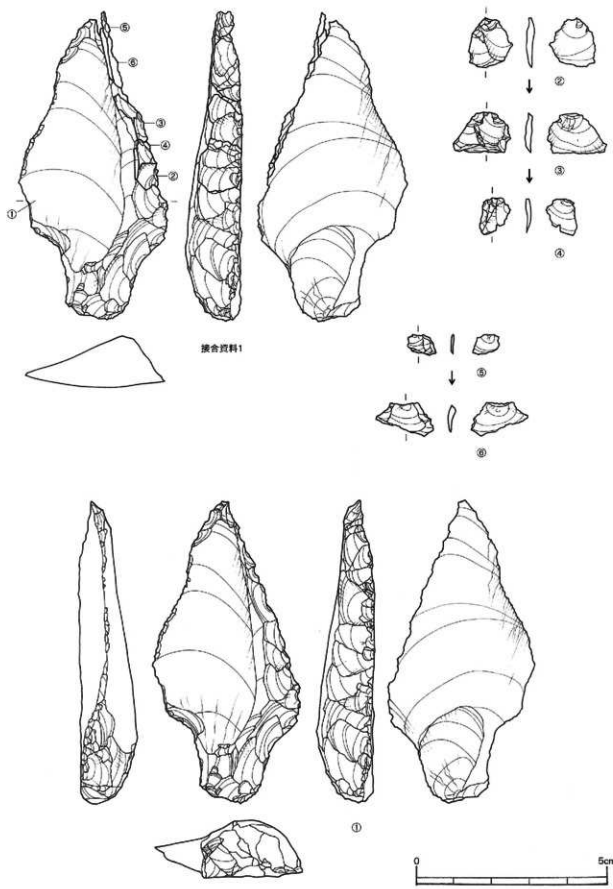
第29圖 第1文化層接合資料No.1出土狀況



第30圖 第1文化層接合資料No.2出土狀況

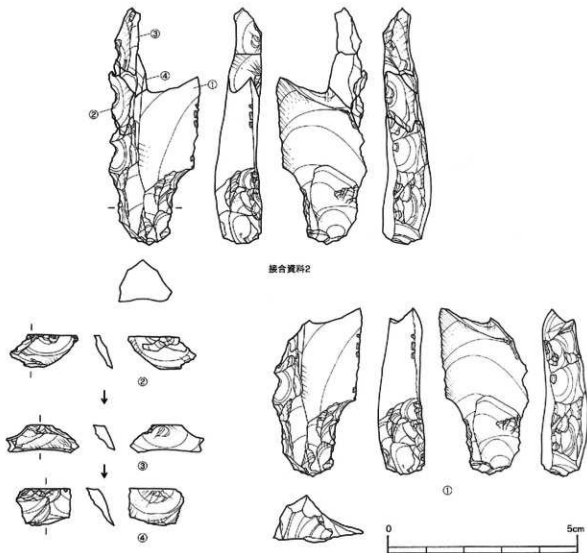


第31圖 第1文化層接合資料No.3出土狀況



接合資料1

第32圖 第1文化層第2遺物集中部出土石器 (1)



第33図 第1文化層第2遺物集中部出土石器 (2)

部が鋭利でなかった可能性もある。先端部分から右側辺中位にかけて使用痕とみられる小剥離が生じており、剥離稜上及び側辺縁辺には磨耗が生じている。

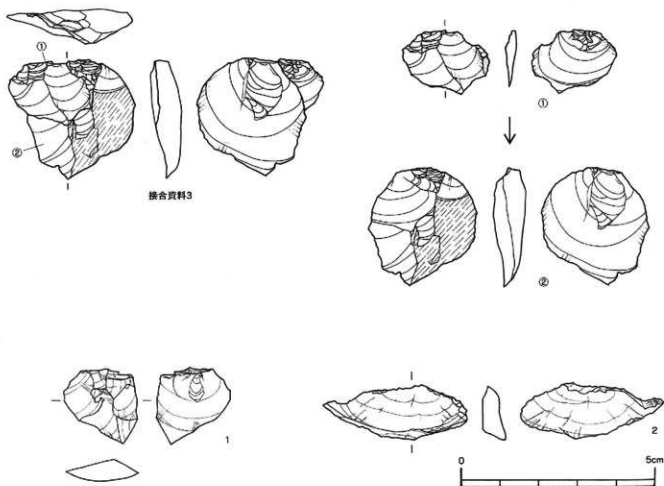
彫器 10 はやや緑色を帯び縞のある黒灰色で球質度の高い頁岩製で、剥片尖頭器と同様の基部加工とあわせ、背面稜上に素材剥片の打面上から平坦剥離調整が施されて

いる。

図上辺の折れ面（もしくは切断面）から下方に向け、種状剥離を加え、彫刻刀面を作り出している。剥離は基部に達している。彫刻刀面には使用によるとみられる小剥離が生じている。また、右側辺部分にも連続して小剥離がみられ、稜上が磨耗している。

第15表 第1文化層石器石材組成一覧表

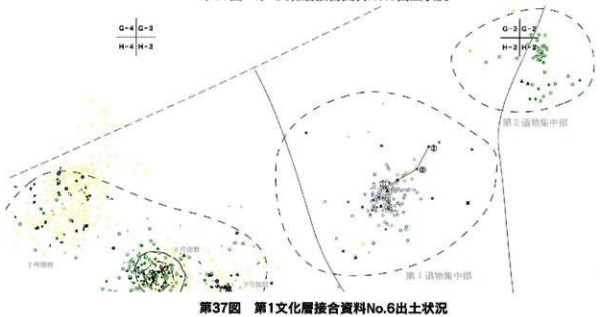
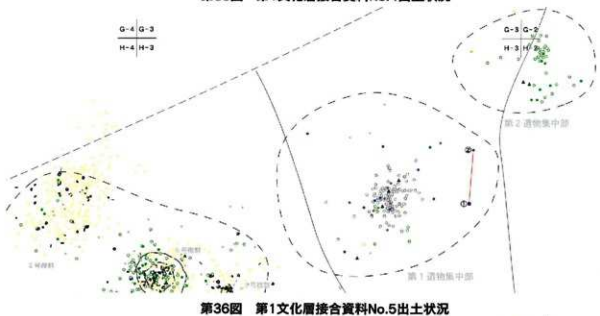
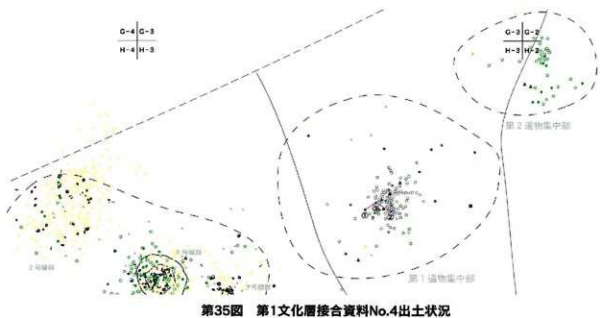
第1文化層	OR	OR1	KOBA	OR2B	OR2C	OR2X	OR3	OR3U	OR4	OR5	OR6	OR7	OR8	AN	CC	CH	CL	OP	RC	SA	SE	TU	ANC	GR	3P	PU	合計
1 剥片尖頭器																3					4						4
2 ナイフ形石器	1																				2						6
3 台形石器																	3				3						6
4 彫器																					2						2
5 スクレイパー																					3						3
6 二次加工微剥片																1					4						5
7 使用痕剥片																					3						3
8 調整剥片																					6						6
9 剥片	16	11												3	9					16	149						204
10 石核		1																			4						5
11 チップ	112	2												12	22				1	10	517						676
12 磨石/敲石																				3			1				4
13 棒状敲石																				1							1
合計	129	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	38	0	0	0	30	697	0	1	0	0	0	923

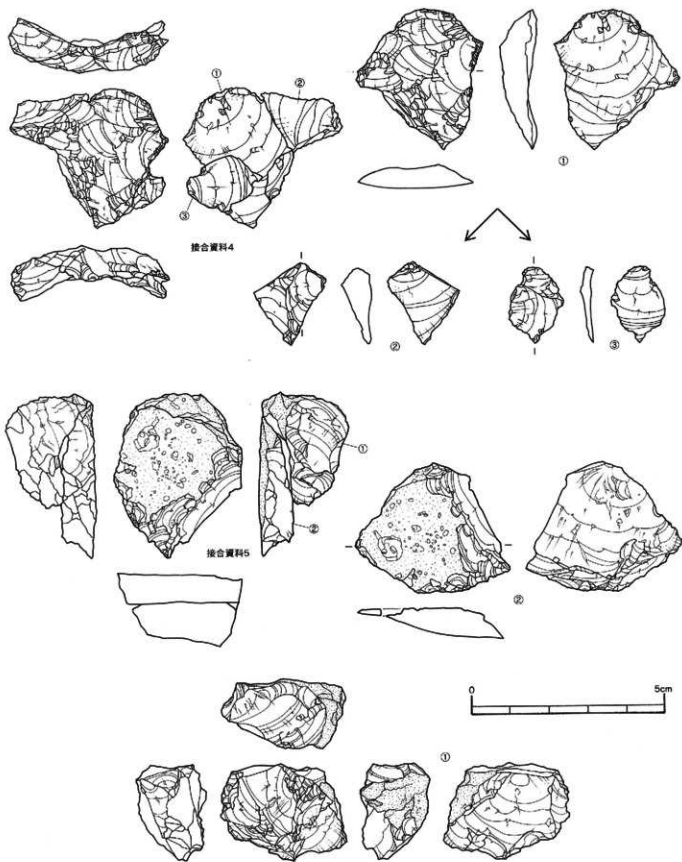


第34図 第1文化層第2遺物集中部出土石器(3)

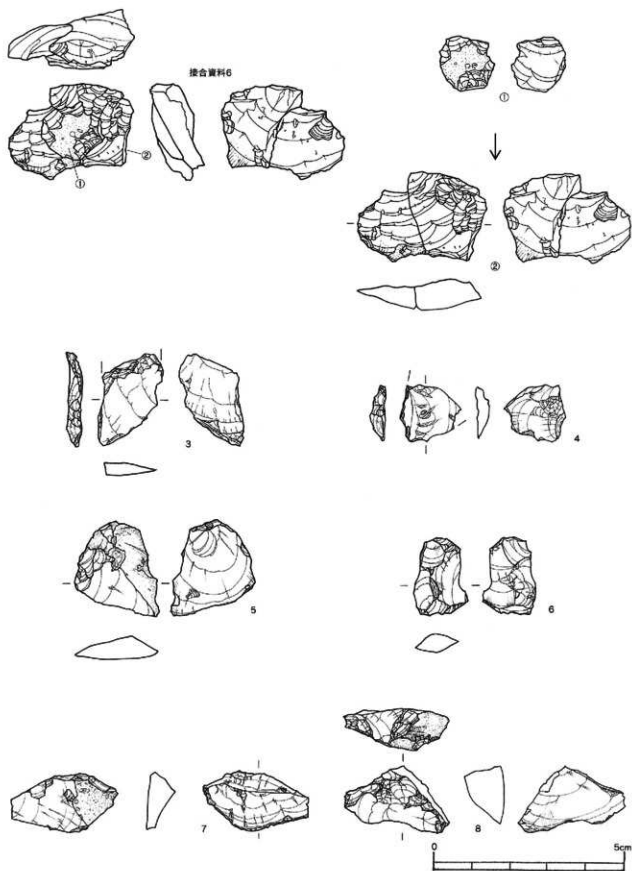
第16表 第1文化層石器計測表(1)

採掘No.	図No.	組合番号	取LNo.	層位	文化層	遺物グループ	分類L1	分類L2	石種	石種名	長さ2cm	幅1cm	厚2cm	重量g	組合No.	説明	用途	備考
32	接合資料01	①	2770	17	-	L01 NO2 H-2	通孔状部	-	SH	-	7.95	2.85	1.55	31.87	SSG18	-	-	-
32	接合資料01	②	2860	17	-	L01 NO2 H-2	チップ	フタノコナギ	SH	-	1.30	1.15	0.20	0.22	SSG18	-	-	-
32	接合資料01	③	2795	17	-	L01 NO2 H-2	チップ	フタノコナギ	SH	-	1.05	1.52	0.20	0.25	SSG18	-	-	-
32	接合資料01	④	2796	17	-	L01 NO2 H-2	チップ	フタノコナギ	SH	-	0.95	0.85	0.15	0.08	SSG18	-	-	-
32	接合資料01	⑤	2822	17	-	L01 NO2 H-3	チップ	フタノコナギ	SH	-	0.55	0.70	0.10	0.03	SSG18	-	-	-
32	接合資料01	⑥	2818	17	-	L01 NO2 H-2	チップ	フタノコナギ	SH	-	0.90	0.95	0.20	0.15	SSG18	-	-	-
33	接合資料02	①	2864	17	-	L01 - H-2	羽片状部	-	SH	-	4.45	2.40	1.20	10.70	SSG26	-	-	-
33	接合資料02	②	6264	17	-	L01 NO5 H-4	チップ	フタノコナギ	SH	-	0.85	1.30	0.50	0.29	SSG26	-	-	-
33	接合資料02	③	6339	17	-	L01 NO5 H-4	チップ	フタノコナギ	SH	-	0.70	1.90	0.70	0.39	SSG26	-	-	-
33	接合資料02	④	6111	16	-	L01 NO5 H-4	チップ	フタノコナギ	SH	-	0.95	1.45	0.75	0.69	SSG26	-	-	-
34	接合資料03	①	2763	17	-	L01 NO2 H-2	羽片	-	SH	-	1.70	2.30	0.30	0.79	SSG19	-	-	-
34	接合資料03	②	2780	17	-	L01 NO2 H-2	羽片	-	SH	-	3.05	2.30	0.85	5.33	SSG19	-	-	-
34	1	-	2865	17	-	L01 NO2 H-2	羽片	-	SH	-	1.85	1.90	0.38	1.46	-	-	-	-
34	2	-	2755	16	-	L01 NO2 H-3	羽片	-	SA	-	1.43	3.75	0.60	2.54	-	-	-	-
38	接合資料04	①	2694	16	-	L01 NO1 H-3	羽片	-	OB	1	3.79	3.30	1.00	7.65	SSG16	-	-	-
38	接合資料04	②	2830	16	-	L01 NO1 H-3	羽片	-	OB	1	2.15	1.80	0.80	1.70	SSG16	-	-	-
38	接合資料04	③	2891	17	-	L01 NO1 H-3	羽片	-	OB	1	2.03	1.35	0.35	0.52	SSG16	-	-	-

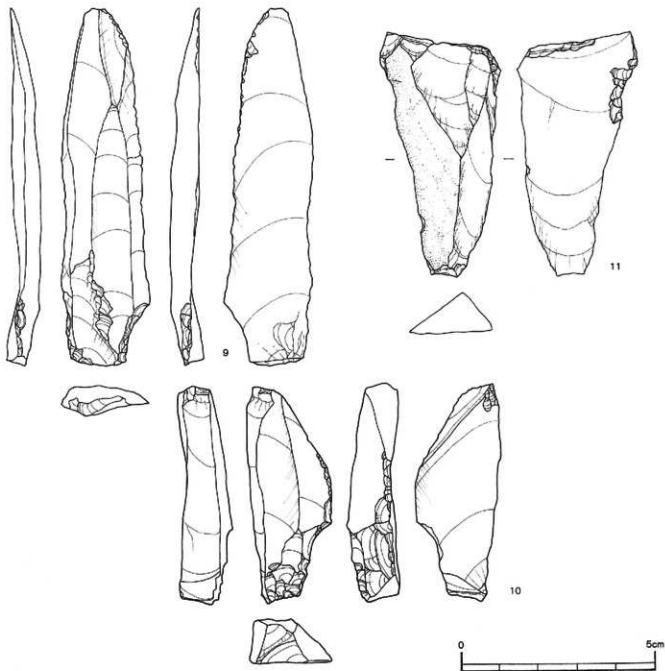




第38圖 第1文化層第1遺物集中部出土石器 (1)



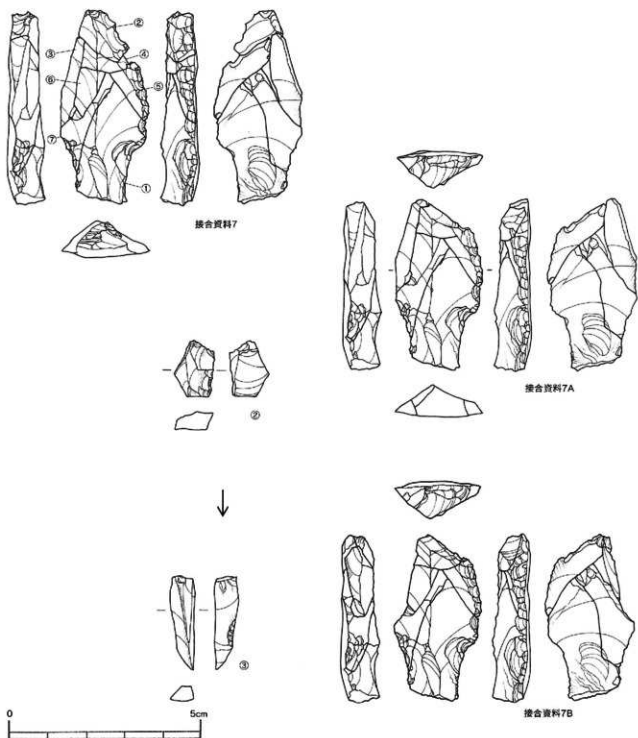
第39圖 第1文化層第1遺物集中部出土石器 (2)



第40図 第1文化層第1遺物集中部出土石器 (3)

第17表 第1文化層石器計測表 (2)

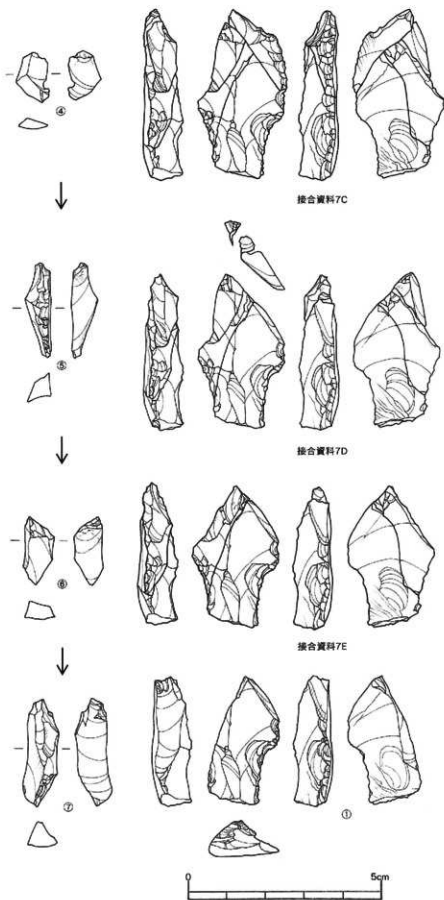
標本No.	図No.	組合資料	取上No.	層位	種別	文化層	遺群	アサガ	分類1	分類2	主材	石種	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	組合No.	自然剥離	用途	用途推定	備考
38	組合資料05	①	2748	16	-	L01	NO1	H-3	石核	-	OB	1	250	3.20	1.80	14.31	SSG17	-	-	-	-
38	組合資料05	②	2752	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	3.40	4.00	0.80	10.31	SSG17	-	-	-	-
39	3	-	2692	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.55	1.70	0.35	1.53	-	-	-	-	-
39	4	-	2923	16	-	L01	NO1	H-3	ナイフ形石器	-	OB	1	1.65	1.55	0.40	0.84	-	-	-	-	-
39	5	-	2744	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.58	2.26	0.88	3.23	-	-	-	-	-
39	6	-	2717	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.00	1.42	0.78	1.59	-	-	-	-	-
39	7	-	2739	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.80	1.60	0.88	2.49	-	-	-	-	-
39	8	-	2662	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.38	2.15	1.16	3.32	-	-	-	-	-
39	組合資料06	①	2846	16	-	L01	NO1	H-3	チップ	-	OB	1	1.50	1.50	0.36	0.63	SSG15	-	-	-	-
39	組合資料06	②	2729	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.40	3.40	0.85	3.85	SSG15	-	-	-	-
39	組合資料06	③	2747	16	-	L01	NO1	H-3	網片	-	OB	1	2.40	3.40	0.85	1.83	SSG15	-	-	-	-
40	9	-	2883	17	-	L01	NO1	H-3	網片尖頭器	-	SH	-	9.30	2.30	0.90	15.48	-	-	-	-	-
40	10	-	2708	16	-	L01	NO1	H-3	磨器	-	SH	-	5.65	2.15	1.35	15.75	-	-	-	-	-
40	11	-	2661	17	-	L01	NO1	H-3	二次加工剥片	-	SH	-	6.40	3.07	1.07	16.06	-	-	-	-	-



第41図 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (1)

第18表 第1文化層石器計測表 (3)

標本No.	図No.	調査年度	取上No.	層位	種別	用途	分類L1	分類L2	石種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	接合No.	取附	用途	備考	
41	接合資料07	②	6115	16	-	L01 NOS B-4	調整削片	彫器削片	SH	1.69	1.07	0.69	1.00	SSG27	-	-	-	-
41	接合資料07	③	6121	16	-	L01 NOS B-4	調整削片	彫器削片	SH	2.51	0.64	0.91	0.80	SSG27	-	-	-	-
41	接合資料07	④	6122	16	-	L01 NOS B-4	彫器	-	SH	3.36	1.84	1.00	5.09	SSG27	-	-	-	-
41-42	接合資料07	④	6259	16	-	L01 NOS B-4	調整削片	彫器削片	SH	1.30	0.86	0.33	0.23	SSG27	-	-	-	-
41-42	接合資料07	⑤	6116	16	-	L01 NOS B-4	調整削片	彫器削片	SH	2.48	0.68	0.92	0.96	SSG27	-	-	-	-
41-42	接合資料07	⑥	6118	16	-	L01 NOS B-4	調整削片	彫器削片	SH	1.79	0.78	0.66	0.50	SSG27	-	-	-	-
41-42	接合資料07	⑦	6171	17	-	L01 NOS B-4	調整削片	彫器削片	SH	2.81	0.86	0.89	1.78	SSG27	-	-	-	-



第42図 第1文化層第5遺物集中部出土石器(2)

二次加工痕剥片 11は緑灰色の硬質頁岩である。主剥離面側から部分的に調整剥離が加えられている。剥片左側辺上方には使用によるみられる平坦な小剥離が生じており、部分加工のナイフ形石器の可能性もある。

(3) 第5遺物集中部出土石器

接合資料7 形器及び形器削片6点が接合した資料である。黒灰色を呈する良質な硬質頁岩製で、縦長剥片を素材とし、基部両側に急傾斜剥離調整による持ちがあり、剥片尖頭器と同じ形物的特長をもつ。

右側辺には細かい急傾斜剥離が施され、後上が磨耗する。

段階1 櫛状剥離はまず右辺上端から左辺方向に施され、次いで腹面よりやや角度をかえ同一方向に再度小さく剥離されているが、この際の削片は接合していない。次に左辺に形成された彫刻等面から右辺方向に削片②が剥出されるが、接合面にはわずかな隙間が生じている。

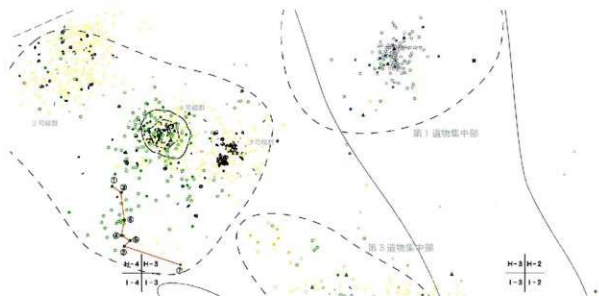
段階2 左辺側から右辺下方向に向け削片③が剥出され、次いで先行する右辺の彫刻刀面から左辺方向に小さく櫛状剥離が加えられる。

段階3 左辺から右辺方向背面寄りに削片④が剥出された後、再度、同背面側に小剥離が施される。

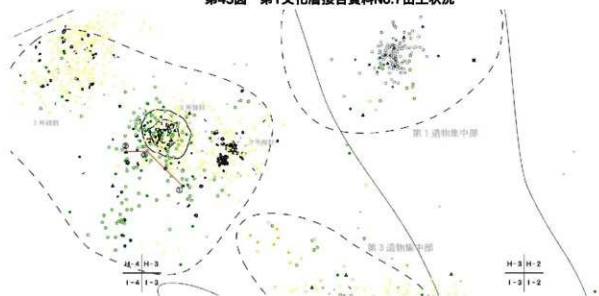
段階4 左辺から右辺下方向に削片⑤が剥出され彫刻刀面が形成され、次いで腹面寄りに少し角度を変え再調整が施される。

段階5 右上辺から左側片下にむけ背面寄りに削片⑥が剥出される。次いで、同一打面から腹面寄り、背面寄りやや角度を変えて調整を加える。背面寄りに形成された彫刻刀面には更に数回の再調整もしくは使用による小剥離がある。

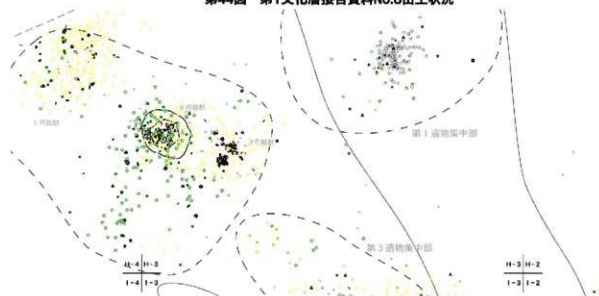
段階6 再び右上辺から基部近くに達する櫛状剥離が加えられる。その後、同一打面から腹面寄りに調整が加えられた後、残置されている。



第43圖 第1文化層接合資料No.7出土狀況



第44圖 第1文化層接合資料No.8出土狀況



第45圖 第1文化層接合資料No.9出土狀況

接合資料 8 緑灰色の縞のある珪質頁岩製で、残核にナイフ形石器が接合する。②は右側面に主に腹面側から急傾斜剥離を加え、節理面である図下辺に同じく腹面側から平坦剥離を、左辺下部に部分的に急傾斜剥離を加えている。③は②の素材剥片剥離後に打面を変えて同一作業面上で剥離された破片である。

接合資料 9 灰色で黒灰色の縞の入る珪質頁岩製である。①は破片としたが、左側面に腹面側からの微細な剥離がみられ、使用痕剥片とすべきかもしれない。②は①と同一打面から連続して剥出されている。背面上に素材剥片の打面から平坦剥離を施し、左辺部分には密に急傾斜剥離を加えている。上半部は欠損するが、接合資料 8-②と形態的に類似する可能性がある。

接合資料 10 緑灰色で灰色の縞がある珪質頁岩製で、節理面を打面に同一方向で剥離されたスクレイパー及び剥片 3枚が接合する。①→②→④、③→④の接合関係がある。③は主に右側縁部分に調整剥離が加えられるが、下辺及び、左側下辺下部にも粗い急傾斜剥離があり、円形状を呈するスクレイパーである。

接合資料 11 灰黒色で灰色の縞が入る珪質頁岩製で、おそらく剥片剥離時に割れた一枚の剥片が接合したものである。

接合資料 12 緑灰色の珪質頁岩製で、節理が多く、節理面に正面側から剥離を加え②を剥出し、打面を整えた後、③及び④を剥出する。⑤は③に続いて剥離されるが、節理にかかり、分厚い剥片になっている。①は残核で各面に節理面が残る。

接合資料 13 黒灰色の珪質頁岩製で、①→②→③の順に剥出されている。①は右側面に微細な剥離痕が残る、使用痕剥片とした。

接合資料 14・接合資料 15 いずれも黒灰色の珪質頁岩製で、各 2 点の接合である。

接合資料 16 黒色で光沢のない良質な頁岩製で、剥片類及び破片計 20 点が接合しており、②・⑥・⑬・⑯はそれぞれ、剥片剥離時もしくはその後生じた折れにより、それぞれ 2 点に分離しているため、資料点数としては 24 点となっている。石核素材は厚みのある大型の剥片で、いずれも同一打面上から、加撃位置を左右にジグザグに移動しながら剥片及び破片を剥出するものである。①～⑥までは中間に欠落する剥片・破片を挿みながら連続して剥出される。

その後、⑦と⑨の前後関係は不明であるが、⑦→⑧、⑨→⑩まで順次剥片剥離が連続しておこなわれる。①は剥離軸がやや右側に偏った幅広の剥片で、左側面の一部に剥離痕が残る。使用痕剥片として報告したが、加工痕剥片或いは部分加工のナイフ形石器の可能性もある。この場合背面上部の素材剥片の打面上からの剥離についても二次加工の可能性はあるが、素材剥片の剥出前に加えられた可能性もあり、剥離の切り合い関係からは明らか

にできない。

①が剥離された後の状態が、接合資料 16B として図示したものである。ここで、打面は変更されていないが、作業面を右に 90°移動させ、⑫→⑬、及び⑭→⑯の順に欠落する剥片・破片を挿みながら剥離を進行させる。

接合資料 16C はこれまでの剥片・破片を取り去った状態で、破片⑮はこれに先行して剥離されており、前後関係を有する。ここから作業面を左に約 45°戻して、⑱→⑲→⑳の順に剥離する。第 1 文化層は頁岩製石器が主体で類似する母岩資料も多いが、接合資料 16 は、球質感のあまり無い特徴的な石材で、接合できなかった若干の剥片・破片はみられたが、石核に相当する出土資料中にはない。また、この資料からは、調整を目的とする破片と一定程度の大きさのある剥片が相互に剥出される経過が窺われる。

接合資料 17 黒色で光沢のない良質な頁岩製で、剥片及び破片が接合する。接合資料 17 と同一母岩の可能性はある。

接合資料 18 頁岩としたがやや粗粒質で、砂岩に近いものである。黒灰色でやや緑色を帯びる。連続して剥出された破片及び剥片 4 点が接合するもので、いずれも急傾斜剥離調整によって生じた可能性がたかい。接合図正面上でみられるように、既に急傾斜剥離調整が行なわれた石器に対し、再調整を施した際のものともみられる。

接合資料 19 緑灰色の頁岩製で、上記資料と母岩は異なるとみられるが、やはり砂岩に近い資料である。急傾斜剥離に伴う破片 2 点が接合する。接合資料 18・19 と剥片尖頭器の調整（再調整）にともなう剥片である可能性がある。

ナイフ形石器 12 は赤褐色のチャート製で、素材剥片の打端部分が除かれた後、図右側面及び左辺下部の一部に調整が加えられている。上辺の抉り状の剥離は使用によるものである可能性がある。ナイフ形石器として報告したが、調整加工がやや粗粒で、検討の余地もある。

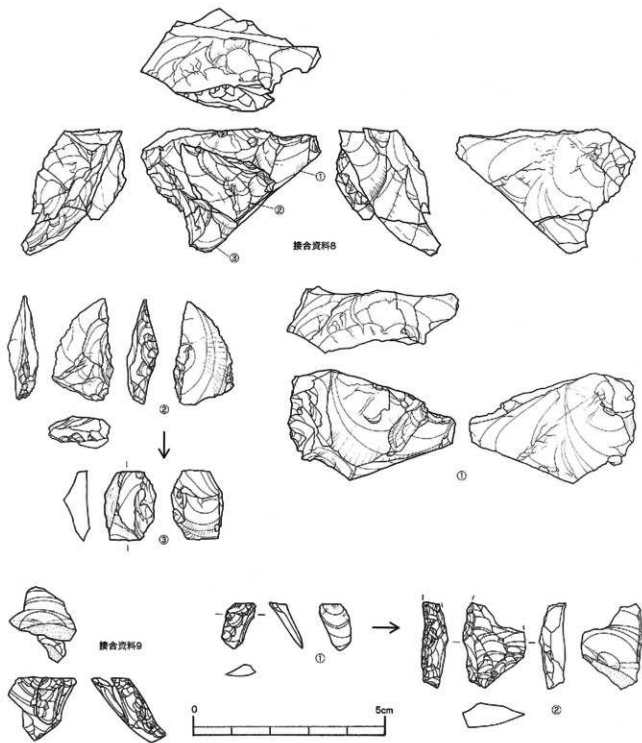
剥片類 13～18 はいずれも硬質頁岩の剥片類である。

破片類 19～50 は破片類である。33 が黒茶褐色のチャート製、45 が黒色不透明の黒曜石製であるが、他はすべて頁岩製である。剥片尖頭器等の調整、及び再調整時に生ずる急傾斜剥離調整にともなう調整剥片に類似するものが多く含まれるが、接合資料 16 などみられる剥片剥離工程上の調整剥片と厳密に区分することはできなかった。

(4) 第 3 遺物集中部出土石器

接合資料 20 灰色の粗粒の砂岩製で、いずれも背面に自然面をもつ剥片・破片 3 枚が接合する。①→②→③の順で剥出され、それぞれ、間に 1 枚の欠落する資料がある。分割面とみられる平坦な剥離面を打面とし、左右に加撃点を移動させながら剥片剥離を行なっている。接合資料 33 と同一母岩の可能性はある。

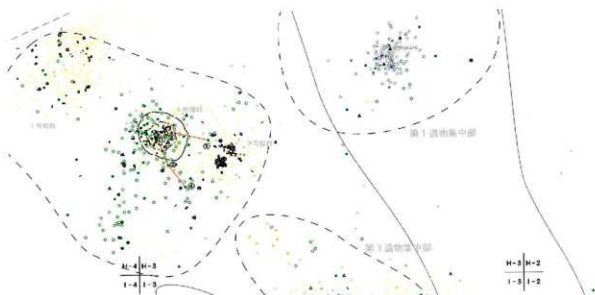
接合資料 21 黒灰色で灰色の縞の入る珪質頁岩製で、図



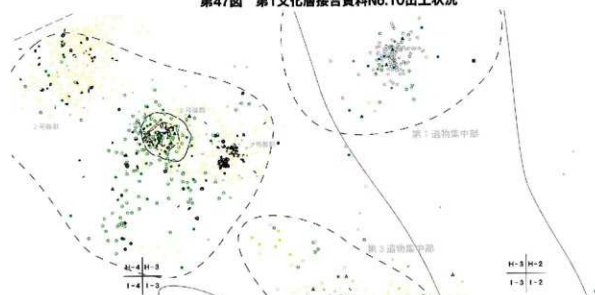
第46図 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (3)

第19表 第1文化層石器計測表 (4)

標本No.	図No.	発掘区	取上No.	層	面	文化層	遺物	アウド	分類1	分類2	E形1	E形2	長さmm	幅mm	厚さmm	重量g	接合No.	図別	目録	表裏	注記	備考
46	接合資料08	①	6336	17	-	L01	N05	H3	石核	-	SH	-	4.41	3.04	1.75	19.91	SSG13	-	-	-	-	-
46	接合資料08	②	6127	16	-	L01	N05	H3	ナイフ形石器	-	SH	-	2.68	1.58	0.84	2.47	SSG13	-	-	-	-	-
46	接合資料08	③	6416	17	-	L01	N05	H3	チップ	-	SH	-	1.81	1.38	0.76	1.79	SSG13	-	-	-	-	-
46	接合資料09	①	6436	17	-	L01	N05	H3	チップ	-	SH	-	1.20	0.85	0.90	0.28	SSG22	-	-	-	-	-
46	接合資料09	②	6525	17	-	L01	N05	H3	ナイフ形石器	-	SH	-	2.25	1.65	0.65	2.22	SSG22	-	-	-	-	-



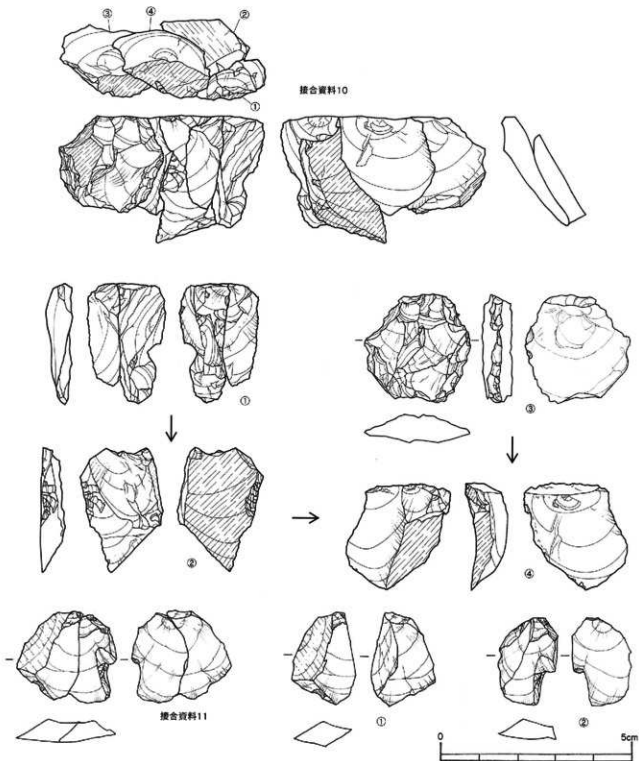
第47圖 第1文化層接合資料No.10出土狀況



第48圖 第1文化層接合資料No.11出土狀況



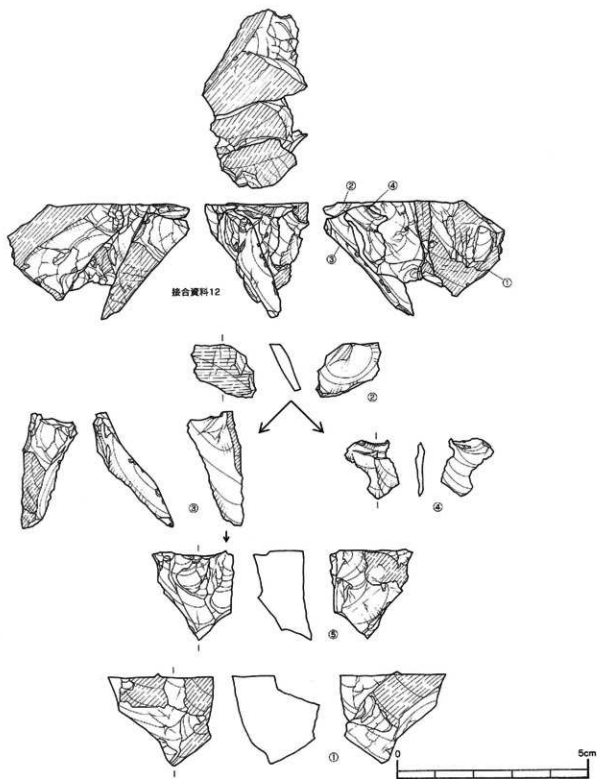
第49圖 第1文化層接合資料No.12出土狀況



第50図 第1文化層第5遺物集中部出土石器(4)

第20表 第1文化層石器計測表(5)

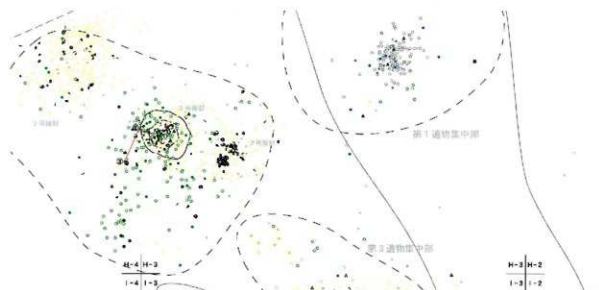
標本No.	図No.	遺物No.	取上No.	層位	種別	用途	文化層	遺物集	ナット	分類1	分類2	石質	厚(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	重量(g)	接合No.	接合部	状態	破損	修理	備考	
50	接合資料10	①	6272	16	-	-	L01	N06	H-3	剥片	-	SH	-	3.20	2.06	0.70	1.96	SSG14	-	-	-	-	-
50	接合資料10	①	6453	17	-	-	L01	N05	H-3	剥片	-	SH	-	3.20	2.05	0.70	1.20	SSG14	-	-	-	-	-
50	接合資料10	②	6409	17	-	-	L01	N05	H-3	剥片	-	SH	-	2.30	2.15	0.65	4.51	SSG14	-	-	-	-	-
50	接合資料10	③	6331	16	-	-	L01	N06	H-3	スクレインパー	-	SH	-	2.90	2.90	0.80	7.04	SSG14	-	-	-	-	-
50	接合資料10	④	6406	17	-	-	L01	N05	H-3	剥片	-	SH	-	2.80	2.20	1.10	5.56	SSG14	-	-	-	-	-
50	接合資料11	①	6502	17	-	-	L01	N05	H-3	剥片	-	SH	-	2.45	1.70	0.59	2.14	SSG34	-	-	-	-	-
50	接合資料11	②	6821	17	-	-	L01	N05	H-3	剥片	-	SH	-	2.30	1.57	0.50	1.63	SSG34	-	-	-	-	-



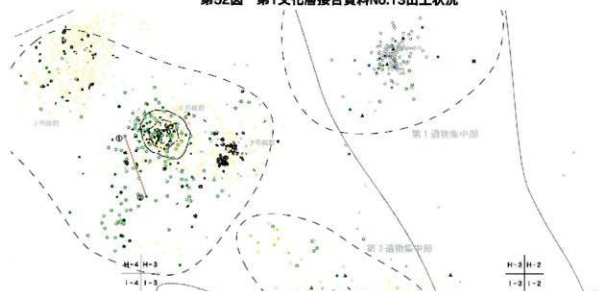
第51図 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (5)

第21表 第1文化層石器計測表 (6)

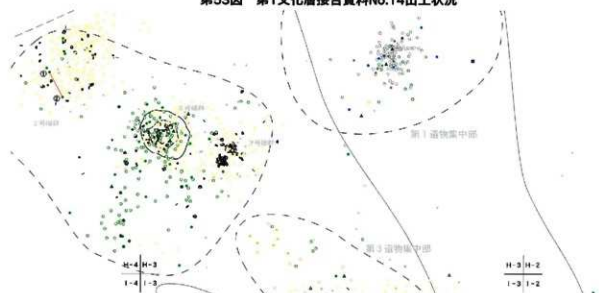
標本No.	図No.	発掘No.	表上No.	層位	層位	文化層	遺物	フリッ	分類1	分類2	石種	石種	長さ	幅	厚さ	重量	接合No.	接合No.	接合No.	接合No.	備考
51	接合資料12	①	一括	17	-	L01	H-4	石核	-	SH	-	2.30	2.70	2.50	-	SSG12	-	-	-	-	-
51	接合資料12	②	6146	16	-	L01	N06	H-3	チップ	-	SH	-	1.40	1.70	0.80	0.65	SSG12	-	-	-	-
51	接合資料12	③	6167	17	-	L01	N05	H-3	剥片	-	SH	-	3.00	1.50	2.00	2.60	SSG12	-	-	-	-
51	接合資料12	④	6499	17	-	L01	N05	H-3	チップ	-	SH	-	1.55	1.45	0.25	0.28	SSG12	-	-	-	-
51	接合資料12	⑤	6498	16	-	L01	N06	H-3	剥片	-	SH	-	1.88	2.95	1.76	8.55	SSG12	-	-	-	-



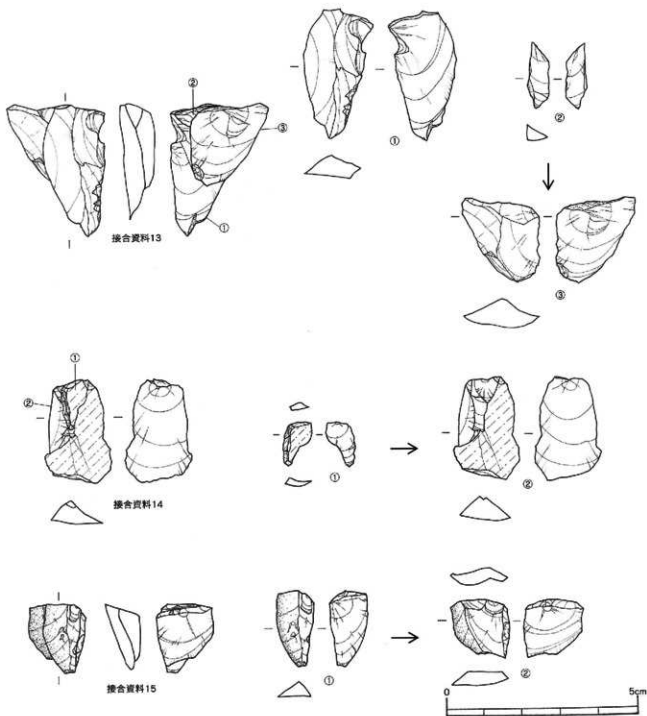
第52圖 第1文化層接合資料No.13出土狀況



第53圖 第1文化層接合資料No.14出土狀況



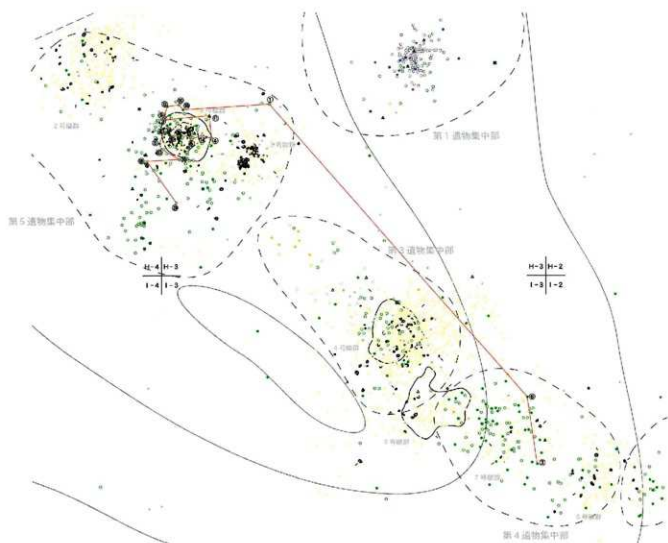
第54圖 第1文化層接合資料No.15出土狀況



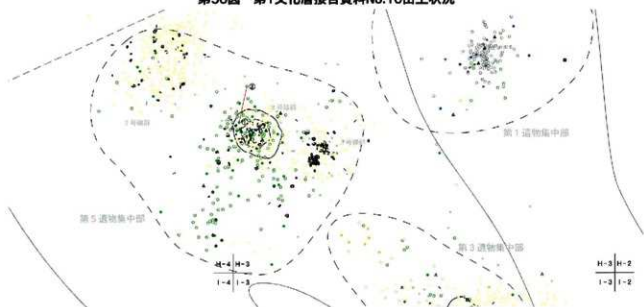
第55図 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (6)

第22表 第1文化層石器計測表 (7)

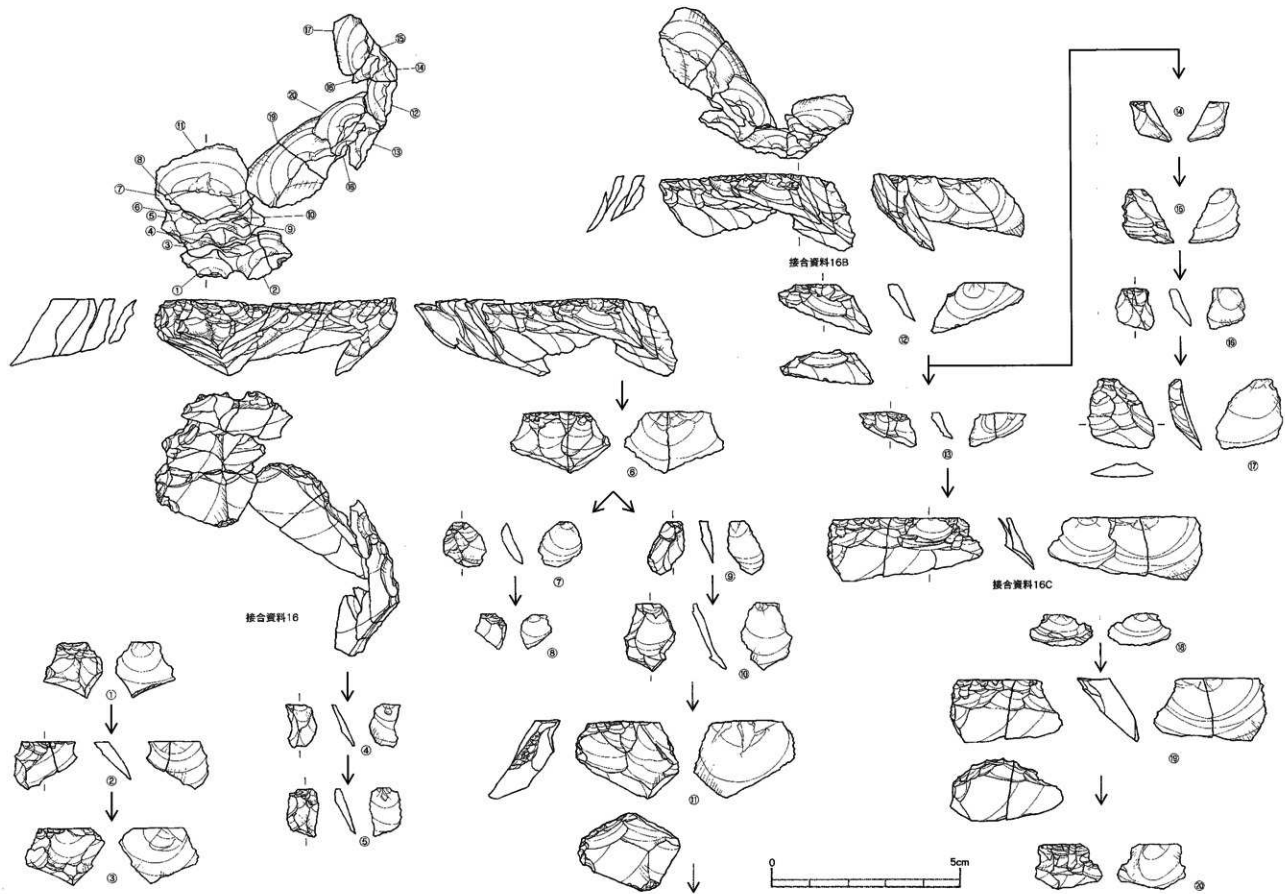
標本No.	図No.	発祥No.	取上No.	層位	期	文化層	遺物	アソビ	分類L1	分類L2	石質	石種	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	接合No.	材料	用途	備考	
55	接合資料13	①	6431	17	-	L01	N06	H3	使用板割片	-	SH	-	3.47	1.77	0.62	2.88	SSG30	-	-	-	-
55	接合資料13	②	6490	16	-	L01	N06	H3	チップ	-	SH	-	1.78	0.38	0.85	0.34	SSG30	-	-	-	-
55	接合資料13	③	6126	17	-	L01	N05	H4	割片	-	SH	-	2.23	2.05	0.50	2.22	SSG30	-	-	-	-
55	接合資料14	①	6354	16	-	L01	N06	H4	チップ	-	SH	-	1.19	0.78	0.20	0.14	SSG33	-	-	-	-
55	接合資料14	②	6343	17	-	L01	N06	H3	割片	-	SH	-	2.68	1.75	0.61	2.17	SSG33	-	-	-	-
55	接合資料15	①	6123	17	-	L01	N06	H4	割片	-	SH	-	2.00	1.00	0.40	0.80	SSG31	-	-	-	-
55	接合資料15	②	6330	17	-	L01	N05	H4	割片	-	SH	-	1.54	1.58	1.43	0.95	SSG31	-	-	-	-



第56図 第1文化層接合資料No.16出土状況



第57図 第1文化層接合資料No.17出土状況



第58圖 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (7)

正面側から右刃を削ぐように①を剥出し、欠落する小型の剥片を剥離後、いずれも扇型を呈する剥片②・③を連続して剥出する。

接合資料 22 白色と青灰色に赤茶色の縞が入る部分とがあるチャート製で、ナイフ形石器とプランティングチップが接合する資料である。①は切断された剥片のフェザアエンドを刃部とし、図下辺部分に急傾斜剥離を加えたナイフ形石器である。図左側面が切断面であり切断後、調整は加えられず、切断面が残置される。

接合資料 23 青灰色と赤茶色がまだらに入り混じったチャート製で、砕片2点と剥片が接合する。

台形石器 51は青灰色に赤茶色の縞が入るチャート製の幅広の剥片を素材とする台形石器で、打面及び末端辺に急傾斜の剥離調整を加え、打面と直行する一方の側面を刃部とする。図上辺には使用によるとみられる折れや小剥離がある。52青灰色に赤茶色の縞が入るチャート製で、51と同様、素材剥片の打面及び末端辺に急傾斜剥離を施す台形石器である。

剥片・砕片類 53・54は硬質頁岩の剥片、55～58はチャート製の剥片及び砕片で、このうち55～58は青灰色に赤茶色の縞の入るチャート製で、同一母岩の可能性がある。

(5) 第4遺物集中部出土石器

接合資料 24 緑灰色の珪質頁岩製で、剥片、石核、剥片の剥離時、もしくはその後生じた節理等による割れによる砕片などを含め計20点が接合する。節理面から24Aと24Bに分離するが、24Aの正面側の剥片剥離と②→③→④と進行する剥離と、A・Bの分相時の前後関係は不明である。①は石核で、石核に残る剥離面から、当初90°単

位の打面転移を繰り返しながら、比較的大形の剥片を剥離した後、打面を固定し、上記②→④の剥離を行なっている。③は、節理の影響もあり不整形な縦長剥片で、素材剥片背面側から左側面に連続した調整剥離がみられるが、二次調整によるものか、素材剥片の剥出に先行する石核に対する調整が明らかでない。接合資料24Bは24Aとの分相後に剥片剥離がおこなわれる。まず欠落する大形の剥片が接合図24Bの上面を打面として剥出され、次いで時計回りに約90°打面を移動させ⑤が剥離される。⑤は節理に沿って4点に分離している。その後、再度打面を上面に戻し、⑥→⑦に打面を移動し⑧が剥出される。次いで、再度打面を約90°移動し、接合資料24B'が剥出されるが、節理もしくは剥片に再度加撃が加えられた結果、⑨・⑩・⑪に分離する。24Bの残骸部分は残存しない。

接合資料 25 青灰色で黒色の縞があり節理の多く入る珪質頁岩製で、底面に自然面を有する。図上面の節理面を打面とし、①が剥出されるが、②はこの剥離の際に、節理面に沿って剥落したものである可能性がある。次いで、③→④→⑤の順に剥離が進行するが、残核は残らない。第3遺物集中部の接合資料21などと石材の特徴が類似する。

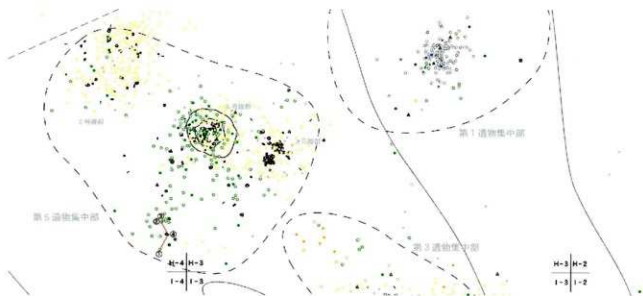
接合資料 26 灰色で黒色の縞があり節理の多く入る珪質頁岩製で、上記の接合資料25ほかと類似する。平坦な節理面を打面として、①→②→③の順で、加撃点を移動させながら剥離を進行させる。

接合資料 27 黒灰色のやや青みを帯びる珪質頁岩製で剥片2点が接合する。

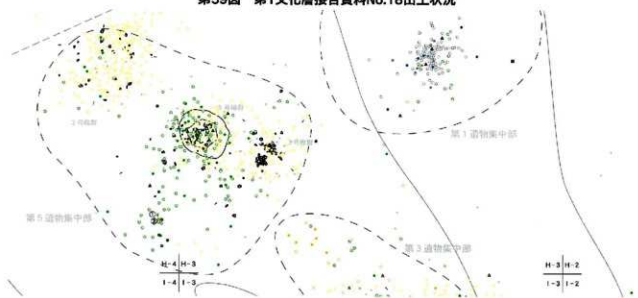
剥片類 59～61は剥片類である。61は青灰色で赤茶色の縞が入るチャート製の剥片、他はいずれも頁岩製の剥片である。

第23表 第1文化層石器計測表(8)

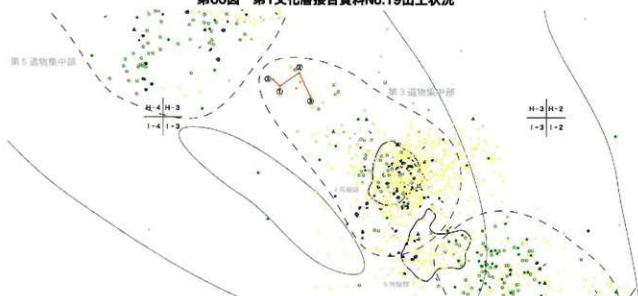
標本No.	図号	材質	形状	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	測定者	検出地	出土層	出土位置	出土状況	備考							
58	接合資料16	①	6512	17	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.49	1.57	0.39	0.65	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	②	6144	16	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.29	1.61	0.27	0.92	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	③	6006	16	-	-	1.01	N04	H3	剥片	SH	1.51	2.11	0.65	1.18	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	④	6401	17	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.15	0.81	0.17	0.16	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑤	6302	16	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.28	0.88	0.22	0.28	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑥	5994	16	-	-	1.01	N04	H3	剥片	SH	1.67	2.61	0.49	2.21	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑦	6277	16	-	-	1.01	N05	H3	剥片	SH	1.67	2.61	0.49	2.21	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑧	6402	17	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.19	1.13	0.78	0.34	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑨	6350	16	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	0.94	0.82	0.19	0.13	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑩	6145	16	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	1.50	0.94	0.26	0.33	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑪	6149	17	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.81	1.28	0.33	0.32	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑫	6322	17	-	-	1.01	N06	H4	物断線	SH	2.04	2.71	0.89	5.19	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑬	6142	17	-	-	1.01	N06	H4	物断線	SH	2.34	1.91	0.82	SS629	-	-	-	-	
58	接合資料16	⑭	6319	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.92	1.50	0.36	0.29	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑮	6572	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	1.09	1.09	0.39	0.21	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑯	6190	16	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.46	1.35	0.36	0.19	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑰	6256	16	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.09	0.98	0.27	0.30	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑱	6338	16	-	-	1.01	N05	H3	物断線	SH	1.81	1.28	0.33	0.29	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑲	6322	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.85	1.69	0.30	0.25	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	⑳	6419	17	-	-	1.01	N05	H3	剥片	SH	1.68	2.85	0.76	4.32	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	㉑	6460	16	-	-	1.01	N06	H4	剥片	SH	1.68	2.85	0.76	4.32	SS629	-	-	-	-
58	接合資料16	㉒	6168	17	-	-	1.01	N05	H3	チャップ	SH	1.19	1.81	0.40	0.98	SS629	-	-	-	-
62	接合資料17	①	6404	17	-	-	1.01	N05	H3	剥片	SH	1.90	2.25	1.25	3.92	SS629	-	-	-	-
62	接合資料17	②	6139	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	1.30	1.42	0.95	0.92	SS629	-	-	-	-
62	接合資料17	③	6114	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.80	0.75	0.65	0.16	SS629	-	-	-	-
62	接合資料17	④	6322	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.85	1.05	0.40	0.19	SS629	-	-	-	-
62	接合資料17	⑤	6322	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.60	1.70	0.80	0.33	SS629	-	-	-	-
62	接合資料17	⑥	6113	17	-	-	1.01	N06	H4	剥片	SH	0.85	0.60	0.80	1.11	SS629	-	-	-	-
62	接合資料19	①	6324	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.85	1.63	0.18	0.24	SS629	-	-	-	-
62	接合資料19	②	6363	17	-	-	1.01	N06	H4	チャップ	SH	0.85	1.70	0.16	0.36	SS629	-	-	-	-



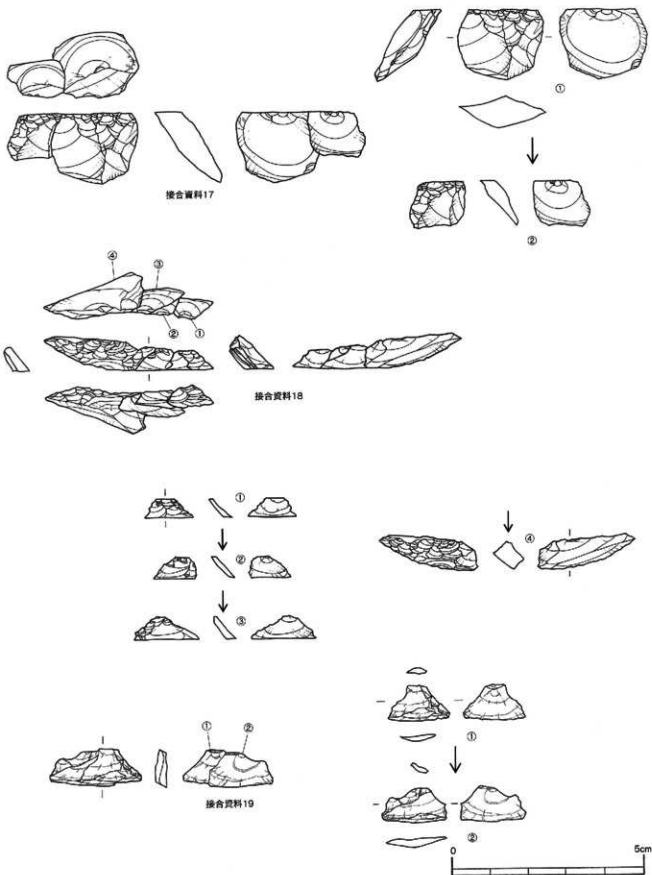
第59圖 第1文化層接合資料No.18出土狀況



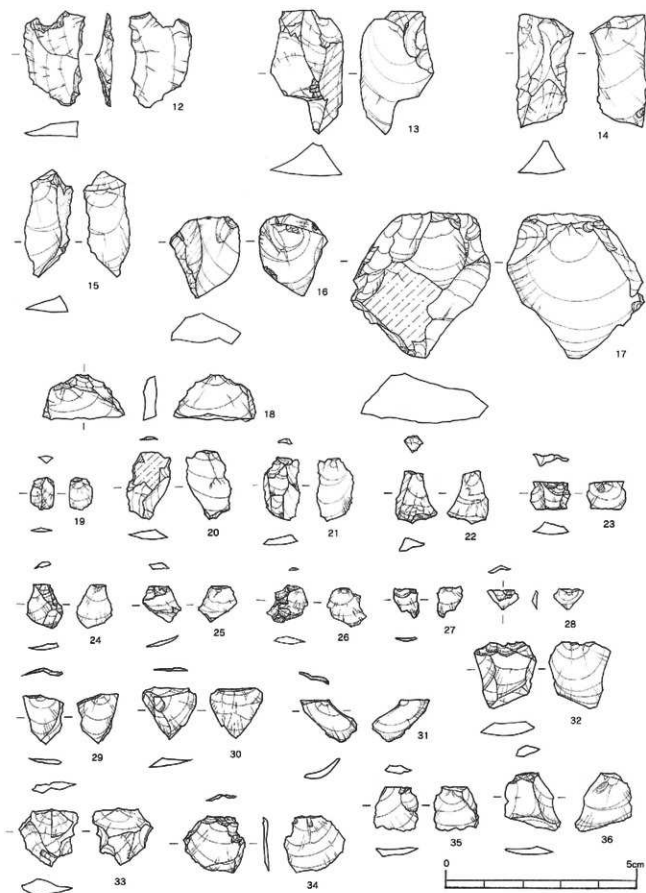
第60圖 第1文化層接合資料No.19出土狀況



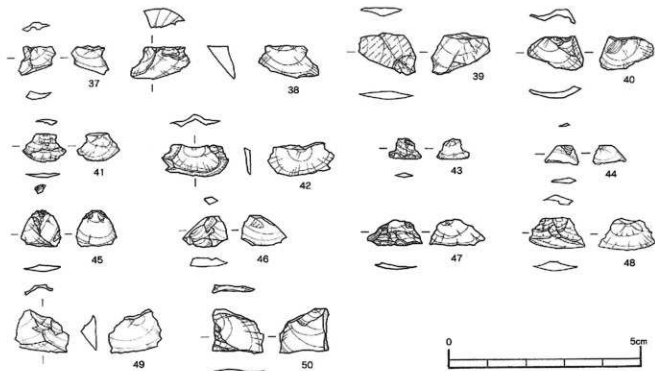
第61圖 第1文化層接合資料No.20出土狀況



第62圖 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (8)



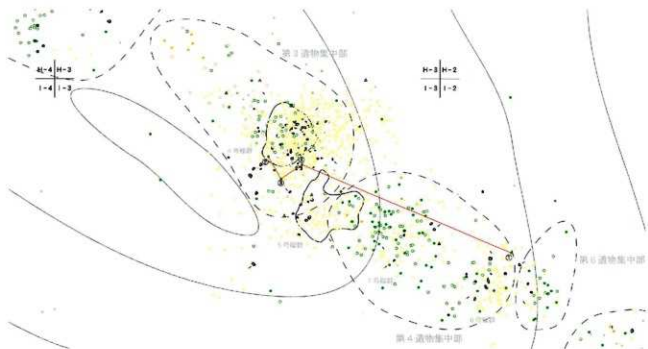
第63圖 第1文化層第5遺物集中部出土石器 (9)



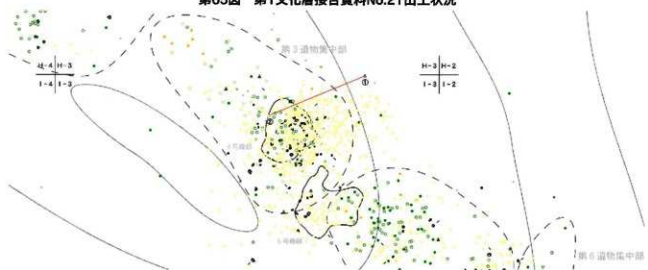
第64図 第1文化層第5遺物集中部出土石器(10)

第24表 第1文化層石器計測表(9)

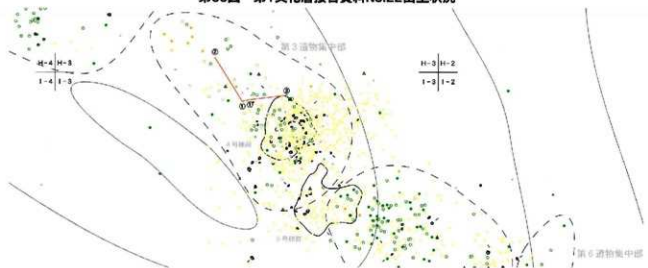
群別No.	図No.	群別No.	東上No.	群別No.	群別No.	用途	用途	用途	分類No.	分類No.	石種1	石種2	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	群別No.	用途	用途	用途	用途	用途
63	12	-	6459	16	-	L01	N05	H-3	ナイフ	-	CH	-	2.56	2.00	0.69	3.11	-	-	-	-	-	-
63	13	-	6107	16	-	L01	N05	H-4	削片	-	SH	-	3.30	1.93	0.86	4.00	-	-	-	-	-	-
63	14	-	6131	16	-	L01	N04	H-4	削片	-	SH	-	2.96	1.52	0.99	3.55	-	-	-	-	-	-
63	15	-	6516	17	-	L01	N05	H-4	削片	-	SH	-	2.87	1.23	0.62	1.68	-	-	-	-	-	-
63	16	-	6456	17	-	L01	N05	H-4	削片	-	SH	-	2.15	1.83	0.80	2.42	-	-	-	-	-	-
63	17	-	6368	17	-	L01	N04	H-3	削片	-	SH	-	3.81	3.80	1.14	14.48	-	-	-	-	-	-
63	18	-	6526	17	-	L01	N05	H-3	削片	-	SH	-	1.21	2.16	0.62	1.17	-	-	-	-	-	-
63	19	-	6414	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.86	0.62	0.15	0.07	-	-	-	-	-	-
63	20	-	6294	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.78	1.17	0.30	0.44	-	-	-	-	-	-
63	21	-	6145	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.67	0.93	0.13	0.40	-	-	-	-	-	-
63	22	-	6435	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.38	1.05	0.48	0.80	-	-	-	-	-	-
63	23	-	6404	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.72	1.01	0.32	0.30	-	-	-	-	-	-
63	24	-	6342	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.15	0.90	0.16	0.18	-	-	-	-	-	-
63	25	-	6130	16	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.97	0.99	0.21	0.16	-	-	-	-	-	-
63	26	-	6408	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.00	1.08	0.16	0.11	-	-	-	-	-	-
63	27	-	6153	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.83	0.66	0.17	0.04	-	-	-	-	-	-
63	28	-	6351	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.51	0.81	0.10	0.03	-	-	-	-	-	-
63	29	-	6430	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.28	1.05	0.28	0.16	-	-	-	-	-	-
63	30	-	6286	17	-	L01	N05	H-4	チップ	-	SH	-	1.35	1.28	0.20	0.33	-	-	-	-	-	-
63	31	-	6285	16	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.13	1.49	0.33	0.26	-	-	-	-	-	-
63	32	-	6274	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.74	1.61	0.23	0.36	-	-	-	-	-	-
63	33	-	6164	17	-	L01	N05	H-3	削片	-	CH	-	1.50	1.54	0.46	0.93	-	-	-	-	-	-
63	34	-	6166	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.50	1.61	0.22	0.34	-	-	-	-	-	-
63	35	-	6152	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.18	1.14	0.22	0.36	-	-	-	-	-	-
63	36	-	6260	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.51	1.46	0.32	0.36	-	-	-	-	-	-
64	37	-	6503	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.73	0.95	0.22	0.11	-	-	-	-	-	-
64	38	-	6361	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.86	1.57	0.40	0.45	-	-	-	-	-	-
64	39	-	6432	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.12	1.50	0.30	0.40	-	-	-	-	-	-
64	40	-	6303	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.91	1.43	0.35	0.28	-	-	-	-	-	-
64	41	-	6322	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.78	1.12	0.18	0.09	-	-	-	-	-	-
64	42	-	6117	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.86	1.75	0.20	0.30	-	-	-	-	-	-
64	43	-	6323	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.52	0.84	0.17	0.05	-	-	-	-	-	-
64	44	-	6109	16	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.50	0.87	0.12	0.04	-	-	-	-	-	-
64	45	-	6316	16	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.96	1.03	0.27	0.17	-	-	-	-	-	-
64	46	-	6496	17	-	L01	N05	H-3	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.81	1.16	0.38	0.19	-	-	-	-	-	-
64	47	-	6110	16	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.68	1.46	0.14	0.12	-	-	-	-	-	-
64	48	-	6325	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	0.72	1.48	0.25	0.26	-	-	-	-	-	-
64	49	-	6338	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.16	1.27	0.41	0.18	-	-	-	-	-	-
64	50	-	6517	17	-	L01	N05	H-4	チップ	フクロノコナギ	SH	-	1.18	1.30	0.28	0.50	-	-	-	-	-	-



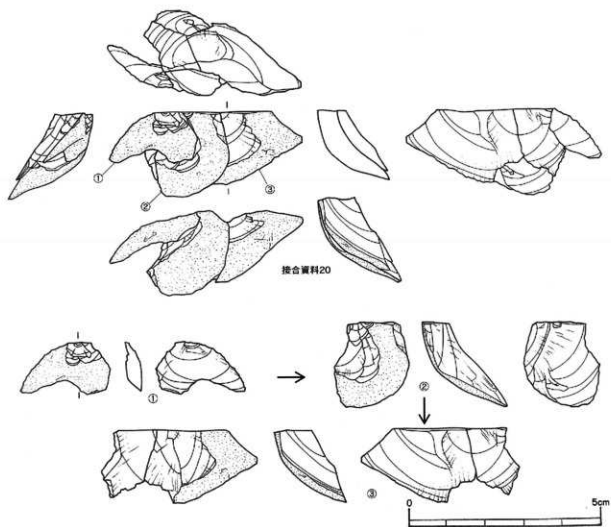
第65圖 第1文化層接合資料No.21出土狀況



第66圖 第1文化層接合資料No.22出土狀況



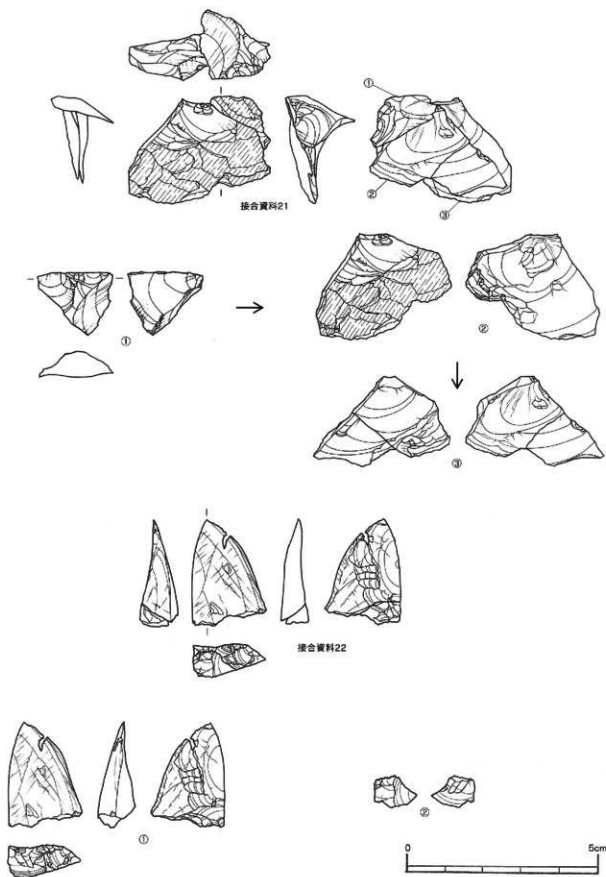
第67圖 第1文化層接合資料No.23出土狀況



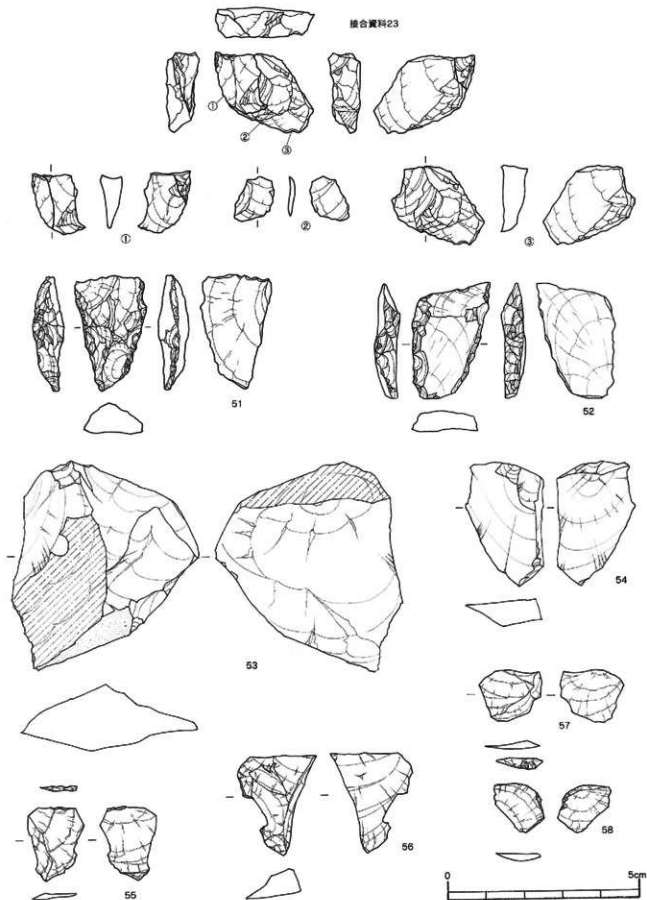
第68図 第1文化層第3遺物集中部出土石器 (1)

第25表 第1文化層石器計測表 (10)

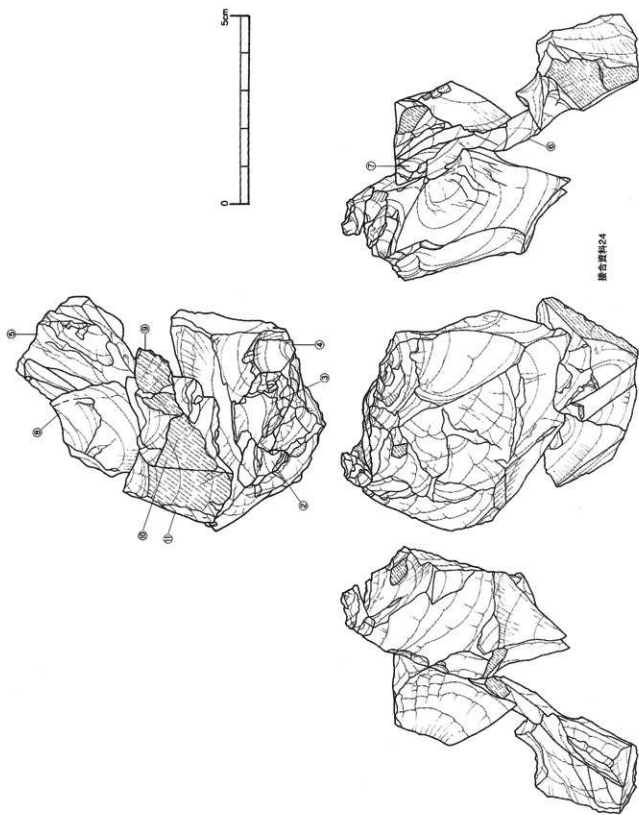
原図No.	図No.	接合部	取込部	厚	長さ	幅	重量	分類L1	分類L2	石種L1	石種L2	長さcm	幅cm	厚cm	重量g	接合No.	発掘	層	位置	備考	
68	接合資料①	①	6105	17	-	LEI	-	H13	剥片	-	SA	-	1.85	2.35	0.40	6.83	SSG06	-	-	-	-
68	接合資料②	②	6174	17	-	LEI	NO3	H13	剥片	-	SA	-	2.25	4.35	2.20	4.55	SSG06	-	-	-	-
68	接合資料③	③	6100	17	-	LEI	-	H13	剥片	-	SA	-	1.95	4.10	1.85	5.37	SSG06	-	-	-	-
68	接合資料④	④	6172	17	-	LEI	NO3	H13	剥片	-	SA	-	1.95	4.10	1.85	5.37	SSG06	-	-	-	-
69	接合資料①	①	6048	17	-	LEI	NO4	I2	剥片	-	SH	-	1.65	1.90	0.70	1.50	SSG24	-	-	-	-
69	接合資料②	②	6065	16	-	LEI	NO3	I3	剥片	-	SH	-	2.80	3.50	0.55	4.43	SSG24	-	-	-	-
69	接合資料③	③	6066	17	-	LEI	NO3	I3	剥片	-	SH	-	2.40	3.60	0.42	0.32	SSG24	-	-	-	-
69	接合資料④	④	6293	17	-	LEI	NO3	I3	剥片	-	SH	-	2.40	2.60	0.42	1.35	SSG24	-	-	-	-
69	接合資料⑤	⑤	6502	17	-	LEI	-	I3	ナワ石	-	CH	-	2.75	1.95	0.85	3.57	SSG20	-	-	-	-
69	接合資料⑥	⑥	6245	17	-	LEI	NO3	I3	チップ	フランクチップ	CH	-	0.80	1.10	0.38	0.25	SSG20	-	-	-	-
70	51	-	6071	16	-	LEI	NO3	I3	台形石器	-	CH	-	3.10	1.85	0.80	3.35	-	-	-	-	-
70	52	-	6073	17	-	LEI	NO3	I3	台形石器	-	CH	-	3.10	2.05	0.65	4.14	-	-	-	-	-
70	53	-	6055	17	-	LEI	NO3	I3	剥片	-	CH	-	3.55	4.86	1.86	39.87	-	-	-	-	-
70	54	-	6052	17	-	LEI	NO3	I2	剥片	-	SH	-	3.29	2.06	0.70	4.82	-	-	-	-	-
70	55	-	6540	17	-	LEI	NO3	H13	剥片	-	CH	-	1.94	1.50	0.28	0.66	-	-	-	-	-
70	56	-	6186	17	-	LEI	NO3	I3	剥片	-	CH	-	2.68	2.14	0.78	2.68	-	-	-	-	-
70	57	-	6300	17	-	LEI	NO3	I3	チップ	-	CH	-	1.40	1.61	0.28	0.59	-	-	-	-	-
70	58	-	6242	17	-	LEI	NO3	I3	チップ	-	CH	-	1.26	1.36	0.33	0.41	-	-	-	-	-
70	接合資料①	①	6183	17	-	LEI	NO3	I3	チップ	-	CH	-	1.60	1.85	0.55	0.68	SSG21	-	-	-	-
70	接合資料②	②	6438	17	-	LEI	NO3	I3	チップ	-	CH	-	1.60	1.85	0.55	0.67	SSG21	-	-	-	-
70	接合資料③	③	6097	17	-	LEI	-	H13	チップ	-	CH	-	1.15	1.09	0.15	0.19	SSG21	-	-	-	-
70	接合資料④	④	6082	16	-	LEI	NO3	I3	チップ	-	CH	-	2.65	2.40	0.70	3.55	SSG21	-	-	-	-



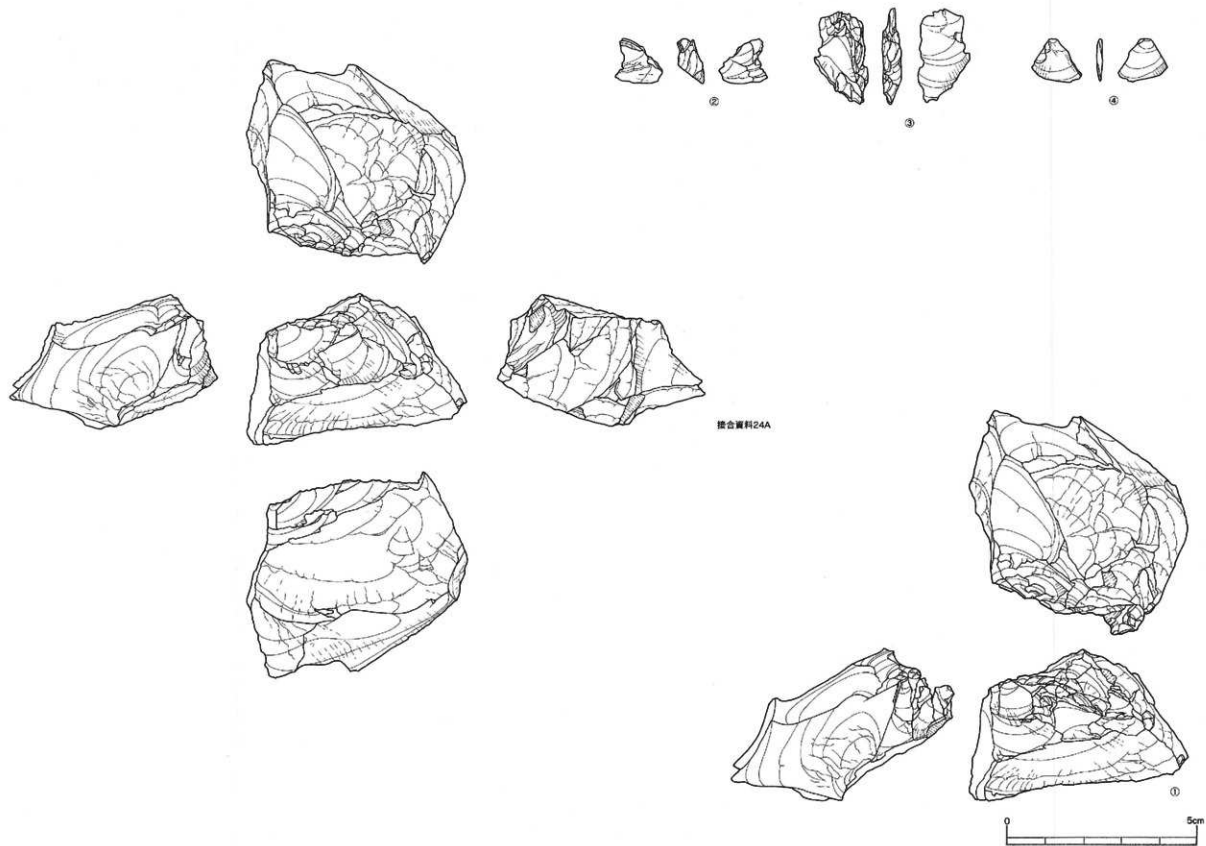
第69圖 第1文化層第3遺物集中部出土石器 (2)



第70図 第1文化層第3遺物集中部出土石器 (3)



第71图 第1文化层第4组铜器中部出土石器(1)



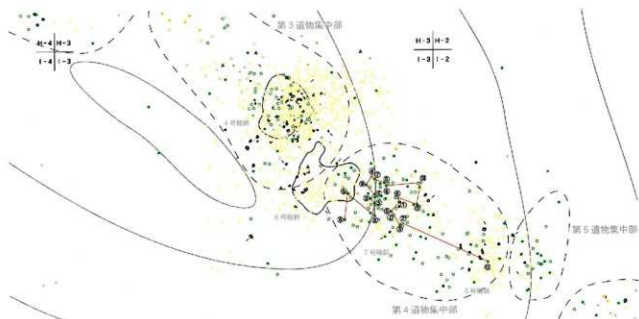
第72図 第1文化層第4遺物集中部出土石器 (2)



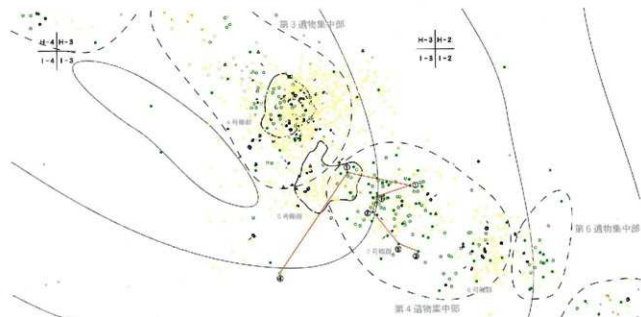
接合資料24B

接合資料24B'

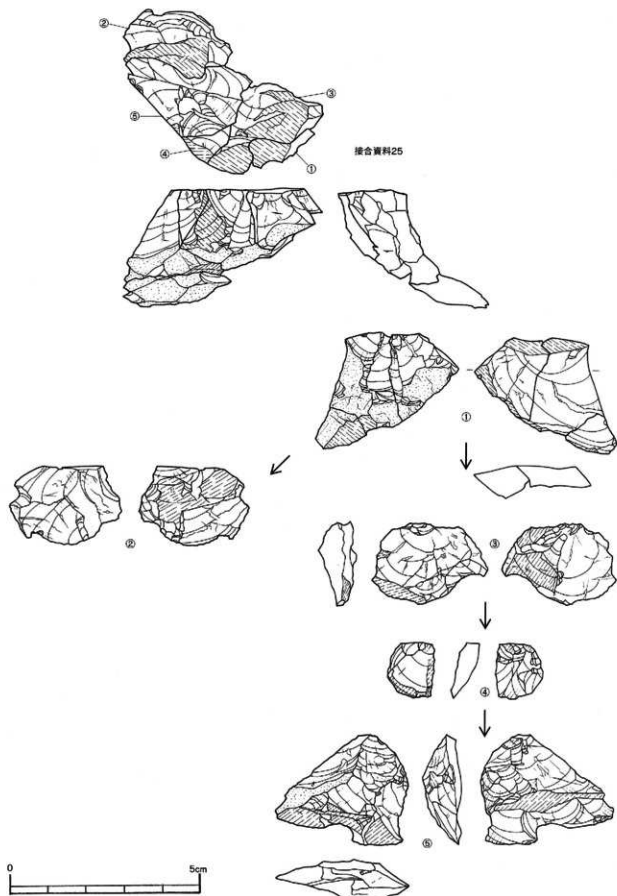
第73図 第1文化層第4遺物集中部出土石器 (3)



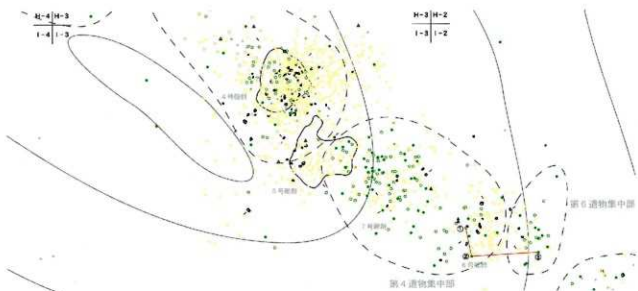
第74圖 第1文化層接合資料No.24出土狀況



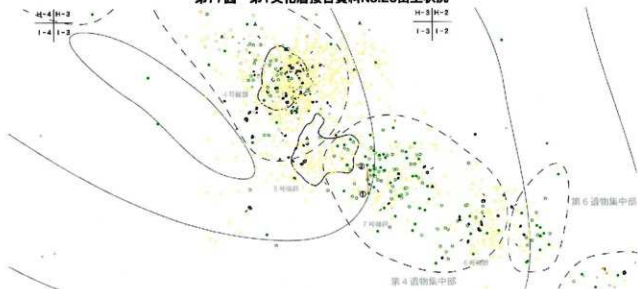
第75圖 第1文化層接合資料No.25出土狀況



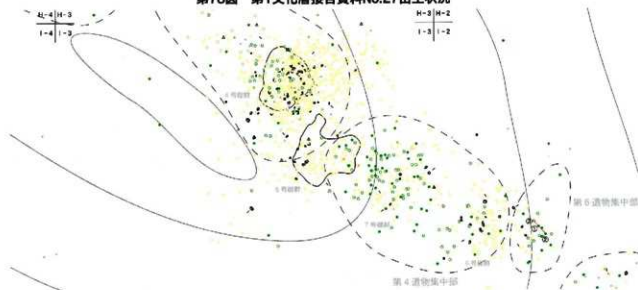
第76图 第1文化層第4遺物集中部出土石器(4)



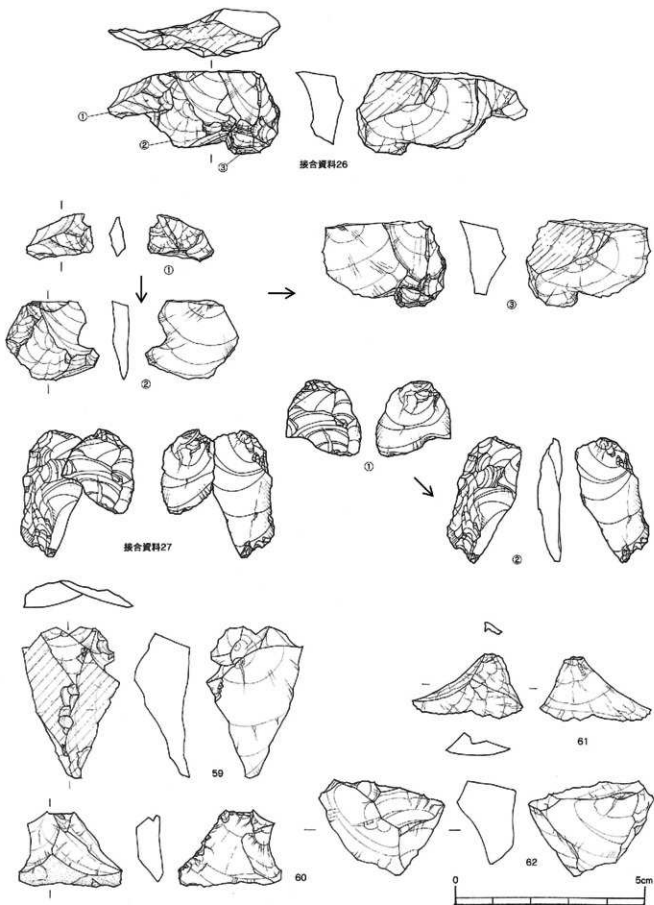
第77圖 第1文化層接合資料No.26出土狀況



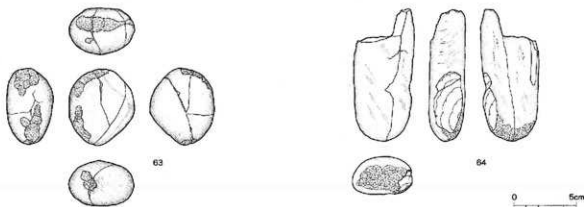
第78圖 第1文化層接合資料No.27出土狀況



第79圖 第1文化層接合資料No.28出土狀況



第80圖 第1文化層第4遺物集中部出土石器(5)



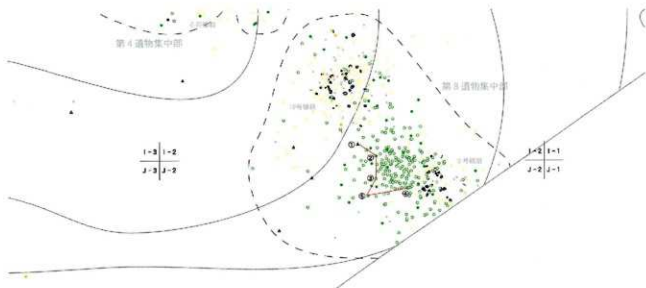
第81図 第1文化層第4遺物集中部出土石器 (6)

磨石・敲石類 63は砂岩製の敲石で、上下両端部を中心にその周辺に及ぶ敲打痕がみられ、端部からの節理に沿った剥離により、3つに割れている。石器製作に伴うハンマーストーンの可能性が高い。

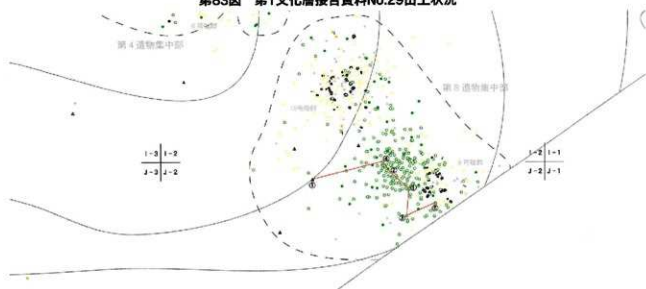
棒状敲石類 横断面が楕円形を呈し、丸みのある端部をもつ棒状の砂岩製で、上部が折れている。端部とその周辺に及ぶ敲打痕がみられるほか、剥離が生じている。63同様、石器製作に伴う資料である可能性が高い。

第26表 第1文化層石器計測表 (11)

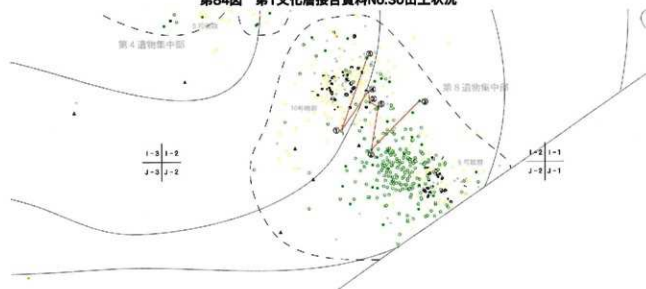
発掘No.	図No.	発掘層	図No.	形状	用途	用途	分類1	分類2	石種1	石種2	長さmm	幅mm	厚mm	重量g	発掘No.	発掘層	用途	用途	分類1	分類2	
72	接合資料24	①	6213	17	-	LR	N04	13	石核	-	SH	-	5.51	5.88	3.52	194.13	SSG25	-	-	-	-
72	接合資料24	②	6010	17	-	LR	N04	13	ナップ	-	SH	-	1.21	1.28	0.71	0.72	SSG25	-	-	-	-
72	接合資料24	③	6211	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.30	1.42	0.50	1.40	SSG25	-	-	-	-
72	接合資料24	④	5983	16	-	LR	N04	13	ナップ	-	SH	-	1.19	1.34	0.18	0.21	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑤	5975	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	1.20	1.00	0.19	0.35	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑥	6012	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.52	3.45	1.74	18.35	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑦	6215	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.52	3.45	1.74	18.35	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑧	6228	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.52	3.45	1.74	18.35	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑨	5986	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	4.75	3.25	0.74	5.33	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑩	6017	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	4.75	3.25	0.74	5.33	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑪	6224	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	4.75	3.25	0.74	5.33	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑫	6267	17	-	LR	N04	13	ナップ	-	SH	-	0.79	0.98	0.42	0.33	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑬	6510	17	-	LR	N04	13	調片	-	CH	-	4.75	3.25	0.74	5.33	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑭	5984	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	1.66	1.30	0.60	1.13	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑮	6011	16	-	LR	N04	13	ナップ	-	SH	-	1.66	1.30	0.60	1.13	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑯	6208	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.52	3.06	0.91	5.71	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑰	6219	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.46	1.40	1.48	3.30	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑱	6554	17	-	LR	-	13	調片	-	SH	-	2.46	1.40	1.48	3.30	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑲	5995	16	-	LR	N04	13	ナップ	-	SH	-	1.31	1.69	1.52	1.74	SSG25	-	-	-	-
73	接合資料24	⑳	6047	17	-	LR	N04	12	調片	-	SH	-	2.09	3.49	2.22	15.82	SSG25	-	-	-	-
76	接合資料25	①	5978	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.16	3.80	0.85	6.24	SSG23	-	-	-	-
76	接合資料25	②	6000	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.16	3.80	0.85	6.24	SSG23	-	-	-	-
76	接合資料25	③	6220	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.16	3.80	0.85	6.51	SSG23	-	-	-	-
76	接合資料25	④	6030	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.16	2.95	0.57	3.10	SSG23	-	-	-	-
76	接合資料25	⑤	6030	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	1.26	3.05	1.00	4.17	SSG23	-	-	-	-
76	接合資料25	⑥	6450	16	-	LR	-	13	ナップ	-	SH	-	1.43	1.25	0.70	1.05	SSG23	-	-	-	-
76	接合資料25	⑦	6029	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.96	3.50	1.00	6.77	SSG23	-	-	-	-
80	59	-	5979	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.95	2.54	1.65	16.91	-	-	-	-	-
80	60	-	5977	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.05	2.70	0.70	3.27	-	-	-	-	-
80	61	-	5989	17	-	LR	N04	13	調片	-	CH	-	1.70	2.95	0.52	1.42	-	-	-	-	-
80	62	-	5982	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	2.55	3.30	1.41	9.71	-	-	-	-	-
80	接合資料26	①	6265	17	-	LR	N04	12	ナップ	-	SH	-	1.21	1.72	0.63	0.69	SSG35	-	-	-	-
80	接合資料26	②	6046	17	-	LR	N04	12	調片	-	SH	-	2.05	2.45	0.62	1.84	SSG35	-	-	-	-
80	接合資料26	③	6471	17	-	LR	N06	12	調片	-	SH	-	2.33	3.25	1.24	6.80	SSG35	-	-	-	-
80	接合資料27	①	6021	17	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	1.95	1.95	0.41	1.27	SSG11	-	-	-	-
80	接合資料27	②	6019	16	-	LR	N04	13	調片	-	SH	-	3.35	1.95	0.85	2.72	SSG11	-	-	-	-
81	63	-	6044	17	-	LR	N04	12	磨石/敲石	-	SA	-	6.15	6.15	3.90	136.74	BSG207	-	-	-	-
81	64	-	6252	16	-	LR	-	13	磨石/敲石	-	SA	△	10.65	4.75	3.05	169.53	-	-	-	-	-



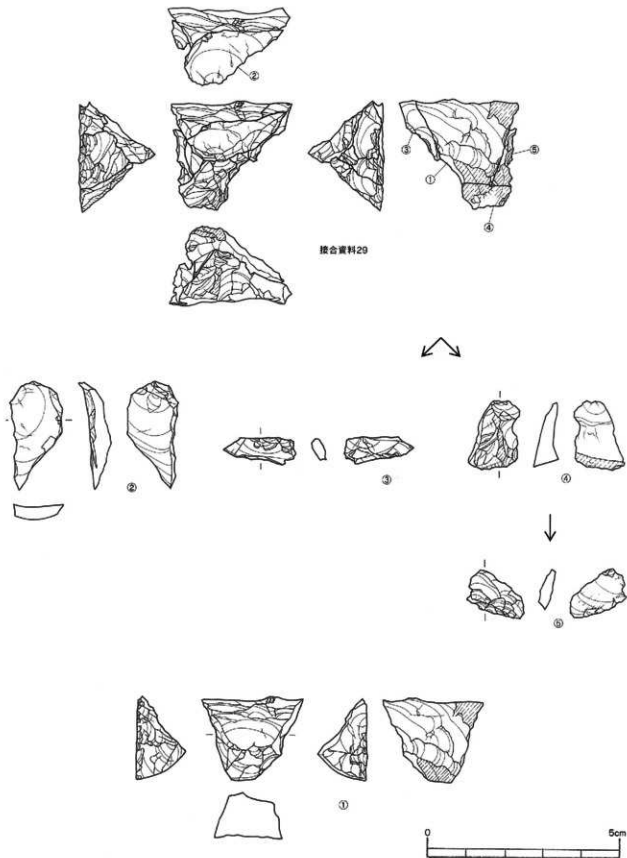
第83圖 第1文化層接合資料No.29出土狀況



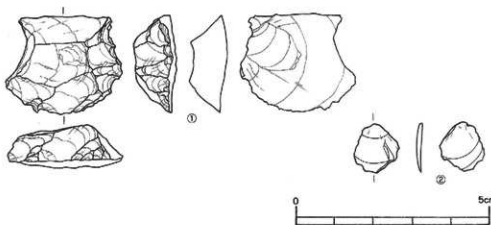
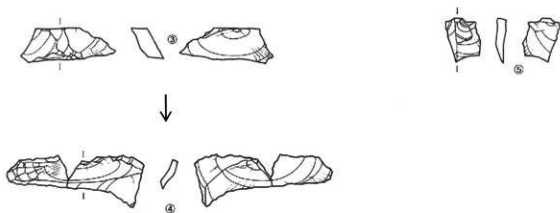
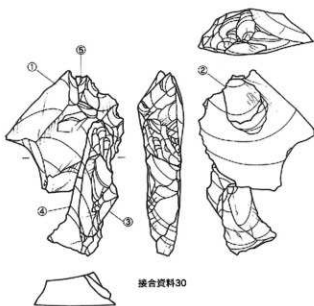
第84圖 第1文化層接合資料No.30出土狀況



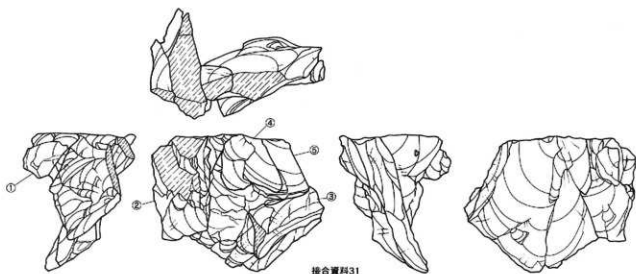
第85圖 第1文化層接合資料No.31出土狀況



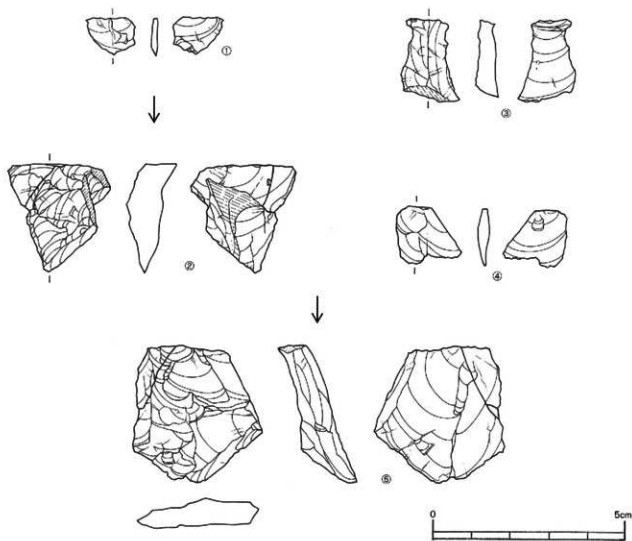
第86圖 第1文化層第8遺物集中部出土石器 (1)



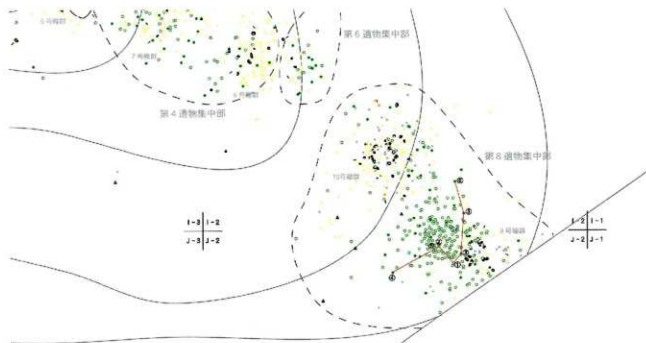
第87圖 第1文化層第8遺物集中部出土石器(2)



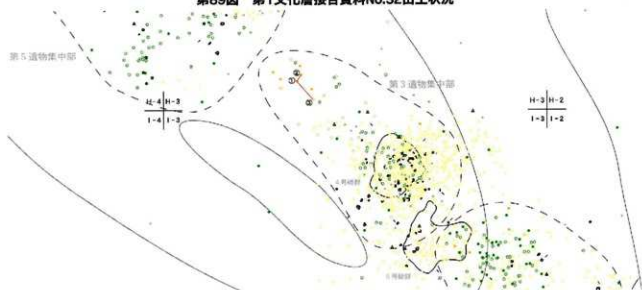
接合資料31



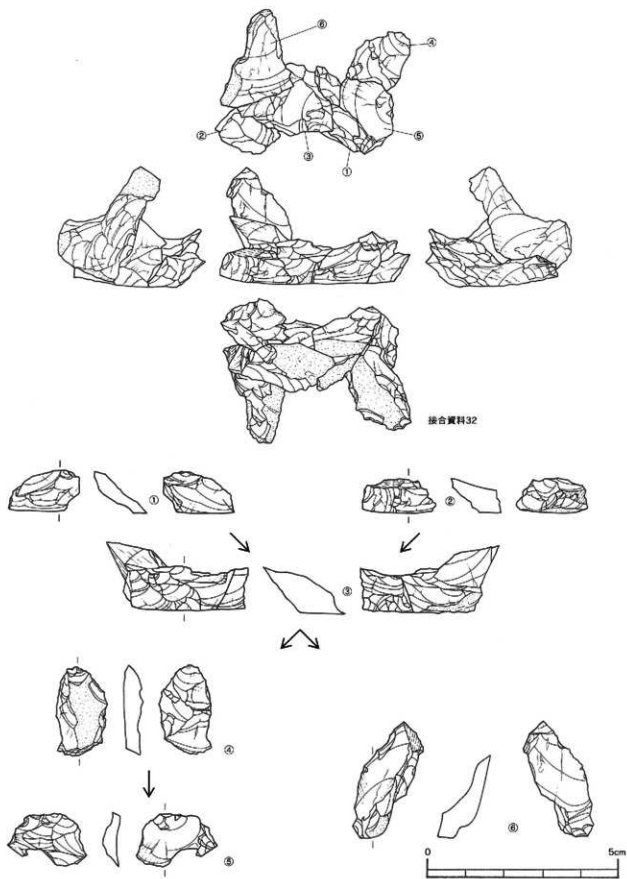
第88圖 第1文化層第8遺物集中部出土石器 (3)



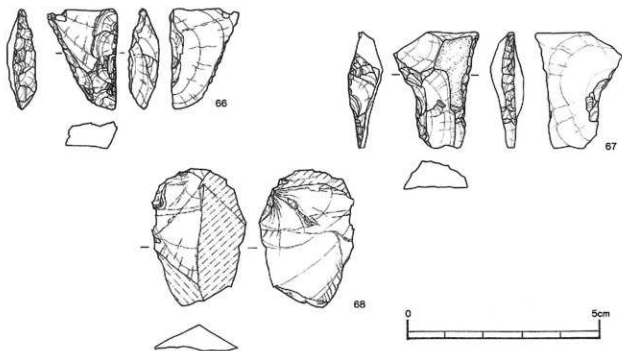
第89圖 第1文化層接合資料No.32出土狀況



第90圖 第1文化層接合資料No.33出土狀況



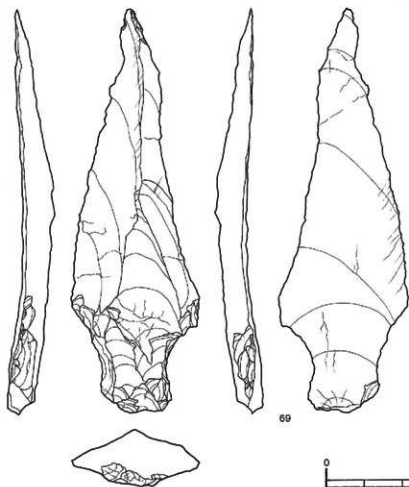
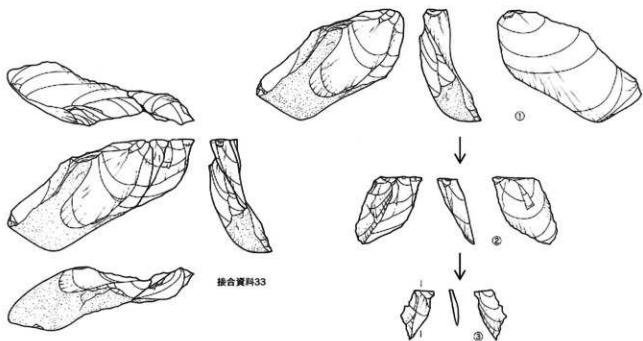
第91圖 第1文化層第8遺物集中部出土石器 (4)



第92図 第1文化層第8遺物集中部出土石器(5)

第28表 第1文化層石器計測表(13)

群団No.	図No.	組合番号	表上No.	縦長	横長	厚	重量	分類1	分類2	石種1	石種2	長さcm	幅cm	厚cm	重量g	組合No.	遺物No.	場所	年代	備考	
86	組合資料29	①	15470	16	-	L01	N08	12	台形石器	-	SH	-	2.20	2.65	1.25	5.01	SSG04	-	-	-	-
86	組合資料29	②	15434	17	-	L01	N08	12	薄片	フランクノチップ	SH	-	2.80	1.35	0.85	1.76	SSG04	-	-	-	-
86	組合資料29	③	15613	17	-	L01	N08	12	チップ	フランクノチップ	SH	-	1.20	1.85	0.40	0.62	SSG04	-	-	-	-
86	組合資料29	④	15623	17	-	L01	N08	12	チップ	フランクノチップ	SH	-	1.80	1.30	0.65	1.08	SSG04	-	-	-	-
86	組合資料29	⑤	15555	17	-	L01	N08	12	チップ	クラフスライ	SH	-	-	1.50	0.45	0.44	SSG04	-	-	-	-
87	組合資料30	①	15566	16	-	L01	N08	12	スライ	-	SH	-	2.60	3.00	1.10	9.39	SSG02	-	-	-	-
87	組合資料30	①	15636	17	-	L01	N08	12	チップ	フランクノチップ	SH	-	1.40	3.60	0.45	0.20	SSG02	-	-	-	-
87	組合資料30	②	16426	17	-	L01	N08	12	チップ	フランクノチップ	SH	-	1.30	1.20	0.18	0.15	SSG02	-	-	-	-
87	組合資料30	③	15378	16	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	0.90	2.45	0.85	1.08	SSG02	-	-	-	-
87	組合資料30	④	15563	17	-	L01	N08	12	チップ	フランクノチップ	SH	-	1.10	2.60	0.45	1.08	SSG02	-	-	-	-
87	組合資料30	⑤	15335	17	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	1.15	0.90	0.30	0.17	SSG02	-	-	-	-
88	組合資料31	①	15472	17	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	1.00	1.30	0.20	0.24	SSG01	-	-	-	-
88	組合資料31	②	15528	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	2.85	2.70	1.30	0.38	SSG01	-	-	-	-
88	組合資料31	③	15748	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	2.85	2.70	1.30	0.89	SSG01	-	-	-	-
88	組合資料31	④	15437	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	2.20	1.50	0.60	1.35	SSG01	-	-	-	-
88	組合資料31	⑤	15586	17	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	1.50	1.70	0.30	0.57	SSG01	-	-	-	-
88	組合資料31	⑥	15488	16	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	3.60	3.80	2.05	10.92	SSG01	-	-	-	-
88	組合資料31	⑦	15590	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	3.60	3.40	2.05	0.95	SSG01	-	-	-	-
91	組合資料32	①	15324	17	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	1.10	1.25	1.40	1.59	SSG03	-	-	-	-
91	組合資料32	②	15617	17	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	0.90	1.90	1.30	1.87	SSG03	-	-	-	-
91	組合資料32	③	15367	16	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	1.70	3.65	2.20	7.75	SSG03	-	-	-	-
91	組合資料32	④	15665	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	1.70	3.65	2.20	7.75	SSG03	-	-	-	-
91	組合資料32	⑤	15392	17	-	L03	N08	12	薄片	-	SH	-	2.35	1.35	0.50	1.90	SSG03	-	-	-	-
91	組合資料32	⑥	15731	17	-	L01	N08	12	チップ	-	SH	-	1.40	2.05	0.45	1.27	SSG03	-	-	-	-
91	組合資料32	⑦	15456	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	3.05	1.85	1.40	5.35	SSG03	-	-	-	-
92	66	-	15329	16	-	L01	N08	12	台形石器	-	SH	-	2.65	1.80	0.80	3.16	-	-	-	-	
92	67	-	15627	17	-	L01	N08	12	台形石器	-	SH	-	3.05	2.25	0.90	3.88	-	-	-	-	
92	68	-	15577	17	-	L01	N08	12	薄片	-	SH	-	3.56	2.45	0.87	7.15	-	-	-	-	



第93图 第1文化層桐木調査区出土石器(1)

接合資料 31 やや緑色を帯びる灰黒色の珪質頁岩製である。①は②の背面から剥落した砕片で、節理面を打面として、②の剥離を行なった際、剥落した可能性もある。③は資料を右に約90°移動させ剥離面を打面に剥離され、次いで資料の欠落する図上面の節理面からの剥離後④及び⑤が剥離される。

接合資料 32 灰黒色で節理の多い珪質頁岩製で、①及びその欠落部分と②が上面にあった打面から剥離され、同じ打面上から③及びその欠落部分が剥離されたとみられる。その後、打面を右に移動した④→⑤、後方から⑥を剥離するが、いずれも節理に係り不定形な剥片形状となっている。

台形石器 66・67 は第8遺物集中部内から出土した台形石器である。66は黒灰色の硬質頁岩製で、右辺は節理に沿った折れ面で、これを打面に背面上に平坦剥離が施されている。左辺は腹面側からの急傾斜剥離で調整される。67は白色の珪質頁岩で、右辺はやや細かい急傾斜剥離、左辺は急傾斜剥離によりやや内湾する。

(8) 遺物集中部外出土石器

接合資料 33 砂岩製の剥片・砕片の接合資料で、同じ剥離面を打面として連続して剥出される。

剥片尖頭器 69 は長さ10.8cmを測る剥片尖頭器である。黒色で白色の縞の入る珪質頁岩製で、先端部がやや曲がった形状となっている。基部両側から急傾斜剥離による挟りが入るほか、基部の面上から背面側に平坦剥離が加えられている。

台形石器 70 は51・52と共通する青灰色で赤茶色の縞の入るチャート製の台形石器で、素材剥片の打面及び末

端辺に急傾斜の剥離調整を加え、打面と直行する一方の側辺を刃部とする。

サイドスクレイパー 71 は灰色の硬質頁岩製のやや厚みがある縦長剥片を素材とし、左右側辺に平坦気味の細かい調整が加えられている。また剥片末端部分にはやや急傾斜の調整剥離が加えられ、端部が突る形状となっている。**使用痕剥片 72** は黒色の珪質頁岩製の先細りの縦長剥片で、側辺部分に使用によるとみられる細かい剥離が生じている。

剥片類 73～76 は珪質頁岩製の剥片である。

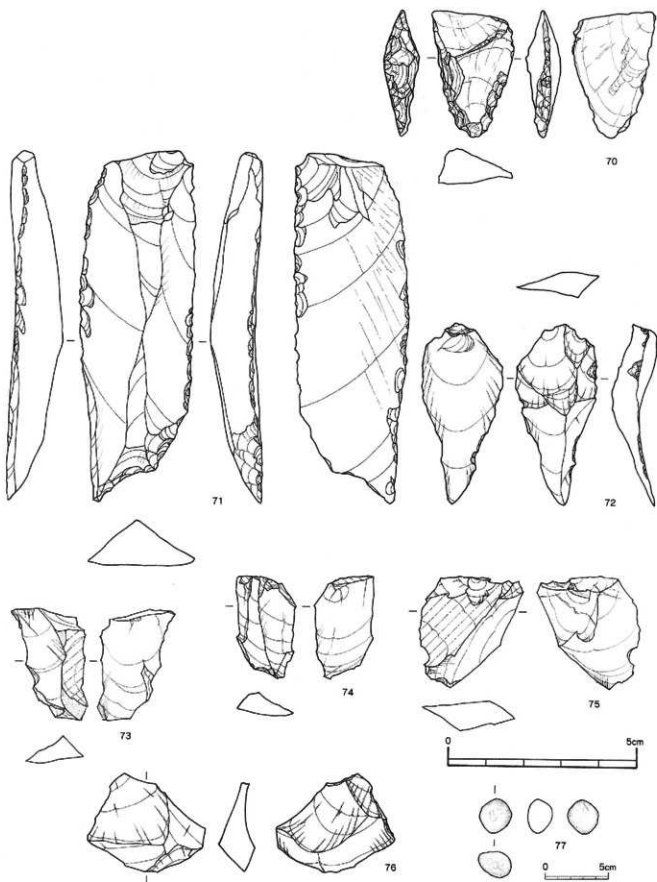
磨石・敲石類 77 は多孔質安山岩の小円礫で、表裏にやや平坦で平滑な部分を認める。

(注1) 本書での本文・挿図・計測表・図版等の遺物集中部及びその範囲は、現地調査時に設定したものである。本来、分布図等の作成後、再度検討をおこなうことを予定していたが、編集の都合上、これを行うことができなかった。今後、石材・器種分類、接合関係に基づき再検討を要する。また、平成12年度調査時の基準標高の一部に設定の誤りがあり、本報告で記載することができなかった。修正の上、別途報告したい。

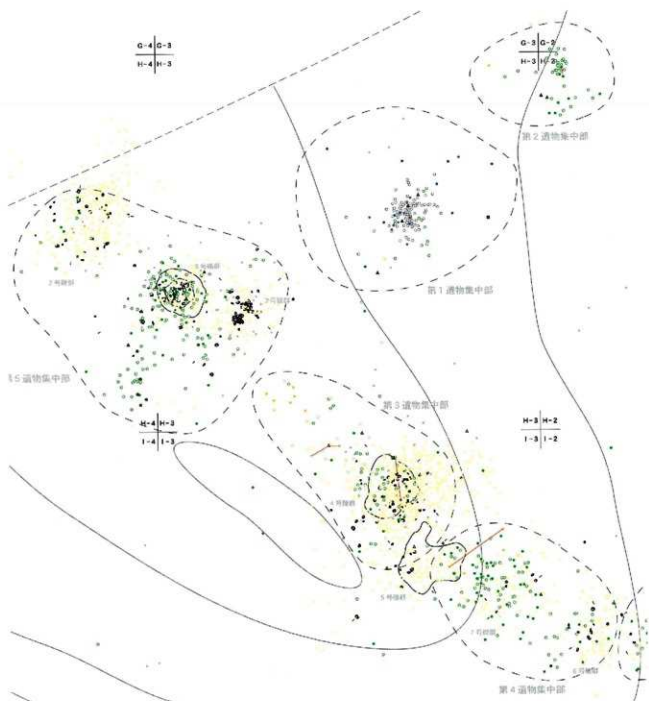
本書、第4章第1節(第1文化層)及び第4節(第4文化層)で用いた遺物集中部は、一般にブロックあるいはユニットと呼称されるものに相当する。本報告ではその平面・垂直分布に基づく再検討、遺物の器種・石材内容や構成、接合関係や相対的レベル差などに基づく、集中部相互の構造的関係、形成(成立)過程等の問題について、検討・検証が本了となった。このため、将来、上記を踏まえた検討に基づき、再設定が行われることを前提とし、調査時に遺物の平面及び垂直分布上の便宜的なまとまりで設定したものを遺物集中部とした。

第29表 第1文化層石器計測表(14)

標頭No.	図No.	測尺No.	長さNo.	幅No.	厚No.	重量	材質	分類1	分類2	年代	長さ(mm)	幅(mm)	厚(mm)	重量(g)	接合No.	器種	用途	剥離	備考
93	69	-	6385	17	-	-	L01	14	剥片尖頭器	SH	10.70	3.35	1.50	23.13	-	-	-	-	-
93	接合資料33	①	6104	17	-	-	L01	H-3	剥片	SA	2.90	3.80	1.65	7.70	SSG07	-	-	-	-
93	接合資料33	②	6103	17	-	-	L01	H-3	剥片	SH	1.30	0.85	0.25	1.02	SSG07	-	-	-	-
93	接合資料33	③	6099	17	-	-	L01	H-3	チップ	SA	1.75	1.70	1.00	0.10	SSG07	-	-	-	-
94	70	-	6238	17	-	-	L01	H-3	台形石器	CH	3.40	2.50	0.95	5.10	-	-	-	-	-
94	71	-	12650	16	-	-	L01	F1	スクレイパー 字付スクレイパー	SH	9.30	3.05	1.50	35.85	-	-	-	-	-
94	72	-	6393	17	-	-	L01	15	使用痕剥片	SH	1.81	2.30	0.73	5.50	-	-	-	-	-
94	73	-	6449	16	-	-	L01	13	剥片	SH	2.95	2.05	0.81	3.49	-	-	-	-	-
94	74	-	6433	16	-	-	L01	H-4	剥片	SH	2.60	1.50	0.93	2.41	-	-	-	-	-
94	75	-	6558	17	-	-	L01	H-3	剥片	SH	2.94	2.75	0.82	4.89	-	-	-	-	-
94	76	-	6384	17	-	-	L01	14	剥片	SH	2.61	3.18	1.00	5.34	-	-	-	-	-
94	77	-	16331	16	-	-	L01	H-5	磨石/敲石	A.X	2.70	2.60	2.10	17.33	-	-	-	-	-



第94图 第1文化層桐木・耳取調査区出土石器 (2)



第95図 第1文化層非実測接合資料出土状況

第2節 第2文化層（XIIb層 ナイフ形石器文化期2）の調査

1 遺構と遺物

XIIb層は暗黄褐色のローム質土で、平成10年度に調査を行なった桐木調査区南部ではXII層の堆積が薄く、XIIa層とXIIb層を区分せずXII層として調査している。

層の堆積が薄く、併せて10cm未満しか堆積しない部分ではXIIa層とXIIb層の分離はほぼ困難である。時期指標となる主要な器種の出土傾向からXIIb層をナイフ形石器文化期終末の第2文化層、XIIa層・XIc層を細石刃文化期に相当する第3文化層と位置づけた。

XII層は耳取調査区では概して安定した堆積を示し、最も堆積良好な部分では4層に細分することができた。この結果、当初XII層からXIII層にかけてみられる岩砕物及びバミスについては、燃島テフラとして1つのテフラが上下に拡散したものと考えていたが、テフラを含まないXIIb②層が区分される部分で、テフラが上下に分離することが判明した⁹⁾。

XII層及びXIIb層からの遺物出土は本調査対象地内では、極めて限定的であり、その出土範囲は、平成10年度に調査をおこなった桐木調査区南側のL-12区及び、耳取調査区のh・i-3～5区にはほぼ限定されており、確群ならびに炭化物集中部などの遺構は検出されていない。

遺物の出土がみられた地点でも、その出土は極めて限定的なもので、明確な集中部を形成せず、散発的に遺物が出土する状況であった。

2 遺物

第2文化層全体での出土石器の点数は46点で、ナイフ形石器1点、台形石器1点、剥片類11点、砕片類26点、磨石・敲石類1点、石核1点である。

ナイフ形石器 1は黒曜石IIA類に分類したやや透明感のある白色の不純物を多く含む黒曜石製の石器で、同一打面から連続して剥出された厚みのある剥片を素材とする。左側面に表裏両方向からの剥離調整がみられ、素材剥片の一方の側辺が鋭利な刃部を形成することから、ナイフ形石器として分類したが、上半を欠損するため、形態的特長は不明である。

台形石器 2はやや青みがかった黒色で透明感のある良質な黒曜石で、石材同定により、桑ノ木津留産黒曜石と

判定された資料である。剥片の打面部分及び斜行する一方の側縁に主に剥片の主剥離面側から急傾斜の剥離調整を施すものである。

3は層位的にはXIIa層として取り上げた台形石器であるが、3との形態的な類似性からここで一括して取り扱ったものである。石材同定の結果、竜ヶ水産と判定された資料で、白色の不純物が含まれている。調整は2と同様、打面部分及び一側縁に急傾斜剥離を施すもので、素材剥片の背面の剥離から、いずれも同一の作業面に対し異方向から剥片剥離がおこなわれた形跡が伺われる。

剥片類 4は平面形態的には2・3と類似するが、明確な調整剥離がみられないため、剥片として報告する。比較的良好でガラス質の透明感のある黒曜石で、桑ノ木津留産とみられる。剥片打面部分が折り取られたように折れ面をなし、斜行する一方の側縁の末端部分が小さく折れている。また、鋭い側辺を部分的に残す上辺部分には微細剥離が観察される。

5はやや厚みのある不定形な黒曜石剥片、6は同一打面から連続して剥出されたやや横長の剥片で剥片末端部を欠く。いずれも桑ノ木津留産とみられる比較的良好な黒曜石製である。7・8はいずれも漆黒色の良質な良質の剥片で、同一母岩から剥出された剥片である可能性が高い。使用痕等はみられない。

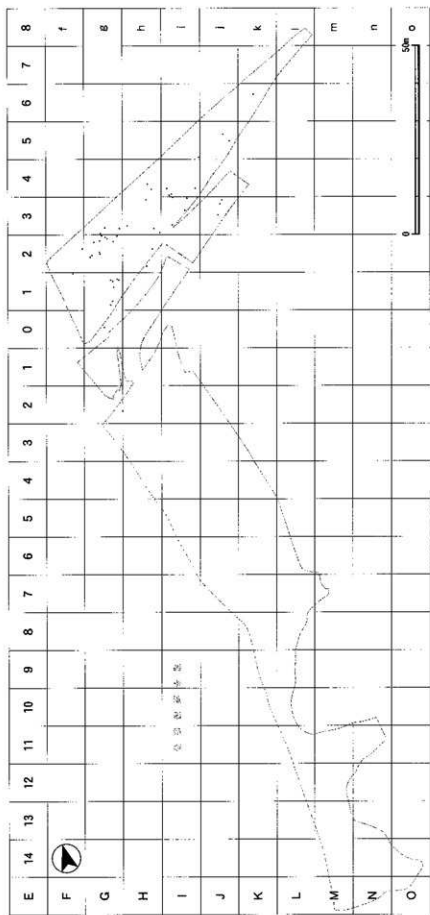
石核類 9は灰色を呈するチャート製の石核で、背面は自然面である。上面にはポジティブな古い剥離面があり、素材分割によって生じた剥離面であるとみられる。残存する作業面の剥離痕から、石核側面を上下・左右に打面を移動しながら、求心的に剥片剥離をおこなったものとみられ、左右側面にみられる剥離は、打面調整を目的とした可能性が高い。残核形態は板状を呈している。

平成10年度調査時の出土資料で、取り上げ層位にはa・b層の区分がなく、文化層区分は不明であるが、ここで掲載した。

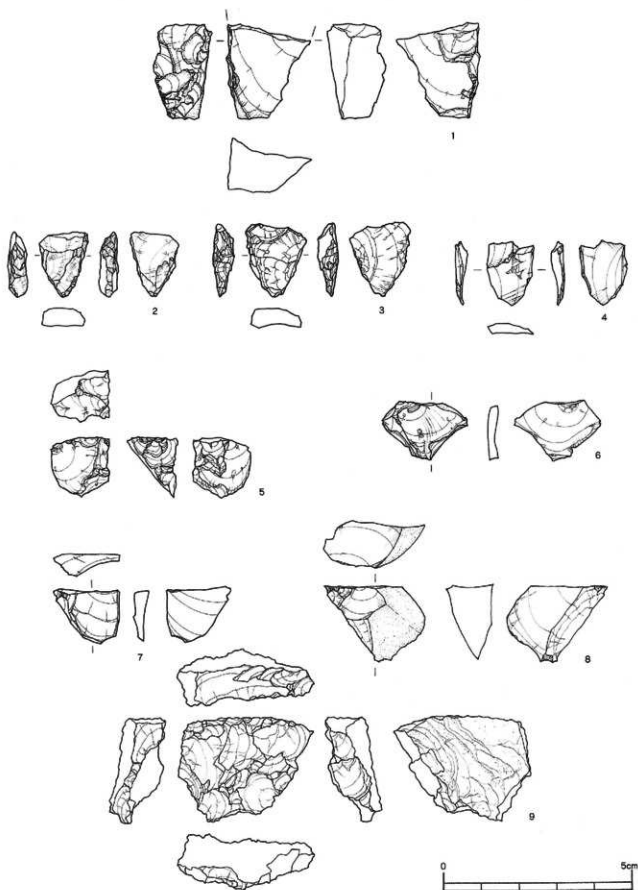
(注1) 小倉徹也氏の指導を受け、小林晋大教授に再度現地での確認と指導を頂いた。所見に基づきテフラの同定を委託した結果、未詳の火山灰である可能性が指摘されている。(付録2参照) 残念ながら遺物の出土地点と、層堆積物が良好な部分とにずれがあったため、層分位と出土遺物の層位的な関係を明らかにすることはできなかったが、今後、周辺地域での調査によって新たな成果がもたらされる可能性がある。

第30表 第2文化層石器石材組成一覧表

第2文化層	OB	OB1	OB2	OB3	OB4	OB5	OB6	OB7	OB8	AN	CC	CH	Cl	OP	RC	SA	SH	TU	ANC	GR	HP	PM	合計
1 ナイフ形石器																							1
2 台形石器																							1
3 剥片	2									1				2				2					11
4 チップ	22												1				1						26
5 磨石/敲石																		1					1
合計	24	0	1	0	0	4	0	0	0	0	3	0	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	40



第96圖 第2文化層遺物出土状況図



第98图 第2文化層出土石器

第3節 第3文化層(XIc層・XIIa層 細石刃文化期1)の調査

1 遺構と遺物

細石刃文化期に相当するが、一部ナイフ形石器終末期とみられる遺物もこの層から出土している。調査にあたっては各層をそれぞれ文化層として区分できることを想定したが、全体の出土遺物量も少なく、層面では漸移的傾向を示す。

本調査区では明確な遺物集中部の検出もなく、集中部相互の比較による分離もできなかった。このため、判断を留保し、概括的に一文化層として報告した。上位の細石刃文化期の遺物包含層であるXb・XIa層との層位の関係は、耳取調査区北東の台地趾下の谷に面する部分を中心として堆積するXI層により、XIb層を間層として上下に明確に区分される⁹⁾。

竪穴・土坑などの遺構は検出されていないが、耳取側調査区g-3区において炭化物集中部を検出している。遺物は主に桐木領調査区G-1-1-2区及び耳取側調査区f-j-0~5区にかけて出土しているが、散在的な出土にとどまったため遺物集中部の設定はおこなっていない。

2 遺構

炭化物集中部はg-3区において遺物の分布範囲に接して検出されている。粒径1~5mm程度の炭化物多数が比較的密集するもので、分布の中心部分でその密度が高く、中心から離れるに従ってその密度が希薄になる。分布範囲はやや不整形な形状で、数か所に区分される可能性もある。層位的にはXIc層上面からはじまり、XIIa層面まで続くが、次第に希薄化する。

3 遺物

出土した石器は総計80点で、台形石器1点、細石刃4点、スクレイパー2点、二次加工のある剥片1点、使用痕のある剥片3点、剥片23点、砕片40点、細石刃核3点、石核及びブランク2点、磨石・敲石類3点である。

細石刃 1~4は細石刃で、1・2が頭部・中間部、3が中間部・尾部、4は中間部である。1・2は黒曜石Ⅲ類製で、頭部調整痕があり、いずれも右側面に微細な剥離が生じている。3も黒曜石Ⅲ類製で右側面に微細な剥離がある。

4・5も黒曜石Ⅲ類製である。

使用痕剥片 5は背面に主剥離面と剥離方向が異なる剥離痕があり、細石刃の分類からは除外されるものである。上下は切断とみられかつ剥片の右側面に微細な剥離がみられる。

スクレイパー 6は砂岩製の背面に自然面のある縦長の剥片で、打痕部分を欠く。右側縁部分から先端にかけ平坦剥離気味に両面に調整が施されている。サイドスクレイパーとした。7は白濁色の不純物を含むやや透明感のある黒色の黒曜石製で黒曜石Ⅱ類とした。やや厚みのある剥片素材で、右側縁から先端にかけやや傾斜のある剥離調整が腹面側から施されている。下端部が小さく尖りドリルの可能性もあるが、スクレイパーとした。

剥片類 8は黒曜石Ⅲ類製で、右側縁部分にやや角度のある剥離調整が加えられている。その後、図左側面から削片状に剥離している。9は黒曜石Ⅳ類の断面三角形のやや不定形な剥片で、下部を欠損する。先端部及び右側片部分に微細な剥離がみられる。

細石刃核 細石刃核は3点出土している。20は黒曜石Ⅲ類の小礫を素材とする細石刃核で、風化の進まない平坦な自然面をそのまま打面とするもので、幅広の作業面をもち、打面長が短くやや扁平な気味な形状となる。21は黒色のガラス質で不純物を含まない良質な黒曜石Ⅳ類で、最終的には板状を呈し、小口面に剥離の痕跡を残すため細石刃核D1類に分類した⁹⁾。細石刃と比較して小口面の剥離痕の幅が狭く、また図、右側面下半の剥離痕がこれに先行しており、細石刃剥離が進行した段階での打面転移、もしくは彫器の可能性も考えられる。22は黒曜石Ⅲ類に分類した黒曜石製の細石刃核で、板状に近い礫素材で側面の礫面側から横位に打面調整をおこなっている⁹⁾。

磨石・敲石類 多孔質の安山岩至円礫製で、端部に剥離がみられ、剥離縁辺につぶれが生じている。

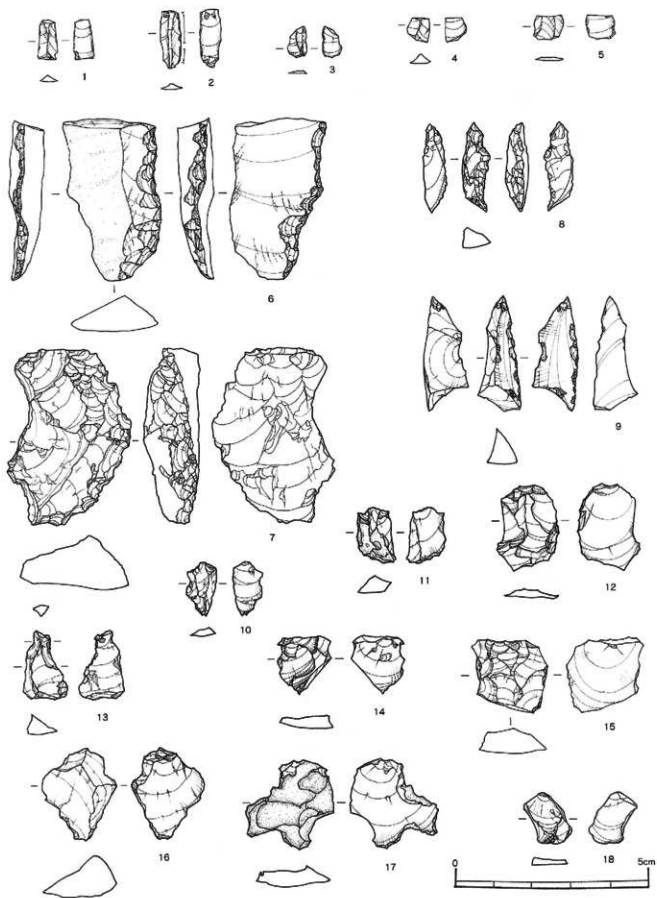
(注1) 図版21左1は先行トレンチ下面でXIc層・XIIa層の遺物が出土し、トレンチの掘り込み上面でXb・XIa層の遺物が出土している状況である。

(注2) 細石刃核の分類については次節を参照のこと。

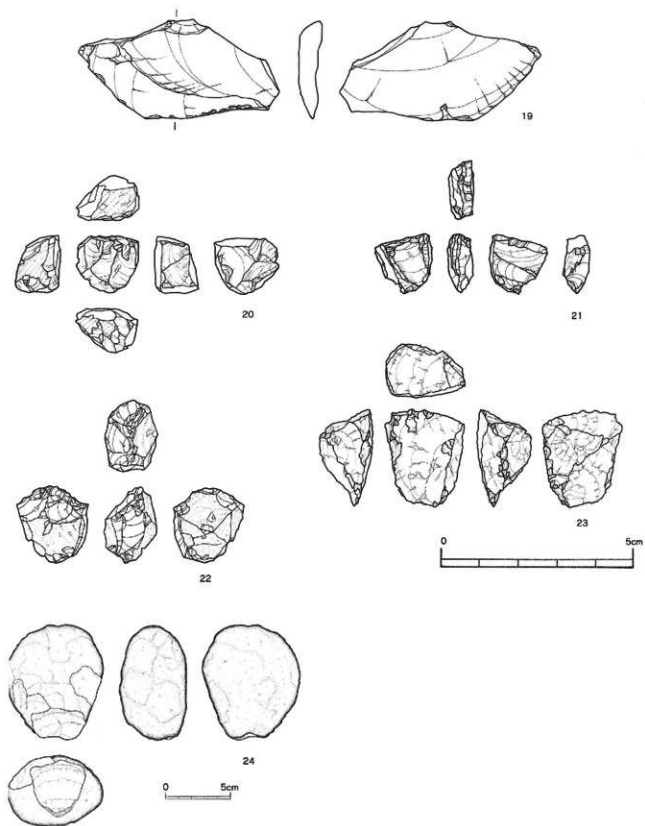
(注3) 部分的に風化のみられた旧10号層部分での出土であり、形制的に新しい時期の特徴をもつことから出土状況について再度確認したい。

第31表 第3文化層石器素材組成一覧表

第3文化層	OB	OR1	ORa	ORb	ORc	ORd	ORs	OR7	OB4	OB5	OB6	OR7	OR8	AN	CC	CH	CL	OP	RC	SA	SH	TU	ANC	GR	HF	PM	合計
1 細石刃							4																				4
2 細石刃核								1	1	1																	3
3 台形石器					1																						1
4 スクレイパー					1																1						2
5 二次加工剥片							1															1					1
6 使用痕剥片							1		1													1					3
7 剥片		8			4		3						4					1		1	1		1				23
8 ブランク			1																								1
9 石核													1														1
10 チップ		34												4			1										39
11 磨石/敲石																					1			2			3
合計	42	0	1	0	6	0	10	1	2	0	0	0	0	8	0	2	0	1	0	3	2	0	3	0	0	0	81



第101圖 第3文化層出土石器(1)



第102图 第3文化層出土石器 (2)

第32表 第2文化層石器計測表

探検No.	図No.	発出No.	層上名	層別	種別	用途	形状	分類1	分類2	石種	石形	長さ	幅	厚さ	重量	接合No.	用途	備考	
98	1	-	16154	12	b	-	L02	-	13	ナイフ形石器	OB	2A	255	211	141	655	-	-	-
98	2	-	12216	12	b	-	L02	-	13	台形石器	OB	3	170	130	055	098	-	-	-
98	3	-	16149	12	a	-	L02	-	14	台形石器	OB	2C	200	150	055	144	-	-	-
98	4	-	16486	12	b	-	L02	-	13	網片	OB	3	175	127	033	059	-	-	-
98	5	-	16148	12	b	-	L02	-	14	網片	OB	3	160	144	156	185	-	-	-
98	6	-	12488	12	b	-	L02	-	b3	網片	OB	3	148	231	038	109	-	-	-
98	7	-	12473	12	b	-	L02	-	14	網片	SH	-	149	175	058	111	-	-	-
98	8	-	12472	12	b	-	L02	-	14	網片	SH	-	205	269	127	494	-	-	-
98	9	-	548	12	-	-	L02	-	L12	石核	CH	-	280	365	155	1076	-	-	-

第33表 第3文化層石器計測表

探検No.	図No.	発出No.	層上名	層別	種別	用途	形状	分類1	分類2	石種	石形	長さ	幅	厚さ	重量	接合No.	用途	備考				
101	1	-	12520	11	c	-	L03	-	f1	網石片	TC	OB	3	105	051	018	008	-	○	-	-	
101	2	-	12498	12	a	-	L03	-	g1	網石片	TC	OB	3	155	050	024	014	-	○	○	-	-
101	3	-	12532	11	c	-	L03	-	f1	網石片	CB	OB	3	082	049	010	005	-	○	-	-	-
101	4	-	14854	12	a	-	L03	-	14	網石片	C	OB	3	068	062	025	008	-	-	-	-	-
101	5	-	12622	11	c	-	L03	-	g1	網石片	OB	3	063	077	011	006	-	○	-	-	-	
101	6	-	12521	11	c	-	L03	-	g1	ナイフ形石器	SA	OB	3	422	259	090	1071	-	-	-	-	-
101	7	-	12499	11	c	-	L03	-	g1	ナイフ形石器	OB	2C	470	325	150	1581	-	-	-	-	-	
101	8	-	12535	12	a	-	L03	-	g1	網石片	OB	3	235	075	060	082	-	-	-	-	-	
101	9	-	12540	12	a	-	L03	-	g1	網石片	OB	3	308	113	097	236	-	-	-	-	-	
101	10	-	13809	11	c	-	L03	-	b3	網片	OB	2C	141	080	025	022	-	-	-	-	-	
101	11	-	13519	11	c	-	L03	-	g1	網片	OB	2C	141	103	050	069	-	-	-	-	-	
101	12	-	13828	12	a	-	L03	-	b3	網石片	SH	-	225	165	036	120	-	-	-	-	-	
101	13	-	12500	11	c	-	L03	-	g1	網片	OB	2C	185	129	059	086	-	-	-	-	-	
101	14	-	16479	11	c	-	L03	-	13	網片	OB	3	155	141	041	063	-	-	-	-	-	
101	15	-	16473	12	a	-	L03	-	13	網片	OP	-	180	209	070	232	-	-	-	-	-	
101	16	-	2108	12	-	-	L03	-	11-2	網片	OB	2C	244	197	115	301	-	-	-	-	-	
101	17	-	16500	11	c	-	L03	-	b2	網片	OB	3	238	230	076	249	-	-	-	-	-	
101	18	-	12524	11	c	-	L03	-	g1	網片	OB	3	134	130	020	037	-	-	-	-	-	
102	19	-	12525	12	a	-	L03	-	g1	網片	AN	A	261	827	070	913	-	-	-	-	-	
102	20	-	2102	12	-	-	L03	-	16-2	網石片	H	OB	3	150	160	120	211	-	-	-	-	-
102	21	-	2101	12	-	-	L03	-	H-1	網石片	D1	OB	1	155	070	160	201	-	-	-	-	-
102	22	-	16470	11	c	-	L03	-	13	網石片	D3	OB	2U	200	140	150	481	-	-	-	-	-
102	23	-	12494	11	c	-	L03	-	g1	フラスコ	OB	2A	200	210	145	628	-	-	-	-	-	
102	24	-	16076	11	c	-	L03	-	11	網石片	V	AN	C	890	740	540	42900	-	-	-	-	-

第34表 第4文化層石器計測表 (1)

探検No.	図No.	発出No.	層上名	層別	種別	用途	形状	分類1	分類2	石種	石形	長さ	幅	厚さ	重量	接合No.	用途	備考					
107	1	-	5789	10	-	-	L04	-	13	網石片	B	SA	-	1050	470	270	32033	-	-	-	-	-	
107	2	-	5741	10	b	-	L04	-	M12	H3	C	SA	-	1720	745	480	61420	-	-	-	-	-	
119	3	-	4427	11	a	上	L04	-	M02	J6	網石片	TC	OB	1	103	046	012	004	-	-	-	-	-
119	4	-	4475	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	TC	OB	1	050	054	015	006	-	○	-	-	-
119	5	-	4502	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	TC	OB	1	121	054	013	012	-	○	-	-	-
119	6	-	4469	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	C	OB	1	099	065	016	008	-	-	-	-	-
119	7	-	4458	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	C	OB	1	078	085	012	007	-	-	-	-	-
119	8	-	4422	10	b	-	L04	-	M02	J6	網石片	T	OB	2C	061	066	020	006	-	○	-	-	-
119	9	-	4495	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	T	OB	1	067	062	013	005	-	○	-	-	-
119	10	-	4414	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	T	OB	1	079	067	028	015	-	○	-	-	-
119	11	-	5074	11	a	下	L04	-	M02	J6	網石片	T	OB	1	100	039	015	014	-	○	-	-	-
119	12	-	5175	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	E	OB	1	038	062	006	002	-	-	-	-	-
119	13	-	4437	11	a	上	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	086	054	023	008	-	-	-	-	-	
119	14	-	5039	11	a	上	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	111	045	028	010	-	-	-	-	-	
119	15	-	4483	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	137	056	016	014	-	-	-	-	-	
119	16	-	4410	11	a	F	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	180	110	056	079	-	-	-	-	-	
119	17	-	4472	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	138	102	021	021	-	-	-	-	-	
119	18	-	4466	11	a	中	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	132	030	025	023	-	-	-	-	-	
119	19	-	4441	10	b	-	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	175	140	021	056	-	-	-	-	-	
119	20	-	4500	10	b	-	L04	-	M02	J6	網石片	OB	1	236	103	040	095	-	-	-	-	-	
119	21	-	4453	11	a	上	L04	-	M02	J6	網片	OB	1	228	183	108	205	-	-	-	-	-	
119	22	-	1463	11	a	下	L04	-	M02	J6	網片	OB	1	135	261	066	165	-	-	-	-	-	
119	23	-	5162	11	a	F	L04	-	M02	J6	網片	OB	1	162	207	063	163	-	-	-	-	-	
119	24	-	4455	10	b	-	L04	-	M02	J6	網石片	B	OB	1	200	185	145	515	-	-	-	-	

第4節 第4文化層(Xb層~XIa層)の調査

1 遺構と遺物

細石刃文化期に位置づけられる第4文化層(Xb層~XIa層)では2基の礫群と、炭化物集中部1か所が検出された。1号礫群・2号礫群とも桐木調査区の台地上、東側から西側に入る道に挟まれた比較的平坦な尾根状の部分にあり、1号・2号の間には約10m距離がある。炭化物集中部は耳取調査区のほぼ中央付近に調査区北側から入る道の低位部分に位置し、第20遺物集中部及び第19(第13)遺物集中部に近接する。遺物集中部は26か所を設定したが、工事計画との関係から分割調査を行なった場合等に、出土分布位置の比較ができず、同一の集中部に重複して番号を付した場合があり、整理の結果24か所に集約された。また、これらの集中部には、さらに細分可能なものがあり、集中部外にも新たに認定可能な箇所もある⁹⁾。

遺物の分布は、調査区南側ではL・M-11・12区の3トレンチ、北は耳取調査区h・i-4・5区で確認されており、分布の濃淡はみられるが、ほぼ調査区の全域に及んでいる。

細石刃、スクレイパー類、細石刃核、棒状燧石類とした礫石器のまとまった出土がみられた。また、第1遺物集中部では、これらの石器とともにXIa層から土器片が出土している。このほか耳取調査区において、一部Xb層から土器片が用土しているが、これについてはXa層出土土器と併せ次節に掲載した。

遺物集中部は桐木調査区では主に、調査区の東側から西側台地に入る道に挟まれた比較的平坦な尾根状及び道頭周辺部分に分布する。耳取調査区では調査区西端の尾根部、尾根部から北側から入る道に至る東向きの斜面上及び道頭部分、さらにこの道と調査区の東側の道に挟まれた南北方向の尾根部及び周辺に分布する。

2 遺構(礫群)

1号礫群(Xb層)I-3区で検出した。17個の礫及び礫片により構成されるもので、砂岩礫を主体とする。礫面に被熱によるとみられる赤化が盛んなものが多く含まれる。散発的に掘り込みはなく、炭化物の集中部もみられない。礫群内での出土礫の接合関係がみられるほか、礫群内出土礫のうち2点が、隣接する第12遺物集中部で取り上げた礫片と接合した。1は扁平な砂岩礫で、礫群出土礫に第12遺物集中部出土の2点、及び集中部外出土の1点を含めた4点が接合している。表裏の平坦面に擦痕がみられるほか、端部に敲打によるつぶれがみられる。2は第12遺物集中部内で取り上げた3点の礫と接合したものである。やや角の取れた砂岩角礫で、一端がすぼまる形状をもつ。両端部に敲打「つぶれ」がわずかにみられるほか、礫面に擦痕が観察される。

2号礫群(Xb・XIa層)H-3区で検出された礫群で、検出層位はXIa層とXb層の間位に近い。計10個の

礫が散布するもので、掘り込みはみられない。いずれも砂岩の破碎礫で、被熱によるとみられる礫面の色調の変化が認められるものが含まれる。礫群内での接合関係が認められた。

第35表 第4文化層1号礫群観察表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	1	15	0	1	17	
重量(g)	330	643	0	23	996	
割合(%)	33	65	0	2		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	14	0	2	0	0	頁岩割片・燧石片を除く
割合(%)	88	0	13	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破碎			備考
個数(個)	14	5	14			頁岩割片・燧石片を除く
割合(%)	100	38	100			

第36表 第4文化層2号礫群観察表

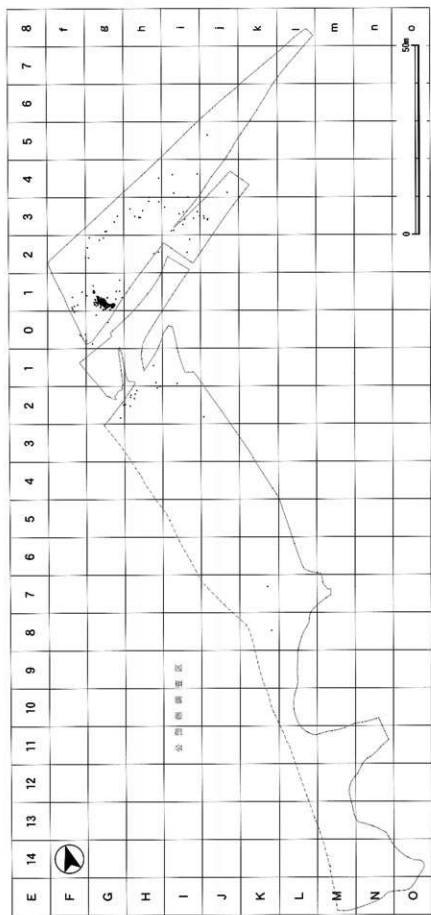
石材	安山岩	砂岩	粘板岩	頁岩	合計	備考
個数(個)	0	10	0	0	10	
重量(g)	0	1141	0	0	1141	
割合(%)	0	100	0	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	5	5	0	0	0	
割合(%)	50	50	0	0	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破碎			備考
個数(個)	6	1	10			
割合(%)	60	10	100			

炭化物集中部(XIa層)h-3区のXIa層面で検出されたもので、径0.7mのほぼ円形を呈する範囲に、炭化物が集出して出土したものである。調査区外境界に近いが、炭化物の集中範囲は調査区内で収束している。礫群に伴わず炭化物のみが検出された。第19遺物集中部の外縁部分に接する位置にある。年代測定によりBC14,320の年代値が与えられている。(付編4 PLD-1959)。

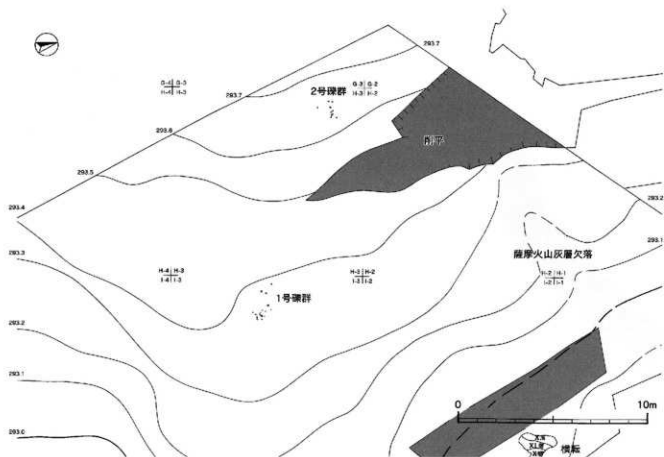
3 遺物集中部と遺物

桐木調査区では計13か所の遺物集中部を検出してている。主の遺物の分布域はI-K-7区以北で、I-6からJ-5区方向に伸びる尾根状の部分に、2及び第3遺物集中部、K-3・4区からI-5区付近を中心に東側から入る道の道頭周辺の東向きの緩斜面上に、第4・第5・第6・第7・第8・第9の各遺物集中部、H-2~4区及びI-2・3区付近の傾斜の緩やかな尾根状の台地面部分に、第12・第11・第1遺物集中部、北東方向の道部分、東向きの緩斜面上に第22・第23遺物集中部が分布する。

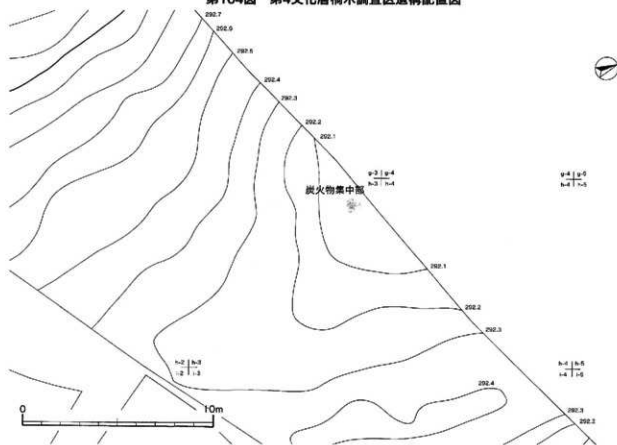
耳取調査区では、調査区の北西方向から台地面に迫る谷に面した急崖に接する尾根状を呈する高位部分で第18遺物集中部が、この西側の尾根部から、調査区北側h-3・4区付近から入る道にかけての東向きの緩斜面上から道頭



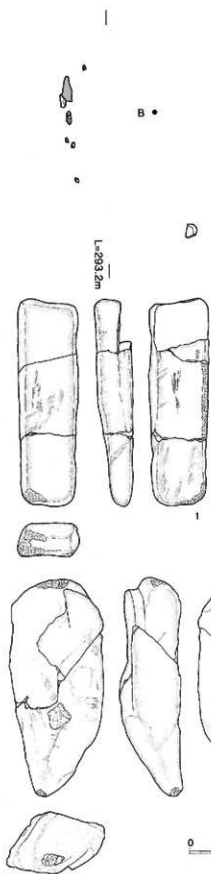
第103図 第4文化層遺物出土状況図



第104図 第4文化層柵木調査区遺構配置図

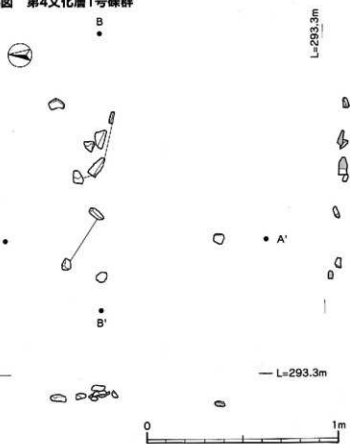


第105図 第4文化層耳取調査区遺構配置図



第107图 1号磔群内出土石器

第106图 第4文化层1号磔群



第108图 第4文化层2号磔群

にかけて第15・第20・第14・第13・第19・第17の各遺物集中部が、東西を迫に挟まれた1-4の南北方向の尾根部付近に第24・第25及び第26・第21遺物集中部が分布する。

細石刃の分類 細石刃については部位により分類し、頭部をT、中間部をC、尾部（尾部端部をわずかに欠くものを含む）をBとした（頭部・中間部の場合TCなど）。また、細石刃剥出に伴う頭部調整、線状痕・微細剥離などの使用の痕跡の有無についても併せて計測表に示した。

細石刃核の分類 細石刃核については以下に従い分類をおこない、計測表等に示した。

A類は確もしくは分割礫を素材とし、作業面側から打面調整を施す細石刃核で、形態的技術的特長から以下の4類に細分した。

A1類 幅広の作業面をもち、打面長が短い上面観が扁平な細石刃核。

A2類 A1類と同じ扁平型であるが、下縁が尖り正面形が逆三角形を呈する。

A3類 角柱状や作業面の拡張に伴う半円錐形や角錐形のほか、打面転移に伴う非定型的形状も含む。

A4類 背面を持たず打面・作業面・左右側面の4面で構成され、側面形が三角形・半月形を呈する。側面に礫面をもつものを含む。

B類 板状のものを除く、細礫・細礫分割素材で自然面を打面とする細石刃核。概ねやや幅広の作業面をもち、作業面、打面の移動を行なう場合がある。

C類 分割礫を素材とし、素材の分割面を打面として、基本的に打面調整を行わない細石刃核。側面調整を行わないものを含む。

D類は板状の礫・分割礫・剥片を素材とし、木口面を作業面とする細石刃核。打面調整等により3類に細分した。

D1類 作業面側から打面調整を行うもので、作業面あるいは打面の移動を行なうものを含む。

D2類 自然面を打面とするもので、打面端細調整のみ施すものを含む。

D3類 側面方向から打面調整もしくは打面形成を行なうもの。側方からの一回の加撃で打面全体を剥離し打面を形成するもの、側方からの連続した剥離

で打面を調整するものがある。

E類は主に剥片素材で正面形が楔形を呈する細石刃核で、しばしば下縁調整を伴う。打面調整（形成）の方法により2類に細分した。

E1類 作業面側から打面調整（形成）を行うもの。

E2類 側面方向から打面調整もしくは打面形成を行なうもの。側方からの一回の加撃で打面全体を剥離するもの、連続した剥離で打面を調整するものがある。打面後方から剥離調整を行うものもここに含めた。

F類 その他、欠損により上記に分類できないものなど。

棒状敲石の分類 Xb・XIa層を中心に、一部Xa層まで棒状・扁平棒状の礫石類が特徴的に出土している。外観的な使用痕の特徴からも、その機能は多岐にわたる可能性が高いが、ここではこれらの資料を棒状敲石類として概括し、以下に分類した。

A類（棒状敲石）断面が円形・楕円形・隅丸方形を呈する棒状の礫で、端部を中心に敲打痕がみられるもので、3類に細分した。（模式図は大分類のみ示す）

A1類 礫の片側の端部及び周辺に敲打痕がみられるもの。

A2類 両端端部の対向する位置に敲打痕や使用に伴うと考えられる剥離がみられるもの。側縁部に敲打痕があるもの、表裏面上に擦痕（研磨痕）があるものを含む。

A3類 欠損や折れ等により一端を欠損するもの。

B類（扁平棒状敲石）断面が長楕円形・隅丸長方形などの扁平な長形の礫で表裏に擦痕（研磨痕）がみられるもの。端部や稜部などに弱い敲打痕や「つぶれ」に類似する痕跡がみられるものを含む。

C類（類棒状敲石）断面形が隅丸三角形や不定形なものを含む長形の礫で、使用痕跡のやや不明確なものである。

C1類 礫の先端部付近にやや弱い敲打痕がみられるもの。

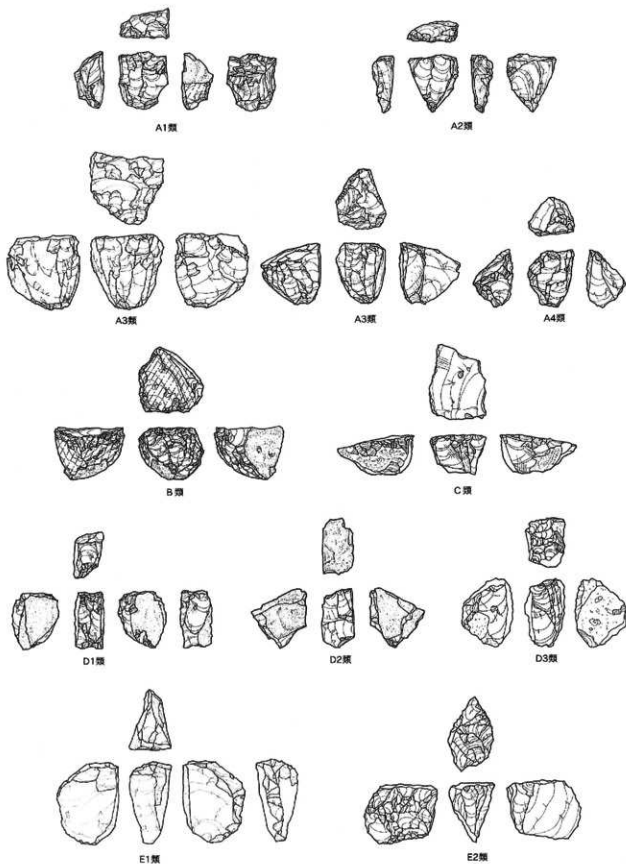
C2類 礫の稜部などに弱い敲打状の痕跡があり、稜面上に擦痕（研磨痕）が認められるもの。

C3類 その他、使用痕などが不明瞭なものなど。

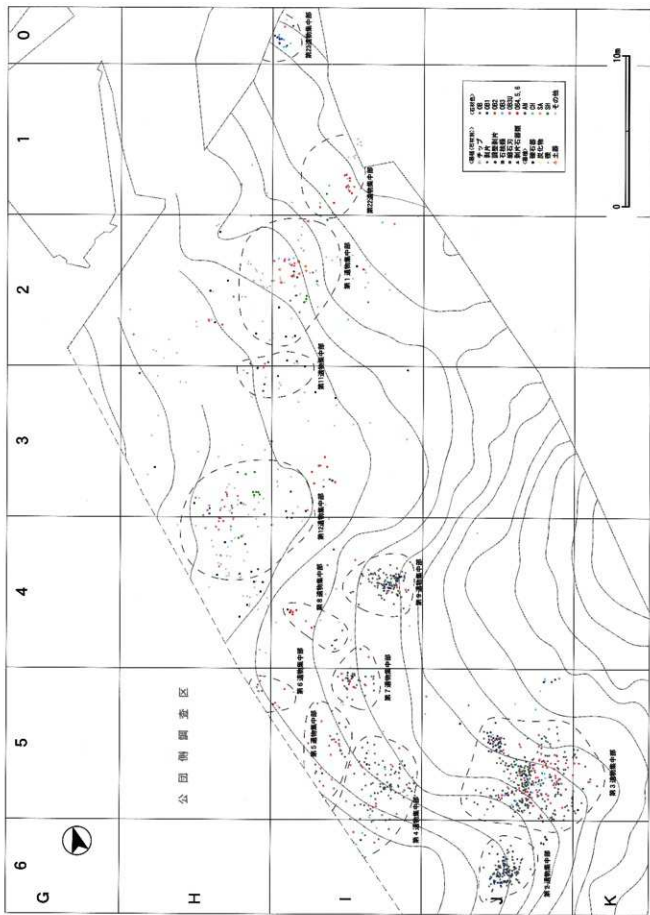
石鏃及び磨石・敲石類は、第5章の各分類に準じている。



第109図 棒状敲石類分類模式図



第110圖 細石刃核分類模式圖



第111图 第4文化層遺物集中部輸出状況 (1)

(1) 桐木調査区の遺物集中部と遺物

第2遺物集中部 細石刃11点, 細石刃核調整剥片を含む剥片類18点及びB類に分類される細石刃核1点, ブランク1点及び破片類109点が出土しており, 平面的には単一のまとまりをもつ集中部とみられる。いずれも黒曜石製で, 不純物を多く含む不透明で漆黒色の黒曜石がほとんどを占める。細石刃は中間部を含むものが少ない。調整剥片としたものは, 背面に細石刃の剥離痕がある作業面調整剥片が多い。

第3遺物集中部 細石刃41点, スクレイパー1点のほか細石刃核調整剥片を含む剥片類85点, 細石刃核65点, ブランク・石核7点及び破片類207点が出土している。複数の遺物集中部が複合した状況にあるとみられ, 細石刃核の形態的なバリエーションを網羅的に含む。黒曜石製石器が主体であり, 細石刃では黒曜石Ⅰ類・Ⅲ類・ⅣⅠⅡ類がほぼ均衡した量比を占めるのに対し, 細石刃核ではⅢⅠⅡ類が多くを占める。頁岩製の細石刃核のほか作業面調整のブランクとみられる資料も出土している。

第4遺物集中部 細石刃6点, 調整剥片を含む剥片類26点に対し, 細石刃核が17点と, 細石刃核の量比が高い。細石刃の石材が黒色～暗色を呈し, 透明感のあるⅢ類が主体であるのに対し, 細石刃核ではⅢⅠⅡ類がほとんどを占める不均衡がみられる。形態的にはやや規格性に乏しいA1類のほか, A2類, D3・3類, E2類があるが, 複数の集中部に区分される可能性もある。図示していないが, 磨製石斧の一部ではないかとも考えられる砂岩製の破片1点が出土しているほか, 黒曜石原礫3点, 破片類60点を伴っている。

第5遺物集中部 細石刃2点に対し, 剥片類6点, 細石刃核4点, 原礫3点, 破片類11点が出土し, ここでも細石刃核が細石刃に対し高い比率を占める。原礫・細石刃核がいずれもⅢⅠⅡ類であるのに対し, いずれも中間部である細石刃のうち1点をⅠ類が占める。小規模な集中部

であるが, 遺物の平面分布から2つの単位に区分される可能性がある。

第6遺物集中部 剥片類3点のほか細石刃核4点, 破片類4点と遺物点数が少なく, やや散漫な集中を示す。出土器種に細石刃を含まない。石材は黒曜石ⅢⅠⅡ類が主体を占め, 剥片類に黒曜石Ⅰ類及び安山岩が各1点含まれる。

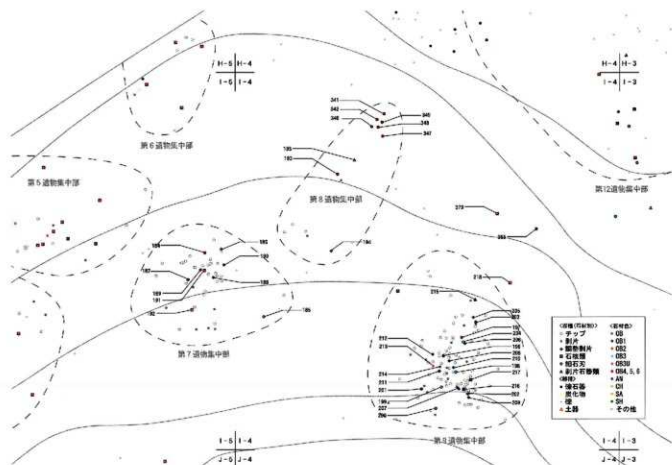
第7遺物集中部 細石刃4点, 打面調整剥片を含む剥片類9点, 細石刃核2点のほか, 破片類29点が出土している。細石刃核はいずれも自然面を打面とするB類で, 石材は黒曜石ⅢⅠⅡ類である。第6集中部出土石器の石材はすべて黒曜石で, ⅢⅠⅡ類のほか, Ⅰ類及びⅣ類とみられる黒色のガラス質で, 不純物をほとんど含まない良質なものが含まれる。平面分布上比較的多量であり, 単一の単位とみなしうる。

第8遺物集中部 第6集中部の北側に位置し, 遺物の集中度も低い。図示した以外に剥片2点, 破片類3点が出土している。

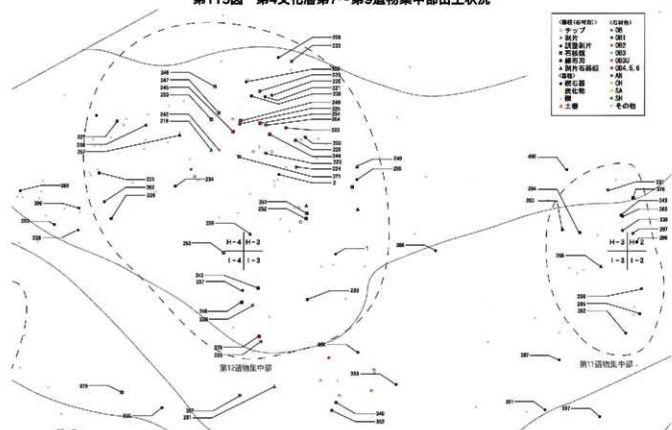
第9遺物集中部 他の集中部と離れ, まとまりのある平面上の遺物分布を示すが, さらに区分できる可能性はある。細石刃9点のほか, 調整剥片類10点, 剥片類21点, 細石刃核3点, 破片類79点が出土している。細石刃の頭部を含む資料では, 頭部調整が施されるものが多く, 198～200の中間部を含む資料には使用痕をみとめる。細石刃核は打面傾斜が弱くやや厚みがあることから分類上検討の余地のあるA2類(216)のほか, 側方からの剥離で打面形成を行なうE2類(217・218)がある。細石刃核の石材は, 216・217が黒曜石Ⅰ類, 218が黒曜石ⅢⅠⅡ類で, いずれも産地分析による判定と一致する。また, 細石刃剥離に伴う作業面の上部部が剥片の側面に残る打面調整剥片(207～209)があり, 上記E2類との関連が考えられる。出土遺物の石器石材はほぼすべて黒曜石で, Ⅰ類, Ⅲ類, ⅢⅠⅡ類があるが, 不純物を多く含む漆黒色不透明なⅠ類が主体となる集中部である。

第37表 第4文化層石器石材組成一覧表

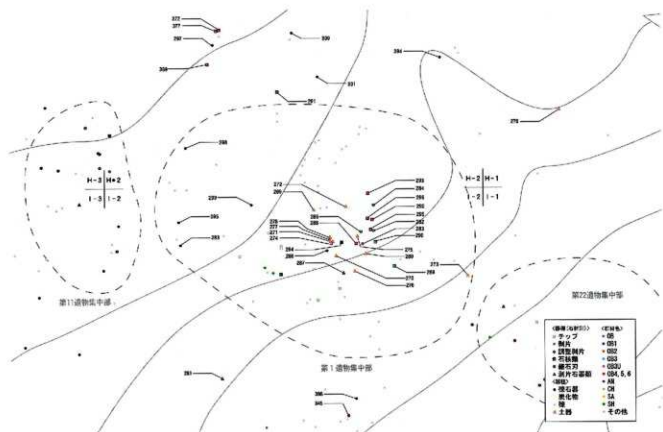
第4文化層	OB	OBI	OBIA	OBIB	OBIC	OBII	OBIS	OBIV	OBV	OBVI	OBVII	OBVIII	AN	CC	CH	CL	OP	RC	SA	SH	TU	ANC	GR	HP	PM	合計	
1 石核																	1								4		
2 細石刃	3	57			1		230	80	5	19	13					1					1				410		
3 細石刃核	2	21					27	108			2										5				165		
4 スクレイパー				1																			1			5	
5 二次加工剥片																										1	
6 使用痕剥片	1	3			2			1		1											4					12	
7 調整剥片	39	25			2		11	17	5	2											1					95	
8 剥片	103	6			1		3	7	1		1										1	17				145	
9 石核								5														1				6	
10 原礫		7																								8	
11 チップ	517												3		1	1					1	8				531	
12 磨製石斧																					1					1	
13 棒状散石																					30	6		1		37	
14 磨石/燧石																					4			1		5	
15 ブランク	3	1																								8	
16 台石																							1			1	
合計	668	114	2	0	6	1	273	225	11	22	16	0	0	7	0	3	1	1	0	37	43	0	4	0	0	0	1434



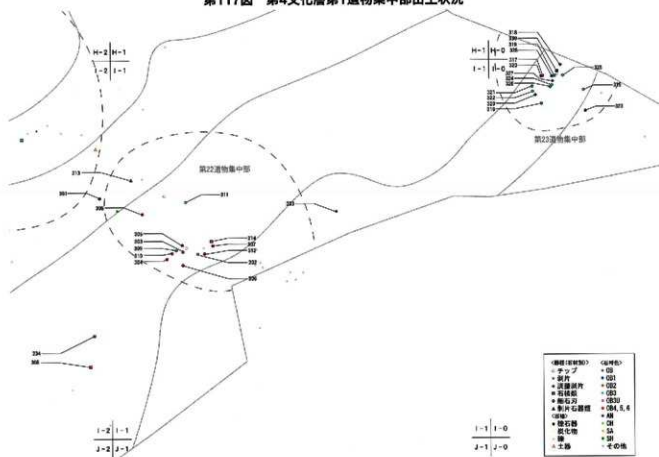
第115図 第4文化層第7～第9遺物集中部出土状況



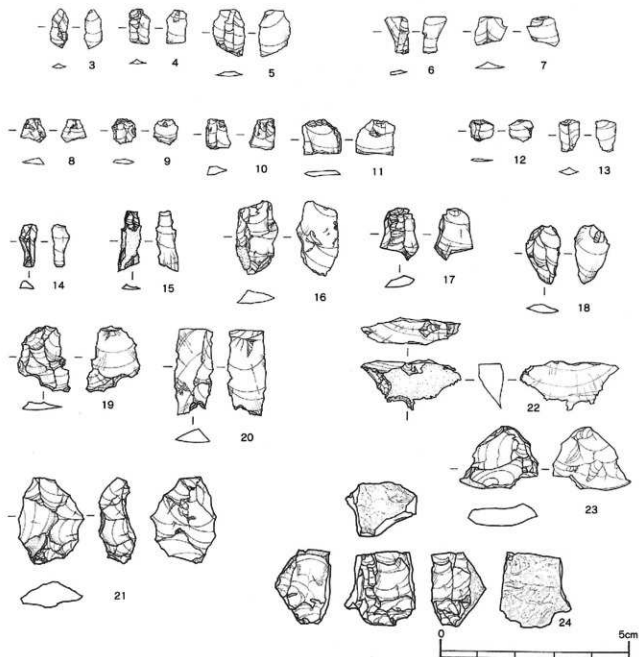
第116図 第4文化層第11・第12遺物集中部出土状況



第117図 第4文化層第1遺物集中部出土状況



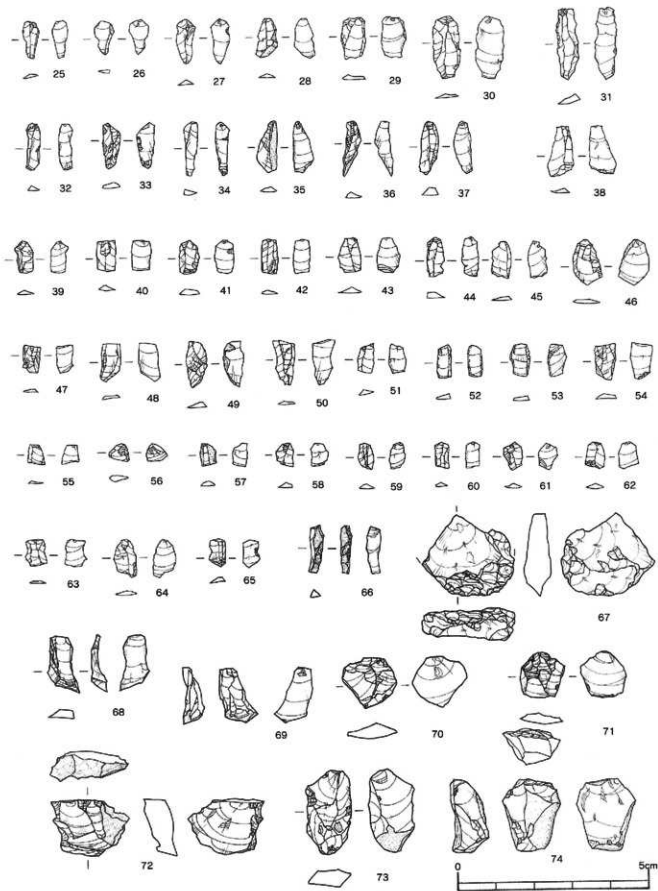
第118図 第4文化層第22・第23遺物集中部出土状況



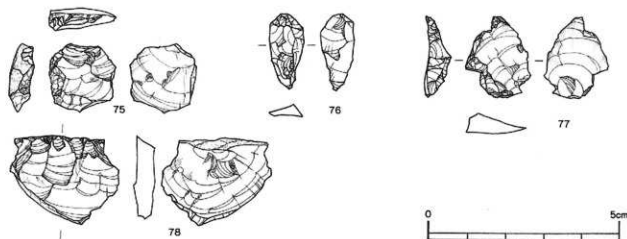
第119圖 第4文化層第2遺物集中部出土石器

第38表 第4文化層石器計測表(2)

標本No.	図No.	遺物No.	取上No.	層位	断面	文化層	遺層	用途	分類I	分類II	石種	厚mm	長さmm	幅mm	厚5mm	重量g	採合No.	採取	形状	付物	備考	
120	25	-	4974	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	0.99	0.43	0.16	0.04	-	○	-	-	-
120	26	-	5131	11	a	中	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	0.91	0.50	0.16	0.05	-	○	-	-	-
120	27	-	4772	10	b	-	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	1.20	0.50	0.18	0.06	-	○	-	-	-
120	28	-	5029	11	a	中	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3	1.05	0.55	0.18	0.06	-	○	-	-	-
120	31	-	4704	10	b	-	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	1.80	0.60	0.28	0.18	-	○	○	-	-
120	32	-	4765	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	1.27	0.38	0.19	0.04	-	○	-	-	-
120	33	-	4542	11	a	中	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	1.23	0.48	0.21	0.08	-	○	○	-	-
120	34	-	4988	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3U	1.45	0.29	0.22	0.07	-	○	-	-	-
120	35	-	4677	11	a	下	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3	1.37	0.35	0.13	0.07	-	○	-	-	-
120	36	-	4981	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	3	1.48	0.50	0.22	0.05	-	○	-	-	-
120	37	-	4961	11	a	上	L04	M03	J-6	細石刃	TCB	OB	1	1.40	0.50	0.26	0.12	-	○	-	-	-
120	38	-	4603	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TCB	OB	1	1.34	0.71	0.20	0.12	-	○	-	-	-
120	39	-	4597	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TC	OB	1	0.86	0.50	0.17	0.04	-	○	-	-	-
120	40	-	5011	11	a	上	L04	M03	J-5	細石刃	TC	OB	3	0.82	0.52	0.17	0.06	-	-	-	-	-



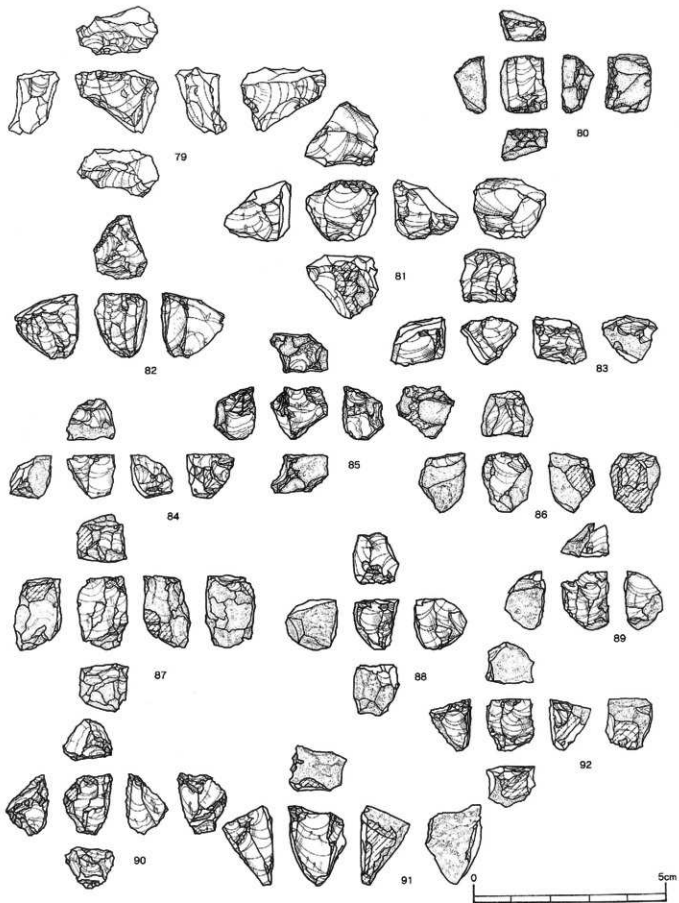
第120図 第4文化層第3遺物集中部出土石器 (1)



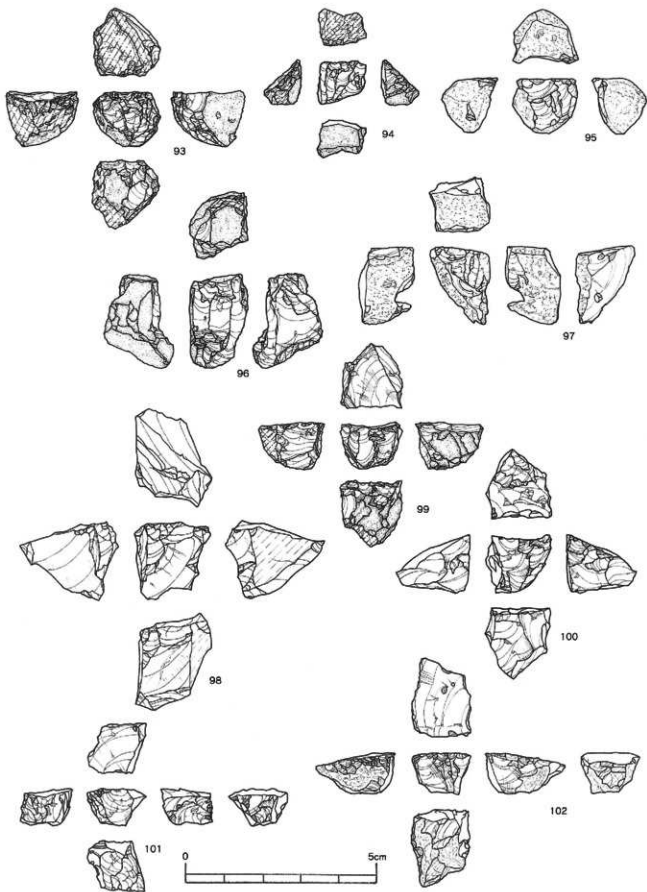
第121図 第4文化層第3遺物集中部出土石器(2)

第39表 第4文化層石器計測表(3)

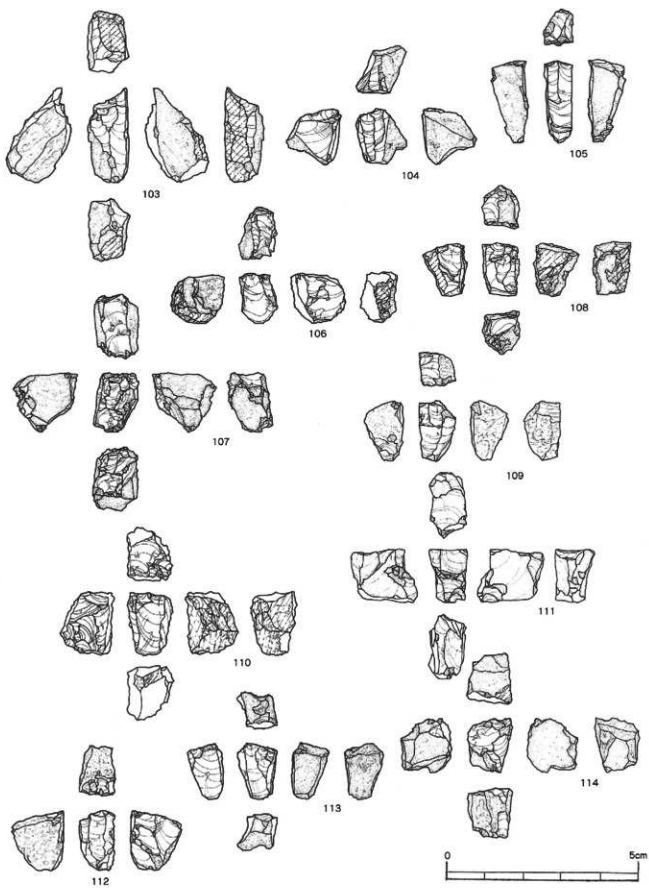
発掘No.	図No.	層位	出土層	出土位置	出土状況	石種	分類	石種1	石種2	長さ	幅	厚さ	重量	割合No.	観察	研磨	打痕	用途	備考
120	41	-	5006	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	TC	OB	3	0.80	0.50	0.21	0.07	-	○	-	-	-
120	42	-	4966	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	TC	OB	1	0.55	0.43	0.15	0.05	-	-	○	-	-
120	42	-	4977	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	TC	OB	3U	0.80	0.60	0.16	0.05	-	○	-	-	-
120	44	-	4610	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	TC	OB	3U	1.05	0.45	0.21	0.09	-	○	-	-	-
120	45	-	4503	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	TC	OB	1	1.00	0.50	0.13	0.05	-	-	○	-	-
120	46	-	4607	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	TC	OB	3U	1.22	0.50	0.14	0.07	-	-	○	-	-
120	47	-	5028	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	CB	OB	3	0.79	0.45	0.11	0.03	-	-	-	-	-
120	48	-	4968	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	CB	OB	3U	1.02	0.55	0.12	0.05	-	-	-	-	-
120	49	-	5173	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	CB	OB	3	1.20	0.57	0.19	0.08	-	-	○	-	-
120	50	-	4642	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	CB	OB	3	1.19	0.58	0.12	0.05	-	-	-	-	-
120	51	-	4624	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	C	OB	1	0.78	0.42	0.28	0.04	-	-	-	-	-
120	52	-	5209	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	C	OB	3	0.90	0.38	0.13	0.05	-	-	○	-	-
120	53	-	4967	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	C	OB	1	0.90	0.56	0.13	0.05	-	-	-	○	-
120	54	-	5111	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	C	OB	1	1.00	0.53	0.18	0.07	-	-	-	-	-
120	55	-	4547	11 a	下	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	3	0.55	0.47	0.12	0.01	-	-	-	-	-
120	56	-	4594	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	1	0.47	0.53	0.15	0.03	-	-	○	-	-
120	57	-	4601	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	3U	0.60	0.40	0.12	0.03	-	-	-	-	-
120	58	-	4600	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	1	0.63	0.47	0.18	0.04	-	-	○	-	-
120	59	-	4615	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	1	0.70	0.42	0.10	0.03	-	-	-	-	-
120	60	-	4620	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	1	0.70	0.35	0.12	0.04	-	-	○	-	-
120	61	-	4608	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	1	0.75	0.30	0.13	0.03	-	-	○	-	-
120	62	-	5135	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	3	0.71	0.52	0.16	0.04	-	-	-	-	-
120	63	-	4895	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	3	0.70	0.60	0.28	0.05	-	-	○	-	-
120	64	-	4964	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	T	OB	1	1.02	0.60	0.16	0.07	-	-	○	-	-
120	65	-	4616	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	B	OB	3U	0.72	0.68	0.21	0.05	-	-	-	-	-
120	66	-	4592	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	OB	1	1.25	0.40	0.24	0.10	-	-	-	-	-	
120	67	-	4687	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	2.20	2.60	0.90	0.46	-	-	-	-	-	
120	68	-	5122	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	OB	1	1.54	0.85	0.28	0.22	-	-	-	-	-	
120	69	-	5130	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	1.50	1.05	0.41	0.26	-	-	-	-	-	
120	70	-	4759	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	1.26	1.44	0.45	0.25	-	-	-	-	-	
120	71	-	4790	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	1.20	1.21	0.29	0.20	-	-	-	-	-	
120	72	-	4657	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	1.50	2.01	0.70	0.21	-	-	-	-	-	
120	73	-	4748	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	2.22	1.16	0.75	1.04	-	-	-	-	-	
120	74	-	4774	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	1.81	1.54	1.00	2.19	-	-	-	-	-	
121	75	-	4645	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	OB	1	0.90	1.75	0.64	1.72	-	-	-	-	-	
121	76	-	4707	11 b	上	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	2.00	0.90	0.38	0.50	-	-	-	-	-	
121	77	-	4782	10 a	-	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	2.14	1.67	0.55	1.41	-	-	-	-	-	
121	78	-	4722	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	OB	3U	2.26	2.86	0.88	3.63	-	-	-	-	-	
122	79	-	4796	10 b	-	L04 M03 J-5	礫石片	A1	OB	1	1.25	2.15	1.30	3.25	-	-	-	-	-
122	80	-	4685	11 b	上	L04 M03 J-5	礫石片	A1	OB	3U	1.50	1.20	0.80	1.61	-	-	-	-	-
122	81	-	4736	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.60	1.85	1.70	4.40	-	-	-	-	-
122	82	-	5188	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.20	1.30	1.70	3.41	-	-	-	-	-
122	83	-	4696	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.30	1.45	1.35	2.07	-	-	-	-	-
122	84	-	4776	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.15	1.25	1.35	1.65	-	-	-	-	-
122	85	-	5125	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.40	1.45	1.05	2.00	-	-	-	-	-
122	86	-	5053	11 a	中	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.60	1.30	1.20	2.54	-	-	-	-	-
122	87	-	4662	11 a	上	L04 M03 J-5	礫石片	A3	OB	3U	1.90	1.30	1.30	3.44	-	-	-	-	-



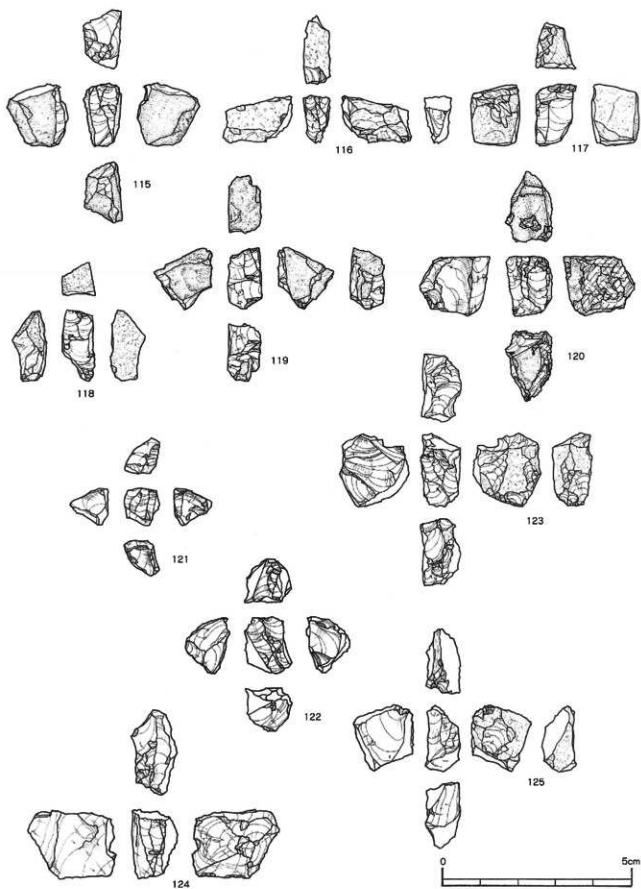
第122図 第4文化層第3遺物集中部出土石器 (3)



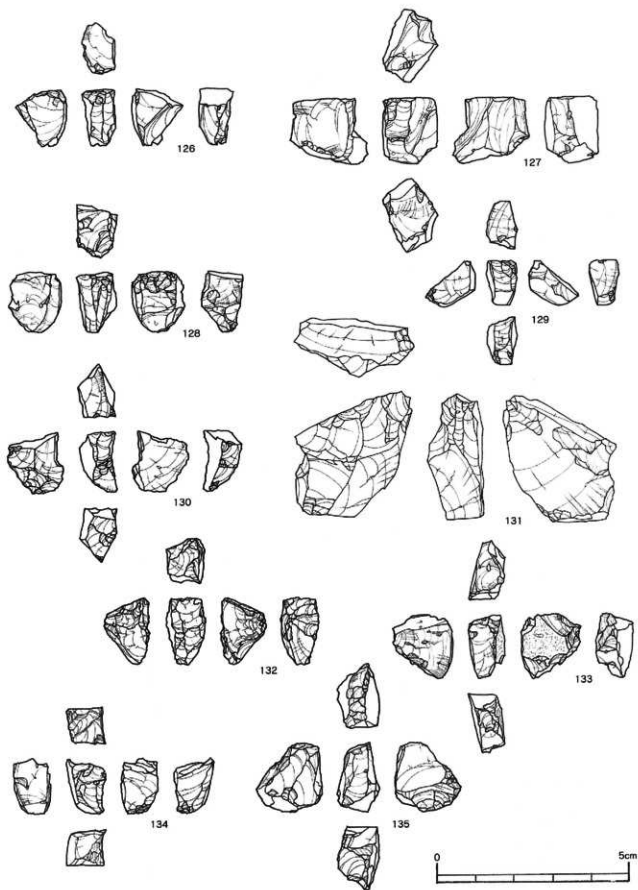
第123圖 第4文化層第3遺物集中部出土石器(4)



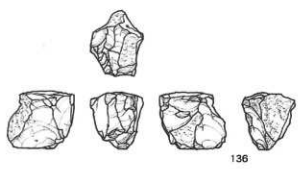
第124图 第4文化層第3遺物集中部出土石器 (5)



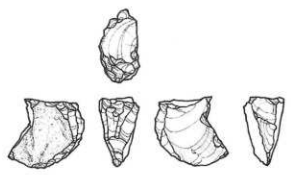
第125図 第4文化層第3遺物集中部出土石器 (6)



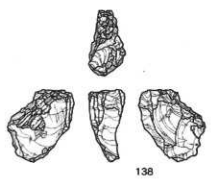
第126图 第4文化层第3遺物集中部出土石器 (7)



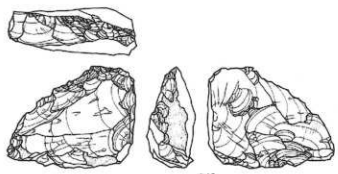
136



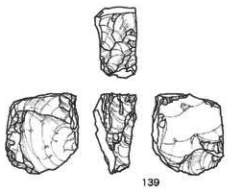
137



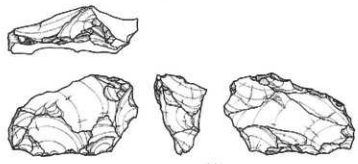
138



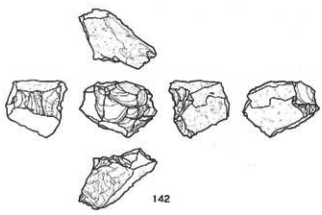
140



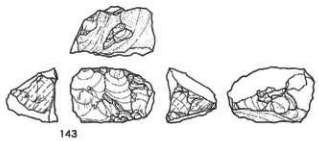
139



141



142



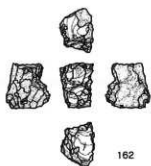
143



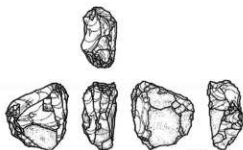
第127圖 第4文化層第3遺物集中部出土石器(8)



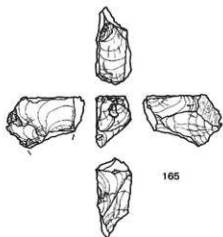
第128图 第4文化层第4遗物集中部出土石器 (1)



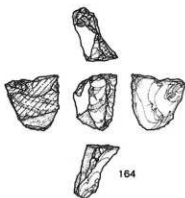
162



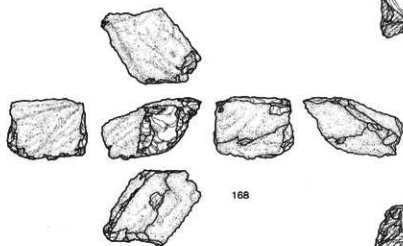
163



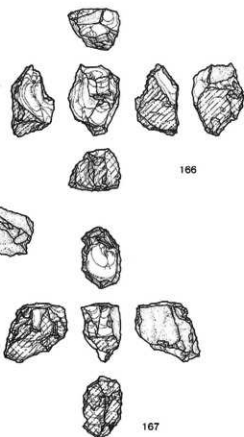
165



164

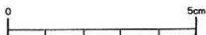


168

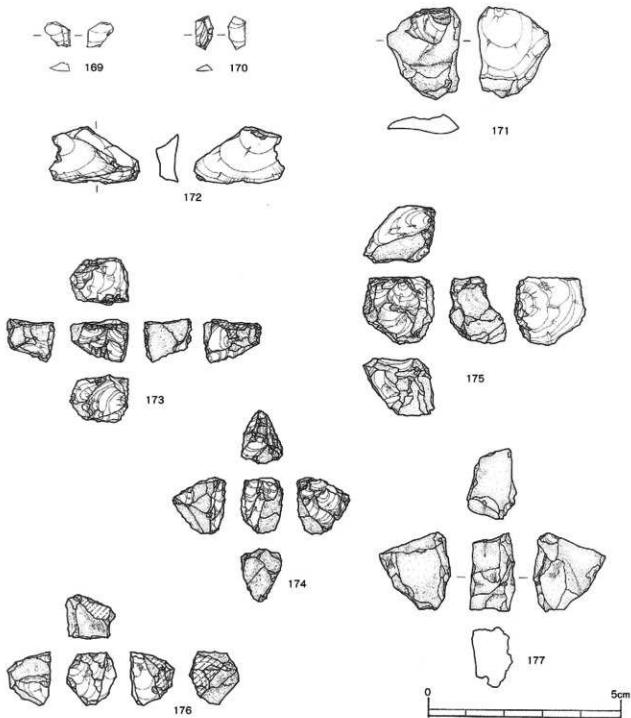


166

167



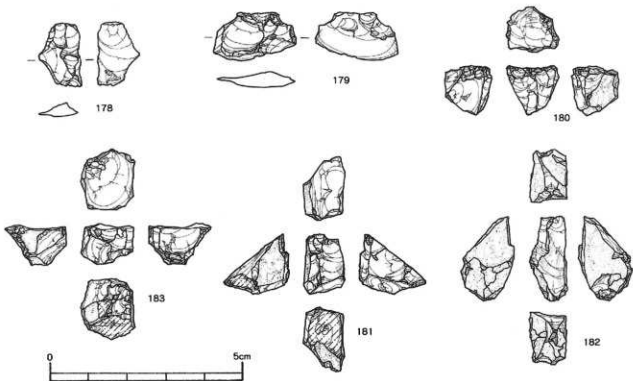
第129図 第4文化層第4遺物集中部出土石器 (2)



第130圖 第4文化層第5遺物集中部出土石器

第41表 第4文化層石器計測表(5)

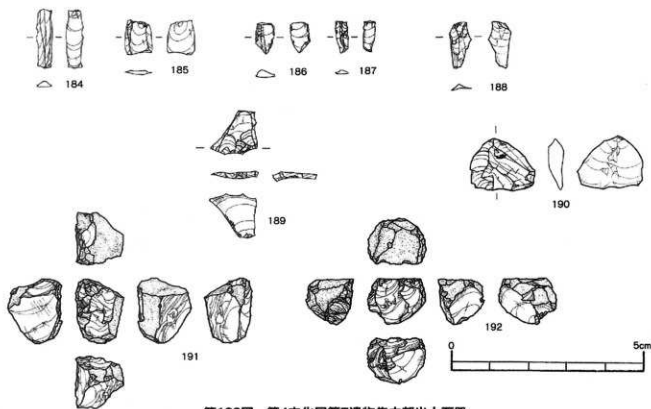
標本No.	圖No.	出土No.	層位	出土位置	用途	分類1	分類2	面長	面寬	厚	重量	容積	容積率	容積率	容積率	容積率	備考
128	156	4888	11	a	上	L04	M04	1.5	1.80	1.00	1.80	—	—	—	—	—	—
128	157	4910	10	b	—	L04	M04	1.5	1.90	1.05	1.30	2.73	—	—	—	—	—
128	158	4906	11	a	F	L04	M04	1.5	1.20	0.95	1.10	0.97	—	—	—	—	—
128	159	4916	11	a	上	L04	M04	1.5	1.60	1.35	1.30	1.90	—	—	—	—	—
128	160	4905	11	a	上	L04	M04	1.5	1.60	1.75	1.25	2.35	—	—	—	—	—
128	161	4917	10	b	—	L04	M04	1.5	1.25	0.95	0.90	1.51	—	—	—	—	—
129	162	4838	10	b	—	L04	M04	1.5	1.30	0.85	1.20	1.04	—	—	—	—	—
129	163	4926	11	a	F	L04	M04	1.6	1.85	0.90	1.65	2.85	—	—	—	—	—



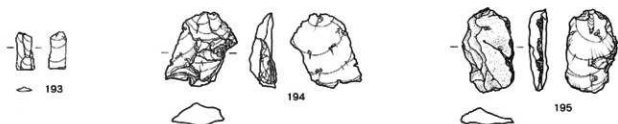
第131図 第4文化層第6遺物集中部出土石器

第42表 第4文化層石器計測表(6)

種目No.	図No.	用途別	表上No.	層位	文化層	遺物	分類	分類上	分類下	石種1	石種2	長さ	幅	厚さ	重量	図合No.	図合	用途	出土場所	備考		
129	164	-	4877	10	b	-	L04	M04	I-5	礫石刃核	E2	OB	3U	1.50	1.15	1.45	1.44	-	-	-	-	
129	165	-	4826	11	a	上	L04	M04	I-5	礫石刃核	F	OB	3U	1.40	0.95	2.10	2.43	-	-	-	下層穴遺	
129	166	-	4925	11	a	中	L04	M04	I-6	礫石刃核	F	OB	3U	1.95	1.30	1.15	2.51	-	-	-	打製穴遺	
129	167	-	4918	11	a	上	L04	M04	I-6	礫石刃核	F	OB	3U	1.60	1.00	1.70	2.43	-	-	○	打製穴遺	
129	168	-	4839	11	a	上	L04	M04	I-6	フランク	-	OB	3U	1.65	2.65	2.05	5.20	-	-	○	-	
130	169	-	5211	11	a	上	L04	M05	I-6	礫石刃	T	OB	3U	0.68	0.66	0.27	0.69	-	-	-	-	
130	170	-	5210	11	a	上	L04	M05	I-6	礫石刃	C	OB	1	0.90	0.47	0.18	0.07	-	-	○	-	
130	171	-	5221	10	a	-	L04	M05	I-5	剥片	-	OB	3U	2.41	1.70	0.94	3.37	-	-	-	-	
130	172	-	5214	11	a	上	L04	M05	I-5	剥片	-	OB	3U	1.53	2.35	0.58	1.84	-	-	-	-	
130	173	-	5218	10	a	-	L04	M05	I-5	細石刃核	A3	OB	3U	1.15	1.50	1.25	2.23	-	-	-	-	
130	174	-	5219	11	a	中	L04	M05	I-5	細石刃核	A3	OB	3U	1.50	1.10	1.40	1.93	-	-	-	-	
130	175	-	5231	10	b	-	L04	M05	I-5	細石刃核	B	OB	3U	1.80	1.80	1.50	4.01	-	-	-	-	
130	176	-	5222	11	a	上	L04	M05	I-5	細石刃核	B	OB	3U	1.40	1.30	1.20	2.04	-	-	-	-	
130	177	-	5225	10	a	-	L04	M05	I-5	原礫	-	OB	3U	1.95	1.80	1.16	4.90	-	-	-	-	
131	178	-	5287	11	a	上	L04	M06	I-5	調整剥片	-	OB	1	1.71	1.10	0.46	0.83	-	-	-	-	
131	179	-	5284	11	a	上	L04	M06	I-5	剥片	-	OB	3U	1.30	2.15	0.41	1.04	-	-	-	-	
131	180	-	5286	11	a	中	L04	M06	I-5	細石刃核	C	OB	3U	1.30	1.40	1.20	1.77	-	-	-	-	
131	181	-	5289	11	a	上	L04	M06	I-6	細石刃核	D3	OB	3U	1.60	1.10	1.70	2.40	-	-	-	-	
131	182	-	5283	11	a	上	L04	M06	H-5	細石刃核	D1	OB	3U	1.25	1.00	1.40	2.86	-	-	-	-	
131	183	-	5292	11	a	上	L04	M06	I-5	細石刃核	F	OB	3U	1.05	1.35	1.10	2.28	-	-	-	打製穴遺	
132	184	-	5250	10	b	中	L04	M07	H-5	細石刃	TCB	OB	4	1.55	0.45	0.17	0.13	-	-	-	-	
132	185	-	5279	10	b	-	L04	M07	I-5	細石刃	TC	OB	3U	0.95	0.70	0.11	0.08	-	-	○	-	
132	186	-	5308	11	a	中	L04	M07	I-4	細石刃	C	OB	3U	0.83	0.50	0.21	0.08	-	-	○	-	
132	187	-	5385	11	a	中	L04	M07	I-5	細石刃	C	OB	4	0.80	0.33	0.12	0.03	-	-	-	-	
132	188	-	5260	10	b	-	L04	M07	I-5	調整剥片	フリス・スケー	OB	1	1.23	0.58	0.22	0.09	-	-	-	-	
132	189	-	5255	10	b	-	L04	M07	I-5	調整剥片	右面調整剥片	OB	4	0.11	1.30	1.20	0.83	-	-	-	-	
132	190	-	5251	10	b	-	L04	M07	I-5	調整剥片	右面調整剥片	OB	1	1.40	1.70	0.19	0.18	-	-	-	-	
132	191	-	5386	11	a	-	F	L04	M07	I-6	細石刃核	B	OB	3U	1.75	1.30	1.60	2.66	-	-	-	-
132	192	-	5270	11	a	上	L04	M07	I-6	細石刃核	B	OB	3U	1.20	1.50	1.25	2.22	-	-	-	-	
133	193	-	5301	11	-	中	L04	M08	I-4	細石刃	TC	OB	5	1.01	0.47	0.12	0.05	-	-	-	-	
133	194	-	5297	10	b	-	L04	M08	I-4	調整剥片	-	OB	2C	2.00	1.89	0.72	1.67	-	-	-	-	
133	195	-	5302	11	-	上	L04	M08	I-4	使用痕剥片	-	OB	3U	2.24	1.41	0.54	1.28	-	-	○	-	
134	196	-	5408	11	-	上	L04	M08	I-4	細石刃	TCB	OB	1	0.88	0.40	0.21	0.05	-	-	-	-	
134	197	-	5326	11	-	上	L04	M08	I-4	細石刃	TCB	OB	3U	1.94	0.64	0.26	0.23	-	-	○	○	
134	198	-	5437	11	a	中	L04	M08	I-4	細石刃	TC	OB	3	1.10	0.61	0.19	0.10	-	-	○	○	



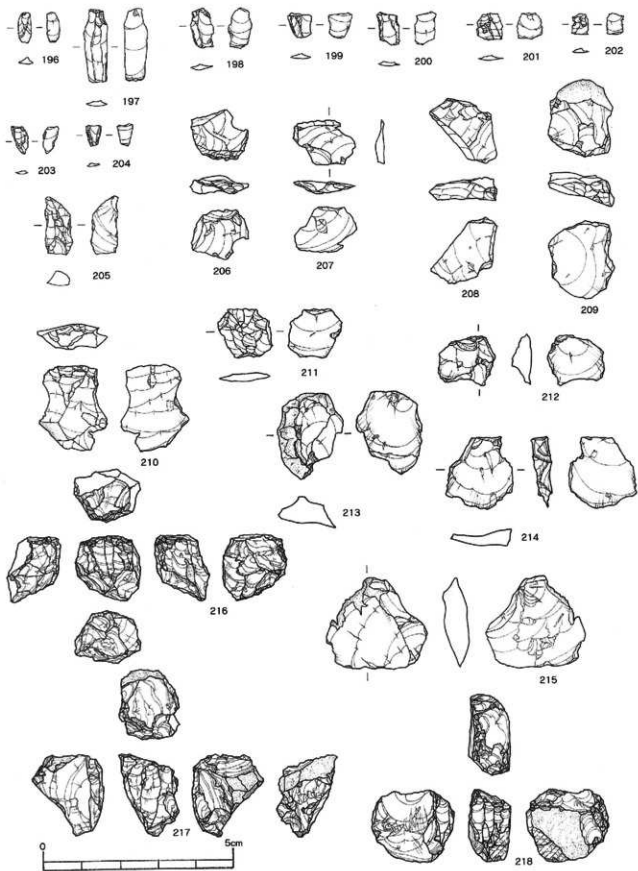
第132図 第4文化層第7遺物集中部出土石器



第133図 第4文化層第8遺物集中部出土石器

第43表 第4文化層石器計測表(7)

採集No.	図No.	所在地	取上No.	高	幅	厚	重量	テラ	分類1	分類2	石割1	石割2	長さ	幅	厚	重量	取上No.	層	種別	用途	状態	備考
134	199	-	5362	11	-	上	L04 M09 14	細石刃	C	OB	3U	0.71	0.67	0.13	0.05	-	-	○	-	-	-	-
134	200	-	5366	11	-	上	L04 M09 14	細石刃	C	OB	3U	0.92	0.62	0.18	0.06	-	-	○	-	-	-	-
134	201	-	5417	11	-	中	L04 M09 14	細石刃	T	OB	1	0.75	0.71	0.17	0.07	-	-	○	-	-	-	-
134	202	-	5465	11	a	上	L04 M09 14	細石刃	T	OB	1	0.61	0.48	0.12	0.03	-	-	○	-	-	-	-
134	203	-	5399	11	-	上	L04 M09 14	細石刃	B	OB	1	0.80	0.49	0.11	0.03	-	-	-	-	-	-	-
134	204	-	5403	11	-	中	L04 M09 14	細石刃	B	OB	3	0.58	0.41	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-
134	205	-	5322	10	b	-	L04 M09 14	調整薄片	フラスゴ-ム	OB	3U	1.59	0.73	0.51	0.47	-	-	-	-	-	-	-
134	206	-	5327	10	b	-	L04 M09 14	調整薄片	打直調整薄片	OB	1	0.50	1.50	1.36	0.56	-	-	-	-	-	-	-
134	207	-	5438	11	a	-	L04 M09 14	調整薄片	打直調整薄片	OB	1	0.38	1.60	1.20	0.06	-	-	-	-	-	-	-
134	208	-	5342	11	-	上	L04 M09 14	調整薄片	打直調整薄片	OB	1	0.64	1.80	1.75	1.39	-	-	-	-	-	-	-
134	209	-	5355	10	b	-	L04 M09 14	調整薄片	打直調整薄片	OB	1	0.94	1.71	2.10	2.51	-	-	-	-	-	-	-
134	210	-	5343	11	-	上	L04 M09 14	調整薄片	打直調整薄片	OB	1	2.35	1.80	0.70	1.94	-	-	-	-	-	-	-
134	211	-	5338	11	-	上	L04 M09 14	調整薄片	打直調整薄片	OB	1	1.56	1.45	0.29	0.47	-	-	-	-	-	-	-
134	212	-	5333	11	-	上	L04 M09 14	調整薄片	-	OB	1	1.38	1.53	0.53	0.86	-	-	-	-	-	-	-
134	213	-	5335	11	-	上	L04 M09 14	薄片	-	OB	3U	2.38	1.78	0.93	2.91	-	-	-	-	-	-	-
134	214	-	5412	11	-	上	L04 M09 14	薄片	-	OB	1	1.92	1.82	0.06	1.31	-	-	-	-	-	-	-
134	215	-	5320	10	b	-	L04 M09 14	使用痕跡片	-	OB	1	2.50	2.65	0.87	4.36	-	-	-	-	-	-	-
134	216	-	5356	10	b	-	L04 M09 14	細石刃核	A2	OB	1	1.80	1.70	1.45	4.11	-	-	-	-	-	-	-
134	217	-	5354	10	b	-	L04 M09 14	細石刃核	B2	OB	1	2.20	1.60	1.90	5.54	-	-	-	-	-	-	-
134	218	-	5396	11	a	中	L04 M09 14	細石刃核	B2	OB	3U	1.95	1.10	2.20	4.86	-	-	-	-	-	-	-

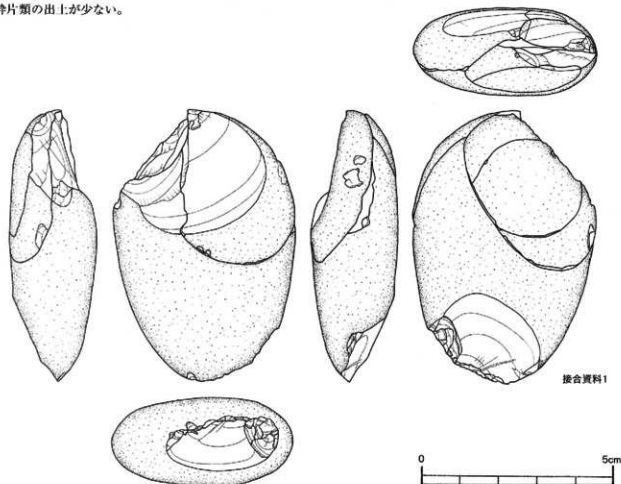


第134圖 第4文化層第9遺物集中部出土石器

第12遺物集中部 長径で約9mの比較的大い範囲で設定しているが、平面上の分布の粗密から、西側と東側の2か所の集中か所に区分されるものとみられる。さらに、この第12遺物集中部の東側の遺物集中部外として遺物を取り上げている部分に、別に遺物の集中か所が設定されるとみられる。第12集中部として取り上げた石器は細石刃17点、二次加工痕剥片・使用痕剥片を含む剥片石器類4点、調整剥片を含む剥片類4点、細石刃核10点、棒状嵌石類6点、台石1点が出土している。剥片石器の石材は黒曜石のほか頁岩が用いられている。黒曜石ではⅢU類を主体となり、Ⅰ類がこれに次ぐ。接合資料1は、灰茶褐色の良質な頁岩の扁平な円礫で、上下両端部を打面に剥片剥離を行なうものである。接合した剥片に加工痕等はみられないが、E2類に分類した頁岩製の細石刃核(251・252)の素材と共通する特徴をもつ。第12遺物集中部として取り上げた石器では、全体の出土石器点数に比して砕片類の出土が少ない。

219は黒色で透明感のある、比較的良好な黒曜石製で石鏃の破片とみられる。細石刃では、頭部を含む資料では、頭部調整を行なうものも多く、細石刃の分割に伴う頭部及び尾部のみの資料を除き、線状痕や微細剥離など使用によるとみられる痕跡をもつものが多い。239は黒曜石Ⅰ類の剥片で、腹面側に周縁から二次調整が行なわれ、下縁部分に斜行する小剥離がみられる。

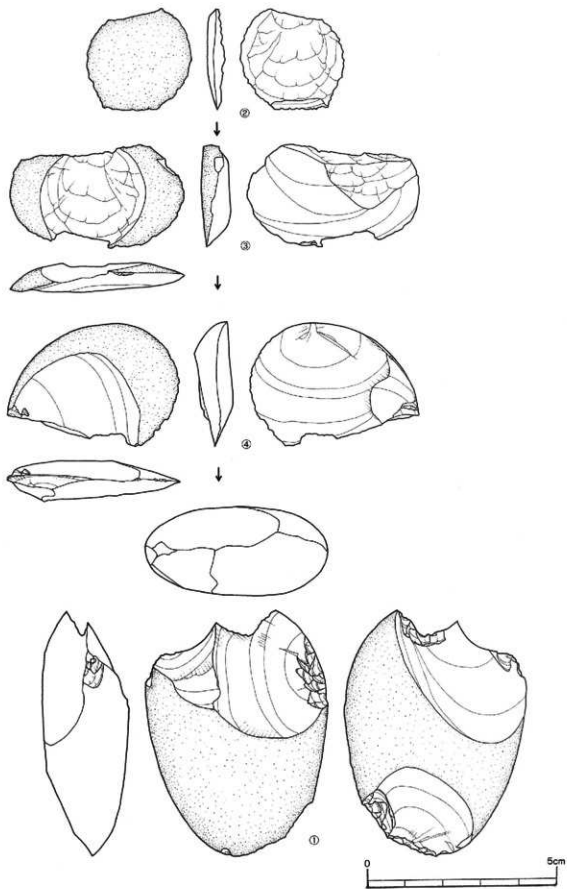
243は黒曜石Ⅰ類製で分割礫を素材とし、作業面側から調整される短い打面をもつが、下半部を欠損する(F類)。244・245はいずれも黒曜石ⅢU類製の細石刃核で、244は礫、245は分割礫を素材とし、作業面側からの剥離で打面を作り出したのち、打面端細調整を施す。背面をもち、側面形が半月形ないし三角形を呈するもので、A4類に分類した。246～248は板状の礫分割礫を素材とし、側面側から打面調整(打面形成)を行なうもので、D3類とした。



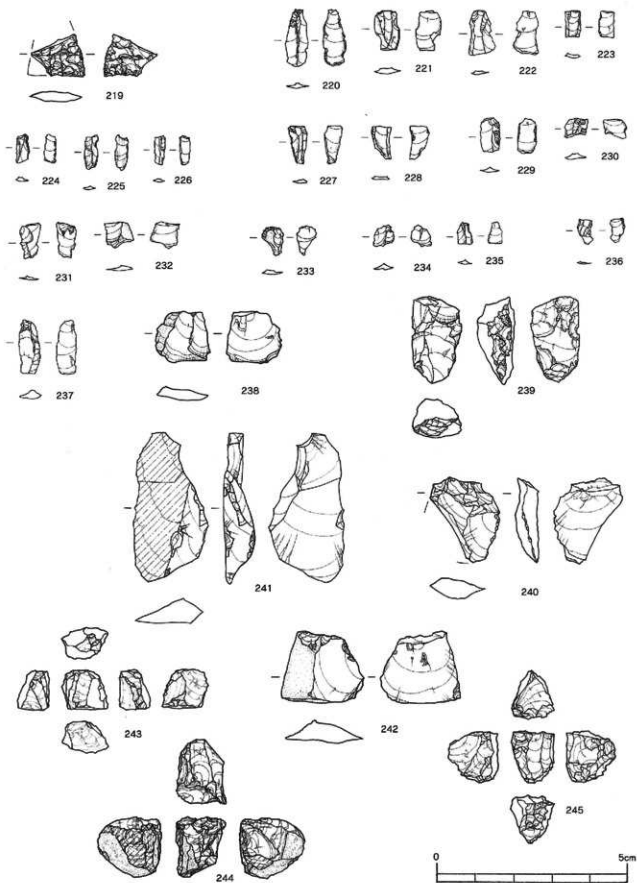
第135図 第4文化層第12遺物集中部出土石器(1)

第44表 第4文化層石器計測表(8)

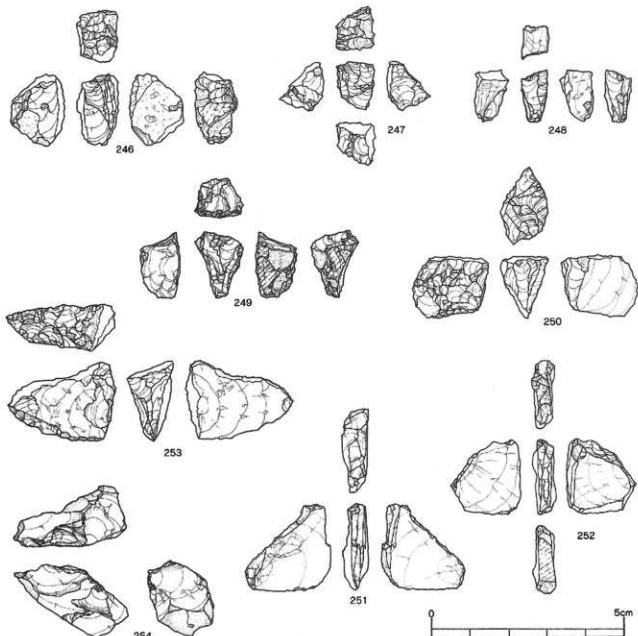
標本No.	図No.	遺物No.	取上No.	層位	種別	用途	材質	分類1	分類2	厚(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	重量(g)	接合No.	調整	使用	修理	備考	備考		
136	接合資料01	①	5781	11	a	中	L01	H4	石核	-	SH	6.49	4.81	2.28	60.87	SSG28	-	-	-	-	
136	接合資料01	②	5483	10	b	上	L01	H4	チップ	-	SH	2.60	2.72	0.48	3.04	SSG28	-	-	-	-	
136	接合資料01	③	5679	11	a	上	L04	M12	H4	剥片	-	SH	2.74	4.51	0.79	8.37	SSG28	-	-	-	-
136	接合資料01	④	5782	10	b	-	L04	M12	H3	使用痕剥片	-	SH	3.28	4.47	1.02	11.54	SSG28	-	-	-	-



第136圖 第4文化層第12遺物集中部出土石器 (2)



第137圖 第4文化層第12遺物集中部出土石器 (3)

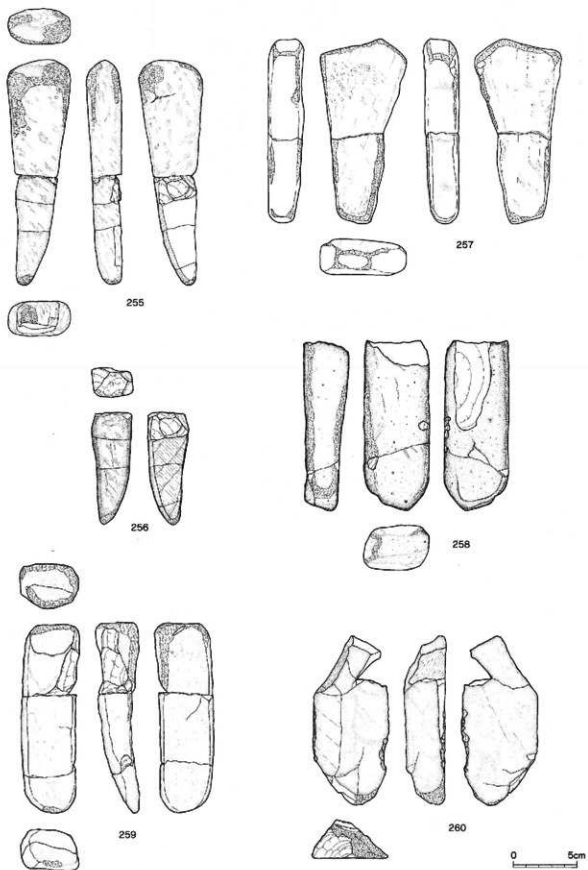


第138図 第4文化層第12遺物集中部出土石器(4)

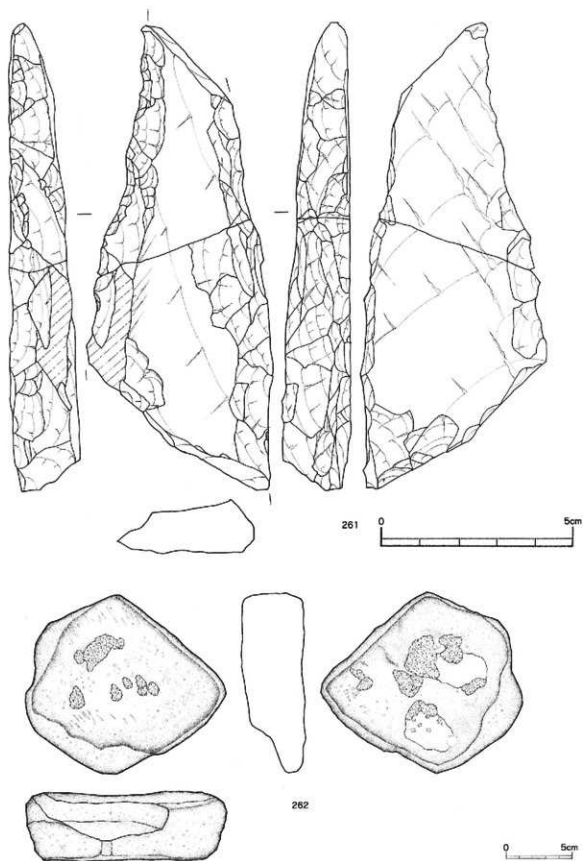
250は剥片を素材とし、右側面から繰り返し打面調整を行なう細石刃核で、正面観が楔形を呈するもので、E2類に分類した。下縁及び尾縁に細かい剥離痕がみられる。251・252はいずれも硬質頁岩の厚みの薄い剥片を素材とし、側面から打面調整を行なうもので、E2類としたが、252についてはD類(板状剥片素材)とすべきかもしれない。253は黒色で透明感があり不純物を多く含む黒曜石ⅡA類で、上面は左右側面から平坦気味に剥離調整され、下辺部分には右側面からの細かい調整痕がある。また右側面には正面側からの剥離がみられる。ブランクとした。255は棒状敲石類A2類に分類したもので、上下両端に敲打痕があり、使用により折れた後、再びその下半部(256)が使用されたとみられる。256にも上下両端に敲打痕がみられる。棒状敲石類には集中部外との接合関係があり、

一部が集中部内で出土した資料を含んでいる。261は多孔質安山岩製の大型の剥片で、主に版面側から両側面に調整が加えられており、一部背面側からも剥離調整される。打面側及び先端部の一部を欠損し全形が不明であるため、スクレイパーとし検討の余地がある。262は台石で一部被熱の痕跡があるが、表裏に敲打もしくは敲打+「つぶれ」とみられる痕跡があり、台石とした。

第11遺物集中部 H・I-2・3区のグリッド境界付近で検出された遺物集中部で、細石刃4点、使用痕剥片1点のほか、調整剥片1点と出土点数は少ない。石材はファーストスポールとみられる調整剥片がⅢJ類であるのを除くと、他はすべて黒曜石Ⅰ類である。267は左半部を欠損するが、左側部分に微細な剥離痕がみられ、使用痕剥片とした。



第139圖 第4文化層第12遺物集中部出土石器 (5)



第140圖 第4文化層第12遺物集中部出土石器 (6)

第1遺物集中部

①土器 (XIa層出土土器)

XIa層から出土した土器片99点をXIa層出土土器とした。2点を除き第1遺物集中部から出土している。このうちから、遺存状態が比較的良好なものを12点選び図化した。ほとんどが無文であるが、2点に帯状のわずかな隆起が観察される。ただし、小片であるため、隆起線と断定することはできない。

XIa層出土土器は、出土点数は多いが、ほとんどが小片であるため、詳細は不明である。

269は、口縁部の破片である。口唇部は舌状に外反している。下から上方向へのナデ調整が施されている。

270・271は、外面にわずかに帯状の隆起が観察される資料である。どちらも内面は、剥落している。

270は、幅2mm程の隆起が、3条みられるが、上・下

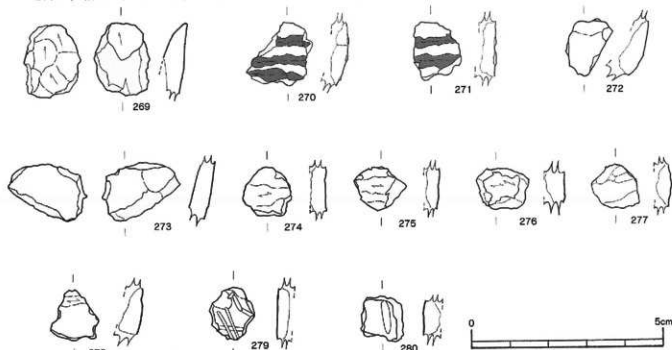
の隆起には部分的に剥落が生じている。断面観察では、紐状の粘土を貼り付けたようにみえる。271は、幅2～3mm程の隆起が、2条貼り付けられているようにみえる。272は、下部が丸みを帯びていることから、底部近くの破片であると思われる。内面は剥落している。

273は、下から上方向へのナデ調整が施されている。

274～276は、外面に横位を基本とするナデ調整が施されている。全て、内面は剥落している。

277は、外面の上部に幅2mm程の圧痕がみられる。278は、外面の上部に幅2mm程の圧痕が見られる。横位を基本とする丁寧なナデ調整が施されている。277・278の内面は剥落している。

279は、内面に幅1mm程の圧痕がみられる。280は、内面に幅2mm程の圧痕がみられる。279・280は、外面が剥落している。



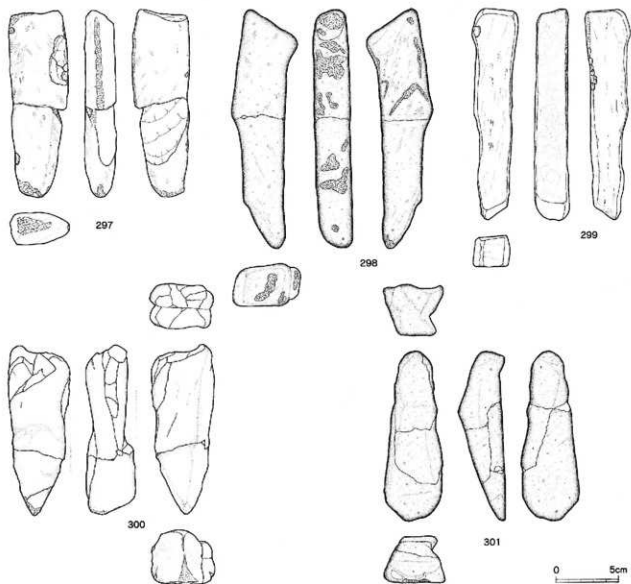
第142図 第4文化層第1遺物集中部出土土器

第46表 第4文化層土器観察表

観測番号	発掘番号	発掘時期	時期	出土区(遺構)	出土層	器種	部位	胎土	調整		色調		取上げ番号	出土レベル(m)	備考
									外面	内面	外面	内面			
142	269	419	縄石器	I-2	XIa	流鉢	口縁部	角閃石・小礫・(石英・長石)	ナデ	ナデ	良好	赤褐色・赤褐色	2189	292.775	
142	270	417	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・小礫・(石英・長石)	ナデ	-	普通	横	2381	292.64	幅2mmの隆起が3条
142	271	418	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・小礫・長石	ナデ	-	普通	黄褐色	2424	292.668	幅3mmの隆起が2条
142	272	425	縄石器	I-2	XIa	流鉢	底部附近	小礫・石英	ナデ	-	普通	横	2202	292.725	
142	273	420	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・石英	ナデ	ナデ	良好	横	2359	292.76	
142	274	421	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・小礫	ナデ	-	普通	横	2214	292.73	
142	275	422	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・小礫・長石	ナデ	-	普通	横	2229	292.755	
142	276	423	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・小礫・長石	ナデ	-	普通	横	2241	292.7	
142	277	424	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	小礫	剥落?	-	普通	横・縦	2374	292.685	
142	278	426	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	角閃石・小礫・石英	ナデ	-	普通	横	2213	292.78	条痕状の痕みあり
142	279	427	縄石器	H-1	XIa	流鉢	胴部	小礫・石英	-	ナデ	普通	横・縦	2267	292.7	幅1mmの隆起の点痕
142	280	428	縄石器	I-2	XIa	流鉢	胴部	小礫・石英	-	ナデ	普通	横・縦	2240	292.75	幅2mmの隆起が2条あり



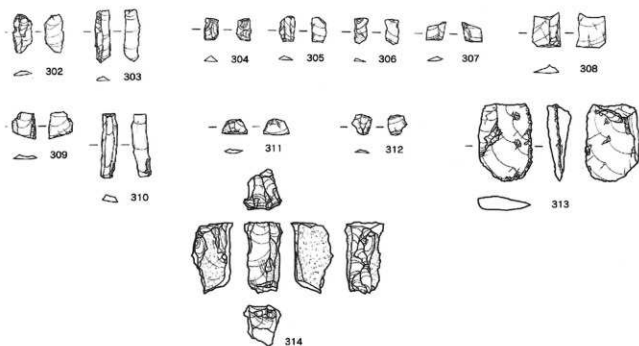
第143圖 第4文化層第1遺物集中部出土石器(1)



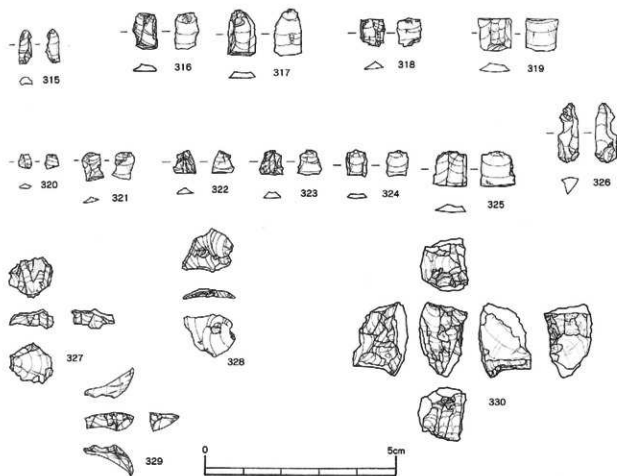
第144図 第4文化層第1遺物集中部出土石器 (2)

第47表 第4文化層石器計測表 (10)

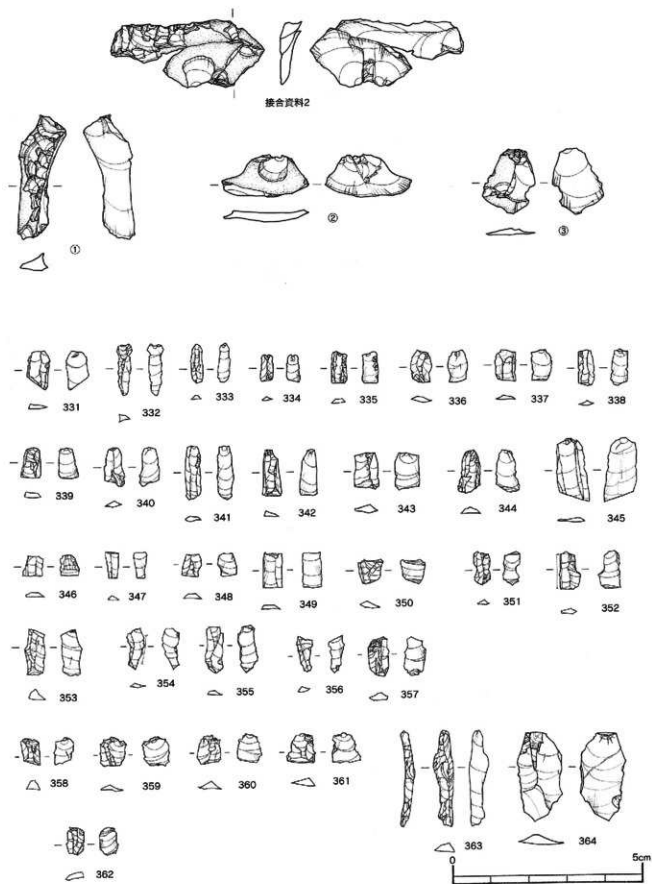
神原No.	図No.	全長(mm)	最大幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	分層上	分層下	石種	打製法	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	保存No.	出土層	出土位置	出土時期	備考				
143	291	-	5937	10	b	-	L04	M19	I2	礫石	C4	OB	3	1.20	1.00	0.25	0.27	-	-	-	-	-
143	292	-	2391	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	TC	OB	3	1.00	0.53	0.16	0.10	-	O	-	-	-
143	293	-	2393	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	TC	OB	3U	1.18	0.73	0.24	0.16	-	-	-	-	-
143	294	-	2445	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	C	OB	3	0.79	0.35	0.11	0.02	-	-	O	-	-
143	295	-	2230	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	C	OB	3	0.86	0.49	0.10	0.02	-	-	-	-	-
143	296	-	2216	11	a	-	L04	M01	I2	燧石片	打製燧石片	OB	1	0.18	1.28	0.66	0.13	-	-	-	-	-
143	297	-	5005	11	a	△	L04	M10	I2	燧石片	-	OB	2C	3.55	2.00	0.78	4.18	-	-	-	-	-
143	298	-	2224	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	A3	OB	3U	1.45	1.68	1.86	2.62	-	-	-	-	-
143	299	-	2296	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	A3	OB	3	1.50	1.20	0.96	3.45	-	-	-	-	-
143	300	-	2235	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	A3	OB	3	1.60	1.50	1.10	2.00	-	-	-	-	-
143	301	-	2149	11	a	-	L04	M01	H2	礫石片	A3	OB	3U	2.20	2.30	1.35	2.95	-	-	-	-	-
143	292	-	2200	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	B	OB	3U	2.00	1.35	1.30	3.49	-	-	-	-	-
143	302	-	2448	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	C	OB	3U	0.92	1.64	0.92	1.32	-	-	-	-	-
143	294	-	2220	11	a	△	L04	M01	I2	礫石片	C	OB	1	1.42	1.20	1.10	1.87	-	-	-	-	-
143	296	-	2437	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	D1	OB	3U	1.30	0.75	0.85	1.04	-	-	-	-	-
143	296	-	2252	11	a	-	L04	M01	I2	礫石片	F	OB	3U	1.60	1.25	1.40	2.25	-	-	-	-	-



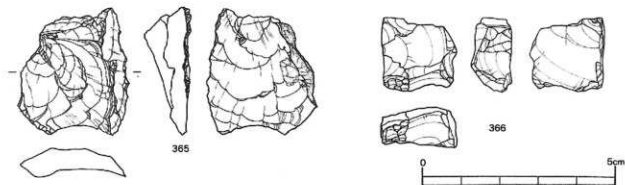
第145圖 第4文化層第22遺物集中部出土石器



第146圖 第4文化層第23遺物集中部出土石器



第147图 第4文化层桐木调查区出土石器 (1)



第148図 第4文化層桐木調査区出土石器 (2)

土器は集中部のほぼ中心付近から出土し、検出レベルは上下に約20cm程度の差がある。細石刃、細石刃核と混在して出土して出土するが、Xa層～XI層の各細分層の堆積が厚い部分であり、層位的には安定した状態で出土している。II・I-2区及びH-3区は迂回路を建設した部分で、第1遺物集中部の隣接部分で、後に第10遺物集中部を設定しているが、第1遺物集中部出土に含め報告した。

②石器

281は黒曜石Ⅲ類製の石剣で、上部を欠損する。細石刃4点、剥片石器類1点、細石刃核9点、棒状敲石類5点が出土している。剥片石器類の石材は黒曜石製で、黒曜石Ⅲ類・ⅢⅠ類のほか、Ⅰ類・ⅡC類がみられる。細石

刃核はA3類(288～291)、B類(292)、C類(293・294)、打面と作業面の交換による打面転移を行なうD1類(295)、打面の欠損によりF類とした296が出土している。

第22遺物集中部 使用痕が認められるものを含む細石刃、使用痕剥片、D1類に分類した表裏・上下に作業面をもつ細石刃核314などが出土している。

第23遺物集中部 I-0区のXIa層面で検出された遺物集中部で、径約1.5mと比較的小規模である。細石刃、打面調整剥片、細石刃核A3類に分類した330などが出土している。

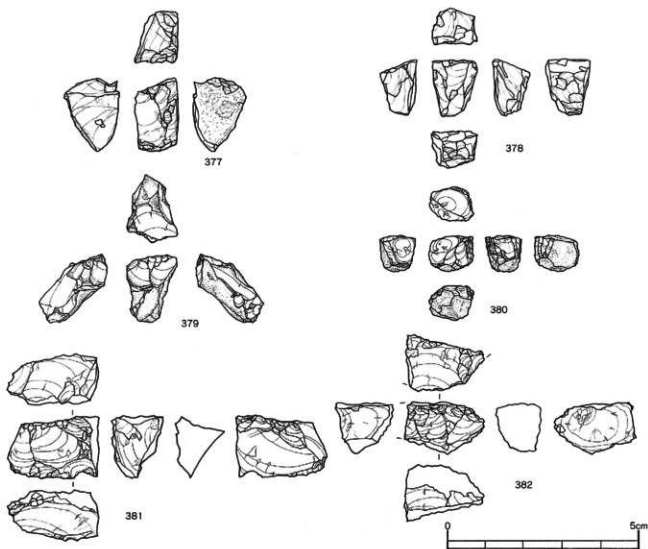
遺物集中部外出土の遺物 遺物の分布状況の再検討により集中部の設定可能なものを含んでいる。

第148表 第4文化層石器計測表 (11)

種別No.	図No.	測分No.	集No.	層位	部位	文相	用途	形状	分類1	分類2	径(mm)	厚(mm)	重量(g)	検出No.	検出層位	検出部	検出状況	備考		
144	297	-	2136	11	a	上	L04 M01	H-2	棒状敲石	B	SA	-	1490.460	2.60	188.15	-	-	S	-	-
144	298	-	2145	11	a	上	L04 M01	H-2	棒状敲石	B	SA	-	1910.530	3.10	174.66	-	-	S	-	-
144	299	-	2178	11	a	上	L04 M01	H-2	棒状敲石	B	SA	-	1680.360	2.70	245.52	-	-	S	-	-
144	300	-	2139	11	a	上	L04 M01	H-2	棒状敲石	C1	SA	-	1560.495	3.90	286.38	-	-	-	-	-
144	301	-	2150	11	a	上	L04 M01	H-2	棒状敲石	C3	SA	-	1560.470	3.65	221.38	-	-	-	-	-
145	302	-	14957	11	a	中	L04 M22	I-1	細石刃	TC	OB	3U	1.02	0.49	0.14	0.06	-	○	-	-
145	303	-	14942	11	a	上	L04 M22	I-1	細石刃	TC	OB	3U	1.37	0.40	0.09	0.07	-	○	-	-
145	304	-	14939	11	a	上	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	5	0.60	0.40	0.12	0.04	-	○	-	-
145	305	-	14943	11	a	上	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	5	0.65	0.41	0.10	0.03	-	○	-	-
145	306	-	14959	11	a	上	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	3U	0.61	0.30	0.10	0.02	-	○	-	-
145	307	-	15013	11	a	中	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	5	0.50	0.51	0.14	0.03	-	○	-	-
145	308	-	15033	11	a	下	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	5	0.92	0.77	0.20	0.14	-	○	-	-
145	309	-	14941	11	a	中	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	3	0.72	0.65	0.12	0.06	-	○	-	-
145	310	-	14940	11	a	中	L04 M22	I-1	細石刃	C	OB	5	1.68	0.49	0.15	0.13	-	○	-	-
145	311	-	14937	11	a	中	L04 M22	I-1	細石刃	T	OB	3	0.60	0.65	0.12	0.04	-	○	-	-
145	312	-	14955	10	b	-	L04 M22	I-1	細石刃	B	OB	5	0.50	0.50	0.14	0.02	-	○	-	-
145	313	-	14925	11	a	上	L04 M22	-	使用痕剥片	-	OB	2C	2.00	1.38	0.64	1.21	-	○	-	-
145	314	-	14952	11	a	上	L04 M22	I-1	細石刃核	D1	OB	3U	1.90	0.95	1.05	1.90	-	○	-	-
146	315	-	16191	11	a	上	L04 M23	I-0	細石刃	TC	OB	3U	0.92	0.36	0.17	0.06	-	○	-	-
146	316	-	16200	11	a	下	L04 M23	I-0	細石刃	TC	OB	3	0.97	0.60	0.17	0.11	-	○	-	-
146	317	-	16220	10	b	-	L04 M23	I-0	細石刃	TC	OB	3U	1.23	0.78	0.15	0.19	-	○	-	-
146	318	-	16226	11	a	上	L04 M23	I-0	細石刃	C	OB	1	0.76	0.66	0.20	0.10	-	○	-	-
146	319	-	16235	11	a	上	L04 M23	I-0	細石刃	C	OB	3	0.90	0.90	0.20	0.19	-	○	-	-
146	320	-	16173	11	a	上	L04 M23	I-0	細石刃	T	OB	1	0.40	0.38	0.08	0.02	-	○	-	-
146	321	-	16176	11	a	上	L04 M23	I-0	細石刃	T	OB	3	0.75	0.56	0.16	0.05	-	○	-	-
146	322	-	16178	10	b	-	L04 M23	I-0	細石刃	T	OB	3	0.63	0.58	0.15	0.05	-	○	-	-
146	323	-	16251	11	a	下	L04 M23	I-0	細石刃	T	OB	1	0.68	0.61	0.14	0.08	-	○	-	-
146	324	-	16257	11	a	中	L04 M23	I-0	細石刃	T	OB	3	0.71	0.56	0.13	0.05	-	○	-	-
146	325	-	16250	11	a	中	L04 M23	I-0	細石刃	T	OB	3	0.95	0.90	0.20	0.20	-	○	-	-



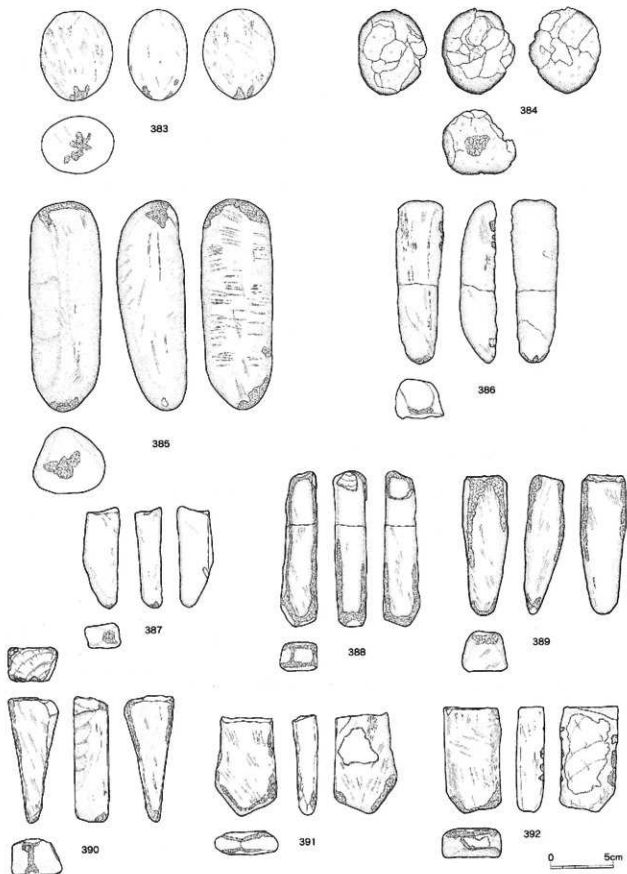
第149图 第4文化层桐木调查区出土石器(3)



第150図 第4文化層桐木調査区出土石器 (4)

第49表 第4文化層石器計測表 (12)

標本No.	図No.	発出地	表上No.	坑口	坑底	出土文化層	層別	アツガ	分類1	分類2	石種1	石種2	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	検出No.	採集	調査	検出	備考
146	326	-	16240	11	a	中	L04	M23	10	調整測片	自然調整測片	OB	3	1.61	0.57	0.49	0.34	-	-	-	-
146	327	-	16236	11	a	上	L04	M23	10	調整測片	打製調整測片	OB	1	0.51	1.15	1.10	0.20	-	-	-	-
146	328	-	16224	10	b	-	L04	M23	10	調整測片	打製調整測片	OB	1	1.18	1.35	0.23	0.58	-	-	-	-
146	329	-	16179	11	a	上	L04	M23	10	調整測片	打製調整測片	OB	1	0.83	1.30	0.50	0.19	-	-	-	-
146	330	-	16183	11	a	上	L04	M23	10	細石刃	A3	OB	1	2.00	1.25	1.45	3.65	-	-	-	-
147	331	-	2132	11	a	-	L04	-	H-3	細石刃	TCB	OB	3U	1.03	0.60	0.18	0.09	-	-	-	-
147	332	-	5099	10	b	-	L04	-	J-5	細石刃	TCB	OB	1	1.35	0.36	0.18	0.07	-	○	-	-
147	333	-	5935	11	a	上	L04	-	I-3	細石刃	TCB	OB	3U	1.00	0.32	0.05	0.03	-	○	-	-
147	334	-	14969	11	a	上	L04	-	I-2	細石刃	TC	OB	3	0.68	0.30	0.08	0.02	-	○	-	-
147	335	-	4805	10	b	-	L04	-	J-5	細石刃	TC	OB	3	0.82	0.40	0.10	0.04	-	○	○	-
147	336	-	5089	10	b	-	L04	-	J-6	細石刃	TC	OB	1	0.83	0.53	0.12	0.05	-	-	-	-
147	337	-	5165	11	a	中	L04	-	J-6	細石刃	TC	OB	1	0.81	0.55	0.14	0.07	-	○	-	-
147	338	-	5094	11	a	上	L04	-	J-6	細石刃	TC	OB	1	0.92	0.41	0.10	0.04	-	-	-	-
147	339	-	5826	11	a	上	L04	-	H-3	細石刃	TC	OB	3U	0.81	0.51	0.12	0.08	-	-	-	-
147	340	-	5936	11	a	上	L04	-	I-3	細石刃	TC	OB	6	1.01	0.50	0.20	0.08	-	-	-	-
147	341	-	5958	11	a	上	L04	-	I-4	細石刃	TC	OB	6	1.42	0.36	0.07	0.07	-	-	-	-
147	342	-	5970	11	a	F	L04	-	I-4	細石刃	TC	OB	6	1.21	0.49	0.14	0.09	-	-	-	-
147	343	-	5823	11	a	上	L04	-	H-3	細石刃	TC	OB	1	0.95	0.65	0.16	0.12	-	○	-	-
147	344	-	5087	10	b	-	L04	-	J-5	細石刃	TC	OB	3U	1.12	0.59	0.15	0.12	-	○	-	-
147	345	-	15011	11	a	上	L04	-	I-2	細石刃	TC	OB	4	1.70	0.81	0.13	0.20	-	○	○	-



第151图 第4文化層桐木調査区出土石器 (5)



第152图 第4文化層桐木調査区出土石器(6)

第50表 第4文化層石器計測表 (13)

埋蔵No.	品No.	発掘区	層位	形状	用途	分類I	分類II	材料	口径L1	長さL2	厚さH	重量(g)	総合No.	発掘区	層位	用途	備考				
147	346	-	5995	11 a	中	L04	-	1-4	磨石片	C	OB	5	0.31	0.53	0.12	0.04	-	-	-	-	-
147	347	-	5959	11 a	中	L04	-	1-4	磨石片	C	OB	5	0.68	0.37	0.14	0.03	-	-	-	-	-
147	348	-	5934	11 b	中	L04	-	1-4	磨石片	C	OB	5	0.61	0.50	0.10	0.04	-	-	-	-	-
147	349	-	5968	11 a	下	L04	-	1-4	磨石片	C	OB	5	0.93	0.52	0.09	0.08	-	-	-	-	-
147	350	-	5102	11 a	上	L04	-	1-5	磨石片	C	OB	3	0.63	0.67	0.17	0.06	-	-	-	-	-
147	351	-	11599	11 b	-	L04	-	L-6	磨石片	C	OB	3U	0.90	0.43	0.14	0.06	-	-	-	-	-
147	352	-	5966	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	C	OB	4	1.02	0.36	0.16	0.10	-	-	-	-	-
147	353	-	5105	11 a	下	L04	-	1-5	磨石片	C	OB	1	1.21	0.56	0.21	0.17	-	-	-	-	-
147	354	-	5919	11 a	上	L04	-	11-3	磨石片	CB	OB	3	1.10	0.45	0.14	0.04	-	-	-	-	-
147	355	-	5470	11 a	上	L04	-	1-4	磨石片	CB	OB	1	1.23	0.65	0.09	0.08	-	-	-	-	-
147	356	-	5085	11 a	上	L04	-	1-6	磨石片	CB	OB	4	0.90	0.42	0.09	0.03	-	-	-	-	-
147	357	-	5480	11 a	上	L04	-	1-3	磨石片	CB	OB	3	1.00	0.34	0.12	0.10	-	-	-	-	-
147	358	-	5088	10 b	-	L04	-	1-6	磨石片	T	OB	1	0.71	0.40	0.19	0.08	-	-	-	-	-
147	359	-	5104	11 a	上	L04	-	1-5	磨石片	T	OB	3	0.78	0.71	0.16	0.08	-	-	-	-	-
147	360	-	5855	11 a	上	L04	-	1-5	磨石片	T	OB	1	0.71	0.58	0.14	0.06	-	-	-	-	-
147	361	-	14999	11 a	下	L04	-	1-2	磨石片	T	OB	1	0.81	0.72	0.18	0.15	-	-	-	-	-
147	362	-	5098	10 b	-	L04	-	1-6	磨石片	B	OB	1	0.74	0.45	0.18	0.06	-	-	-	-	-
147	363	-	5839	11 a	上	L04	-	1-3	磨石片	OB	4	2.58	0.53	0.29	0.54	-	-	-	-	-	
147	364	-	5871	11 a	上	L04	-	1-3	磨石片	OB	4	2.33	1.17	0.30	0.25	-	-	-	-	-	
147	集合資料①	①	5860	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	-	OB	4	1.74	1.32	0.21	0.48	SSG36	-	-	-	-
147	集合資料②	②	5863	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	-	OB	4	3.32	1.88	0.48	1.40	SSG28	-	-	-	-
147	集合資料③	③	5863	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	-	OB	4	1.14	2.26	0.26	0.25	SSG26	-	-	-	-
148	365	-	2291	11 a	上	L04	-	1-5	磨石片	-	OB	1	2.32	2.88	1.11	6.65	-	-	-	-	-
148	366	-	505	11	-	L04	-	3T	ナイフ	-	OB	2X	1.90	1.88	1.20	4.65	-	-	-	-	-
149	367	-	4819	10 b	-	L04	-	1-5	磨石片	A1	OB	3U	1.60	1.35	0.85	1.84	-	-	-	-	-
149	368	-	14973	10 b	-	L04	-	1-2	磨石片	A1	OB	3U	1.90	1.75	1.20	3.06	-	-	-	-	経路付
149	369	-	2135	11 a	上	L04	-	1-2	磨石片	A3	OB	3C	1.95	1.26	1.25	3.26	-	-	-	-	-
149	370	-	493	11	-	L04	-	1T	磨石片	A3	OB	1	2.30	1.80	1.40	4.37	-	-	-	-	-
149	371	-	5921	11 a	上	L04	-	11-4	磨石片	A3	OB	3U	1.90	1.83	1.70	5.40	-	-	-	-	-
149	372	-	2306	10 b	-	L04	-	11-3	磨石片	A3	OB	3U	1.70	1.40	1.50	3.54	-	-	-	-	-
149	373	-	2295	10 b	-	L04	-	11-3	磨石片	A3	OB	3U	1.90	1.30	1.30	2.63	-	-	-	-	-
149	374	-	4372	10 b	-	L04	-	1-5	磨石片	B	OB	3C	2.10	1.30	1.30	3.18	-	-	-	-	-
149	375	-	5627	11 a	中	L04	-	1-6	磨石片	B	OB	3T	1.55	1.40	1.30	3.19	-	-	-	-	-
149	376	-	2133	11 a	上	L04	-	11-3	磨石片	F	OB	1	1.09	1.26	1.34	1.30	-	-	-	-	-
150	377	-	2296	10 b	-	L04	-	11-3	磨石片	D3	OB	3U	2.00	1.15	1.40	3.53	-	-	-	-	-
150	378	-	5814	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	D	OB	6	1.50	1.20	1.00	1.91	-	-	-	-	-
150	379	-	5489	10 b	-	L04	-	1-4	磨石片	F	OB	3U	1.80	1.51	1.82	2.87	-	-	-	-	-
150	380	-	5246	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	F	OB	3C	0.95	1.15	0.90	1.08	-	-	-	-	行跡付
150	381	-	4808	11 a	上	L04	-	1-5	石核	-	OB	3U	1.65	2.45	1.20	4.53	-	-	-	-	-
150	382	-	4876	11 a	上	L04	-	1-5	石核	-	OB	3U	1.40	2.15	1.30	4.13	-	-	-	-	-
151	383	-	5621	11 a	下	L04	-	1-2	磨石片	B B	SA	-	7.30	5.80	4.70	25.28	-	-	-	-	-
151	384	-	2281	10 b	-	L04	-	11-3	磨石片	V	AN	C	6.20	3.80	3.35	362.18	-	-	-	-	-
151	385	-	4809	10 b	-	L04	-	1-5	磨石片	A2	SA	-	17.00	3.80	5.40	775.00	-	-	-	-	-
151	386	-	5518	11 a	上	L04	-	1-3	磨石片	A1	SA	-	13.20	3.85	2.70	216.03	-	-	-	-	-
151	387	-	5520	11 a	上	L04	-	1-3	磨石片	A3	SA	-	8.15	2.90	2.10	68.36	-	-	-	-	-
151	388	-	5094	10 b	-	L04	-	11-4	磨石片	A2	SA	-	12.60	3.60	2.25	161.74	-	-	-	-	-
151	389	-	5295	11 a	上	L04	-	11-4	磨石片	A2	SA	-	11.30	3.70	3.30	133.44	-	-	-	-	-
151	390	-	5611	11 a	上	L04	-	11-4	磨石片	A2	SA	-	10.20	4.00	3.80	146.13	-	-	-	-	-
151	391	-	5063	10 b	-	L04	-	1-3	磨石片	B	SA	-	8.95	3.00	1.90	109.21	-	-	-	-	-
151	392	-	5525	11 a	下	L04	-	1-3	磨石片	B	SA	-	8.85	4.40	2.30	159.28	-	-	-	-	-
152	393	-	16200	10	-	L04	-	1-1	磨石片	B	SA	-	12.40	1.95	1.75	117.20	-	-	-	-	-
152	394	-	2270	11 a	上	L04	-	11-2	磨石片	B	SA	-	8.30	4.95	2.80	142.74	-	-	-	-	-
152	395	-	5530	11 a	上	L04	-	1-2	磨石片	B	SA	-	10.55	5.90	2.10	214.90	-	-	-	-	-
152	396	-	5529	11 a	上	L04	-	1-2	磨石片	B	SA	-	14.50	7.20	2.10	314.49	-	-	-	-	-
152	397	-	5451	10 a	-	L04	-	1-3	磨石片	C1	AS	C	14.10	3.40	2.50	239.95	-	-	-	-	-
152	398	-	14904	10 b	-	L04	-	1-2	磨石片	C1	SA	-	16.80	5.30	3.20	314.66	-	-	-	-	-
152	399	-	5495	10 b	-	L04	-	1-2	磨石片	C1	SA	-	17.00	6.30	4.00	399.74	-	-	-	-	-
152	400	-	2962	10	-	L04	-	11-3	磨石片	C1	SA	-	12.50	5.05	3.90	240.78	-	-	-	-	-

(2) 耳取調査区

第18遺物集中部 細石刃が主体となる集中部で、細石刃の頭部、尾部の切断片を含み、細石刃18点、砕片類2点、石礫1点が出土している。頭部片を含む資料では頭部調整が行なわれているもの比率が高い。また、頭部、尾部の切断片を除き、線状痕や微細剥離がみられ、使用された可能性がある細石刃が高い比率を占める。415は蛋白石製で一部を欠損するが、両面から調整が施されている。石礫として報告したが、やや厚みがあり、スクレイパーではないかとの指摘もある。

第15遺物集中部 図示した細石刃はいずれも黒曜石Ⅲ類で、頭部調整や使用痕がみられるものがそれぞれ半数を占める。細石刃核もすべて黒曜石Ⅲ類で、他に調整剥片2点が出土している。424は上面観及び側面観が扁平型で、打面長が短く、作業面側から打面調整を行なう。A1類に分類したが、正面観が縦長で、作業面幅が狭く、板状素材のD類の作業進行に伴う残核形態である可能性もある。425は打面長が短く作業面側から細かく打面調整を施す。背面が自然面で、側面観では必ずしも扁平ではないが、A1類とした。414は分割礫素材で、作業面側から打面調整を施しており、A3類とした。428は分割礫素材で打面調整を行なわず、礫面(自然面)を打面として、細石刃の剥出を行なっている。剥離は下縁まで抜け切らず、ステップしている。427は阿側面に礫面を残し、上面から左側面を剥離する板状に近い形状で、打面は分割面の可能性があるが、打面端細調整が施されている。D3類に分類した。

第20遺物集中部 細石刃を主体とする集中部で、細石刃8点に対し細石刃核の出土は1点のみである。細石刃の石材は429が黒色で透明度が低く、少量の不純物を含む黒曜石V類、430・431を黒曜石Ⅲ類、432～436を黒曜石ⅢU類に分類した。430・431は尾部を、432～435は頭部及び尾部を欠くが、意図的な切断による可能性が高い。425は黒曜石Ⅲ類製の細石刃核で、背面に自然面をもち、打面はやや後方に傾斜し短い。細石刃核A1類に分類している。

第14遺物集中部 細石刃76点、細石刃剥出に伴う横断面がやや甲高の三角形となるファーストスホール及び作業面調整剥片6点、細石刃核2点、その他砕片類が2点出土している。図示したものは483は黒曜石I類、498を黒曜石V類に分類したが、これを除く細石刃・調整剥片・細石刃核はすべて黒曜石Ⅲ類に分類した。

細石刃は、頭部調整を行なう割合が高い。また、頭部もしくは尾部のみの資料を除くと、側片部分に線状痕や微細剥離が観察される資料が多く、摺りガラス状に磨耗するものをはじめ、顕著な使用痕が観察される細石刃がみられる。438～444は頭部・中間部・尾部を含む多角形の細石刃、445～463及び469～474は頭部及び中間部、464～468及び475～482は中間部・尾部、484～497が中間部、483及び499～512を頭部、513・514を尾部と部位により分類した。

細石刃核はいずれも分割礫素材で、519は打面方向から、

520は側面方向からの剥離により、打面を獲得している。

第13遺物集中部 第14・第17・第19の各遺物集中部に北及び西側を取り囲まれるように接している比較的範囲の広い集中部である。第14集中部と同じく細石刃が12点と主体を占め、調整剥片類が13点、剥片5点、細石刃核7点、砕片1点が出土しており、比率では下がる。石材はすべて黒曜石で、細石刃では黒曜石Ⅲ類が58点、黒曜石ⅢU類が8点、V類が3点の他、黒曜石Ⅳ類・Ⅴ類が各1点含まれる。521・522を頭部・中間部・尾部を含む多角形、523～547を頭部・中間部、548～551を中間部及び尾部、552～578を中間部、579～587を頭部、588～591を尾部として部位により分類している。ここの中で、頭部を含む細石刃では高い割合で頭部調整の痕跡がみられ、また頭部・尾部のみの資料を除き極めて高い比率で、線状痕・微細剥離などの使用痕とみられる痕跡が観察される。

調整剥片は、作業面の調整に関わるとみられるものが主体であるが、側面からの打面調整に伴うとみられる打面調整剥片(597)も含まれている。

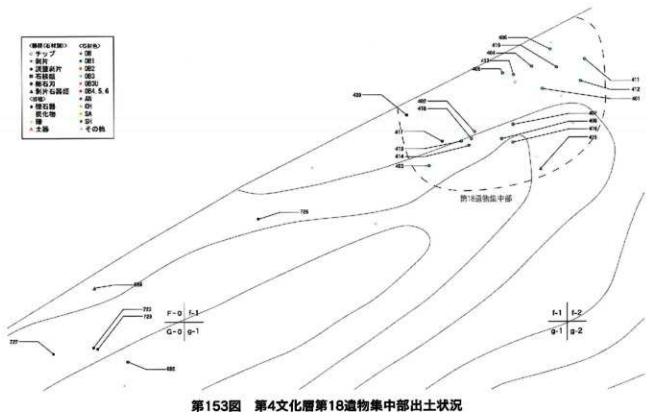
607・608はいずれも礫もしくは分割礫素材で、作業面方向から打面調整及び打面端細調整が行なわれる特徴から、A3類に分類したが、下縁部から側面方向に向けた調整が行なわれ、正面観が逆三角形に近い形状となるもので、A3類の中では新核に位置づけられる。609は礫素材で、平坦な礫面を打面とするB類で、側面部分でも礫面を打面として細石刃剥離を行なっている。610は板状の礫を素材とするD1類で、木口面上で打面と作業面が入れ替えている。601は剥片素材で楔形の正面観をもち、作業面方向から打面調整を行なうE1類で、下縁及び尾縁にそれぞれ片面のみ調整剥離が加えられている。613は打面に礫面をもつやや厚みのある剥片素材の細石刃核で、打面端細調整のみ施される。下部を欠損するため分類外とした。図示した細石刃核の石材はすべて黒曜石Ⅲ類である。

第19遺物集中部 第13集中部の北側に隣接して設定された集中部で、細石刃5点、調整剥片を含む剥片類5点、砕片類2点のみの出土である。石材の外観的特長から分類では黒曜石ⅡC類、Ⅲ類、ⅢU類、V類、Ⅴ類のバリエーションがみられた。

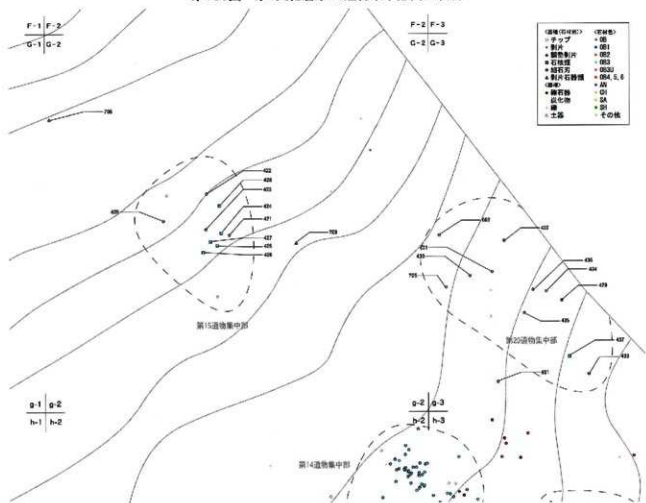
第17遺物集中部 砕片類5点、調整剥片類2点と、27点の細石刃が出土しているが、細石刃核は出土していない。細石刃の石材は20点を黒曜石Ⅲ類、7点を黒曜石ⅢU類に分類した。624～635は頭部・中間部、637・638が中間部・尾部、639～649が中間部、636及び650が頭部である。頭部を含むもの半数以上に頭部調整の痕跡があり、また、頭部のみの資料を除きほとんどに使用の痕跡がある。

第24遺物集中部 遺物包含層上部の削平の影響もあり、出土遺物点数が少ない。図示した資料はいずれも黒曜石Ⅲ類とした背灰色の黒曜石製である。653は分割礫素材の細石刃核で、やや幅の広い作業面をもち、打面と作業面の交替が行われ、細石刃剥離に伴い打面端細調整を行う。

(遺物(材料別)) (材質別)	
・チャップ	・磁
・瓦片	・磁石
・瓦器碎片	・磁瓦
・石珠類	・磁瓦
・磨石片	・磁瓦
・磨石片	・磁瓦, S, 6
・磁器	・磁
・磨石類	・磁
・炭化物	・SA
・土器	・磁
	・その他

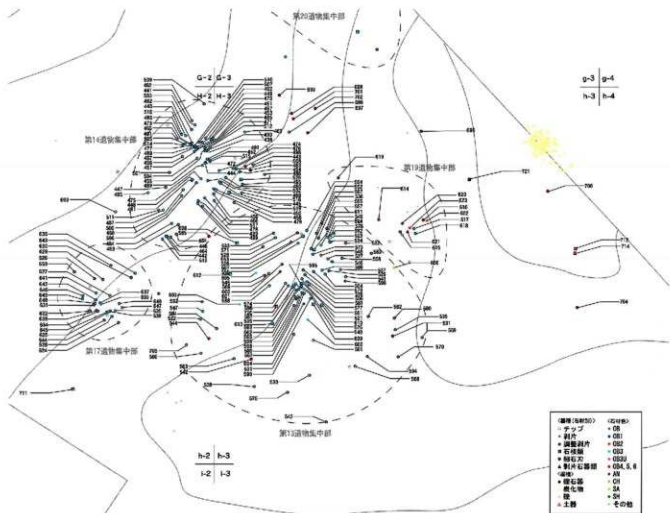


第153図 第4文化層第18遺物集中部出土状況

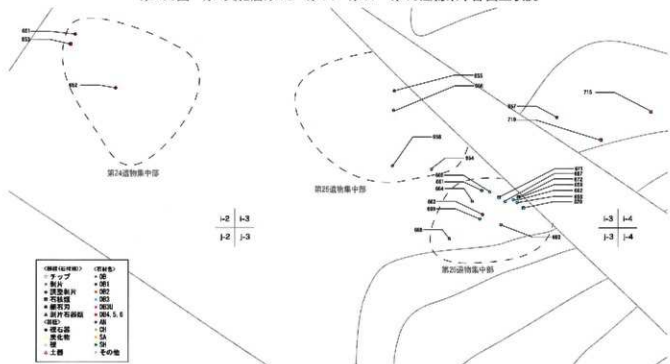


(遺物(材料別)) (材質別)	
・チャップ	・磁
・瓦片	・磁石
・瓦器碎片	・磁瓦
・石珠類	・磁瓦
・磨石片	・磁瓦
・磨石片	・磁瓦, S, 6
・磁器	・磁
・磨石類	・磁
・炭化物	・SA
・土器	・磁
	・その他

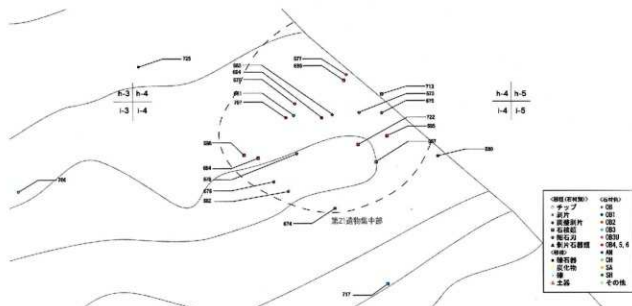
第154図 第4文化層第15・第20遺物集中部出土状況



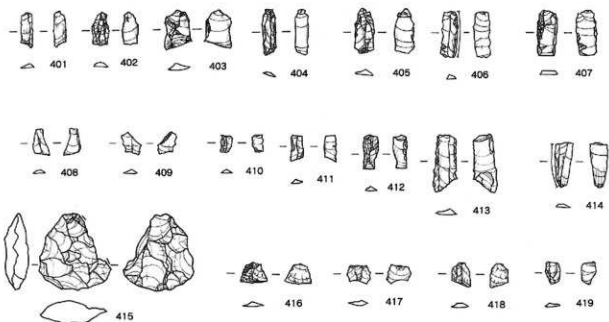
第155図 第4文化層第13・第14・第17・第19遺物集中部出土状況



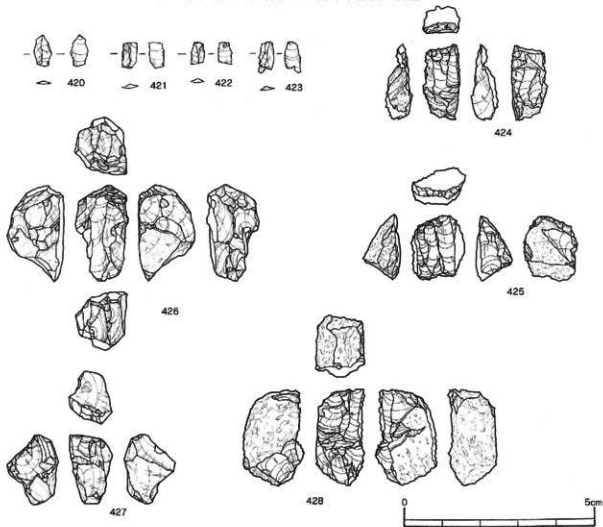
第156図 第4文化層第24・第25・第26遺物集中部出土状況



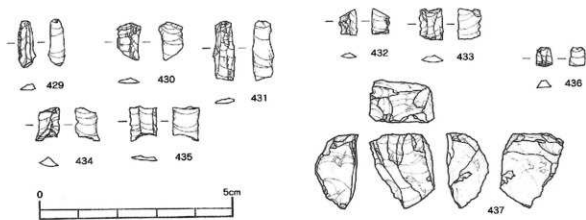
第157図 第4文化層第21遺物集中部出土状況



第158圖 第4文化層第18遺物集中部出土石器



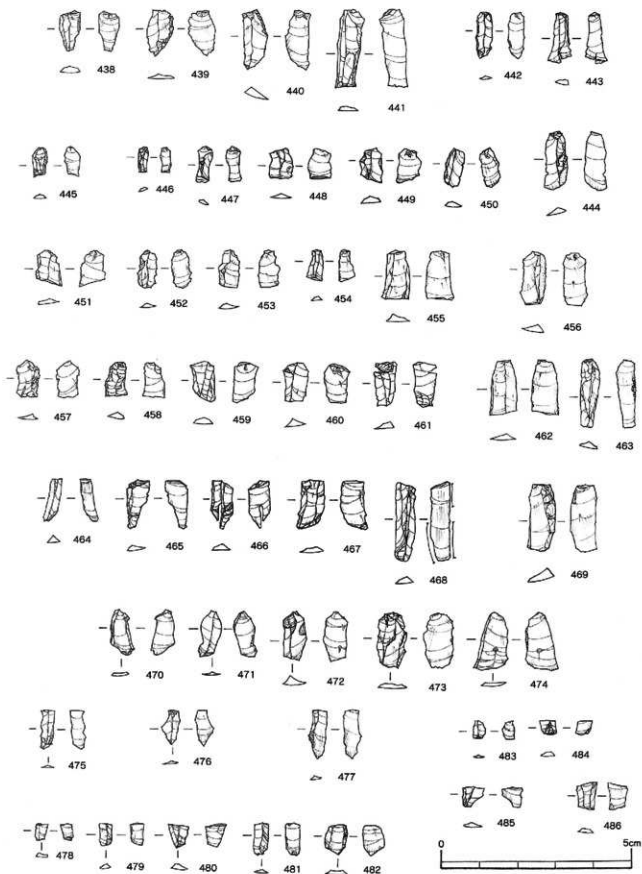
第159圖 第4文化層第15遺物集中部出土石器



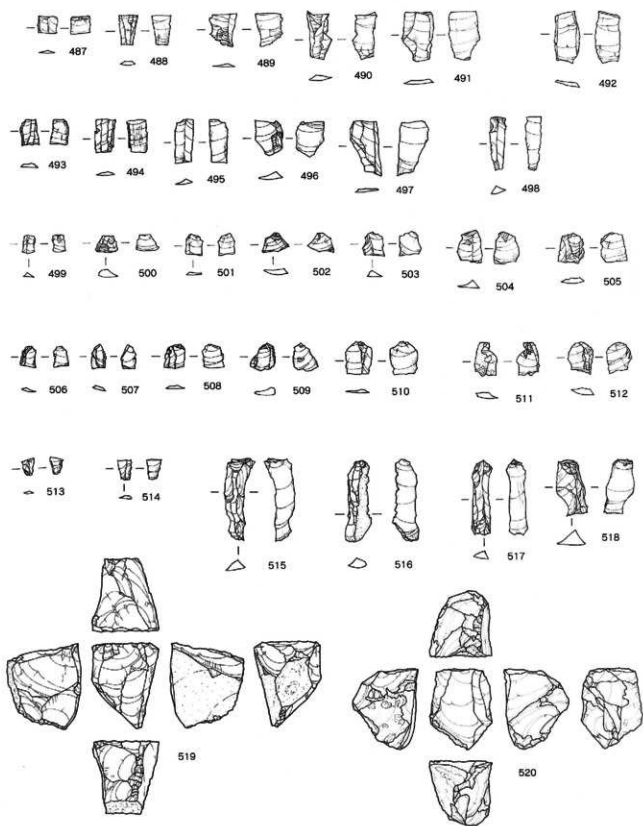
第160图 第4文化层第20遺物集中部出土石器

第51表 第4文化層石器計測表(14)

序图No.	图No.	器名	集上地	层位	面I/面II	面I/面II	形状	用途	分属I.2	石种I	石种II	长mm	幅mm	厚mm	重量g	集合No.	发掘区	坑名	层位	器名	
158	401	-	12392	11	a	上	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	095	030	012	003	-	-	-	-	-	
158	402	-	12411	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	085	045	014	005	-	○	○	-	-	-
158	403	-	12427	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	100	072	019	009	-	○	○	-	-	-
158	404	-	12456	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	123	037	016	003	-	○	○	-	-	-
158	405	-	12494	11	a	上	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	119	054	017	007	-	○	○	-	-	-
158	406	-	12400	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	123	048	012	007	-	○	○	-	-	-
158	407	-	12408	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	120	055	017	012	-	○	○	-	-	-
158	408	-	12406	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	TC	OB	3	072	012	008	002	-	○	○	-	-	-
158	409	-	12436	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	C	OB	1	060	050	008	003	-	-	-	-	-	-
158	410	-	12396	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	C	OB	3	045	030	030	001	-	-	-	-	-	-
158	411	-	12457	11	a	上	L04 M18 F-2	礫石片	C	OB	3	070	034	015	003	-	-	-	-	-	-
158	412	-	12395	10	b	-	L04 M18 F-2	礫石片	C	OB	3	090	041	032	005	-	-	-	-	-	-
158	413	-	12402	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	C	OB	3	150	067	025	015	-	-	-	-	-	-
158	414	-	12452	11	a	中	L04 M18 F-1	礫石片	CB	OB	3	120	052	014	007	-	-	-	-	-	-
158	415	-	12377	10	b	-	L04 M18 F-1	石核	A	OP	-	200	155	045	223	-	-	-	-	-	-
158	416	-	12405	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	T	OB	3	055	070	017	004	-	○	-	-	-	-
158	417	-	12423	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	T	SH	-	050	051	014	003	-	○	-	-	-	-
158	418	-	12412	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	T	CH	-	065	032	010	004	-	○	-	-	-	-
158	419	-	12420	10	b	-	L04 M18 F-1	礫石片	B	OB	3	060	049	010	001	-	-	-	-	-	-
159	420	-	11796	10	b	-	L04 M15 g-2	礫石片	TC	OB	3	083	019	008	003	-	-	○	-	-	-
159	421	-	11798	10	b	-	L04 M15 g-2	礫石片	C	OB	3	069	049	012	003	-	-	○	-	-	-
159	422	-	12032	11	a	中	L04 M15 g-2	礫石片	TC	OB	3	069	039	030	002	-	-	-	-	-	-
159	423	-	12078	11	a	中	L04 M15 g-2	礫石片	TC	OB	3	083	043	011	002	-	-	○	-	-	-
159	424	-	12197	11	a	下	L04 M15 g-2	礫石片	A1	OB	3	200	160	075	129	-	-	-	-	-	-
159	425	-	11923	11	a	上	L04 M15 g-2	礫石片	A1	OB	3	175	145	100	182	-	-	-	-	-	-
159	426	-	11924	11	a	中	L04 M15 g-2	礫石片	A3	OB	3	240	140	155	174	-	-	-	-	-	-
159	427	-	11925	10	b	-	L04 M15 g-2	礫石片	D3	OB	3	185	115	140	195	-	-	-	-	-	特殊打痕
159	428	-	11917	11	a	上	L04 M15 g-2	礫石片	B	OB	3	255	130	165	574	-	-	-	-	-	-
160	429	-	12994	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	TCB	OB	5	126	046	022	010	-	-	○	-	-	-
160	430	-	13018	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	TC	OB	3	100	065	011	006	-	-	○	-	-	-
160	431	-	13019	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	TC	OB	3	158	090	016	012	-	-	○	-	-	-
160	432	-	13026	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	C	OB	3U	-	-	014	004	-	-	-	-	-	-
160	433	-	12967	11	a	上	L04 M20 g-3	礫石片	C	OB	3U	045	032	014	008	-	-	-	-	-	-
160	434	-	13001	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	C	OB	3U	078	056	022	008	-	-	-	-	-	-
160	435	-	13007	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	C	OB	3U	091	079	013	006	-	-	○	-	-	-
160	436	-	13002	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	T	OB	3U	030	042	017	004	-	-	○	-	-	-
160	437	-	12990	10	b	-	L04 M20 g-3	礫石片	A1	OB	3	200	179	110	306	-	-	-	-	-	特殊打痕
161	438	-	12174	11	a	下	L04 M14 h-2	礫石片	TCB	OB	3	109	057	015	008	-	-	○	-	-	-
161	439	-	11782	11	a	上	L04 M14 h-2	礫石片	TCB	OB	3	122	070	021	010	-	-	○	-	-	-
161	440	-	12236	11	a	中	L04 M14 h-2	礫石片	TCB	OB	3	169	048	022	016	-	-	○	-	-	-
161	441	-	12982	11	a	中	L04 M14 h-2	礫石片	TCB	OB	3	208	075	015	026	-	-	○	-	-	-
161	442	-	11947	11	a	中	L04 M14 h-2	礫石片	TCB	OB	3	124	045	015	006	-	-	○	-	-	特殊打痕
161	443	-	11759	10	b	-	L04 M14 h-3	礫石片	TCB	OB	3	138	063	029	019	-	-	○	-	-	-
161	444	-	12963	11	a	中	L04 M14 h-2	礫石片	TCB	OB	3	140	054	020	018	-	-	○	-	-	局部打痕
161	445	-	11730	11	a	上	L04 M14 h-3	礫石片	TC	OB	3	081	042	011	004	-	-	○	-	-	-
161	446	-	11764	11	a	上	L04 M14 h-2	礫石片	TC	OB	3	049	025	010	002	-	-	○	-	-	-
161	447	-	11789	10	b	-	L04 M14 h-2	礫石片	TC	OB	3	098	041	013	003	-	-	○	-	-	-
161	448	-	11749	10	b	-	L04 M14 h-2	礫石片	TC	OB	3	082	052	015	006	-	-	○	-	-	-
161	449	-	12038	11	a	中	L04 M14 h-2	礫石片	TC	OB	3	100	090	019	010	-	-	○	-	-	-
161	450	-	12086	11	a	中	L04 M14 h-3	礫石片	TC	OB	3	104	036	015	006	-	-	○	-	-	-



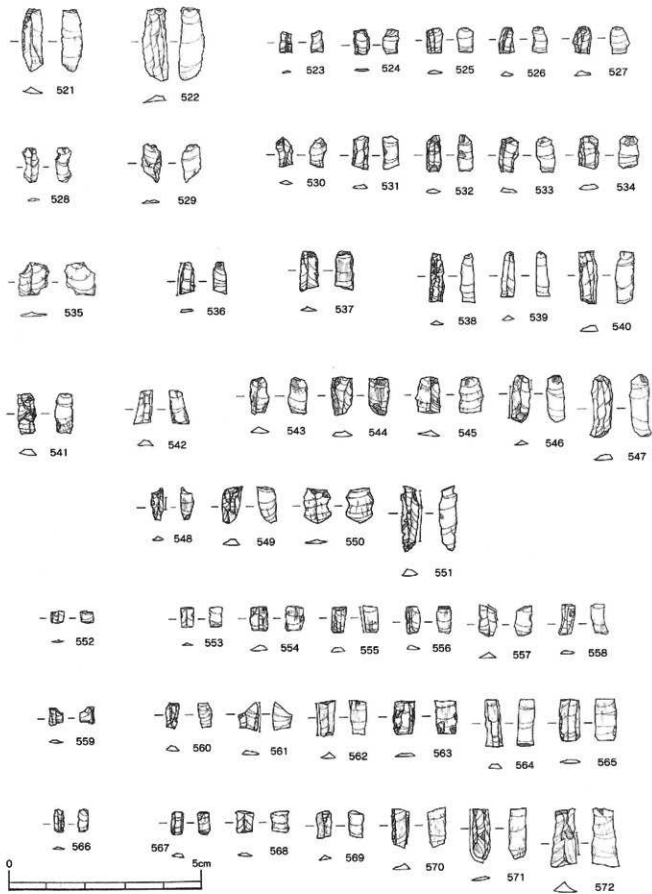
第161圖 第4文化層第14遺物集中部出土石器(1)



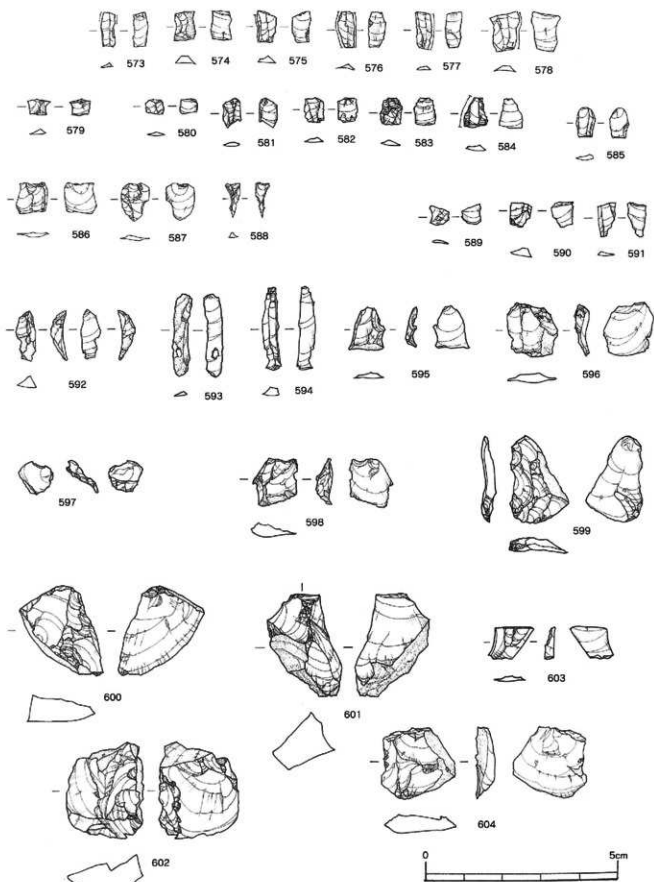
第162圖 第4文化層第14遺物集中部出土石器 (2)

第52表 第4文化層石器計測表 (15)

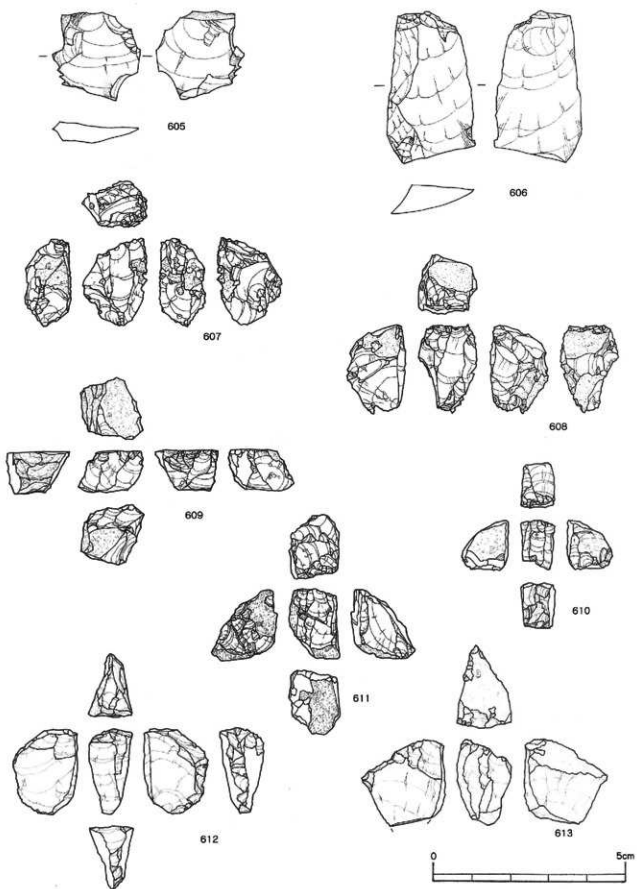
標記No.	図No.	発祥	層位	出土位置	材質	形状	分類	多岐	長さ	幅	厚さ	重量	備考	写真	縮尺	
161 451	---	11927	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	0.69	0.69	0.09	---	○	---	
161 452	---	12040	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.00	0.55	0.13	0.06	---	---
161 453	---	11739	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.01	0.56	0.18	0.07	---	---
161 454	---	11763	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	0.83	0.47	0.12	0.04	---	---
161 455	---	11729	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.30	0.80	0.30	0.20	---	---
161 456	---	11938	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.44	0.68	0.24	0.20	---	---
161 457	---	11737	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.00	0.67	0.21	0.08	---	---
161 458	---	11718	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	TC	09	3	0.63	0.60	0.06	0.11	---	---
161 459	---	11717	10	b	上	L04 M14 b-3	礫石	TC	09	3	1.05	0.65	0.22	0.12	---	---
161 460	---	11756	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.02	0.60	0.22	0.13	---	---
161 461	---	11744	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.18	0.54	0.31	0.13	---	---
161 462	---	11733	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.45	0.70	0.21	0.19	---	---
161 463	---	11963	11	a	中	L04 M14 b-3	礫石	TC	09	3	1.83	0.52	0.15	0.16	---	---
161 464	---	11765	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	CB	09	3	1.11	0.89	0.13	0.05	---	---
161 465	---	11932	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	CH	09	3	1.20	0.62	0.15	0.11	---	---
161 466	---	11716	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	CB	09	3	1.29	0.90	0.28	0.10	---	---
161 467	---	11903	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	CB	09	3	1.30	0.74	0.18	0.15	---	---
161 468	---	11721	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	CB	09	3	2.10	0.52	0.05	0.23	---	---
161 469	---	11937	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.80	0.74	0.25	0.35	---	---
161 470	---	11736	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.29	0.67	0.20	0.06	---	---
161 471	---	11930	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.23	0.64	0.18	0.07	---	---
161 472	---	11790	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.32	0.65	0.29	0.13	---	---
161 473	---	11735	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	TC	09	3	1.46	0.78	0.11	0.11	---	---
161 474	---	11955	11	a	中	L04 M14 b-3	礫石	TC	09	3	1.54	0.88	0.13	0.13	---	---
161 475	---	11751	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	CB	09	3	1.00	0.80	0.10	0.02	---	---
161 476	---	11957	11	a	中	L04 M14 b-3	礫石	CH	09	3	0.92	0.96	0.10	0.02	---	---
161 477	---	11726	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	CB	09	3	1.31	0.89	0.20	0.07	---	---
161 478	---	11944	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.47	0.34	0.08	0.01	---	---
161 479	---	11952	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.60	0.26	0.12	0.03	---	---
161 480	---	11954	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	C	09	3	0.63	0.26	0.20	0.04	---	---
161 481	---	11940	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.81	0.42	0.11	0.05	---	---
161 482	---	12037	11	a	中	L04 M14 b-3	礫石	C	09	3	0.51	0.58	0.15	0.00	---	---
161 483	---	12125	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	T	09	1	0.50	0.25	0.04	0.01	---	---
161 484	---	11946	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.40	0.45	0.15	0.02	---	---
161 485	---	12129	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	H	09	2	0.51	0.19	0.08	0.02	---	---
161 486	---	11741	10	b	上	L04 M14 b-3	礫石	C	09	3	0.73	0.52	0.13	0.05	---	---
161 487	---	11945	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.19	0.53	0.10	0.02	---	---
161 488	---	12176	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	C	09	3	0.79	0.32	0.20	0.04	---	---
161 489	---	12060	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.86	0.72	0.15	0.05	---	---
161 490	---	12030	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	1.75	0.60	0.18	0.12	---	---
161 491	---	12084	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	1.39	0.63	0.12	0.14	---	---
161 492	---	11738	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	1.35	0.69	0.17	0.10	---	---
161 493	---	11762	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	0.69	0.53	0.11	0.04	---	---
161 494	---	11869	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	C	09	3	0.89	0.54	0.15	0.07	---	---
161 495	---	11758	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	1.15	0.52	0.13	0.06	---	---
161 496	---	11713	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	C	09	3	0.96	0.74	0.22	0.11	---	---
161 497	---	11734	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	C	09	3	1.45	0.80	0.21	0.13	---	---
161 498	---	11960	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	C	09	5	1.40	0.41	0.27	0.10	---	---
161 499	---	11753	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.18	0.25	0.12	0.02	---	---
161 500	---	11756	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.48	0.59	0.13	0.02	---	---
161 501	---	11747	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.58	0.47	0.11	0.02	---	---
161 502	---	11729	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.50	0.72	0.15	0.04	---	---
161 503	---	11732	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.64	0.60	0.15	0.04	---	---
161 504	---	11740	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.86	0.67	0.19	0.09	---	---
161 505	---	11933	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.78	0.70	0.19	0.12	---	---
161 506	---	11750	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.36	0.38	0.08	0.01	---	---
161 507	---	12140	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.62	0.39	0.12	0.03	---	---
161 508	---	11938	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	T	09	3	0.63	0.38	0.13	0.04	---	---
161 509	---	11936	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.75	0.65	0.21	0.07	---	---
161 510	---	12081	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.66	0.70	0.14	0.05	---	---
161 511	---	11767	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.88	0.59	0.18	0.07	---	---
161 512	---	11929	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	T	09	3	0.81	0.63	0.20	0.10	---	---
161 513	---	11766	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	B	09	3	0.48	0.36	0.17	0.01	---	---
161 514	---	11742	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	B	09	3	0.31	0.39	0.08	0.01	---	---
161 515	---	11731	10	b	上	L04 M14 b-2	礫石	B	09	3	0.48	0.36	0.17	0.01	---	---
161 516	---	11935	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	B	09	3	0.31	0.39	0.08	0.01	---	---
161 517	---	11943	11	a	中	L04 M14 b-2	礫石	チヌクリ	09	3	2.20	0.82	0.40	0.37	---	---
161 518	---	11933	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	チヌクリ	09	3	2.12	0.70	0.28	0.25	---	---
161 519	---	12177	11	a	上	L04 M14 b-2	礫石	チヌクリ	09	3	1.94	0.26	0.26	0.25	---	---
161 520	---	11953	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	チヌクリ	09	3	1.86	0.81	0.46	0.37	---	---
161 521	---	11953	11	a	上	L04 M14 b-3	礫石	チヌクリ	09	3	2.25	1.80	1.96	7.27	---	---
161 522	---	11712	10	b	上	L04 M14 b-3	礫石	チヌクリ	09	3	2.10	1.15	1.70	5.01	---	---



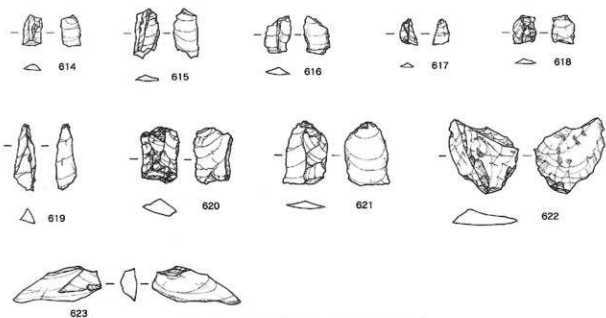
第163圖 第4文化層第13遺物集中部出土石器 (1)



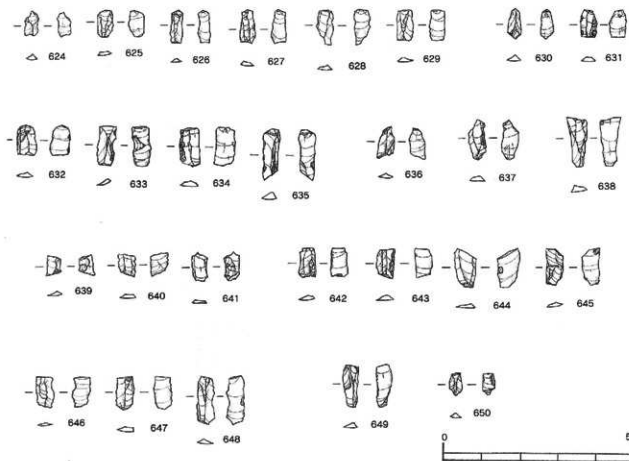
第164圖 第4文化層第13遺物集中部出土石器 (2)



第165圖 第4文化層第13遺物集中部出土石器 (3)



第166圖 第4文化層第19遺物集中部出土石器



第167圖 第4文化層第17遺物集中部出土石器

第33表 第4文化層石器計測表(16)

標本No.	図No.	発出層	取上.下	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12	M13	M14	M15	M16	M17	M18	M19	M20	M21	M22	M23	M24	M25	M26	M27	M28	M29	M30	M31	M32	M33	M34	M35	M36	M37	M38	M39	M40	M41	M42	M43	M44	M45	M46	M47	M48	M49	M50	M51	M52	M53	M54	M55	M56	M57	M58	M59	M60	M61	M62	M63	M64	M65	M66	M67	M68	M69	M70	M71	M72	M73	M74	M75	M76	M77	M78	M79	M80	M81	M82	M83	M84	M85	M86	M87	M88	M89	M90	M91	M92	M93	M94	M95	M96	M97	M98	M99	M100	M101	M102	M103	M104	M105	M106	M107	M108	M109	M110	M111	M112	M113	M114	M115	M116	M117	M118	M119	M120	M121	M122	M123	M124	M125	M126	M127	M128	M129	M130	M131	M132	M133	M134	M135	M136	M137	M138	M139	M140	M141	M142	M143	M144	M145	M146	M147	M148	M149	M150	M151	M152	M153	M154	M155	M156	M157	M158	M159	M160	M161	M162	M163	M164	M165	M166	M167	M168	M169	M170	M171	M172	M173	M174	M175	M176	M177	M178	M179	M180	M181	M182	M183	M184	M185	M186	M187	M188	M189	M190	M191	M192	M193	M194	M195	M196	M197	M198	M199	M200	M201	M202	M203	M204	M205	M206	M207	M208	M209	M210	M211	M212	M213	M214	M215	M216	M217	M218	M219	M220	M221	M222	M223	M224	M225	M226	M227	M228	M229	M230	M231	M232	M233	M234	M235	M236	M237	M238	M239	M240	M241	M242	M243	M244	M245	M246	M247	M248	M249	M250	M251	M252	M253	M254	M255	M256	M257	M258	M259	M260	M261	M262	M263	M264	M265	M266	M267	M268	M269	M270	M271	M272	M273	M274	M275	M276	M277	M278	M279	M280	M281	M282	M283	M284	M285	M286	M287	M288	M289	M290	M291	M292	M293	M294	M295	M296	M297	M298	M299	M300	M301	M302	M303	M304	M305	M306	M307	M308	M309	M310	M311	M312	M313	M314	M315	M316	M317	M318	M319	M320	M321	M322	M323	M324	M325	M326	M327	M328	M329	M330	M331	M332	M333	M334	M335	M336	M337	M338	M339	M340	M341	M342	M343	M344	M345	M346	M347	M348	M349	M350	M351	M352	M353	M354	M355	M356	M357	M358	M359	M360	M361	M362	M363	M364	M365	M366	M367	M368	M369	M370	M371	M372	M373	M374	M375	M376	M377	M378	M379	M380	M381	M382	M383	M384	M385	M386	M387	M388	M389	M390	M391	M392	M393	M394	M395	M396	M397	M398	M399	M400	M401	M402	M403	M404	M405	M406	M407	M408	M409	M410	M411	M412	M413	M414	M415	M416	M417	M418	M419	M420	M421	M422	M423	M424	M425	M426	M427	M428	M429	M430	M431	M432	M433	M434	M435	M436	M437	M438	M439	M440	M441	M442	M443	M444	M445	M446	M447	M448	M449	M450	M451	M452	M453	M454	M455	M456	M457	M458	M459	M460	M461	M462	M463	M464	M465	M466	M467	M468	M469	M470	M471	M472	M473	M474	M475	M476	M477	M478	M479	M480	M481	M482	M483	M484	M485	M486	M487	M488	M489	M490	M491	M492	M493	M494	M495	M496	M497	M498	M499	M500	M501	M502	M503	M504	M505	M506	M507	M508	M509	M510	M511	M512	M513	M514	M515	M516	M517	M518	M519	M520	M521	M522	M523	M524	M525	M526	M527	M528	M529	M530	M531	M532	M533	M534	M535	M536	M537	M538	M539	M540	M541	M542	M543	M544	M545	M546	M547	M548	M549	M550	M551	M552	M553	M554	M555	M556	M557	M558	M559	M560	M561	M562	M563	M564	M565	M566	M567	M568	M569	M570	M571	M572	M573	M574	M575	M576	M577	M578	M579	M580	M581	M582	M583	M584	M585	M586	M587	M588	M589	M590	M591	M592	M593	M594	M595	M596	M597	M598	M599	M600	M601	M602	M603	M604	M605	M606	M607	M608	M609	M610	M611	M612	M613	M614	M615	M616	M617	M618	M619	M620	M621	M622	M623	M624	M625	M626	M627	M628	M629	M630	M631	M632	M633	M634	M635	M636	M637	M638	M639	M640	M641	M642	M643	M644	M645	M646	M647	M648	M649	M650	M651	M652	M653	M654	M655	M656	M657	M658	M659	M660	M661	M662	M663	M664	M665	M666	M667	M668	M669	M670	M671	M672	M673	M674	M675	M676	M677	M678	M679	M680	M681	M682	M683	M684	M685	M686	M687	M688	M689	M690	M691	M692	M693	M694	M695	M696	M697	M698	M699	M700	M701	M702	M703	M704	M705	M706	M707	M708	M709	M710	M711	M712	M713	M714	M715	M716	M717	M718	M719	M720	M721	M722	M723	M724	M725	M726	M727	M728	M729	M730	M731	M732	M733	M734	M735	M736	M737	M738	M739	M740	M741	M742	M743	M744	M745	M746	M747	M748	M749	M750	M751	M752	M753	M754	M755	M756	M757	M758	M759	M760	M761	M762	M763	M764	M765	M766	M767	M768	M769	M770	M771	M772	M773	M774	M775	M776	M777	M778	M779	M780	M781	M782	M783	M784	M785	M786	M787	M788	M789	M790	M791	M792	M793	M794	M795	M796	M797	M798	M799	M800	M801	M802	M803	M804	M805	M806	M807	M808	M809	M810	M811	M812	M813	M814	M815	M816	M817	M818	M819	M820	M821	M822	M823	M824	M825	M826	M827	M828	M829	M830	M831	M832	M833	M834	M835	M836	M837	M838	M839	M840	M841	M842	M843	M844	M845	M846	M847	M848	M849	M850	M851	M852	M853	M854	M855	M856	M857	M858	M859	M860	M861	M862	M863	M864	M865	M866	M867	M868	M869	M870	M871	M872	M873	M874	M875	M876	M877	M878	M879	M880	M881	M882	M883	M884	M885	M886	M887	M888	M889	M890	M891	M892	M893	M894	M895	M896	M897	M898	M899	M900	M901	M902	M903	M904	M905	M906	M907	M908	M909	M910	M911	M912	M913	M914	M915	M916	M917	M918	M919	M920	M921	M922	M923	M924	M925	M926	M927	M928	M929	M930	M931	M932	M933	M934	M935	M936	M937	M938	M939	M940	M941	M942	M943	M944	M945	M946	M947	M948	M949	M950
-------	------	-----	------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

第54表 第4文化層石器計測表(17)

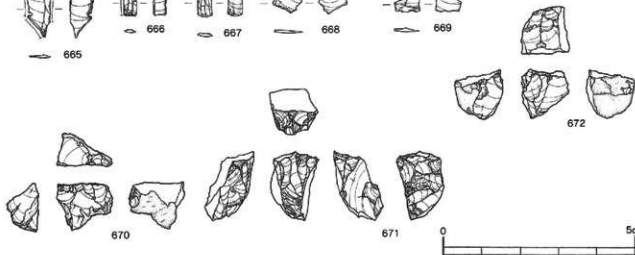
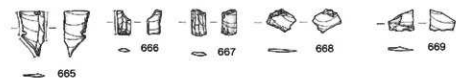
採出No.	図No.	発出層	形状	用途	材質	分類	寸法	重量	備注	年代	出土	保存	備考	
161	391	11605	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	B	0.80	0.45	0.09	0.03			
164	392	11687	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.33	0.52	0.45	0.14		
164	393	12056	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.30	0.99	0.22	0.16		
161	394	11692	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.17	0.50	0.46	0.24		
164	395	11674	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.71	0.95	0.30	0.18		
164	396	12850	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.42	1.51	0.45	0.49		
164	397	11980	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	SB	0.80	0.91	0.85	0.16			
164	398	12045	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.30	1.20	0.49	0.46		
164	399	11621	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.30	1.33	0.40	1.07		
164	400	11695	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.33	2.33	0.92	3.30		
164	401	11693	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.70	1.94	1.50	4.93		
164	402	11649	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	0.67	1.21	0.29	0.16		
164	403	11684	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.53	2.04	1.06	4.23		
164	404	11645	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	1	1.90	1.95	0.53	1.54		
165	405	11690	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.40	2.30	0.62	2.54		
165	406	11614	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	SA	4.06	2.31	0.90	0.76			
165	407	11864	10 a	上	L04 M13 b-3	磨石	A3	1.00	3	2.30	1.79	1.90		
165	408	11704	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	A3	0.8	2.40	1.55	1.35	4.80		
166	409	11642	10 a	上	L04 M13 b-3	磨石	B	0.8	3	1.10	1.61	1.60	3.00	磨石打面
165	410	11641	11 a	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.35	0.99	1.20	1.30		
165	411	11662	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	1.90	1.85	1.70	3.11		
165	412	11688	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.30	1.15	1.70	3.68		
165	413	11637	10 b	上	L04 M13 b-3	磨石	OB	3	2.30	1.45	2.30	4.80		
166	414	12955	11 a	中	L04 M19 b-3	磨石	TC	0.8	0.84	0.35	0.15	0.06		
166	415	12961	10 b	上	L04 M19 b-3	磨石	CB	0.8	1.32	0.66	0.23	0.11		
166	416	12957	11 a	上	L04 M19 b-3	磨石	C	0.8	1.02	0.21	0.18	0.11		
166	417	12940	11 a	中	L04 M19 b-3	磨石	T	0.8	0.79	0.6	0.11	0.03		
166	418	13457	11 a	上	L04 M19 b-3	磨石	T	0.8	0.79	0.6	0.18	0.07		
166	419	12970	11 a	中	L04 M19 b-3	磨石	T	0.8	1.75	0.80	0.41	0.22		
166	420	12953	11 a	上	L04 M19 b-3	磨石	OB	2C	1.48	0.99	0.10	0.58		
166	421	12911	11 a	上	L04 M19 b-3	磨石	B	0.8	1.60	1.17	0.23	0.39		
166	422	12958	11 a	上	L04 M19 b-3	磨石	OB	2C	2.05	1.82	0.39	1.33		
166	423	12955	10 b	上	L04 M19 b-3	磨石	OB	6	0.86	2.30	0.47	0.72		
167	424	12124	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.65	0.28	0.12	0.02		
167	425	12191	11 a	下	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.72	0.42	0.39	0.33		
167	426	12190	10 b	上	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.99	0.39	0.11	0.53		
167	427	12158	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.99	0.41	0.12	0.65		
167	428	12104	10 b	上	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.93	0.46	0.39	0.64		
167	429	12101	10 b	上	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.81	0.43	0.11	0.66		
167	430	12111	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.89	0.37	0.14	0.05		
167	431	12186	11 a	下	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.73	0.45	0.13	0.04		
167	432	12118	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	0.82	0.52	0.11	0.07		
167	433	12143	10 b	上	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	1.65	0.59	0.16	0.09		
167	434	12167	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	1.65	0.59	0.18	0.10		
167	435	12168	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	TC	0.8	1.26	0.43	0.21	0.11		
167	436	12122	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	T	0.8	0.94	0.48	0.15	0.04		
167	437	12103	10 b	上	L04 M17 b-2	磨石	CB	0.8	1.09	0.45	0.19	0.07		
167	438	12116	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	CB	0.8	1.32	0.59	0.22	0.11		
167	439	12106	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.52	0.43	0.14	0.02		
167	440	12169	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.62	0.46	0.10	0.03		
167	441	12145	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.80	0.42	0.10	0.04		
167	442	12113	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.75	0.45	0.14	0.05		
167	443	12102	10 b	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.80	0.50	0.13	0.05		
167	444	12193	11 a	下	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	1.06	0.59	0.09	0.07		
167	445	12105	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.99	0.50	0.18	0.07		
167	446	12166	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.82	0.49	0.10	0.03		
167	447	12159	11 a	中	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	0.90	0.49	0.15	0.07		
167	448	12134	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	1.26	0.50	0.15	0.08		
167	449	12119	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	C	0.8	1.13	0.45	0.42	0.58		
167	450	12121	11 a	上	L04 M17 b-2	磨石	T	0.8	0.80	0.35	0.15	0.03		
168	451	16378	11 a	中	L04 M24 1-2	磨石	TC	0.8	0.92	0.48	0.20	0.07		
168	452	16390	11 a	中	L04 M24 1-2	磨石	T	0.8	0.62	0.52	0.15	0.03		
168	453	16378	11 a	上	L04 M24 1-2	磨石	A3	0.8	2.15	1.60	1.35	3.40		
169	454	16406	10 b	上	L04 M25 1-3	磨石	TC	0.8	1.55	0.80	0.20	0.17		
169	455	16398	11 a	上	L04 M25 1-3	磨石	T	0.8	3.00	0.40	0.18	0.07		
169	456	16397	11 a	上	L04 M25 1-3	磨石	T	0.8	3.00	0.73	0.34	0.12	0.05	
169	457	11871	11 a	上	L04 M16 1-3	磨石	C	0.8	0.96	0.49	0.18	0.07		
169	458	16435	11 a	上	L04 M23 1-3	磨石	OB	3	1.48	0.68	0.33	0.15		
169	459	16450	11 a	上	L04 M26 1-3	磨石	TCB	0.8	1.10	0.30	0.12	0.04		
169	460	16436	10 b	上	L04 M26 1-3	磨石	TCH	0.8	1.22	0.58	0.20	0.11		



第168圖 第4文化層第24遺物集中部出土石器



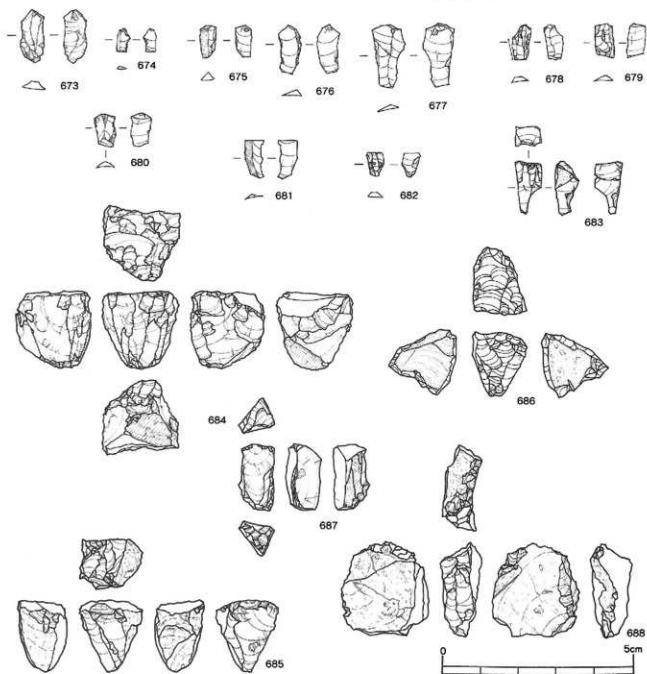
第169圖 第4文化層第25遺物集中部出土石器



第170圖 第4文化層第26遺物集中部出土石器

第55表 第4文化層石器計測表(18)

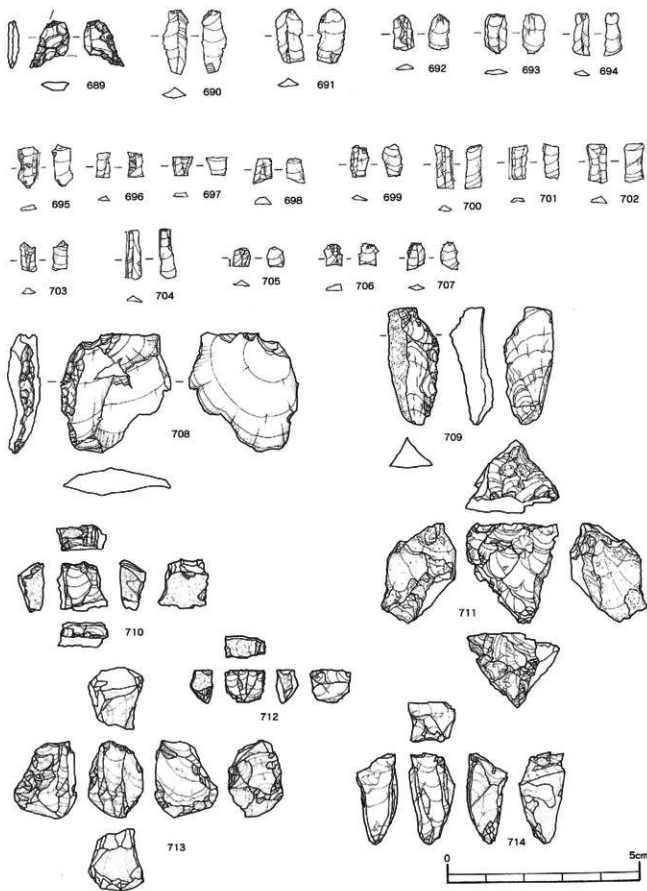
解體No.	図No.	発見地	表土No.	層位	面位	層位	面位	層位	面位	分類1	分類2	面積1	面積2	厚さ	重量	結合No.	解明	用途	用途	用途	用途	
169	661	-	16419	11	a	上	L04	M26	1:3	細石刃	TC	OP	3	0.75	0.80	0.18	0.07	-	-	-	-	-
169	662	-	16416	10	b	-	L04	M26	1:3	細石刃	TC	OB	3	0.91	0.45	0.12	0.04	-	○	-	-	-
169	663	-	16442	10	b	-	L04	M26	1:3	細石刃	TC	OB	3U	1.02	0.48	0.16	0.07	-	○	-	-	-
169	664	-	16421	10	b	-	L04	M26	1:3	細石刃	TC	OB	3	1.15	0.76	0.23	0.17	-	○	-	-	-
170	665	-	16443	11	a	上	L04	M26	1:3	細石刃	CB	OB	3	1.25	0.70	0.18	0.07	-	○	-	-	-
170	666	-	16451	11	a	上	L04	M26	1:3	細石刃	C	OB	3	0.70	0.40	0.12	0.03	-	○	-	-	-
170	667	-	16417	10	b	-	L04	M26	1:3	細石刃	C	OB	3	0.75	0.40	0.13	0.04	-	○	-	-	-



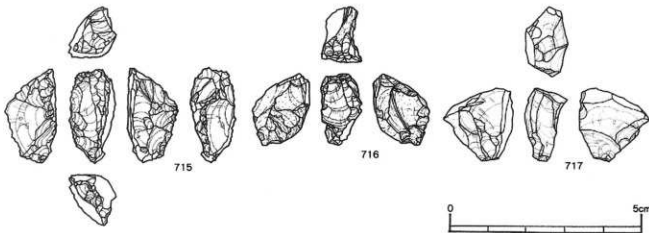
第171图 第4文化層第21遺物集中部出土石器

第56表 第4文化層石器計測表(19)

発掘No.	図No.	出土No.	層位	部	用途	材質	分類1	分類2	石種1	石種2	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	接合No.	図例	用途	石種	用途	備考	
170	668	16428	10	b	-	L04 M26	1-3	細石刃	T	OB	3	0.63	0.76	0.10	0.05	-	○	-	-	-	-
170	669	16425	10	b	-	L04 M26	1-3	細石刃	B	OB	3	0.55	0.69	0.18	0.05	-	-	-	-	-	-
170	670	16413	10	b	-	L04 M26	1-3	細石刃核	A2	OB	3	1.26	1.50	0.90	0.96	-	-	-	-	-	-
170	671	16467	-	-	-	L04 M26	1-3	細石刃核	A3	OB	3	1.83	1.25	1.20	2.11	-	-	-	-	-	-
170	672	16415	10	b	-	L04 M26	1-3	細石刃核	A3	OB	3	1.35	1.27	1.30	2.07	-	-	-	-	-	-
171	673	13724	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃	TCB	OB	3U	1.44	0.65	0.28	0.19	-	-	-	-	-	-
171	674	13738	11	a	中	L04 M21	1-4	細石刃	TC	OB	3U	0.62	0.34	0.10	0.02	-	-	○	-	-	-
171	675	13734	11	a	上	L04 M21	1-4	細石刃	TC	OB	3U	0.87	0.46	0.16	0.06	-	-	○	-	-	-
171	676	13740	11	a	上	L04 M21	1-4	細石刃	TC	OB	3U	1.31	0.59	0.19	0.12	-	-	-	-	-	-
171	677	13752	11	a	上	L04 M21	1-4	細石刃	TC	OB	3U	1.70	0.88	0.17	0.19	-	-	-	-	-	-



第172图 第4文化层耳取调查区出土石器 (1)



第173図 第4文化層耳取調査区出土石器 (2)

第25遺物集中部 細石刃3点, 調整剥片1点のみの出土で, 出土点数が少なく一括したが, 657は第16遺物集中部として取り上げたものである。

第26遺物集中部 第25集中部に隣接し, 点数は少なく全点を図示した。出土石器の石材は663の黒曜石ⅢⅡ類を除き, 図示した資料はすべてⅢ類に分類した。670はA2類下縁調整がみられず, 分類上検討すべき点がある。

672は打面と作業面を入れ替える打面転移を行なっている。

第21遺物集中部 細石刃10点, 作業面調整剥片1点, 細石刃核5点が出土している。687はD類の残核形状とみてD1類に分類した。また, 688は扁平な礫素材であるが, 正面観が楔状を呈するためE2類としたが検討を要する。

第57表 第4文化層石器計測表 (20)

発掘No.	図No.	発掘層	出土No.	群	文化面	変換	アノ	分類I	分類2	打面I	打面II	長さ	幅	厚	厚Score	重量g	容積No.	種	用途	備考	
171	678	-	13736	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃	C	OB	3U	0.97	0.50	0.14	0.08	-	-	-	-	-
171	679	-	13722	11	a	中	L04 M21	1-4	細石刃	C	OB	3U	0.95	0.52	0.19	0.09	-	-	○	-	-
171	680	-	13716	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃	C	OB	6	0.89	0.53	0.22	0.08	-	-	-	-	-
171	681	-	13735	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃	CB	OB	3	1.03	0.55	0.10	0.05	-	-	-	-	-
171	682	-	13739	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃	B	OB	3U	0.63	0.49	0.12	0.04	-	-	○	-	調整剥片
171	683	-	13772	10	b	-	L04 M21	1-4	調整剥片		OB	3U	1.40	0.70	0.65	0.40	-	-	-	-	-
171	684	-	13744	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃核	A3	OB	3U	2.10	2.00	2.00	8.40	-	-	-	-	-
171	685	-	13719	11	a	上	L04 M21	1-4	細石刃核	A3	OB	3U	2.00	1.65	1.85	4.10	-	-	-	-	-
171	686	-	13751	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃核	A3	OB	3U	1.75	1.50	1.80	2.98	-	-	-	-	-
171	687	-	13720	10	b	-	L04 M21	1-4	細石刃核	D1	OB	3U	1.80	0.95	1.00	1.44	-	-	-	-	-
171	688	-	13747	11	a	上	L04 M21	1-4	細石刃核	E2	OB	3U	2.55	1.10	2.30	5.30	-	-	-	-	-
172	689	-	12312	10	b	-	L04	-	石核	D1	OB	3U	1.23	1.05	0.31	0.35	-	-	-	-	-
172	690	-	11769	10	b	-	L04	-	石核	TCB	OB	3	1.68	0.61	0.14	0.13	-	-	○	-	調整剥片
172	691	-	13208	11	a	下	L04	-	細石刃	TC	OB	3	1.40	0.78	0.24	0.21	-	-	○	-	-
172	692	-	13030	11	a	上	L04	-	細石刃	TC	OB	3	0.91	0.50	0.15	0.07	-	-	○	-	-
172	693	-	13767	11	a	上	L04	-	細石刃	TC	OB	5	1.01	0.55	0.10	0.09	-	-	○	-	-
172	694	-	14056	11	a	下	L04	-	細石刃	TC	OB	3	1.10	0.42	0.15	0.07	-	-	○	-	-
172	695	-	12281	10	b	-	L04	-	細石刃	CB	OB	3U	1.05	0.66	0.14	0.09	-	-	○	-	-
172	696	-	12975	10	b	-	L04	-	細石刃	C	OB	6	0.65	0.37	0.11	0.04	-	-	-	-	-
172	697	-	12976	11	a	上	L04	-	細石刃	C	OB	6	0.50	0.43	0.14	0.04	-	-	○	-	-
172	698	-	12980	11	a	上	L04	-	細石刃	C	OB	6	0.70	0.43	0.23	0.07	-	-	○	-	-
172	699	-	13458	11	a	下	L04	-	細石刃	C	OB	3U	0.82	0.45	0.12	0.05	-	-	-	-	-
172	700	-	13417	10	b	-	L04	-	細石刃	C	OB	6	1.19	0.41	0.12	0.08	-	-	-	-	-
172	701	-	12977	10	b	-	L04	-	細石刃	C	OB	5	0.91	0.43	0.10	0.06	-	-	○	-	-
172	702	-	12981	11	a	上	L04	-	細石刃	C	OB	6	1.01	0.56	0.21	0.14	-	-	-	-	-
172	703	-	12096	10	b	-	L04	-	細石刃	C	OB	3	0.75	0.37	0.11	0.04	-	-	○	-	-
172	704	-	13444	10	b	-	L04	-	細石刃	C	OB	6	1.32	0.56	0.21	0.11	-	-	○	-	-
172	705	-	13206	11	a	下	L04	-	細石刃	T	OB	3	0.52	0.42	0.13	0.03	-	-	○	-	-
172	706	-	12210	10	b	-	L04	-	細石刃	T	OB	3	0.55	0.45	0.14	0.05	-	-	○	-	-
172	707	-	14095	10	b	-	L04	-	細石刃	T	OB	5	0.73	0.42	0.12	0.05	-	-	-	-	-
172	708	-	12274	11	a	上	L04	-	スケレイバー	-	OB	2A	3.10	2.83	0.86	5.34	-	-	-	-	-
172	709	-	11833	11	a	上	L04	-	スケレイバー	-	OB	3U	3.10	1.35	1.15	2.78	-	-	-	-	-
172	710	-	16158	10	b	-	L04	-	細石刃核	A1	OB	3	1.30	1.00	0.70	1.12	-	-	-	-	-
172	711	-	11463	10	b	-	L04	-	細石刃核	A4	OB	3U	2.65	2.45	2.00	7.53	-	-	-	-	-
172	712	-	12913	10	b	-	L04	-	細石刃核	B	OB	3U	0.90	1.05	0.60	0.66	-	-	-	-	-
172	713	-	14098	10	b	-	L04	-	細石刃核	A3	OB	3U	2.02	1.43	1.65	4.22	-	-	-	-	-
172	714	-	12914	10	b	-	L04	-	細石刃核	D3	OB	3U	2.40	1.25	1.10	2.82	-	-	-	-	細石刃核
173	715	-	12213	10	b	-	L04	-	細石刃核	E1	OB	3U	2.50	1.20	1.35	3.37	-	-	-	-	調整剥片



第174図 その他の出土石器 (1)

遺物集中部外出土の遺物 689～717は耳取調査区で集中部外として取り上げた遺物である。

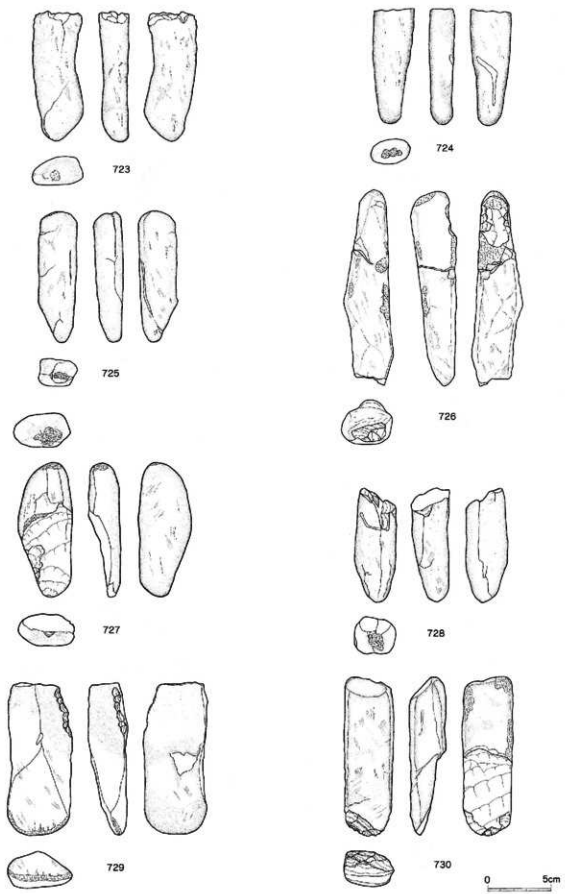
その他の遺物 719～730は樹痕及びⅧ層・Ⅷ層・Ⅷ層から出土した遺物、及び薩摩火山灰層の希薄な地点で、層位確認が不十分なまま取り上げられた資料である。

(注1) 第1節の注1と同じ。また、第4文化層出土資料については棒状燧石類を除き、接合作業をおこなっていない。

(注2) X層上面の地形はほぼⅧ層(薩摩火山灰層)上面と変化がなく、遺構・遺物の分布図等はⅧ層上面の地形コンタを用いている。

第58表 第4文化層石器計測表 (21)

種別No.	図No.	図名	取上No.	部口	部口	部口	部口	分類1	分類2	石種	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	検出No.	埋蔵層	発見層	出土層	遺物	備考		
173	716	-	16157	10	b	-	L04	-	14	細石片類	F1	OS	3	1.93	1.85	1.30	2.13	-	-	-	-	
173	717	-	15862	10	b	-	L04	-	14	細石片類	F2	OS	3	1.55	1.15	1.85	2.89	-	-	-	-	
174	718	-	-	-	-	-	L04	-	a3	燧石片	C	OS	1	1.29	0.69	0.19	0.05	-	-	-	-	
174	719	-	8477	6	a	-	L04	-	13	細石片類	A1	OS	2	1.65	1.45	1.49	3.36	-	-	-	-	作業調査区
174	720	-	10163	8	-	-	L04	-	13	細石片類	B1	OS	2	2.35	1.50	1.50	4.22	-	-	-	-	作業調査区
174	721	-	11115	8	-	-	L04	-	13	細石片類	B2	OS	1	2.50	1.70	2.10	6.76	-	-	-	-	作業調査区
174	722	-	13418	7	-	-	L04	-	14	細石片類	F	OS	2	2.10	1.50	2.70	7.05	-	-	-	-	-
175	723	-	10854	-	-	-	L04	-	g0	棒状燧石	C3	SH	-	10.30	3.95	2.30	120.47	-	-	S	-	-
175	724	-	-	10	b	-	L04	-	-	棒状燧石	A3	SA	-	9.30	3.15	2.00	81.82	-	-	S	-	-
175	725	-	10855	8	-	-	L04	-	g0	棒状燧石	C3	SH	-	16.40	3.00	2.20	109.14	-	-	S	○	○
175	726	-	10875	-	-	-	L04	-	11	棒状燧石	A2	SH	-	15.50	3.55	3.50	201.22	-	-	S	-	-
175	727	-	10840	-	-	-	L04	-	g0	棒状燧石	A2	SH	-	16.70	4.25	2.55	124.82	-	-	S	-	-
175	728	-	-	10	-	-	L04	-	g0	棒状燧石	A3	SH	-	9.00	3.20	3.00	194.09	-	-	S	-	-
175	729	-	10835	-	-	-	L04	-	g0	棒状燧石	C1	SA	-	12.10	5.00	2.90	259.17	-	-	S	-	-
175	730	-	-	10	-	-	L04	-	g0	棒状燧石	A2	SH	-	12.70	3.55	2.90	177.37	-	-	S	-	-



第175図 その他の出土石器 (2)

第5節 第5文化層(Xa層 縄文時代草創期)の調査
1 遺構と遺物

薩摩火灰層直下に相当するXa層からは磨石集積及び集石4基のほか縄文時代草創期に相当する土器、石器の出土が認められており、一部で細石丸・細石刃核をこの層位からの出土として取上げているが、概ね縄文時代草創期の遺物包含層に相当している。Xa層面での旧地形は薩摩火灰層(IⅤ層)上面と約20cm程度のレベル差があるものの地形自体には大きな変化はみられない、このため、Xa層の遺構配置図・遺物出土状況図についてはIⅤ層上面地形図を用いている。

桐木側調査区ではH-3・4区及びI-3区を中心とする東側に張り出す平坦な高位部分、および東側から入る浅い谷部に面する南向きのほぼ平坦に近い緩斜面上で磨石集積及び1号集石、3号集石がそれぞれ6~8mの間隔をもって検出された。

耳取側調査区のf-0-2区及びg-0区では尾根部を境に西側斜面で薩摩火灰層の堆積を欠く部分があり、調査時、遺構が切り合っている可能性を考慮し、ミニトレンチを設定して、断面状況を確認するなどしたが、遺構の痕跡は確認されなかった。

上位のⅤ層とXa層がいずれも黒褐色土で土質も同じであり、遺物取り上げに際しては、Ⅴ層に含まれる胡麻遺状の白色の細粒を指標として区分を試みたが、この部分ではXa層・Xb層ともに堆積が薄く、必ずしも明確に区分することが出来なかった。

耳取調査区東側の2基の集石はいずれも薩摩火灰層の堆積が認められた部分でその下位から検出されている。f-1区5号集石は北西側の急傾斜をなす谷際にある尾根部の東より部分、f-2区2号集石は5号の北東15mほどの北向き緩斜面上で検出された。

遺物は、上記2か所の遺構検出部分を中心に、周辺にも一定の広がりをもって出土しているが、その範囲は、耳取調査区北西側の谷に近い桐木調査区のH-I-2~5区、耳取調査区のf-h-0~4区を中心とし、遺物量も全体として多くはない。また、部分的に濃密に遺物が集中する遺物集中部として認識された箇所はなく、散発的に出土する機会が多かった。桐木側・耳取側とも上記部分を除く遺跡北側一帯では、土層の堆積状況が良好で、層位的にも安定した出土傾向を示す。草創期の遺物は薩摩火灰層との層理面から1~3cm掘り下げたXa層上面で多く出土し、Xa層の堆積の厚い範囲ではXb層まで約10cm程度が遺物出土のほとんどない事実上の間層となる。ただし、漸移部分や層の境界面で層位の確定が難しい場合、基本的に上位の層に帰属させる方法を取ったため、結果的に一部Xb層に近いものもXa層として取上げた場合がある。

2 遺構

(1) 磨石集積

II-4区Xa層検出であるが、Xa層上面からはやや下がった位置で、Xb層に近い。磨石・礫石類4点がまとまって出土したが、検出状況ではいずれの遺物も立った状態で検出されている。注意して掘り込みを探したが、検出時点で既に失われていた可能性があり、掘り込みを確認できなかったため、磨石集積とした。

出土した4点の磨石・礫石類はいずれも使用されていたらとみられるもので、1・2・4が多孔質の安山岩製、3は砂岩製である。1は縦断面形が隅丸の三角形状を呈するもので、表裏及び側面に部分的な磨面があり、表面側及び右側面の中央付近にやや弱いが敲打の痕跡があり磨石礫石類II A類とした。2・3はいずれも表裏に磨面があり、3は表裏の磨面が滑らかで、部分的には摩滅による稜を生じている。下端面にわずかに敲打痕がみられるが磨石礫石類I類に分類している。4は裏面に磨面があり、下端面にやや範囲が広く、単位に切り合いの敲打痕がみられるもので磨石礫石類II B類とした。

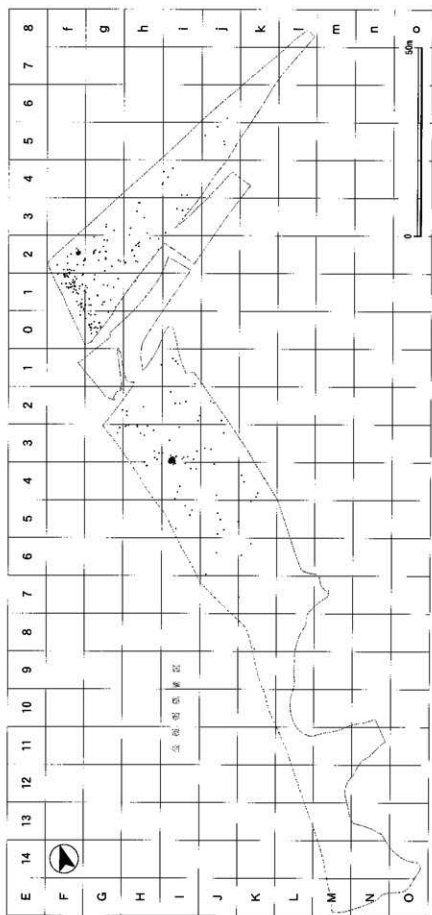
(2) 集石

1号集石 桐木調査区I-3区で検出された集石で礫個数376点で、5cm程度の小礫が主体で、被熱による赤化や破砕がみられるものが多い。炭化物が礫の集中する部分やその周辺に多くみられ、集石内部の上は炭化物が細かく混在し、黒色で粘性の強い土壌になっている。この集石では礫の密度がやや疎となる中央部分をくり囲むように礫の周密な部分のみみられ、やや崩れた形状ではあるがドーナツ状をなし、かき出されたように周囲に礫が散布する。礫は上下に重なりをもつが、全体的には平面的な出土傾向を示し、明確な掘り込みは認められない。集石下部のXb層相当面で黒曜石破片が出土しているが、これは下位の包含層に帰属するものとみられる。

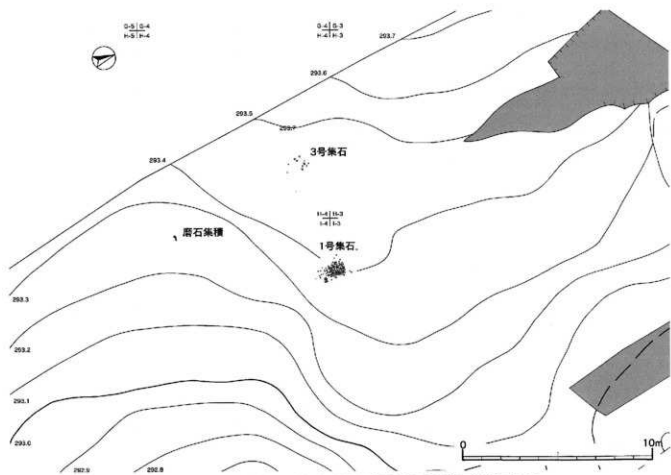
3号集石 H-4区で検出された。拳大の礫6点と礫片4点それぞれに黒曜石破片1点を加えた計11点で、小規模な集まりを成す。このうち礫片2点は粘板岩の礫と接合しており、接合しなかった粘板岩片もこれと同一固体とみられることから、本来の個数はさらに少なかったものとみられる。接合した、粘板岩のほか黒曜石破片を除くと、いずれも多孔質の安山岩礫で、被熱による赤化や破砕の痕跡がみられる。

第59表 第5文化層1号集石計測表

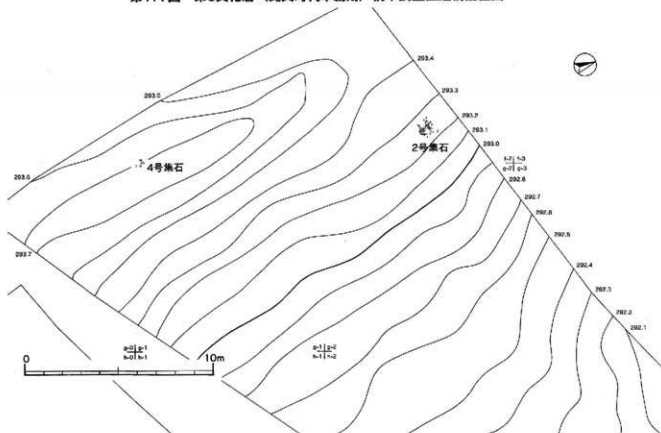
石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	138	146	76	21	381	
重量(g)	9612	4338	2699	184.88	16887.88	
割合(%)	57	26	16	1		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	339	33	3	0	1	OB5点除く
割合(%)	90	9	1	0	0	
変換炭化率	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	330	77	334			OB5点除く
割合(%)	88	21	89			



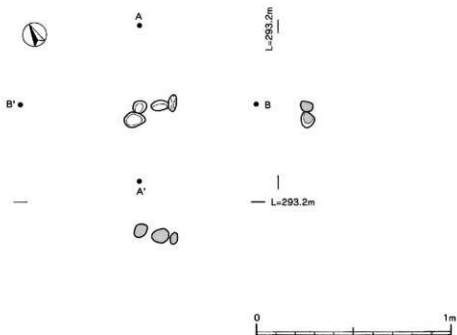
第176图 第5文化層遺物出土状況図



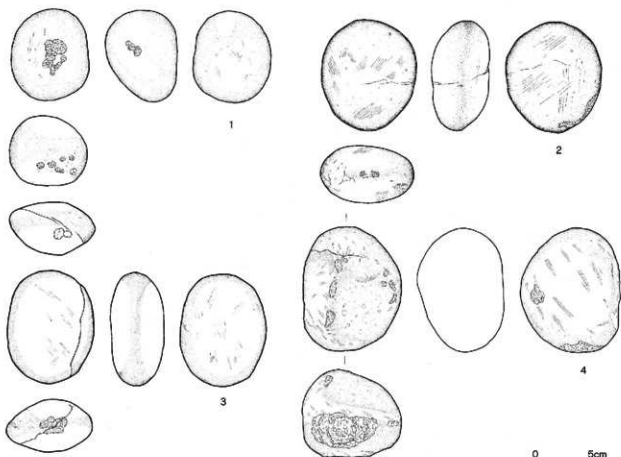
第177图 第5文化層（縄文時代草創期）桐木調査区遺構配置図



第178图 第5文化層（縄文時代草創期）耳取調査区遺構配置図



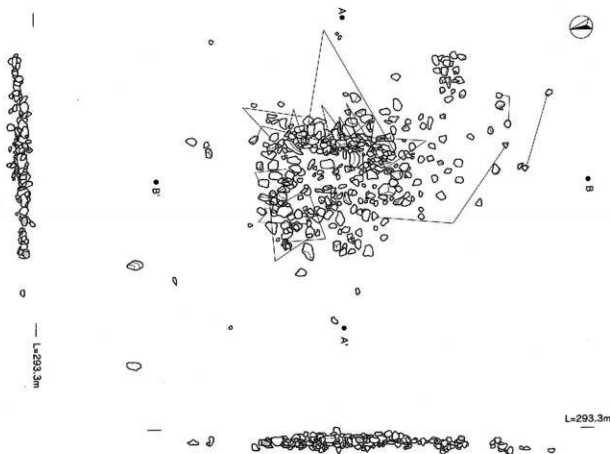
第179図 第5文化層石集積



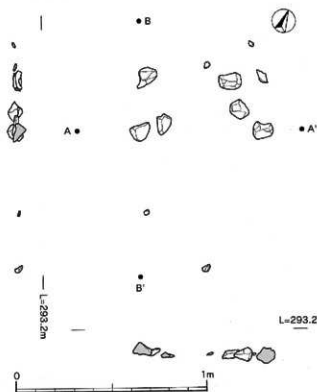
第180図 第5文化層集積内出土石器

第60表 第5文化層石器計測表(1)

採回No.	図No.	集積No.	取上No.	層位	文化層	遺物	フリツ	分類I	分類II	石種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	総合No.	測定者	検出地	備考				
180	1	-	集積-1	10	a	-	L05	砂岩	I-A	磨石/礫石	IIA	AN	C	7.30	6.15	5.65	336.66	-	-	-	-	-
180	2	-	集積-2	10	a	-	L05	砂岩	I-A	磨石/礫石	I	AN	C	8.80	7.55	4.55	420.00	-	-	S	-	-
180	3	-	集積-3	10	a	-	L05	砂岩	I-A	磨石/礫石	I	SA	-	9.00	6.80	4.20	334.00	-	-	S	-	-
180	4	-	集積-4	10	a	-	L05	砂岩	I-A	磨石/礫石	II B	AN	C	10.00	7.90	7.00	705.89	-	-	-	-	-



第181図 第5文化層1号集石



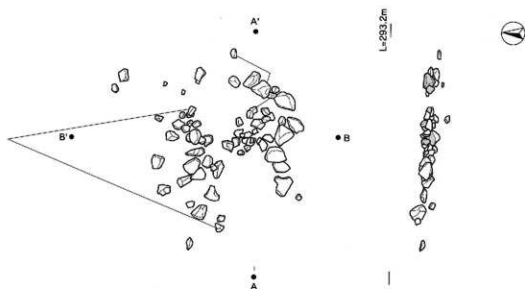
第182図 第5文化層3号集石

第61表 3号集石計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	6	0	4	1	11	
重量(g)	3278		295	10	3578	
割合(%)	91	0	8	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	4	1	2	3	0	OBI点除く
割合(%)	40	10	20	30	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	10	1	10			OBI点除く
割合(%)	100	10	100			

2号集石 耳取調査区f-2区の薩摩火山灰層直下で検出した。拳大のやや大き目の礫が、二方向から中心を取り囲むようにあり、間にやや小形の礫が集まっている。安山岩系の礫が主体を占め、一部粘板岩が混ざる。炭化物はほぼ検出面と同じレベルで見られ、大き目のもので軽5mm程度である。掘り込み、焼土等は確認されていない。

4号集石 耳取調査区の北西の谷への落ち際に近い尾根状の部分で検出した。周辺は土層の堆積が悪く上位の層から落ち込む粒径5~8mmのバミスが検出面でもみられたが、この集石はグリッド線に沿って設置した土層観

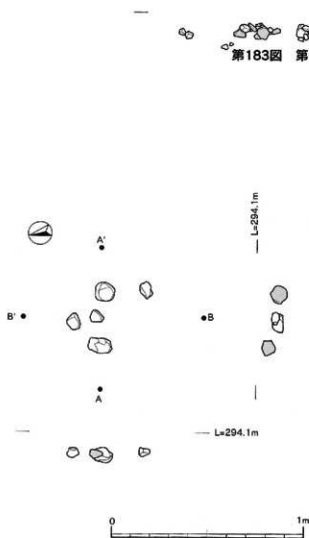


第183図 第5文化層2号集石

祭用の畦内から検出され、薩摩火山灰の堆積層率との比較により、その下位にあたる事が確かめられている。多孔質安山岩の礫5個のみで、調査時には配石として調査したものである。

第62表 第5文化層2号集石計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	25	31	6	3	65	データ無し
重量(g)	5946	3750	419	17	10132	
割合(%)	59	37	4	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	36	18	8	3	0	データ無し
割合(%)	55	28	12	5	0	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	52	14	65			データ無し
割合(%)	80	22	100			



第184図 第5文化層4号集石

第63表 第5文化層4号集石計測表

石材	安山岩	砂岩	粘板岩	その他	合計	備考
個数(個)	5	0	0	0	5	
重量(g)	3223				3223	
割合(%)	100	0	0	0		
重量(g)	~100	~300	~600	~1000	1000~	備考
個数(個)	0	1	1	2	1	
割合(%)	0	20	20	40	20	
受熱変化等	赤化・白濁	炭化物付着	破砕			備考
個数(個)	0	0	0			
割合(%)	0	0	0			

3 遺物

(1) X層出土土器

Xa層・Xb層から出土した土器片は28点である。これに樹痕からの出土であるが、Xa層出土に相当すると思われる1点を加えて、計29点をX層出土土器とした。このうちから、遺存状態が比較的良好なものを12点選び図化した。ほとんどが無文であるが、2点に隆起線が観察される。

X層出土土器は、遺存状態が良好なものが少ないため、本遺跡の資料のみでは詳細は不明であるが、本遺跡に隣接している事業主体が日本道路公園側の桐木遺跡での出土状況を勘案すると、平底の隆起線文土器である可能性が高い。調整は指頭によるナデ調整が施されており、そのために、内面にくびれを有するものがみられる。

Xa層出土土器とXb層出土土器との間に明瞭な相違を見出すことはできないが、Xa層出土のものは橙系の色調を呈するものが多くみられるのに対して、Xb層出土のものはやや暗い色調を呈するものが多い。

5は、外面に粘土紐を貼り付けた2条の隆起線がみられる。2条とも隆起部の上下が欠損しているため、幅が確認できないが、下段の断面観察では約8mmが遺存している。内面は、左から右方向へのナデ調整が施されている。上部がわずかに残存しているようにみられることから、口唇部である可能性がある。

6は、断面に粘土の接合痕が明瞭にみられる。外面は剥落している部分が多いが、隆起線を貼り付けた痕跡が残る。内面は左から右方向へのナデ調整が施されている。

7は、底部である。欠損部が多いが、平底を呈する。外底に爪あとが2か所残っている。

8～16は、胴部片であるが、小破片であることと無文であるため詳細な部位は不明である。

8は、断面に粘土の接合痕が明瞭にみられる。内外面に指頭圧痕が残る。外面は右から左方向へのナデ調整が施され、内面は横位を基本とするナデ調整が施されている。

9は、内外面に指頭圧痕が残る。横位を基本とするナデ調整が施されている。断面に粘土の接合痕がみられる。

10は、外面に指頭圧痕が残る。内外面とも横位を基本とするナデ調整が施されている。

11は、内外面とも横位を基本とするナデ調整が施されている。

12は、内外面に粘土を貼り付けた痕跡がみられる。内面は、横位を基本とするナデ調整が施されている。

13は、内面に指頭圧痕が残る。外面はほとんど剥落している。胎土に石英の粒子が大量に含まれている。

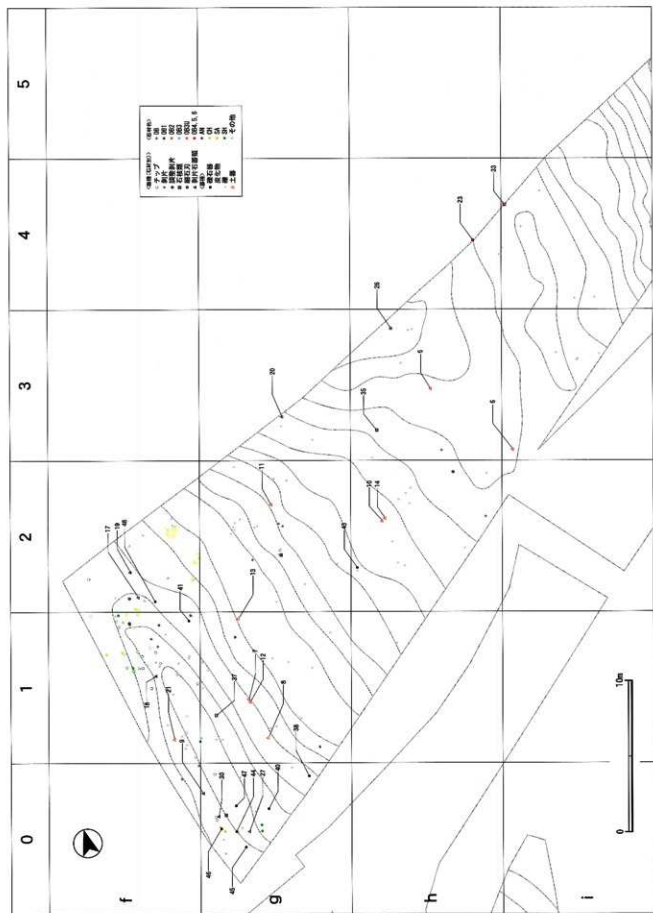
14は、外面は横位を基本とする丁寧なナデ調整が施されている。外面下部に粘土の接合痕がみられる。内面には炭化物が2.5mm程の厚さで付着している。樹痕からの出土である。

15は、内外面とも丁寧なナデ調整が施されている。外面は横位を基本としているが、左下に上に撥ね上げたあとが残る。

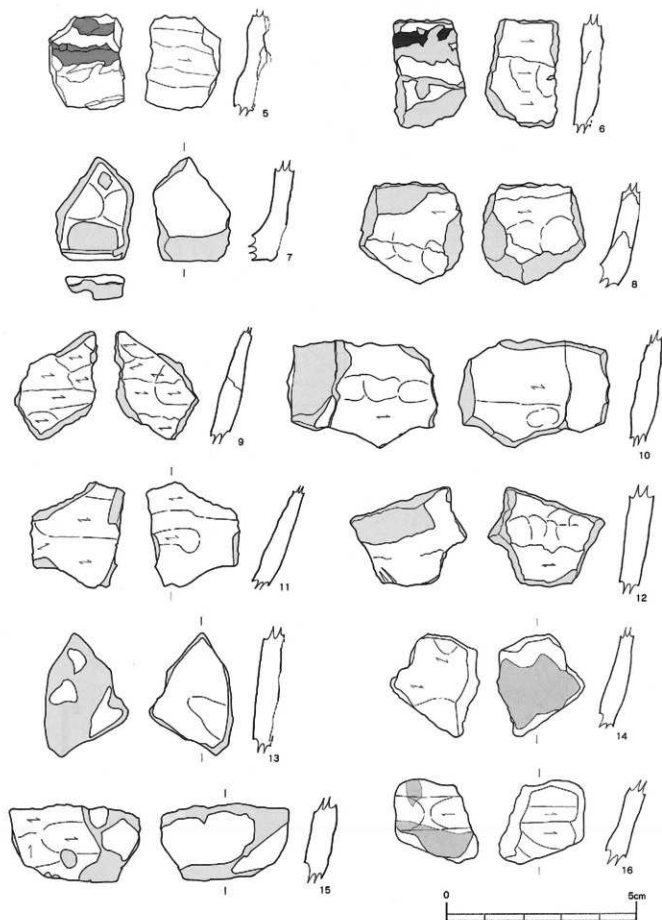
16は、外面は左から右方向へ内面は左から右方向にナデ調整が施されている。外面下部に炭化物が付着している。

第64表 第5文化層（縄文時代早期）土器観察表

博物館番号	遺物番号	発掘番号	時期	出土区(遺構)	出土層	器種	部位	胎土		調整	表面	色調		取上番号	出土レベル(m)	備考
								外底	内底			外底	内底			
187	5	412	草創期	h-3	Xb	深鉢	胴部	角閃石・小礫・石英	ナデ	ナデ	普通	灰褐色	黒褐色	11612	291.945	隆起線が2条
187	6	408	草創期	f-3	Xa	深鉢	胴部	角閃石・石英・炭素質	ナデ	ナデ	普通	黒	黒	11857	292.031	隆起線貼付の痕跡
187	7	411	草創期	g-1	Xa	深鉢	底部	角閃石・石英・長石	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	11423	293.21	平底
187	8	409	草創期	g-1	Xa	深鉢	胴部	石英・長石	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	12208	293.152	
187	9	407	草創期	f-1	Xa	深鉢	胴部	角閃石・石英・長石	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	12238	293.64	
187	10	413	草創期	h-2	Xb	深鉢	胴部	角閃石・石英	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	11772	292.2	
187	11	405	草創期	g-2	Xb	深鉢	胴部	角閃石・小礫・石英	ナデ	ナデ	良好	黒	黒	11831	292.513	
187	12	410	草創期	g-1	Xa	深鉢	胴部	角閃石・石英	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	11424	293.236	
187	13	416	草創期	g-1	Xa	深鉢	胴部	石英	ナデ	ナデ	普通	灰褐色	灰褐色	11878	292.959	
187	14	415	草創期	h-2	Xa(埋没)	深鉢	胴部	小礫・石英	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	11886	291.96	内面に炭化物付着
187	15	414	草創期	1-2	Xa	深鉢	胴部	角閃石・石英	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	5452	292.462	
187	16	406	草創期	1-2	Xa	深鉢	胴部	角閃石・石英	ナデ	ナデ	良好	黒	黒	5453	292.517	外面に炭化物付着



第186圖 第5文化層家灣遺物出土位置圖 (2)



第187図 第5文化層（縄文時代草創期）出土土器

(2) 石器

石鏃及び磨石・敲石類については以下に従い分類し、本文及び計測表の分類はこれに対応する。また、細石刃・細石刃核・棒状敲石類の分類については、前節に示した分類に従っている。

石鏃の分類 石鏃については基部の形態を主分類とし、平面形状等により細分し、主な形態について模式図に示した。

- A 類 凹基鏃
- B 類 平基鏃
- C1 類 浅い凹基の三角形鏃
- C2 類 浅い凹基の二等辺三角形鏃
- D1 類 凹基の三角形鏃
- D2 類 凹基の二等辺三角形鏃
- E1 類 U 字状・半円形状の抉りのある三角形鏃
- E2 類 U 字状・半円形状の抉りのある二等辺三角形鏃
- F 類 その他の基部形状をもつもの
- G 類 未製品

その他特殊な平面形状、欠損等により不明なものについては上記に準じて以下のように分類している。

C～F3 類 五角形鏃などその他の平面形状をもつもの
A～F4 類 欠損等により不明平面形状が不明なもの
磨石・敲石類 第4章に示した棒状敲石類としたものを除く磨石・敲石類については以下のように分類した。

- I 類 表・裏面に磨面があり、顕著な敲打痕がみられない。(磨石)
- II 類 表・裏面に磨面があり、敲打痕がみられるもので、周縁部及び表・裏面に敲打痕があるものをII A 類、主に丸みのある突出した端部に敲打痕がみられるものをII B 類とした。(棒・敲石)
- III 類 表・裏面に窪みをもつもの。面央部の敲打による浅い窪みをもつものを含む。(凹石)
- IV 類 明瞭な磨面をもたず、側縁・表・裏面上に敲打

痕があるもの。(敲石)

V 類 丸みのある突出した端部を中心に敲打痕(剥離)がみられるもの。(敲石・ハンマーストーン)

VI 類 平坦もしくは内湾する面をもち、器面に摩滅・擦痕等がみられるもの。(砥石類)

石鏃 石鏃は5点が出上している。欠損により形状不明な21を除き、いずれも浅い凹基の石鏃で、石材は17が蛋白石、18・19が頁岩、20・21が黒曜石Ⅲ類である。

細石刃 Xa層からの細石刃の出土は8点ある。図示した22～26は、23が黒曜石Ⅴ類、他は全て黒曜石Ⅲ類に分類した。

スクレイパー類 27は蛋白石、28は黒曜石ⅢⅠ類、29はチャート、30は頁岩製である。

楔形石器 31は黒曜石Ⅲ類で、上下に対向する剥離があり楔形石器に分類した。

細石刃核 32はA4類、33・34はD1類、35はE2類に分類した細石刃核で、いずれも黒曜石ⅢⅠ類である。

石核類 36・37はいずれも平坦な分割面(剥離面)を打面とする石核で、36が黒曜石ⅢⅠ類、37が黒曜石Ⅲ類である。

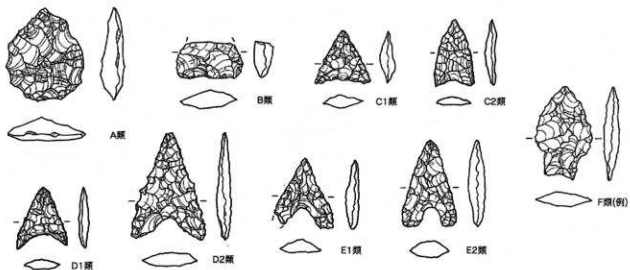
石斧 38は灰茶褐色の良質な頁岩製の石斧である。基部が折れて欠損している。厚みのある剥片もしくは分剝礫を素材とし、主に裏面側からの剥離により、断面台形状の甲高な身部を形成する。整形は剥離と研磨のみによるもので、剥離後部につぶれがみられるが、いわゆる敲打調整によるものではない。背面は本来平滑な自然面であった部分が併磨された可能性がある。表裏に使用にとみられる磨耗が生じ、刃部は先端部からの衝撃による剥離が見られる。

磨石・敲石類 39～42はいずれも多孔質の安山岩製の磨石敲石類である。39はII A 類、40はII B 類、41はV 類、42はI 類に分類した。

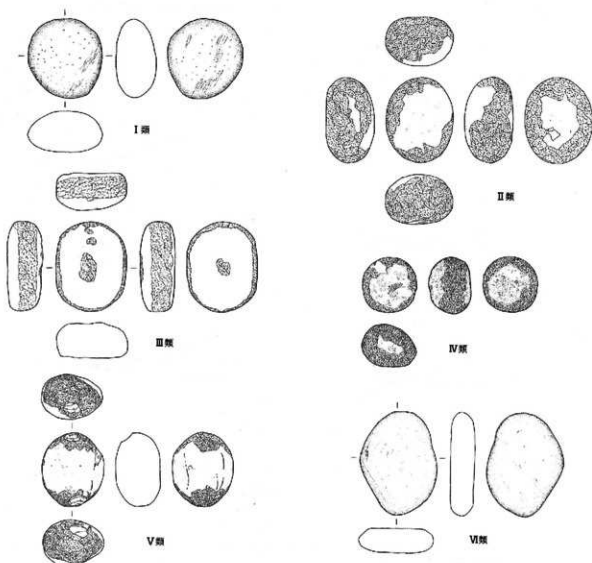
棒状叩石類 43～46は頁岩製、47～48は砂岩製のある。44は風化が激しく使用痕の判別が困難である。

第66表 第5文化層石器石材組成一覧表

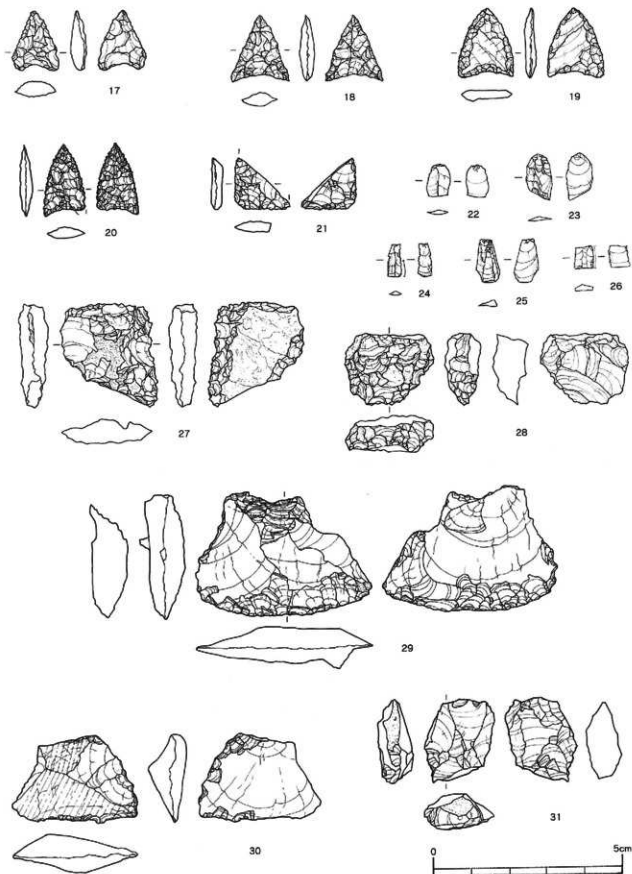
第5文化層	OB	OB1	OB2A	OB2B	OB2C	OB2D	OB3	OB3U	OB4	OB5	OB6	OB7	OB8	AN	CC	CH	CL	OP	RC	SA	SH	TU	XC	GR	HF	PM	合計
1 石鏃							2																				5
2 細石刃		3					4		1																		8
3 細石刃核							4																				4
4 スクレイパー							1								1			1									3
5 楔形石器							1																				1
6 二次加工砥削片																						1					1
7 調整剥片																											0
8 削片		11													4	2	5		5	3		5		1			33
9 石核		1					1	1																			3
10 原鏃			1						1																		2
11 チップ			19												1	5					1	2					34
12 石斧																											1
13 棒状敲石																						2	4				6
14 磨石/敲石																							1		7		9
合計	35	0	0	0	0	0	8	7	0	1	0	0	0	4	3	12	0	12	0	8	15	0	8	0	0	0	110



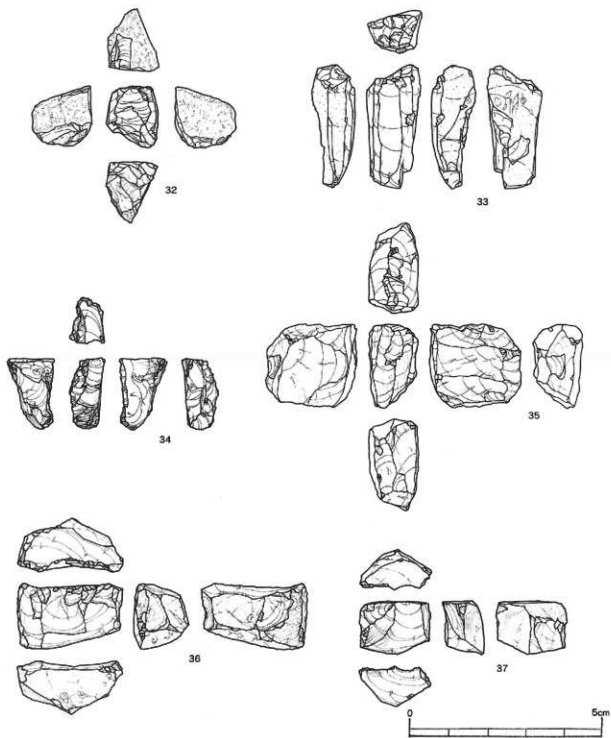
第188圖 石器分類模式圖



第189圖 磨石・敲石類分類模式圖



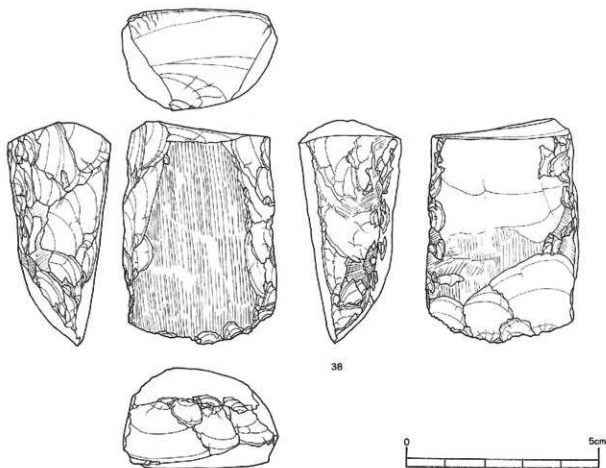
第190圖 第5文化層出土石器 (1)



第191図 第5文化層出土石器 (2)

第66表 第5文化層石器計測表 (2)

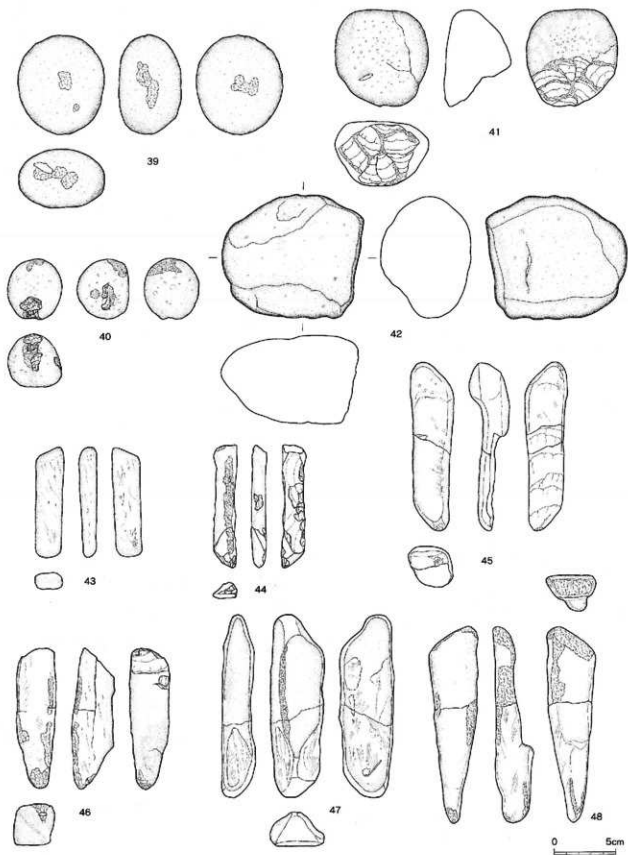
標本No.	図No.	量目No.	表上No.	径口	厚口	径口	文付面	遺物	イナリ	分類L	分類L2	F(口L)	径口L	長さL	幅L	厚L	重量(g)	総合No.	計測	重量	径口	厚口	備考
190	17	-	12269	10	a	-	L05	-	f2	石鏃	C1	OP	1.60	1.30	0.65	0.67	-	-	-	-	-	-	-
190	18	-	12268	10	a	-	L05	-	f1	石鏃	C1	SH	1.80	1.35	0.60	0.62	-	-	-	-	-	-	-
190	19	-	12268	10	a	-	L05	-	f2	石鏃	C1	SH	1.90	1.50	0.35	0.84	-	-	-	-	-	-	-
190	20	-	13024	10	a	-	L05	-	g-3	石鏃	C2	OB	3	1.95	1.10	0.35	0.53	-	-	-	-	-	-
190	21	-	12310	10	a	-	L05	-	g-0	石鏃	F4	OB	3	1.40	1.50	0.35	0.51	-	-	-	-	-	欠番



第192図 第5文化層出土石器 (3)

第67表 第5文化層石器計測表 (3)

採掘No.	図No.	発見層	取上No.	口径	高さ	厚さ	文化層	産地	アノト	分類1	分類2	口径	高さ	厚さ	重量	容積	容積No.	用途	用途	用途	備考
190	22	-	5494	10	a	-	L05	-	1-3	礫石片	TC	OB	3	0.85	0.59	0.09	0.05	-	-	-	-
190	23	-	13755	10	a	-	L05	-	b-4	礫石片	TC	OB	5	1.22	0.62	0.10	0.09	-	○	-	-
190	24	-	16159	10	a	-	L05	-	j-6	礫石片	TC	OB	3	0.88	0.34	0.08	0.03	-	○	-	-
190	25	-	5481	10	a	-	L05	-	H-4	礫石片	TC	OB	3	1.15	0.65	0.16	0.14	-	○	-	-
190	26	-	12908	10	a	-	L05	-	b-3	礫石片	C	OB	3	0.61	0.51	0.16	0.06	-	○	-	-
190	27	-	11443	10	a	-	L05	-	g-0	スラレイト片	OP	-	2.80	2.10	0.80	5.03	-	-	-	-	
190	28	-	4378	10	-	-	L05	-	-	スラレイト片	OB	3U	1.85	2.35	1.00	4.85	-	-	-	-	
190	29	-	4522	10	a	-	L05	-	1-6	スラレイト片	OB	3U	3.40	4.75	1.20	12.97	-	-	-	-	
190	30	-	12277	10	a	-	L05	-	g-0	二重刃石片	-	SH	-	2.40	3.35	1.05	3.73	-	-	-	-
190	31	-	-	10	a	-	L05	-	g-0	楕円石片	-	OB	3	2.30	1.95	1.00	5.73	-	-	-	-
191	32	-	5812	10	a	-	L05	-	1-3	礫石片核	A4	OB	3U	1.10	1.35	1.20	3.36	-	-	-	-
191	33	-	13727	10	a	-	L05	-	1-4	礫石片核	D1	OB	3U	3.30	1.40	1.15	4.76	-	-	-	-
191	34	-	4822	10	a	-	L05	-	b-6	礫石片核	D1	OB	3U	1.90	0.90	1.50	1.75	-	-	-	-
191	35	-	11458	10	a	-	L05	-	b-3	礫石片核	-	OB	3U	2.20	1.30	2.40	8.13	-	-	-	-
191	36	-	5460	10	a	-	L05	-	11-4	石核	-	OB	3U	1.75	2.80	1.45	6.91	-	-	-	-
191	37	-	11448	10	a	-	L05	-	g-1	石核	-	OB	3	1.40	1.40	1.10	2.86	-	-	-	-
192	38	-	11400	10	a	-	L05	-	g-0	石片	-	SH	-	5.95	4.00	2.70	80.96	-	-	-	-
193	39	-	4955	10	a	-	L05	-	1-4	礫石/礫石	II A	AN	C	8.20	7.00	4.85	267.29	-	-	-	-
193	40	-	11434	10	a	-	L05	-	g-0	礫石/礫石	II B	AN	C	4.90	4.40	4.40	113.18	-	-	-	-
193	41	-	12253	10	a	-	L05	-	5-1	礫石/礫石	V	AN	C	8.00	7.50	5.35	375.00	-	-	-	-
193	42	-	-	10	a	-	L05	-	g-0	礫石/礫石	I	AN	C	10.10	11.60	7.40	180.41	-	-	-	-
193	43	-	12184	10	a	-	L05	-	b-2	楕円礫石	C3	SH	-	9.00	2.30	1.35	50.59	-	-	S	-
193	44	-	12225	10	a	-	L05	-	g-0	楕円礫石	C3	SH	-	10.00	1.95	1.35	29.05	-	-	S	-
193	45	-	11444	10	a	-	L05	-	g-0	楕円礫石	C3	SH	-	13.80	3.50	3.30	127.74	-	-	S	-
193	46	-	12228	10	a	-	L05	-	g-0	楕円礫石	A3	SII	-	11.50	3.20	3.40	153.29	-	-	S	-
193	47	-	12222	10	a	-	L05	-	g-0	楕円礫石	C2	SA	-	15.00	4.40	2.80	226.70	-	-	S	-
193	48	-	12271	10	a	-	L05	-	f-2	楕円礫石	A2	SA	-	16.15	4.00	3.00	186.02	-	-	S	-



第193图 第5文化層出土石器(4)

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書(75)
一般国道10号末吉IC関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

桐木遺跡

発行日 2004年3月

発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4461 鹿児島県国分市上之段1175番地1

TEL (0995) 48-5811

印刷所 凸版印刷株式会社 九州事業部

〒810-0022 福岡市中央区薬院1-17-28

TEL (092) 722-2000

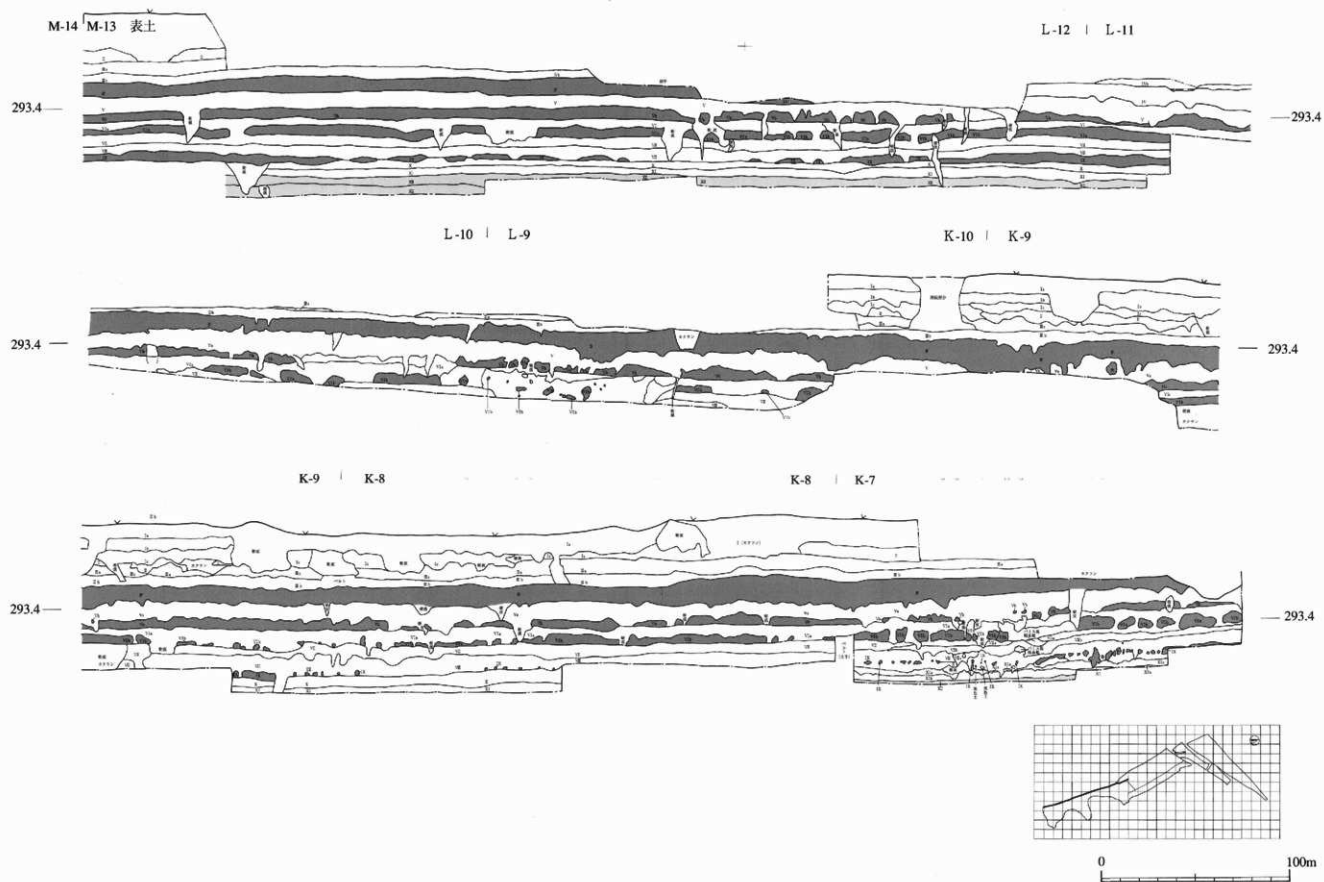
鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書 (75)

一般国道10号末吉IC関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

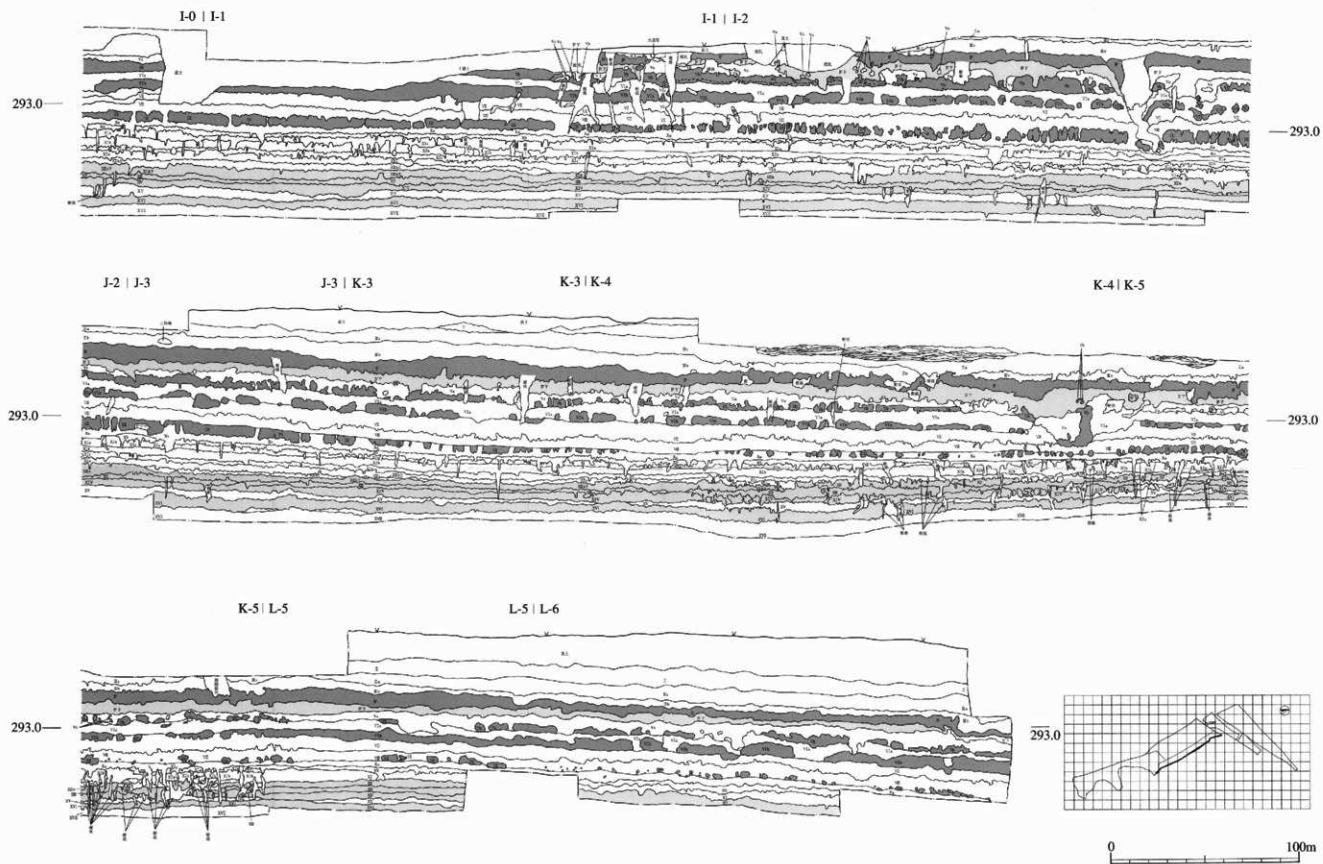
桐 木 遺 跡

付 図

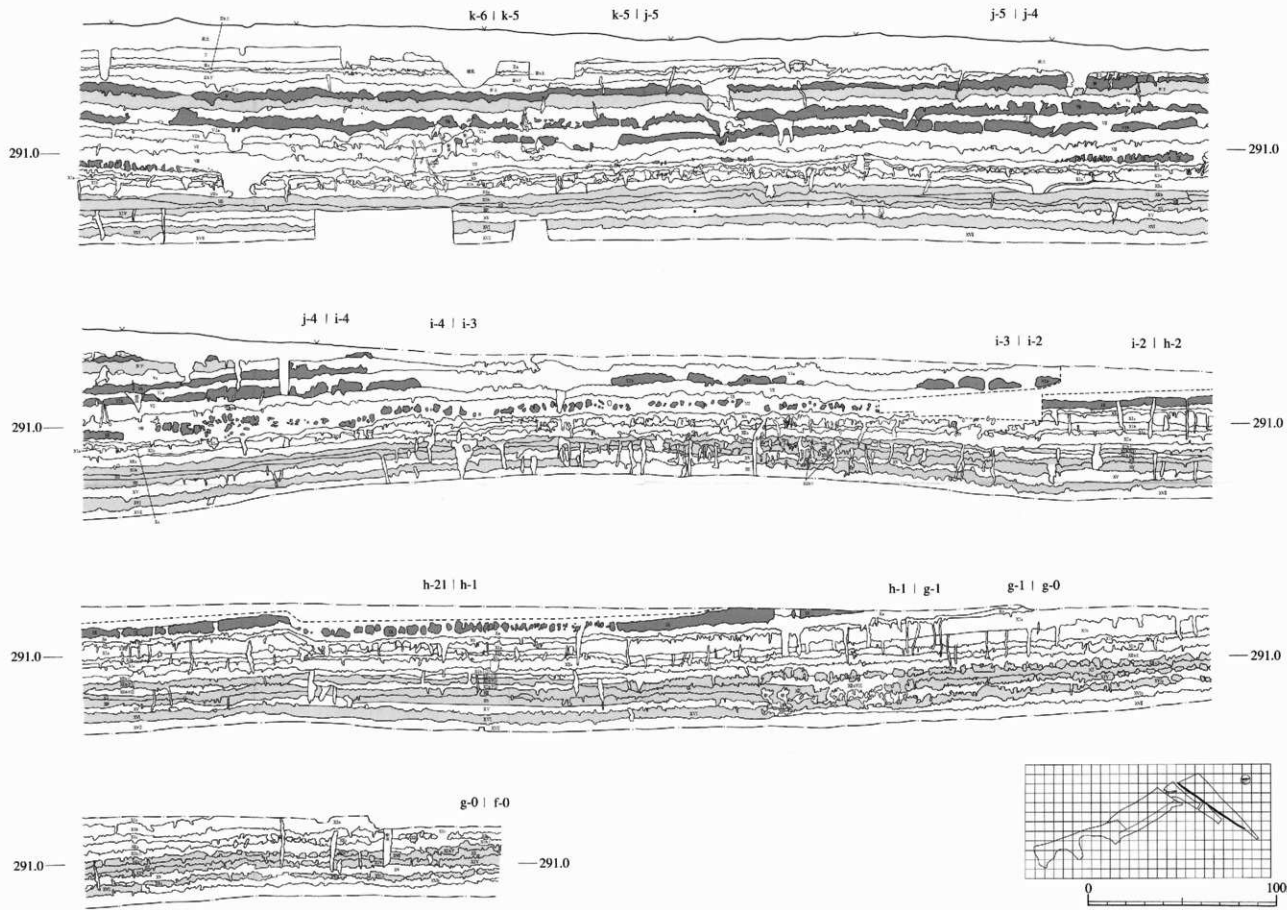
- 付図1 桐木調査区 西側土層断面図
- 付図2 桐木調査区 東側土層断面図
- 付図3 耳取調査区 南側土層断面図
- 付図4 耳取調査区 北側土層断面図



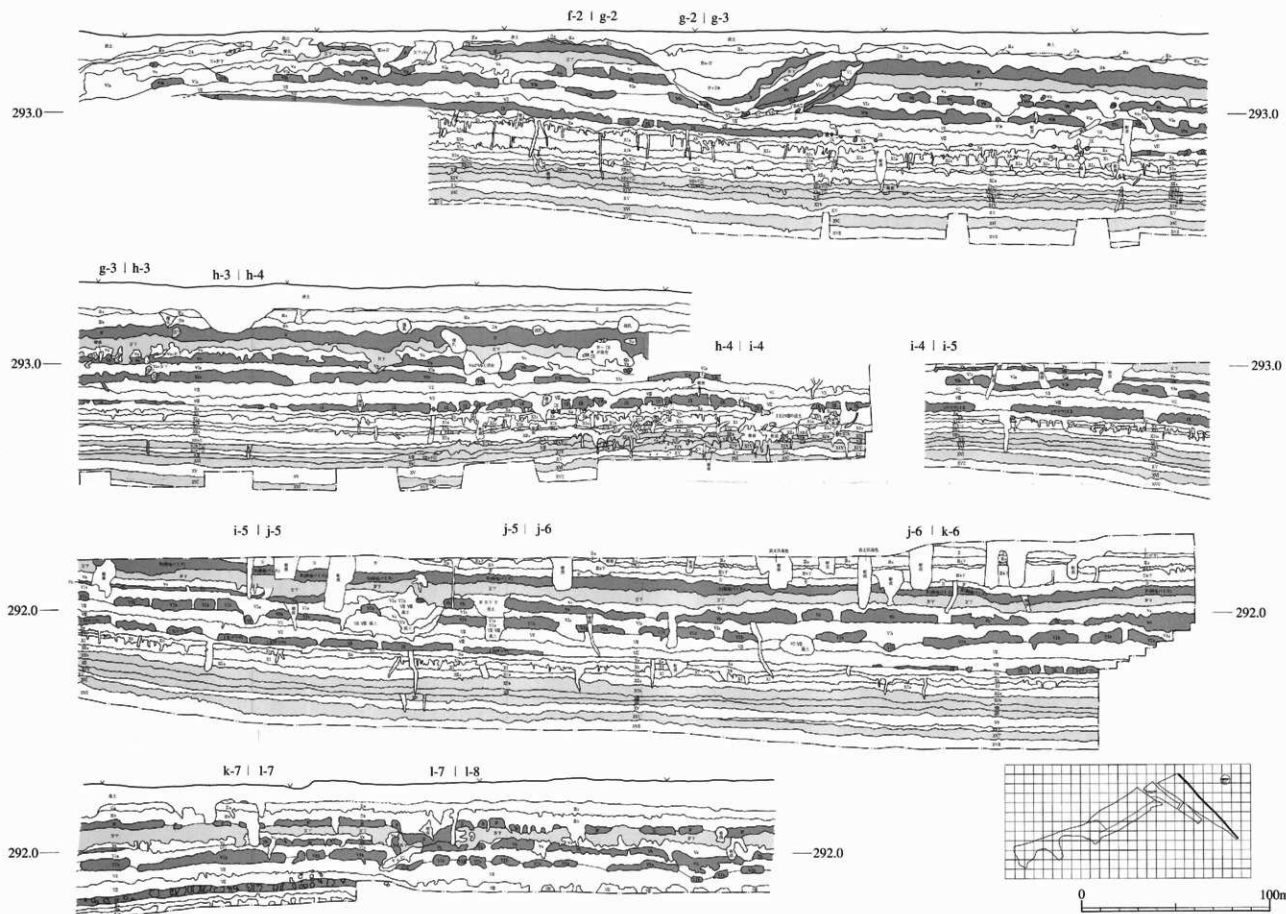
付図1 桐木調査区西側土層断面図



付図2 桐木調査区東側土層断面図



付図3 耳取調査区南側土層断面図



付図4 耳取調査区北側土層断面図

